

田 原 市
市 民 意 識 調 査
報 告 書

平成 2 8 年 1 2 月

田 原 市

目 次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象	1
3 調査期間	1
4 調査方法	1
5 回収状況	1
6 調査結果の表示方法	2
II 田原市市民意識調査	3
1 回答者属性	3
2 幸福感について	5
3 田原市の住みよさについて	28
4 各分野での市の取り組みについて	45
<市民環境分野>	47
<健康福祉分野>	50
<産業経済分野>	53
<都市整備分野>	56
<教育文化分野>	59
<消防防災分野>	62
<行財政分野>	64
5 地震対策について	73
6 市民活動への参画について	108
7 自由意見	115
III 市内事業者アンケート調査	123
1 回答者属性	123
2 田原市の事業環境について	126
3 あなたの事業所の事業について	129
4 市の施策について	132
5 従業員の雇用環境について	138
6 従業員の市内定住対策について	139
7 土地利用について	140

8	農商工連携による事業展開について	141
9	環境共生について	142
10	男女共同参画について	143
11	地域社会への貢献活動について	144
12	市政に対するご意見	147
IV	市内農業者アンケート調査	149
1	回答者属性	149
2	田原市の農業全般について	152
3	あなたの農業経営について	154
4	農地の保全・活用について	157
5	農業基盤の整備について	158
6	交流・食育の推進について	159
7	農業経営について	160
8	担い手づくりの推進について	161
9	環境保全型農業の推進について	163
10	市の政策の満足度と重要度によるポートフォリオ分析	164
11	自由意見	166
V	市内漁業者アンケート調査	167
1	回答者属性	167
2	田原市の漁業全般について	169
3	あなたの漁業経営について	170
4	水産資源の確保について	173
5	漁業経営について	175
6	水産施設の充実について	177
7	市の政策の満足度と重要度によるポートフォリオ分析	178
8	自由意見	180
VI	市内団体アンケート調査	181
1	回答者属性	181
2	団体の活動について	190
3	市との連携・協力について	201
4	市の政策の満足度と重要度によるポートフォリオ分析	205
5	自由意見	207
VII	中学生アンケート調査	211
1	回答者属性	211
2	あなたにとっての『幸せ』について	211
3	あなたの学校生活について	214

4	あなたの普段の生活・家族との関係について	215
5	自由意見	217
付録	調査票	219

■ I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

改定版第1次田原市総合計画で定めた「みんなが幸福を実現できるまち」の理念のもと、将来都市像「うるおいと活力のあるガーデンシティ」の実現を目指し、市政へ反映するための基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

市民意識調査：田原市に居住する満20歳以上の3,500人
 市内事業者調査：田原市内の事業者100人
 農業者調査：田原市内の農業従事者100人
 漁業者調査：田原市内の漁業従事者100人
 市内団体調査：田原市内の団体100団体
 中学生アンケート：田原市内の中学2年生576人

3 調査期間

平成28年7月1日から平成28年7月22日
 （中学生アンケートについては、平成28年6月24日から平成28年7月29日まで）

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

調査対象	配布数	有効回答数	有効回答率
市民	3,500通	1,417通	40.5%
市内事業者	100通	41通	41.0%
農業者	100通	42通	42.0%
漁業者	100通	35通	35.0%
市内団体	100通	64通	64.0%
中学生	576通	562通	97.6%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数の合計が合致しないことがあります。
なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにする集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを網かけしています。（無回答を除く）

■ Ⅱ 田原市市民意識調査

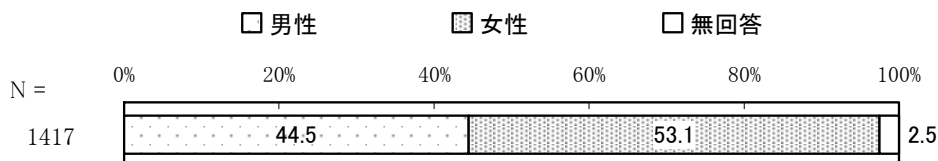
II 田原市市民意識調査

1 回答者属性

問1 あなた自身の平成28年7月1日現在の状況についてうかがいます。
(あてはまるもの1つに○)

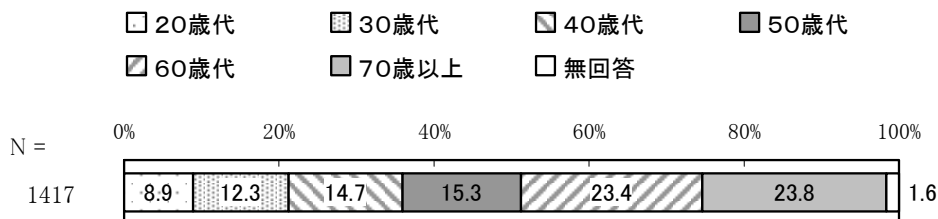
① 性別

「男性」の割合が44.5%、「女性」の割合が53.1%となっています。



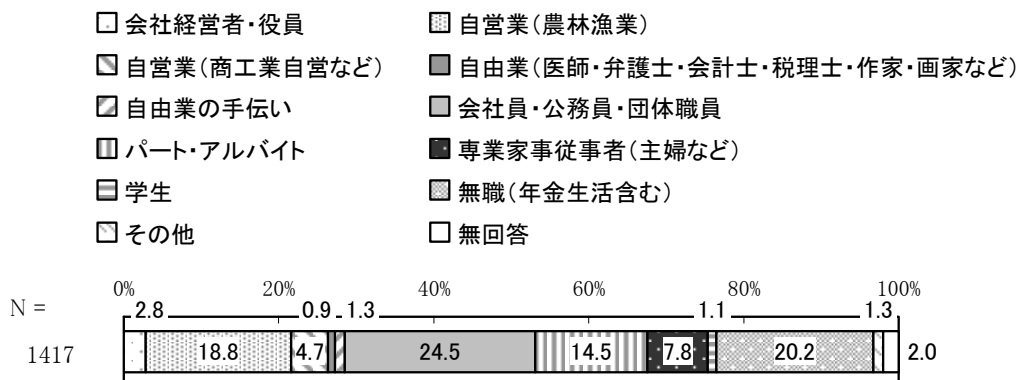
② 年齢

「70歳以上」の割合が23.8%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が23.4%、「50歳代」の割合が15.3%となっています。



③ 職種など

「会社員・公務員・団体職員」の割合が24.5%と最も高く、次いで「無職（年金生活含む）」の割合が20.2%、「自営業（農林漁業）」の割合が18.8%となっています。



④ 小学校区

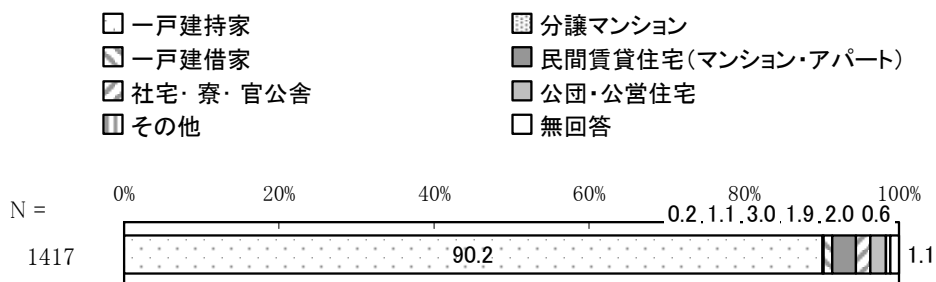
「神戸」、「田原中部」の割合が9.0%と最も高くなっています。

単位：%

有効回答数(件)	六連	神戸	大草	田原東部	田原南部	童浦	田原中部	衣笠	野田	高松	赤羽根	若戸	伊良湖岬(和地)	伊良湖岬(堀切)	伊良湖岬(伊良湖)	亀山	中山	福江	清田	泉	無回答
1417	2.8	9.0	2.2	7.4	2.9	8.0	9.0	7.8	5.2	2.7	3.2	2.5	2.6	3.5	1.3	1.7	6.9	7.3	4.7	6.4	2.9

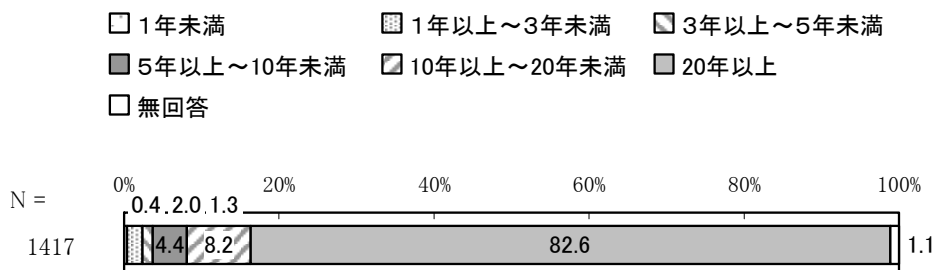
⑤ 居住環境

「一戸建持家」の割合が90.2%と最も高くなっています。



⑥ 居住年数

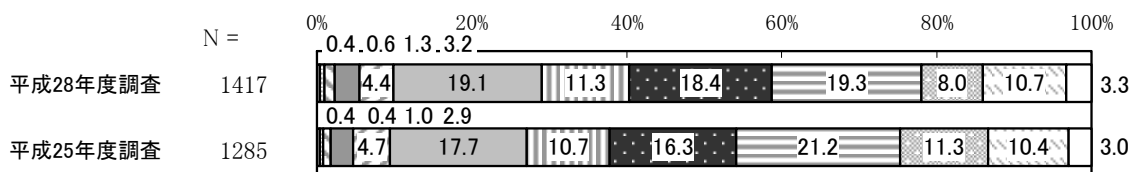
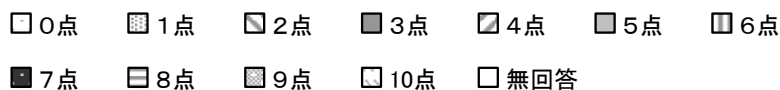
「20年以上」の割合が82.6%と最も高くなっています。



2 幸福感について

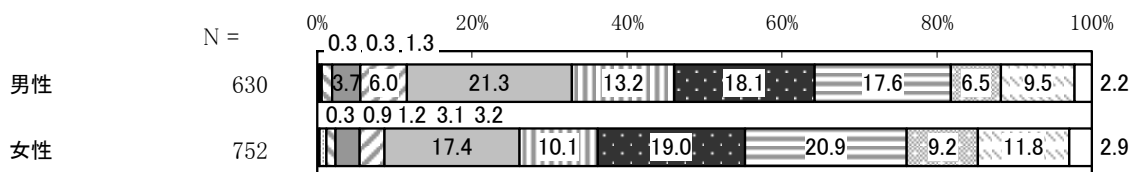
問2 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。(いずれかの数字を1つだけ○)

平均点は6.84点であり、平成25年度調査(6.93点)と比べ0.09ポイント低くなっています。



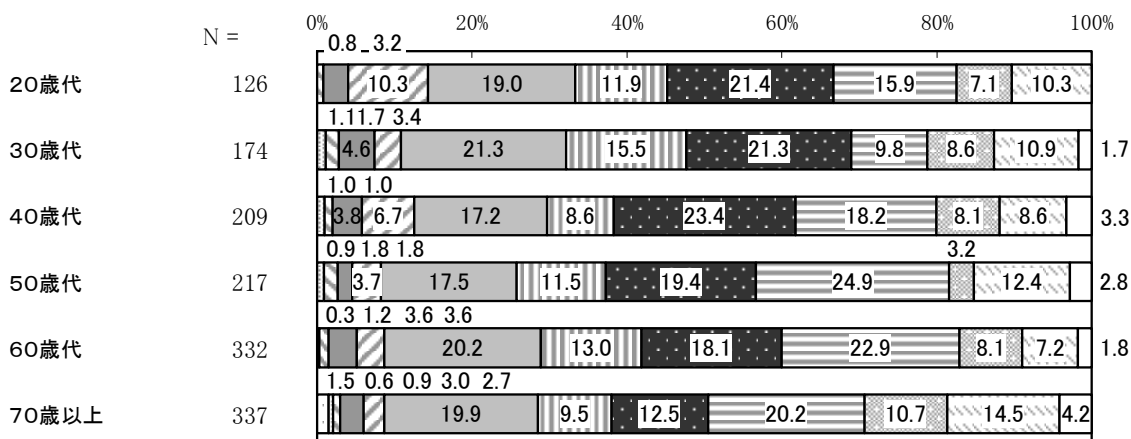
【性別】

性別でみると、男性に比べ女性で“7点以上”の割合が高く、6割を超えています。



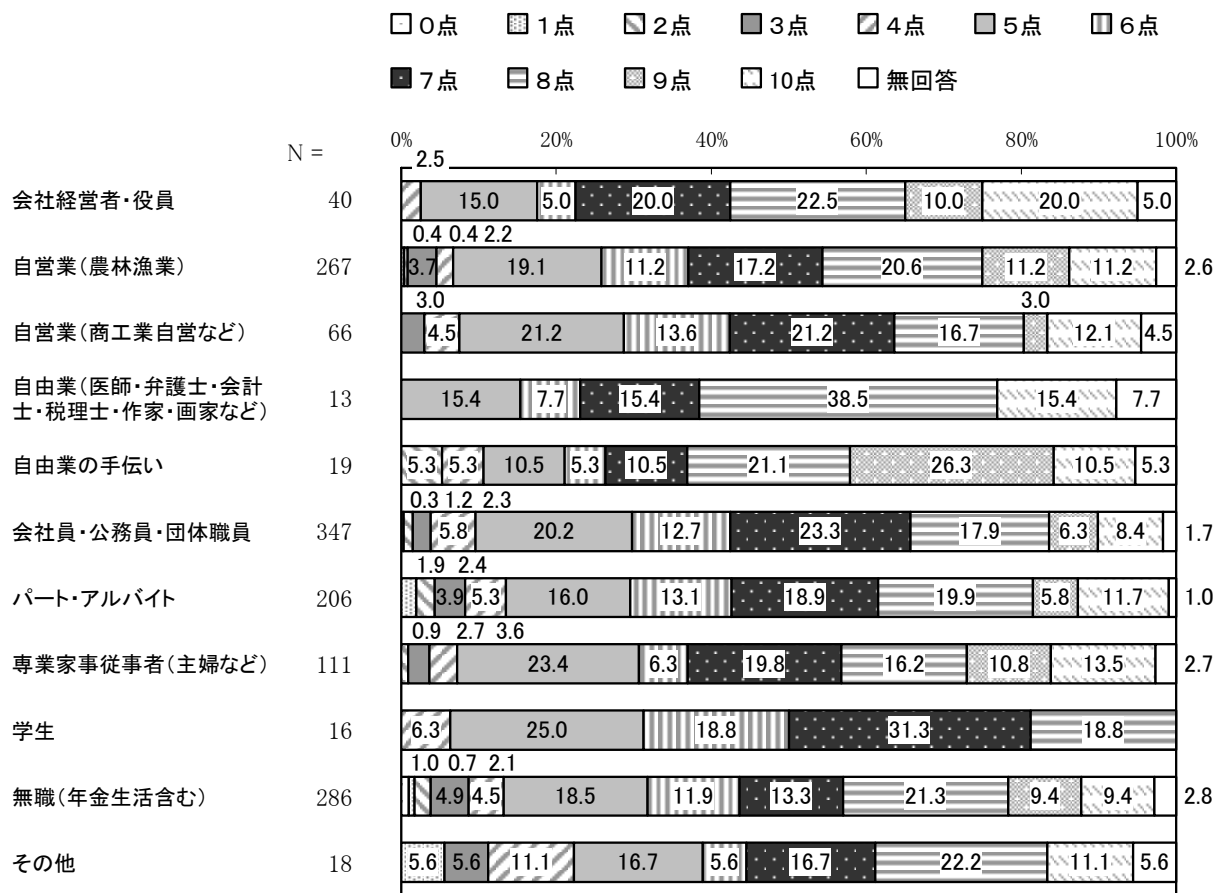
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて、“8点以上”の割合が高くなる傾向が見られます。



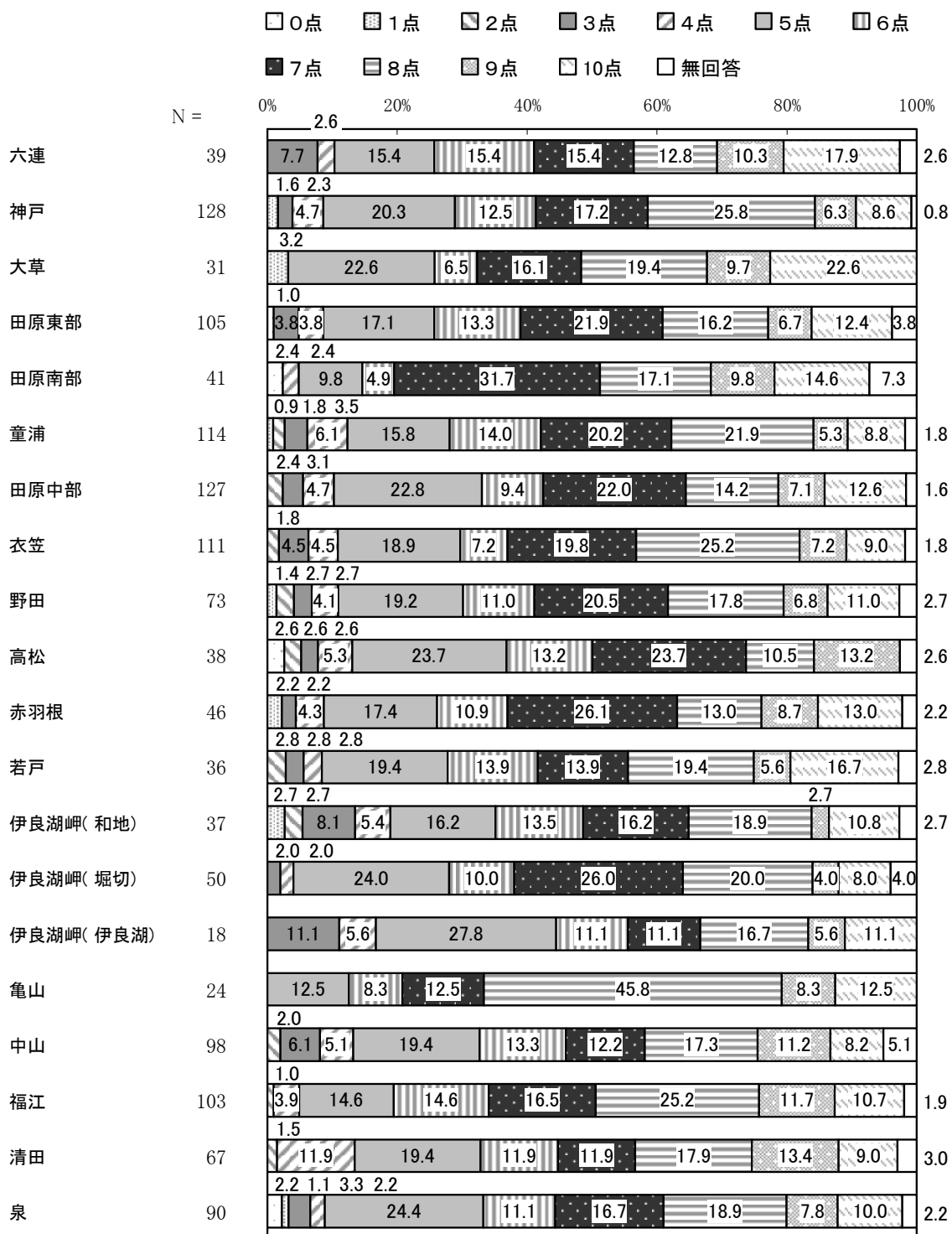
【職業別】

職業別でみると、会社経営者・役員、自由業の手伝いで“9点以上”の割合が高く、3割を超えています。



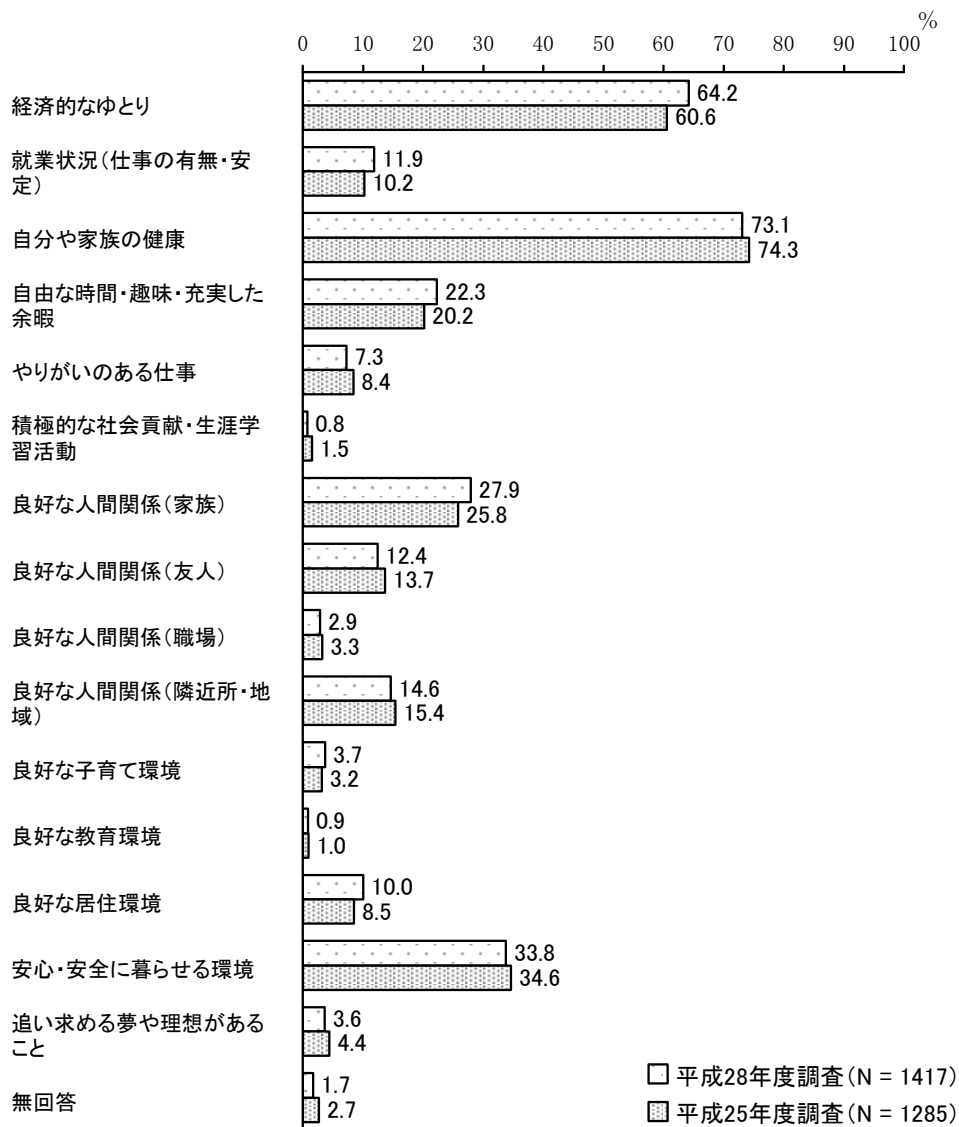
【地区別】

地区別でみると、大草で“9点以上”の割合が高く、3割を超えています。



**問3 あなたが「幸せ」でいるために、重要だと思う事項は何ですか。
(あてはまるもの3つに○)**

「自分や家族の健康」の割合が73.1%と最も高く、次いで「経済的なゆとり」の割合が64.2%、「安心・安全に暮らせる環境」の割合が33.8%となっています。
また、平成25年度調査と比べてみても傾向に差異が見られません。



【性別】

性別でみると、男女とも「自分や家族の健康」「経済的なゆとり」「安心・安全に暮らせる環境」の割合が高くなっています。

また、女性は「自分や家族の健康」「良好な人間関係（家族）」が重要だと評価する一方、男性は「経済的なゆとり」「自由な時間・趣味・充実した余暇」が重要だと評価しています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	経済的なゆとり	就業状況（仕事の有無・安定）	自分や家族の健康	実した余暇 自由な時間・趣味・充実	やりがいのある仕事	生涯学習活動	積極的な社会貢献・生涯学習活動	良好な人間関係（家族）	良好な人間関係（友人）	良好な人間関係（職場）	良好な人間関係（隣近所・地域）	良好な子育て環境	良好な教育環境	良好な居住環境	安心・安全に暮らせる環境	追い求める夢や理想があること	無回答
男性	630	68.7	13.2	70.8	25.7	8.9	0.8	23.0	9.5	3.2	16.0	2.9	0.6	11.3	32.4	5.1	0.8	
女性	752	62.0	11.3	75.9	19.9	6.4	0.9	32.0	14.8	2.7	13.4	4.5	1.1	9.0	35.4	2.5	1.1	

【年齢別】

年齢別でみると、30歳代を除くすべての世代で「自分や家族の健康」の割合が最も高くなっています。

また、年齢が高くなるにつれ「良好な人間関係（隣近所・地域）」の割合が高くなっている一方、年齢が低くなるにつれ「自由な時間・趣味・充実した余暇」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	有効回答数（件）	経済的なゆとり	就業状況（仕事の有無・安定）	自分や家族の健康	実した余暇 自由な時間・趣味・充実	やりがいのある仕事	生涯学習活動	積極的な社会貢献・生涯学習活動	良好な人間関係（家族）	良好な人間関係（友人）	良好な人間関係（職場）	良好な人間関係（隣近所・地域）	良好な子育て環境	良好な教育環境	良好な居住環境	安心・安全に暮らせる環境	追い求める夢や理想があること	無回答
20歳代	126	61.9	15.9	61.9	41.3	15.1	—	20.6	24.6	8.7	3.2	7.9	1.6	4.0	25.4	7.9	—	
30歳代	174	77.0	16.1	67.8	25.3	6.9	—	26.4	13.2	4.6	6.3	9.8	2.9	7.5	29.9	4.6	0.6	
40歳代	209	68.9	19.1	78.9	20.1	7.7	0.5	31.1	7.2	3.3	8.1	5.7	1.0	11.0	32.5	2.4	0.5	
50歳代	217	74.2	14.7	77.4	24.0	6.0	0.9	30.0	9.2	3.7	11.1	0.9	—	9.7	31.8	2.8	0.5	
60歳代	332	66.6	10.2	78.6	19.3	6.3	1.5	25.0	8.4	0.9	20.5	1.2	0.6	10.5	39.2	4.2	0.3	
70歳以上	337	49.3	4.5	70.0	17.5	6.2	1.2	32.3	16.6	0.9	24.3	2.4	0.3	12.5	36.5	2.4	3.0	

【職業別】

職業別でみると、すべての職業で「経済的なゆとり」「自分や家族の健康」の割合が高くなっています。

また、自由業（医師・弁護士・会計士・税理士・作家・画家など）、学生で「やりがいのある仕事」の割合が、他の職業に比べ高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	経済的なゆとり	就業状況 (仕事の有 無・安定)	自分や家族の健康	自由な時間・趣味・充 実した余暇	やりがいのある仕事	積極的な社会貢献・生 涯学習活動	良好な人間関係(家族)	良好な人間関係(友人)
会社経営者・役員	40	75.0	12.5	75.0	20.0	12.5	2.5	15.0	5.0
自営業(農林漁業)	267	66.7	7.5	77.9	18.4	11.6	—	32.6	11.6
自営業(商工業自営など)	66	69.7	18.2	78.8	24.2	12.1	—	30.3	4.5
自由業(医師・弁護士・会計 士・税理士・作家・画家など)	13	53.8	—	76.9	15.4	38.5	—	30.8	—
自由業の手伝い	19	47.4	10.5	78.9	15.8	15.8	—	31.6	21.1
会社員・公務員・団体職員	347	72.9	20.7	70.0	29.7	8.1	0.6	23.9	12.1
パート・アルバイト	206	68.0	16.5	74.8	18.4	5.3	1.0	30.1	12.1
専業家事従事者(主婦など)	111	64.9	4.5	79.3	19.8	2.7	0.9	32.4	14.4
学生	16	62.5	6.3	62.5	31.3	25.0	—	18.8	18.8
無職(年金生活含む)	286	52.1	4.5	69.9	22.4	0.7	1.7	27.3	16.1
その他	18	61.1	11.1	72.2	16.7	16.7	5.6	22.2	5.6

区分	良好な人間関係 (職場)	良好な人間関係 (隣近 所・地域)	良好な子育て環境	良好な教育環境	良好な居住環境	安心・安全に暮らせる 環境	追い求める夢や理想が あること	無回答
会社経営者・役員	5.0	12.5	5.0	—	20.0	30.0	5.0	—
自営業(農林漁業)	—	17.2	2.6	0.7	7.9	34.5	4.5	0.7
自営業(商工業自営など)	—	6.1	1.5	3.0	4.5	37.9	—	—
自由業(医師・弁護士・会計 士・税理士・作家・画家など)	—	23.1	15.4	—	23.1	15.4	7.7	—
自由業の手伝い	—	15.8	5.3	—	—	21.1	5.3	10.5
会社員・公務員・団体職員	6.6	7.5	2.9	0.9	8.1	29.4	3.7	0.6
パート・アルバイト	5.8	13.1	4.9	2.4	6.8	34.0	3.9	0.5
専業家事従事者(主婦など)	—	12.6	10.8	—	11.7	37.8	2.7	—
学生	6.3	6.3	12.5	6.3	18.8	25.0	—	—
無職(年金生活含む)	0.7	25.2	2.1	—	16.8	39.5	3.1	1.7
その他	5.6	—	—	—	—	44.4	11.1	5.6

【地区別】

地区別でみると、すべての地区で「経済的なゆとり」「自分や家族の健康」の割合が高く、7割を超えています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	経済的なゆとり	就業状況 (仕事の有 無・安定)	自分や家族の健康	自由な時間・趣味・充 実した余暇	やりがいのある仕事	積極的な社会貢献・生 涯学習活動	良好な人間関係(家族)	良好な人間関係(友人)
六連	39	71.8	15.4	76.9	7.7	7.7	2.6	28.2	7.7
神戸	128	74.2	12.5	71.9	28.1	4.7	1.6	14.8	10.9
大草	31	71.0	9.7	67.7	35.5	—	—	29.0	9.7
田原東部	105	62.9	11.4	70.5	26.7	3.8	1.0	34.3	13.3
田原南部	41	63.4	12.2	73.2	24.4	4.9	—	29.3	12.2
童浦	114	68.4	13.2	71.9	22.8	7.0	—	31.6	9.6
田原中部	127	70.1	18.1	73.2	23.6	4.7	—	26.0	11.8
衣笠	111	62.2	11.7	73.9	22.5	6.3	1.8	30.6	16.2
野田	73	56.2	13.7	82.2	19.2	2.7	1.4	24.7	16.4
高松	38	65.8	—	73.7	10.5	13.2	—	28.9	15.8
赤羽根	46	54.3	6.5	69.6	28.3	15.2	—	21.7	19.6
若戸	36	47.2	5.6	63.9	19.4	19.4	5.6	41.7	22.2
伊良湖岬(和地)	37	70.3	16.2	62.2	13.5	8.1	—	35.1	8.1
伊良湖岬(堀切)	50	56.0	8.0	78.0	20.0	16.0	—	30.0	6.0
伊良湖岬(伊良湖)	18	50.0	11.1	66.7	11.1	16.7	—	22.2	16.7
亀山	24	79.2	4.2	83.3	16.7	8.3	—	16.7	4.2
中山	98	64.3	12.2	77.6	20.4	6.1	—	29.6	13.3
福江	103	61.2	12.6	79.6	21.4	9.7	1.9	29.1	14.6
清田	67	59.7	11.9	77.6	19.4	13.4	1.5	28.4	13.4
泉	90	67.8	12.2	74.4	23.3	6.7	—	30.0	10.0

II 田原市市民意識調査

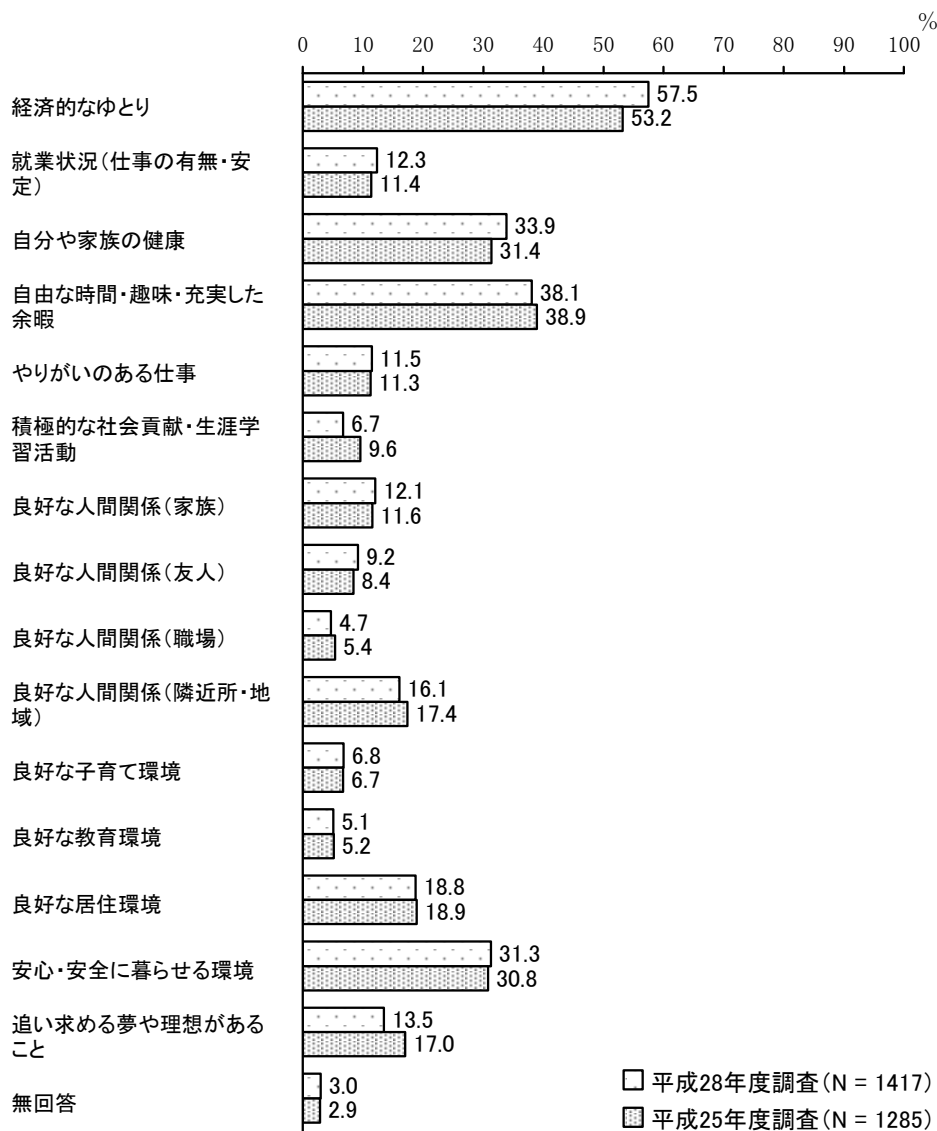
(つづき)

単位：%

区分	良好な人間関係 (職場)	良好な人間関係 (隣近 所・地域)	良好な子育て環境	良好な教育環境	良好な居住環境	安心・安全に暮らせる 環境	追い求める夢や理想が あること	無回答
六連	5.1	12.8	2.6	—	20.5	30.8	—	—
神戸	3.1	17.2	4.7	0.8	14.1	39.1	0.8	—
大草	9.7	9.7	3.2	3.2	9.7	29.0	3.2	—
田原東部	1.9	13.3	4.8	1.9	11.4	34.3	2.9	1.9
田原南部	2.4	19.5	9.8	—	12.2	22.0	—	4.9
童浦	2.6	14.9	5.3	0.9	4.4	32.5	5.3	1.8
田原中部	0.8	10.2	3.9	1.6	12.6	30.7	3.1	0.8
衣笠	7.2	18.9	1.8	1.8	7.2	31.5	0.9	0.9
野田	2.7	16.4	2.7	1.4	11.0	41.1	1.4	—
高松	2.6	13.2	2.6	—	2.6	50.0	2.6	2.6
赤羽根	2.2	19.6	4.3	—	6.5	30.4	8.7	—
若戸	—	16.7	2.8	2.8	19.4	25.0	8.3	—
伊良湖岬(和地)	2.7	13.5	2.7	—	5.4	40.5	8.1	2.7
伊良湖岬(堀切)	2.0	12.0	2.0	—	12.0	32.0	4.0	2.0
伊良湖岬(伊良湖)	—	33.3	—	—	16.7	50.0	—	—
亀山	—	16.7	8.3	—	8.3	45.8	8.3	—
中山	—	13.3	4.1	—	13.3	32.7	5.1	1.0
福江	1.0	12.6	5.8	1.0	4.9	34.0	2.9	1.0
清田	3.0	16.4	3.0	—	7.5	34.3	7.5	—
泉	5.6	12.2	1.1	1.1	8.9	33.3	4.4	—

問4 あなたの幸福感をさらに高めるために、今足りていない(さらに高めたい)と思う事項は何ですか。(あてはまるもの3つに○)

「経済的なゆとり」の割合が57.5%と最も高く、次いで「自由な時間・趣味・充実した余暇」の割合が38.1%、「自分や家族の健康」の割合が33.9%となっています。また、平成25年度調査と比べてみても傾向に差異が見られません。



【性別】

性別でみると、男女とも「経済的なゆとり」の割合が最も高くなっています。

また、「経済的なゆとり」や「良好な人間関係（家族）」の割合で5ポイント以上の差が見られます。

単位：％

区分	有効回答数（件）	経済的なゆとり	就業状況（仕事の有無・安定）	自分や家族の健康	自由な時間・趣味・充実した余暇	やりがいのある仕事	生涯学習活動	積極的な社会貢献・生涯学習活動	良好な人間関係（家族）	良好な人間関係（友人）	良好な人間関係（職場）	良好な人間関係（隣近所・地域）	良好な子育て環境	良好な教育環境	良好な居住環境	環境	安心・安全に暮らせる	追い求める夢や理想があること	無回答
男性	630	61.1	11.7	33.2	39.8	13.0	5.9	8.4	7.6	6.2	16.7	7.3	5.2	18.9	31.6	15.4	1.9		
女性	752	56.1	13.0	34.2	37.9	10.6	7.7	15.3	10.6	3.5	15.6	6.1	4.9	18.8	30.9	12.6	2.5		

【年齢別】

年齢別でみると、70歳以上を除くすべての世代で「経済的なゆとり」の割合が最も高くなっています。

また、年齢が高くなるにつれ「自分や家族の健康」「良好な人間関係（家族）」の割合が高くなっている一方、年齢が低くなるにつれ「やりがいのある仕事」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	有効回答数（件）	経済的なゆとり	就業状況（仕事の有無・安定）	自分や家族の健康	自由な時間・趣味・充実した余暇	やりがいのある仕事	生涯学習活動	積極的な社会貢献・生涯学習活動	良好な人間関係（家族）	良好な人間関係（友人）	良好な人間関係（職場）	良好な人間関係（隣近所・地域）	良好な子育て環境	良好な教育環境	良好な居住環境	環境	安心・安全に暮らせる	追い求める夢や理想があること	無回答
20歳代	126	59.5	15.9	11.1	49.2	22.2	7.1	1.6	11.9	11.9	11.1	7.9	6.3	20.6	21.4	25.4	3.2		
30歳代	174	59.8	19.0	15.5	47.1	13.8	3.4	7.5	9.2	6.3	15.5	20.1	10.9	19.5	25.3	12.1	1.7		
40歳代	209	64.1	18.7	21.5	55.0	13.9	8.1	9.6	4.3	7.7	7.7	11.0	11.0	20.6	23.4	14.4	0.5		
50歳代	217	62.7	14.3	30.4	42.9	12.9	8.3	12.0	6.9	5.5	15.7	3.2	3.7	22.1	29.5	16.6	1.8		
60歳代	332	57.8	11.7	43.7	34.3	8.1	7.2	13.6	9.3	2.4	18.4	3.3	1.5	17.5	35.5	13.9	1.5		
70歳以上	337	49.0	3.6	53.1	21.1	7.7	5.9	19.3	12.8	0.9	21.1	3.0	2.1	16.0	41.5	7.4	4.5		

【職業別】

職業別でみると、すべての職業で「経済的なゆとり」の割合が最も高くなっています。

また、無職（年金生活含む）で「自分や家族の健康」の割合が、自由業（医師・弁護士・会計士・税理士・作家・画家など）で「積極的な社会貢献・生涯学習活動」の割合が、他の職業に比べ高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	経済的なゆとり	就業状況 (仕事の有 無・安定)	自分や家族の健康	自由な時間・趣味・充 実した余暇	やりがいのある仕事	積極的な社会貢献・生 涯学習活動	良好な人間関係 (家族)	良好な人間関係 (友人)
会社経営者・役員	40	47.5	15.0	30.0	35.0	17.5	5.0	12.5	7.5
自営業(農林漁業)	267	55.4	9.0	39.0	43.4	10.5	4.9	18.0	8.2
自営業(商工業自営など)	66	66.7	22.7	39.4	45.5	16.7	6.1	9.1	9.1
自由業(医師・弁護士・会計 士・税理士・作家・画家など)	13	46.2	15.4	30.8	23.1	30.8	38.5	—	—
自由業の手伝い	19	42.1	10.5	31.6	21.1	26.3	10.5	21.1	5.3
会社員・公務員・団体職員	347	59.9	11.5	22.2	49.9	15.0	6.1	6.3	8.9
パート・アルバイト	206	68.9	22.3	25.7	40.8	12.1	8.7	8.7	4.9
専業家事従事者(主婦など)	111	50.5	16.2	37.8	32.4	10.8	9.9	14.4	13.5
学生	16	68.8	18.8	12.5	43.8	31.3	—	6.3	12.5
無職(年金生活含む)	286	55.6	5.2	47.9	20.6	4.2	5.9	16.8	12.9
その他	18	55.6	11.1	44.4	50.0	11.1	11.1	5.6	5.6

区分	良好な人間関係 (職場)	良好な人間関係 (隣近 所・地域)	良好な子育て環境	良好な教育環境	良好な居住環境	安心・安全に暮らせる 環境	追い求める夢や理想が あること	無回答
会社経営者・役員	2.5	17.5	7.5	5.0	15.0	30.0	17.5	5.0
自営業(農林漁業)	1.1	16.5	6.4	5.6	18.0	36.7	12.7	1.1
自営業(商工業自営など)	1.5	6.1	6.1	1.5	15.2	25.8	7.6	1.5
自由業(医師・弁護士・会計 士・税理士・作家・画家など)	7.7	7.7	15.4	—	30.8	30.8	15.4	—
自由業の手伝い	5.3	10.5	5.3	5.3	15.8	26.3	21.1	5.3
会社員・公務員・団体職員	11.2	11.5	8.9	6.3	22.2	25.4	19.9	2.3
パート・アルバイト	7.3	13.6	6.8	7.3	18.0	27.7	11.7	1.0
専業家事従事者(主婦など)	—	23.4	12.6	6.3	17.1	28.8	9.9	1.8
学生	12.5	6.3	6.3	18.8	12.5	25.0	25.0	—
無職(年金生活含む)	1.0	24.5	2.8	1.7	19.6	41.6	10.1	2.4
その他	—	11.1	—	—	11.1	22.2	16.7	11.1

【地区別】

地区別でみると、大草、伊良湖岬（伊良湖）、亀山を除くすべての地区で「経済的なゆとり」の割合が最も高くなっています。

また、大草では「自由な時間・趣味・充実した余暇」の割合が、他の地区に比べ最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	経済的なゆとり	就業状況 (仕事の有 無・安定)	自分や家族の健康	自由な時間・趣味・充 実した余暇	やりがいのある仕事	積極的な社会貢献・生 涯学習活動	良好な人間関係(家族)	良好な人間関係(友人)
六連	39	61.5	15.4	38.5	35.9	15.4	7.7	15.4	5.1
神戸	128	64.1	11.7	36.7	37.5	12.5	7.8	7.8	7.8
大草	31	48.4	9.7	22.6	51.6	9.7	12.9	19.4	9.7
田原東部	105	51.4	17.1	37.1	30.5	16.2	8.6	11.4	7.6
田原南部	41	65.9	4.9	34.1	46.3	7.3	4.9	14.6	17.1
童浦	114	53.5	14.0	27.2	47.4	12.3	3.5	9.6	8.8
田原中部	127	63.8	18.1	34.6	26.8	9.4	5.5	15.7	11.0
衣笠	111	65.8	10.8	35.1	31.5	14.4	9.9	5.4	10.8
野田	73	58.9	12.3	31.5	42.5	11.0	13.7	15.1	8.2
高松	38	52.6	10.5	34.2	44.7	13.2	5.3	10.5	15.8
赤羽根	46	50.0	8.7	30.4	37.0	13.0	2.2	19.6	10.9
若戸	36	44.4	5.6	33.3	30.6	11.1	8.3	8.3	11.1
伊良湖岬(和地)	37	70.3	21.6	37.8	32.4	5.4	5.4	13.5	5.4
伊良湖岬(堀切)	50	64.0	10.0	32.0	34.0	14.0	2.0	10.0	8.0
伊良湖岬(伊良湖)	18	44.4	—	33.3	50.0	16.7	—	11.1	11.1
亀山	24	29.2	12.5	41.7	41.7	4.2	8.3	16.7	—
中山	98	57.1	10.2	31.6	41.8	9.2	6.1	16.3	12.2
福江	103	49.5	14.6	35.9	45.6	9.7	6.8	9.7	6.8
清田	67	64.2	11.9	26.9	40.3	14.9	6.0	11.9	4.5
泉	90	63.3	10.0	42.2	42.2	8.9	5.6	15.6	12.2

(つづき)

単位：％

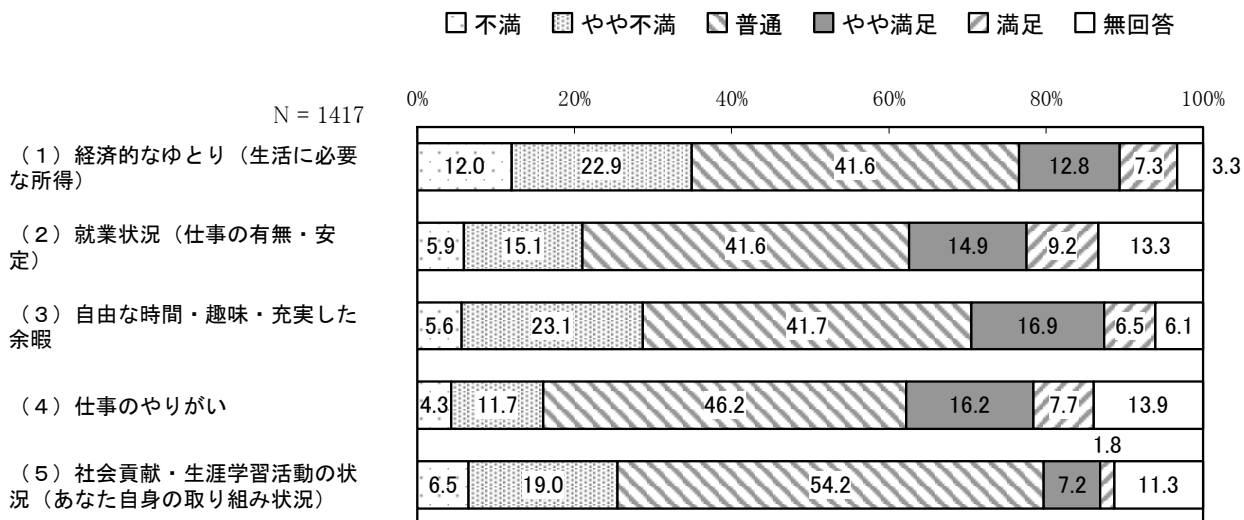
区分	良好な人間関係 (職場)	良好な人間関係 (隣近 所・地域)	良好な子育て環境	良好な教育環境	良好な居住環境	安心・安全に暮らせる 環境	追い求める夢や理想が あること	無回答
六連	12.8	17.9	—	—	15.4	30.8	5.1	2.6
神戸	3.1	17.2	3.1	3.9	20.3	32.0	16.4	2.3
大草	3.2	32.3	3.2	3.2	25.8	22.6	6.5	—
田原東部	4.8	15.2	7.6	4.8	17.1	24.8	19.0	4.8
田原南部	2.4	22.0	12.2	2.4	22.0	14.6	7.3	2.4
童浦	7.0	17.5	10.5	2.6	16.7	33.3	12.3	1.8
田原中部	3.9	17.3	6.3	5.5	15.7	34.6	13.4	2.4
衣笠	9.9	17.1	4.5	5.4	18.9	29.7	10.8	2.7
野田	2.7	9.6	5.5	5.5	23.3	27.4	17.8	1.4
高松	—	18.4	10.5	7.9	18.4	21.1	15.8	5.3
赤羽根	4.3	19.6	10.9	2.2	19.6	21.7	13.0	—
若戸	2.8	16.7	8.3	13.9	13.9	36.1	13.9	5.6
伊良湖岬(和地)	2.7	10.8	5.4	13.5	10.8	32.4	13.5	2.7
伊良湖岬(堀切)	4.0	18.0	2.0	4.0	18.0	46.0	14.0	2.0
伊良湖岬(伊良湖)	5.6	11.1	5.6	—	22.2	27.8	22.2	—
亀山	4.2	25.0	20.8	4.2	25.0	37.5	20.8	—
中山	4.1	11.2	7.1	8.2	23.5	38.8	8.2	2.0
福江	3.9	17.5	8.7	6.8	18.4	35.9	15.5	1.0
清田	6.0	16.4	6.0	9.0	17.9	32.8	17.9	1.5
泉	2.2	5.6	7.8	2.2	18.9	33.3	10.0	2.2

問5 あなたの状況について伺います。
(下表の欄に、項目ごとに評価し該当する番号に○をつけてください。)

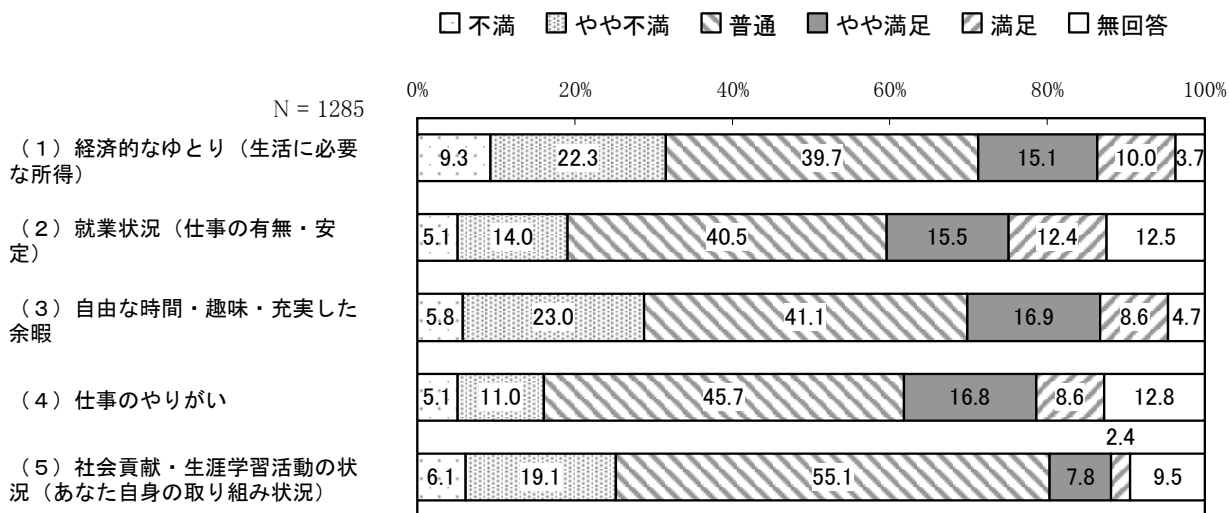
「不満」と「やや不満」をあわせた“不満を感じる人”の割合が『(1) 経済的なゆとり (生活に必要な所得)』で最も高く、平成 25 年度調査と比べ 3.3 ポイント増加しています。

また、「やや満足」と「満足」をあわせた“満足と感じる人”の割合が『(2) 就業状況 (仕事の有無・安定)』で最も高くなっていますが、平成 25 年度調査と比べ 3.8 ポイント減少しています。

【平成 28 年度調査】



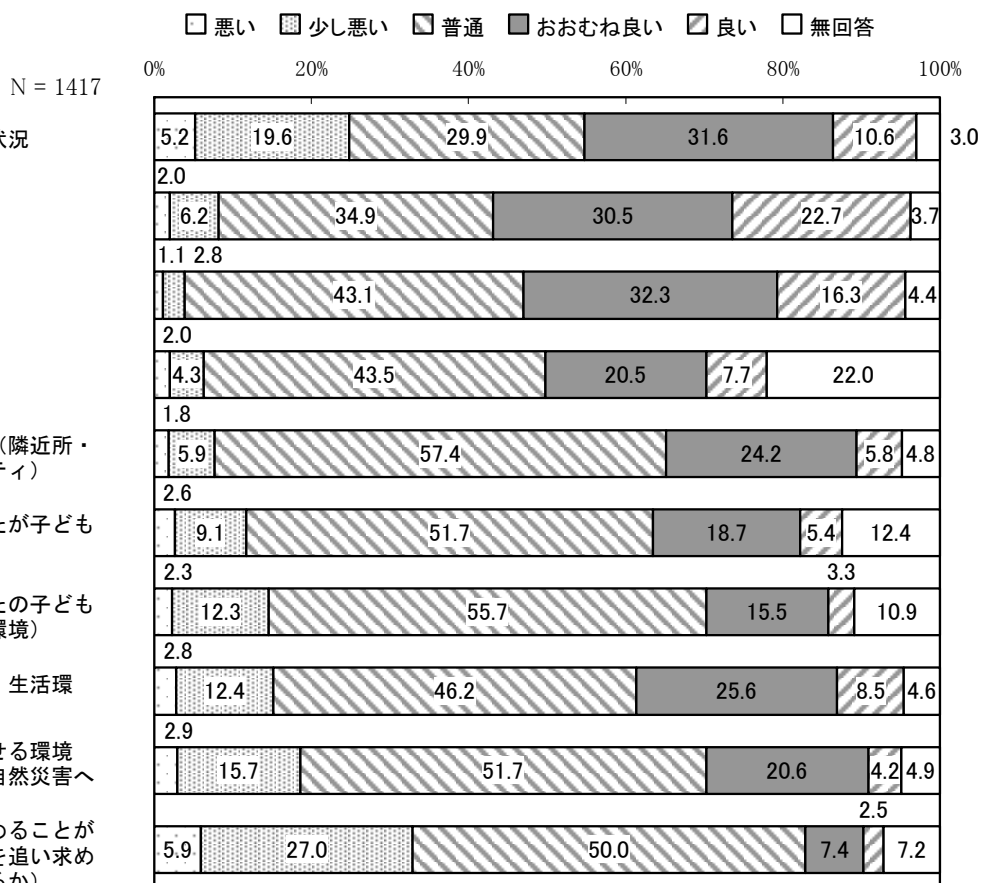
【平成 25 年度調査】



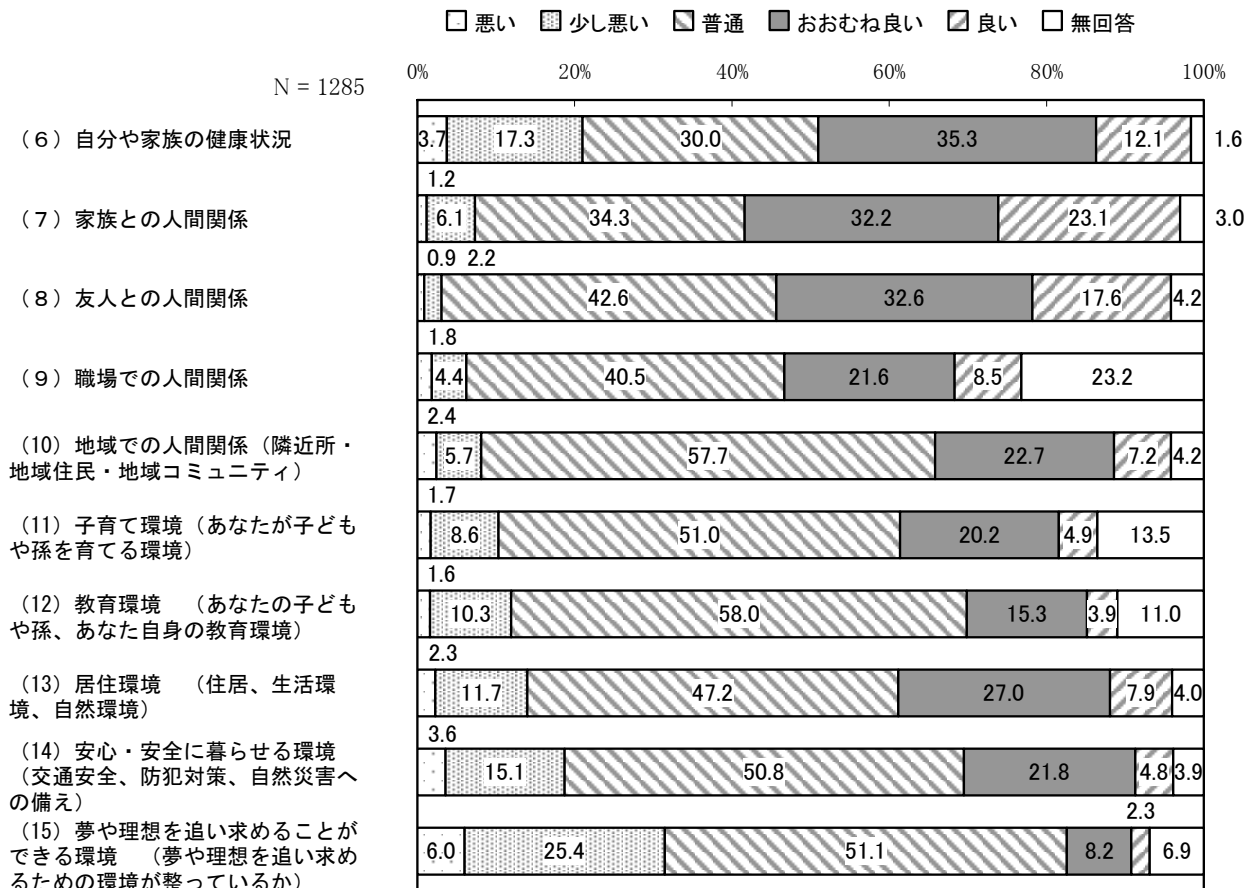
「悪い」と「少し悪い」をあわせた“悪いと感じる人”の割合が『(15) 夢や理想を追い求めることができる環境（夢や理想を追い求めるための環境が整っているか）』で最も高く、平成 25 年度調査と比べ 1.5 ポイント増加しています。

また、『(6) 自分や家族の健康状況』『(7) 家族との人間関係』『(8) 友人との人間関係』で「おおむね良い」と「良い」をあわせた“良いと感じる人”の割合が高くなっていますが、いずれも平成 25 年度調査と比べ 1.6～5.2 ポイント減少しています。

【平成 28 年度調査】



【平成 25 年度調査】

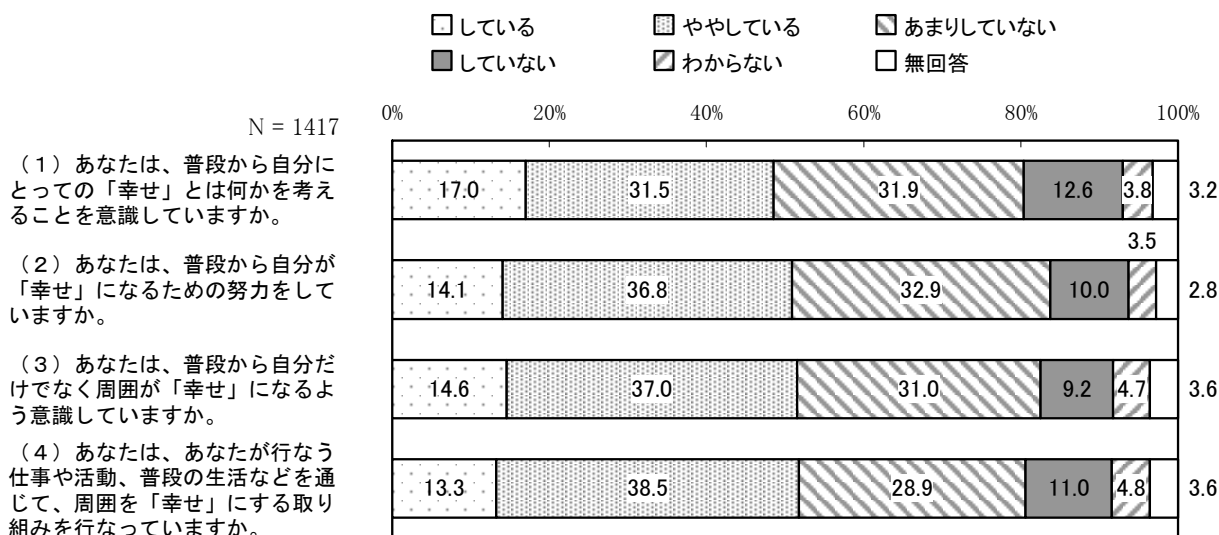


問6 あなたは、あなた自身の「幸せ」や、あなたの周囲の人などの「幸せ」を高めることについて、どの程度意識し、どの程度取り組みを行なっていますか。
 (下表の欄に、項目ごとに評価し該当する番号に○をつけてください。)

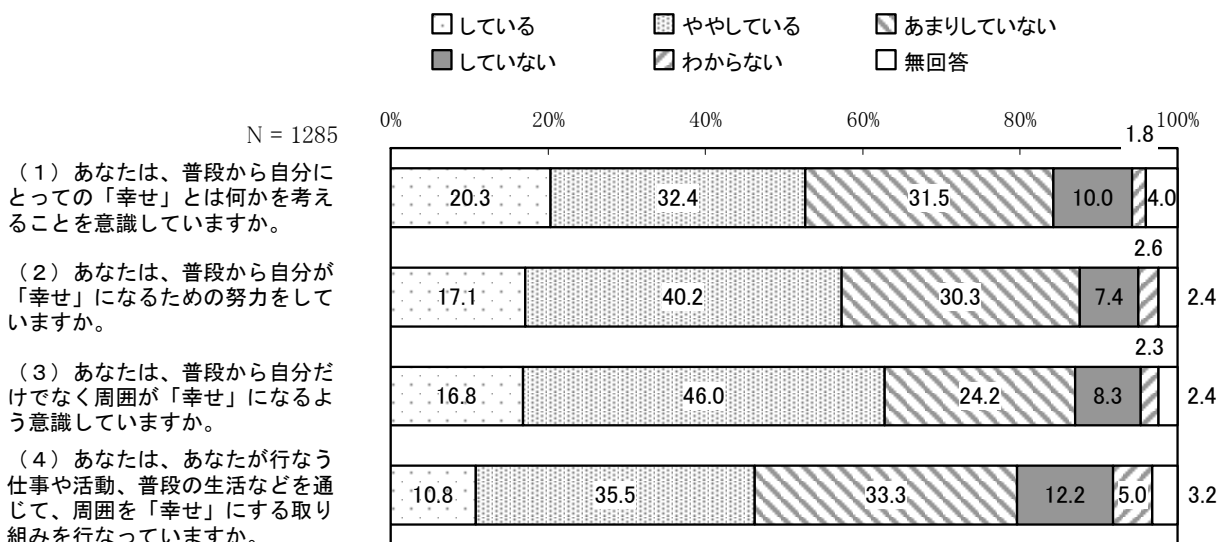
「している」と「ややしている」をあわせた“している人”の割合が『(4) あなたは、あなたが行なう仕事や活動、普段の生活などを通じて、周囲を「幸せ」にする取り組みを行なっていますか。』が最も高く、平成25年度調査と比べ5.5ポイント増加しています。

また、「あまりしていない」と「していない」をあわせた“していない人”の割合が『(1) あなたは、普段から自分にとっての「幸せ」とは何かを考えることを意識していますか。』が最も高く、平成25年度調査に比べ3.0ポイント増加しています。

【平成28年度調査】



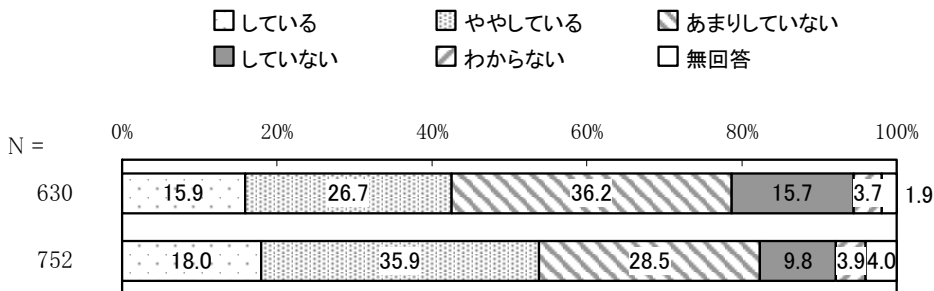
【平成25年度調査】



(1) あなたは、普段から自分にとっての「幸せ」とは何かを考えることを意識していますか。

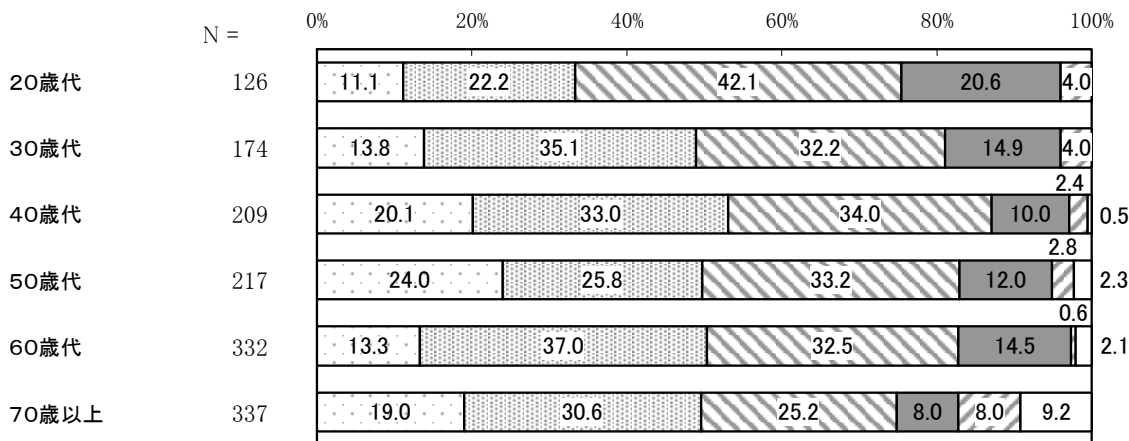
【性別】

性別でみると、女性で“している人”の割合が高く、5割を超えています。



【年齢別】

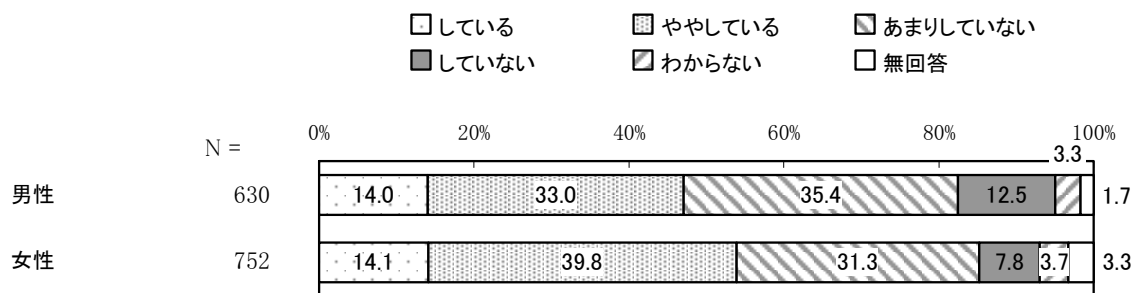
年齢別でみると、20歳代で“していない人”の割合が高く、6割を超えています。



(2) あなたは、普段から自分が「幸せ」になるための努力をしていますか。

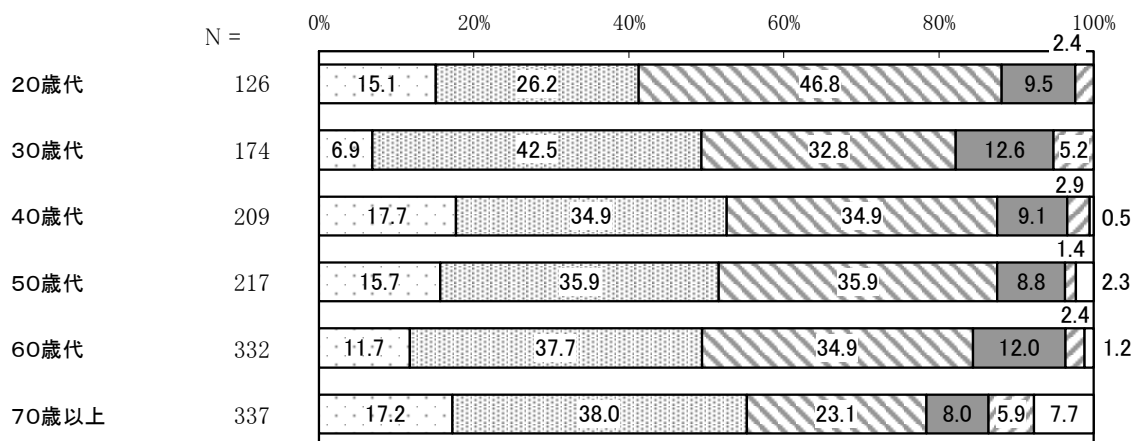
【性別】

性別で見ると、女性で“している人”の割合が高く、5割を超えています。



【年齢別】

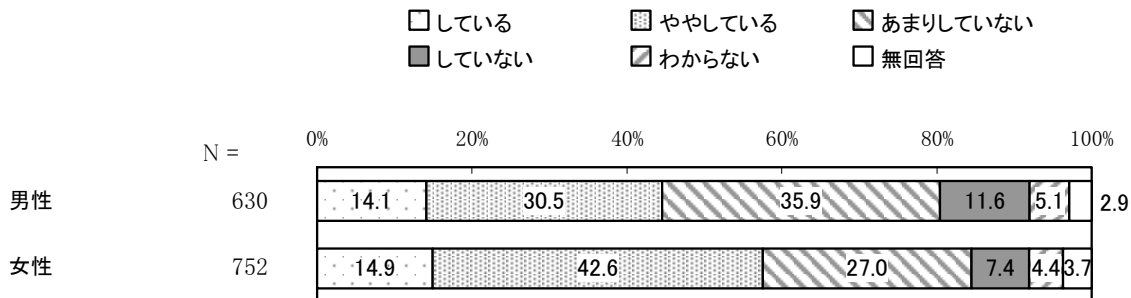
年齢別で見ると、20歳代で“していない人”の割合が高く、5割を超えています。



(3) あなたは、普段から自分だけでなく周囲が「幸せ」になるよう意識していますか。

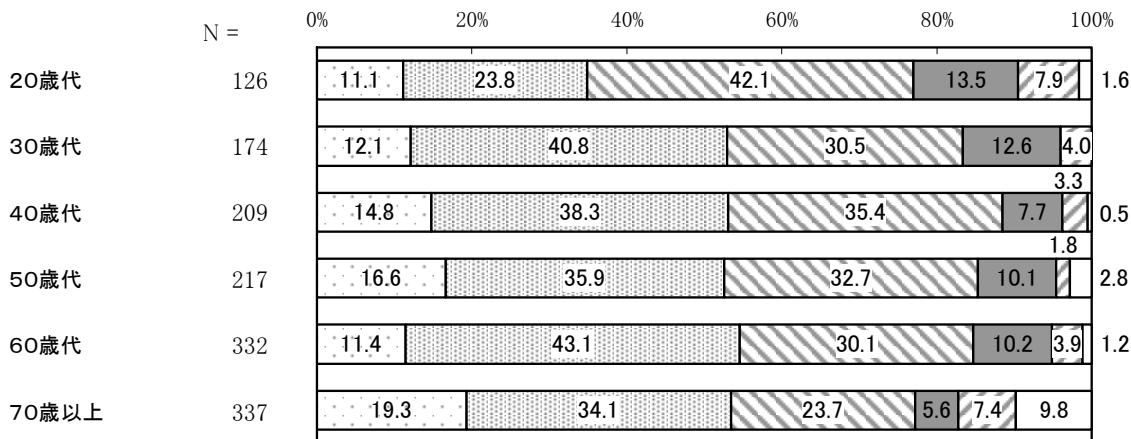
【性別】

性別でみると、女性で“している人”の割合が高く、5割を超えています。



【年齢別】

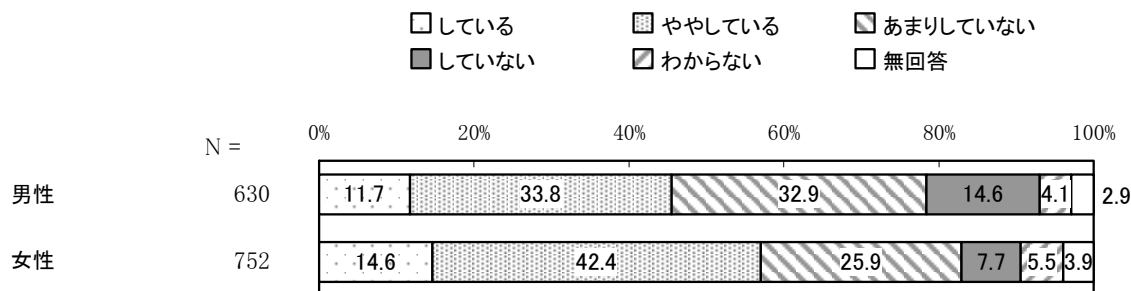
年齢別でみると、20歳代で“していない人”の割合が高く、5割を超えています。



(4) あなたは、あなたが行なう仕事や活動、普段の生活などを通じて、周囲を「幸せ」にする取り組みを行なっていますか。

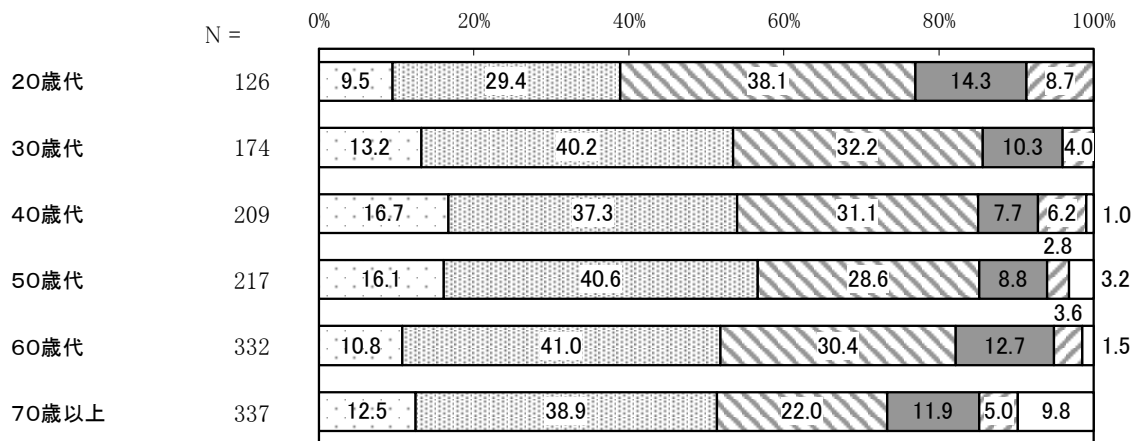
【性別】

性別で見ると、女性で“している人”の割合が高く、5割を超えています。



【年齢別】

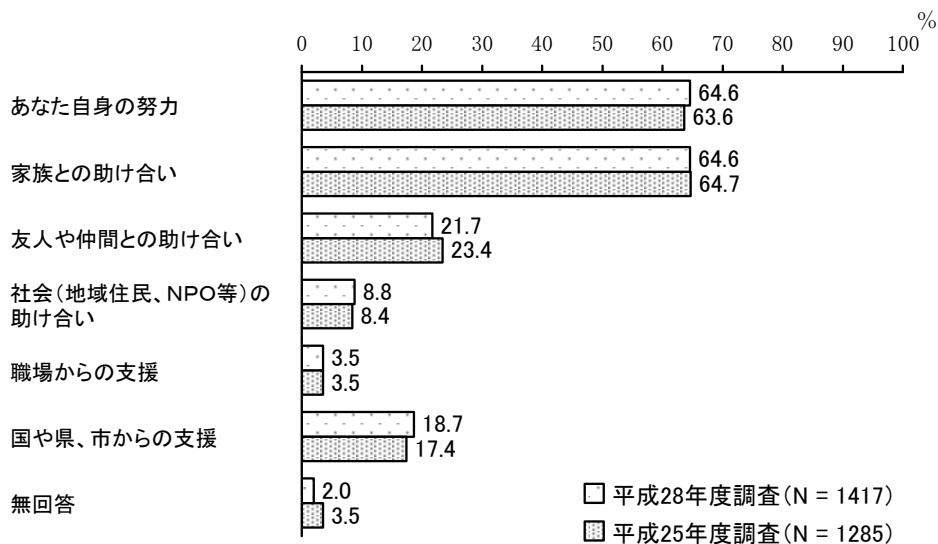
年齢別で見ると、20歳代で“していない人”の割合が高く、5割を超えています。



**問7 あなたの幸福感を高めるために有効な手立ては何ですか。
(あなたの考えに最も近いもの2つまでに○)**

「あなた自身の努力」、「家族との助け合い」の割合が64.6%と最も高く、次いで「友人や仲間との助け合い」の割合が21.7%となっています。

また、平成25年度調査と比べてみても傾向に差異が見られません。



【性別】

性別でみると、男性で「あなた自身の努力」の割合が最も高く、女性で「家族との助け合い」の割合が最も高くなっています。

また、「家族との助け合い」「国や県、市からの支援」の割合で5ポイント以上の差が見られます。

単位：%

区分	有効回答数(件)	あなた自身の努力	家族との助け合い	友人や仲間との助け合い	社会(地域住民、NPO等)の助け合い	職場からの支援	国や県、市からの支援	無回答
男性	630	66.0	58.6	20.5	10.2	4.8	21.6	1.7
女性	752	64.0	69.7	23.3	7.8	2.5	16.5	1.9

【年齢別】

年齢別で見ると、60歳代、70歳代以上を除くすべての世代で「あなた自身の努力」の割合が最も高くなっています。

また、20歳代で「友人や仲間との助け合い」の割合が高く、3割を超えています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	あなた自身の 努力	家族との 助け合い	友人や仲間との 助け合い	社会(地域住民、 NPO等) の助け合い	職場からの 支援	国や県、 市からの 支援	無回答
20歳代	126	66.7	42.1	38.9	6.3	7.1	22.2	0.8
30歳代	174	61.5	58.6	23.0	5.2	8.6	28.7	—
40歳代	209	68.4	62.2	14.4	10.5	5.7	22.5	1.9
50歳代	217	69.1	65.9	13.4	9.2	5.1	18.9	2.8
60歳代	332	66.6	71.4	20.2	11.1	0.6	13.0	1.5
70歳以上	337	58.8	70.3	26.1	8.3	—	15.4	3.3

【職業別】

職業別で見ると、どの職業も「あなた自身の努力」「家族との助け合い」の割合が高くなっています。また、学生で「友人や仲間との助け合い」の割合が、自由業（医師・弁護士・会計士・税理士・作家・画家など）で「社会（地域住民、NPO等）の助け合い」の割合が、他の職業に比べ高くなっています。

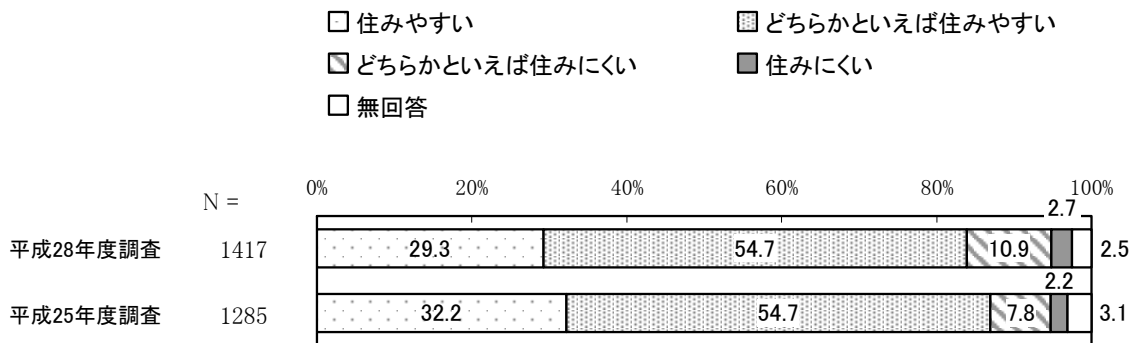
単位：％

区分	有効回答数 (件)	あなた自身の 努力	家族との 助け合い	友人や仲間との 助け合い	社会(地域住民、 NPO等) の助け合い	職場からの 支援	国や県、 市からの 支援	無回答
会社経営者・役員	40	85.0	75.0	17.5	10.0	5.0	—	—
自営業(農林漁業)	267	62.5	73.0	23.6	6.4	1.1	17.2	1.9
自営業(商工業自営など)	66	66.7	59.1	15.2	7.6	—	21.2	3.0
自由業(医師・弁護士・会計士・ 税理士・作家・画家など)	13	53.8	53.8	23.1	38.5	—	15.4	—
自由業の手伝い	19	68.4	73.7	31.6	—	5.3	10.5	5.3
会社員・公務員・団体職員	347	66.6	50.7	21.0	8.9	9.2	23.3	2.0
パート・アルバイト	206	64.6	62.6	23.8	8.7	5.3	18.4	1.0
専業家事従事者(主婦など)	111	70.3	81.1	16.2	7.2	—	16.2	—
学生	16	75.0	50.0	43.8	—	—	18.8	—
無職(年金生活含む)	286	60.1	69.2	22.7	11.5	—	18.5	2.8
その他	18	72.2	55.6	11.1	5.6	5.6	16.7	5.6

3 田原市の住みよさについて

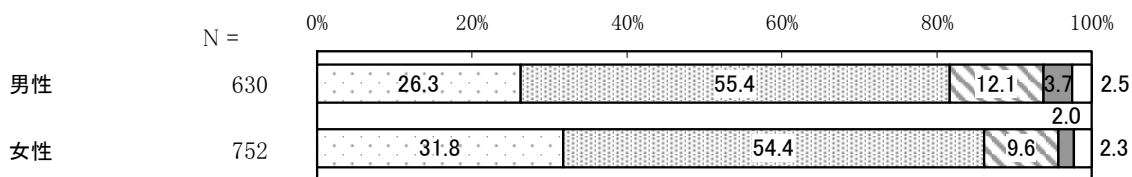
問8 田原市は住みよいまちだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」をあわせた“住みやすい”の割合が84.0%となっており、平成25年度調査に比べ2.9ポイント減少しています。



【性別】

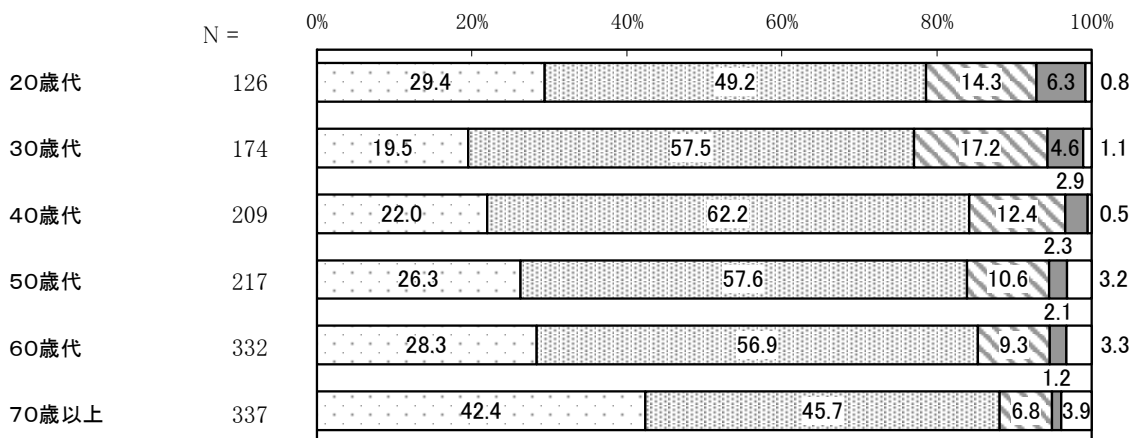
性別でみると、男性に比べ女性で“住みやすい”の割合が5.5ポイント高くなっています。



【年齢別】

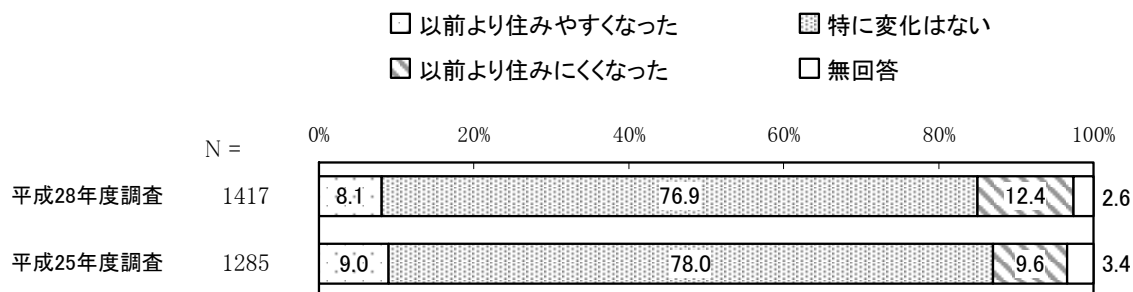
年齢別でみると、20歳代、30歳代で「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」をあわせた“住みにくい”の割合が高くなっています。

また、年齢が高くなるにつれ“住みやすい”の割合が高くなる傾向が見られます。



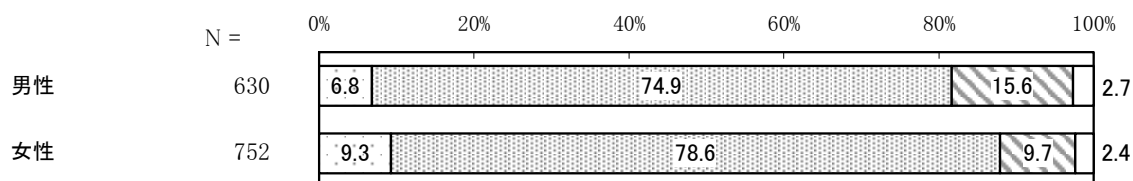
問9 ここ数年の間に、住みごちに変化がありましたか。(あてはまるもの1つに○)

「以前より住みにくくなった」の割合が12.4%となっており、平成25年度調査と比べ2.8ポイント増加しています。



【性別】

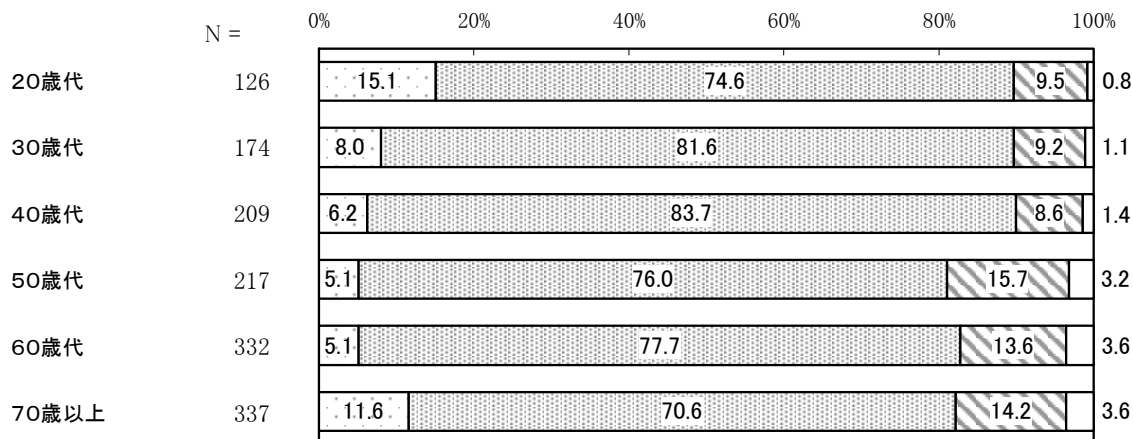
性別でみると、女性に比べ男性で「以前より住みにくくなった」の割合が5.9ポイント高くなっています。



【年齢別】

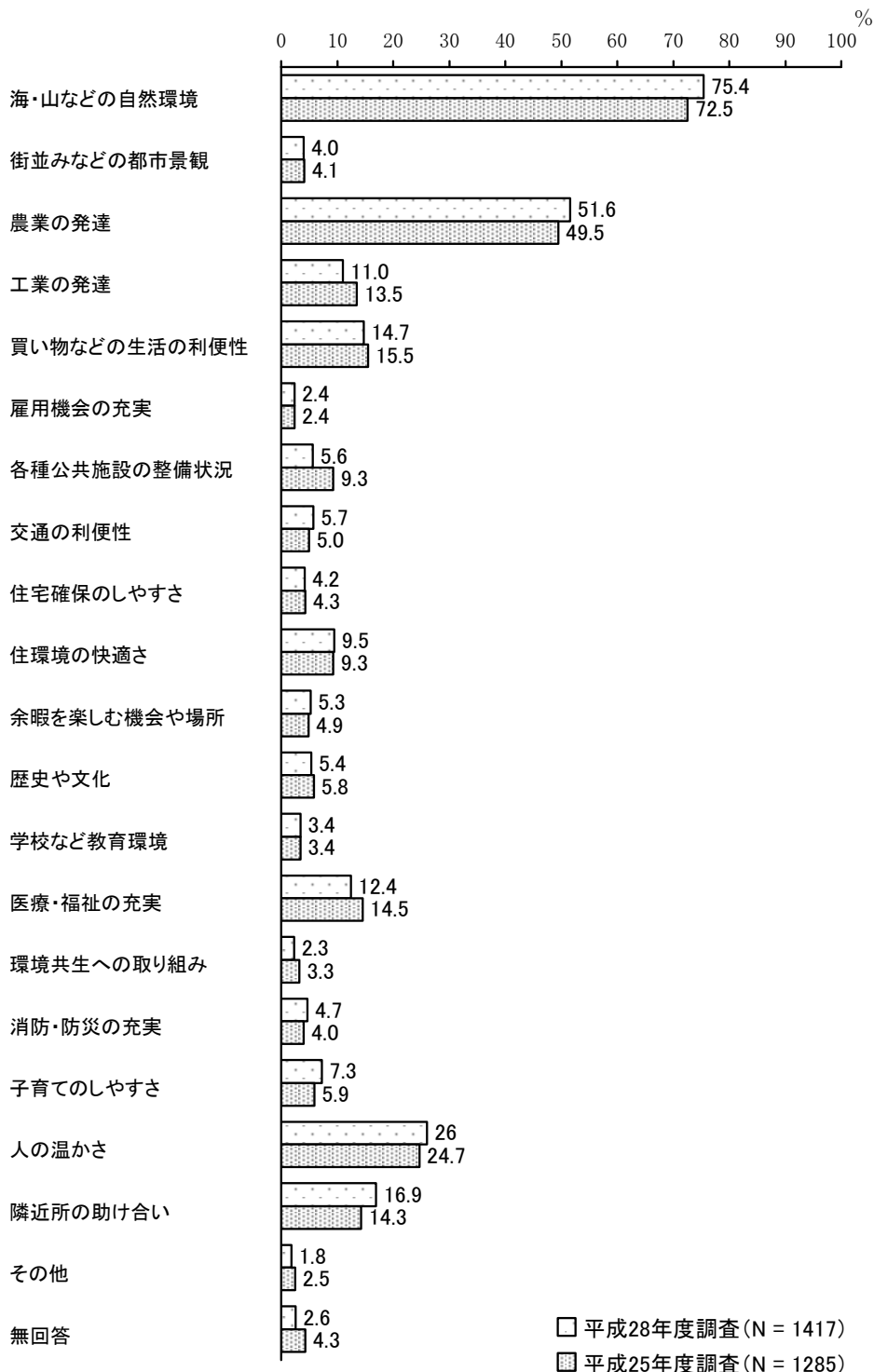
年齢別でみると、20歳代、70歳以上で「以前より住みやすくなった」の割合が1割を超えています。

また、50歳代以上で「以前より住みにくくなった」の割合が高く、1割を超えています。



問10 田原市が優れていると感じることは何ですか。(あてはまるもの3つに○)

平成25年度調査と比べると、「海・山などの自然環境」「農業の発達」「人の温かさ」の割合が1.3~2.9ポイント増加している一方、「医療・福祉の充実」の割合が2.1ポイント減少しています。



【性別】

性別で見ると、男女とも「海・山などの自然環境」の割合が最も高く、7割を超えています。

また、その他の項目での差はほとんどありませんが、「消防・防災の充実」「人の温かさ」の割合で若干男女の差が見られます。

単位：％

区分	有効回答数(件)	海・山などの自然環境	街並みなどの都市景観	農業の発達	工業の発達	買い物などの生活の利便性	雇用機会の充実	各種公共施設の整備状況	交通の利便性	住宅確保のしやすさ	住環境の快適さ
男性	630	76.5	3.7	51.7	12.2	13.0	3.7	5.9	5.4	3.5	11.0
女性	752	75.0	4.4	51.6	10.2	15.7	1.5	5.5	5.9	4.7	8.4

区分	余暇を楽しむ機会や場所	歴史や文化	学校など教育環境	医療・福祉の充実	環境共生への取り組み	消防・防災の充実	子育てのしやすさ	人の温かさ	隣近所の助け合い	その他	無回答
男性	5.4	6.5	3.8	10.3	3.0	6.8	6.7	23.3	17.1	2.7	2.2
女性	5.2	4.7	3.1	13.7	1.9	2.9	8.0	28.2	16.6	0.9	2.9

【年齢別】

年齢別でみると、すべての世代で「海・山などの自然環境」の割合が最も高くなっているほか、「農業の発達」の割合も高くなっています。

また、年齢が高くなるにつれ「買い物などの生活の利便性」「医療・福祉の充実」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：%

区分	有効回答数(件)	海・山などの自然環境	街並みなどの都市景観	農業の発達	工業の発達	買い物などの生活の利便性	雇用機会の充実	各種公共施設の整備状況	交通の利便性	住宅確保のしやすさ	住環境の快適さ
20歳代	126	86.5	8.7	60.3	16.7	6.3	5.6	4.8	1.6	5.6	7.1
30歳代	174	79.3	5.2	55.7	15.5	3.4	3.4	3.4	4.0	6.3	6.3
40歳代	209	80.9	2.4	50.7	16.7	8.6	4.8	6.7	3.3	7.7	13.4
50歳代	217	77.4	3.2	58.1	12.0	12.0	2.8	6.5	3.2	1.4	12.0
60歳代	332	75.6	2.4	51.8	9.6	16.9	1.2	4.2	6.9	4.2	8.7
70歳以上	337	65.0	4.7	41.8	4.2	26.4	0.3	7.7	10.1	2.1	8.3

区分	余暇を楽しむ機会や場所	歴史や文化	学校など教育環境	医療・福祉の充実	環境共生への取り組み	消防・防災の充実	子育てのしやすさ	人の温かさ	隣近所の助け合い	その他	無回答
20歳代	5.6	7.1	2.4	6.3	3.2	0.8	9.5	31.7	10.3	1.6	1.6
30歳代	3.4	5.2	4.6	9.2	1.1	2.9	12.1	27.0	17.8	2.3	2.3
40歳代	3.3	4.3	3.8	7.7	2.4	1.0	11.0	25.8	14.4	3.3	1.0
50歳代	1.8	6.0	4.6	9.7	1.8	5.1	9.7	23.5	18.0	0.9	2.8
60歳代	4.2	6.0	3.0	10.5	3.3	4.2	5.4	27.7	19.6	2.1	2.7
70歳以上	10.7	4.5	2.1	22.6	1.8	9.8	2.1	24.0	17.5	1.2	3.9

【地区別】

地区別でみると、すべての地区で「海・山などの自然環境」の割合が最も高くなっているほか、「農業の発達」の割合も高くなっています。

また、亀山で「人の温かさ」の割合が高く、4割を超えています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	海・山などの自然環境	街並みなどの都市景観	農業の発達	工業の発達	買い物などの生活の利便性	雇用機会の充実	各種公共施設の整備状況	交通の利便性	住宅確保のしやすさ	住環境の快適さ	余暇を楽しむ機会や場所
六連	39	64.1	5.1	61.5	20.5	7.7	—	12.8	7.7	5.1	5.1	5.1
神戸	128	74.2	6.3	46.1	14.1	28.9	2.3	7.8	7.8	2.3	8.6	4.7
大草	31	64.5	—	48.4	16.1	3.2	—	6.5	—	6.5	12.9	9.7
田原東部	105	77.1	6.7	45.7	11.4	16.2	2.9	8.6	8.6	5.7	10.5	4.8
田原南部	41	75.6	—	56.1	17.1	9.8	—	4.9	7.3	7.3	7.3	2.4
童浦	114	77.2	3.5	52.6	24.6	9.6	6.1	2.6	6.1	7.9	7.0	4.4
田原中部	127	78.0	7.1	39.4	11.8	26.8	1.6	7.1	7.9	3.9	15.0	3.1
衣笠	111	78.4	7.2	38.7	10.8	25.2	2.7	10.8	8.1	4.5	9.0	7.2
野田	73	71.2	6.8	52.1	13.7	15.1	1.4	2.7	4.1	2.7	8.2	9.6
高松	38	81.6	2.6	36.8	2.6	13.2	—	2.6	7.9	—	15.8	—
赤羽根	46	67.4	2.2	41.3	4.3	6.5	4.3	10.9	2.2	4.3	6.5	4.3
若戸	36	83.3	—	47.2	2.8	5.6	—	2.8	2.8	5.6	8.3	2.8
伊良湖岬(和地)	37	73.0	—	56.8	5.4	5.4	2.7	—	2.7	8.1	10.8	2.7
伊良湖岬(堀切)	50	80.0	—	68.0	8.0	4.0	—	4.0	—	2.0	6.0	10.0
伊良湖岬(伊良湖)	18	83.3	—	61.1	—	5.6	5.6	—	—	5.6	16.7	5.6
亀山	24	70.8	4.2	66.7	—	—	4.2	4.2	—	8.3	4.2	8.3
中山	98	69.4	3.1	66.3	6.1	13.3	2.0	3.1	5.1	1.0	5.1	4.1
福江	103	74.8	1.9	62.1	2.9	10.7	1.9	6.8	3.9	4.9	12.6	7.8
清田	67	77.6	4.5	68.7	10.4	11.9	1.5	1.5	4.5	1.5	9.0	7.5
泉	90	81.1	1.1	52.2	7.8	8.9	1.1	4.4	4.4	2.2	11.1	1.1

II 田原市市民意識調査

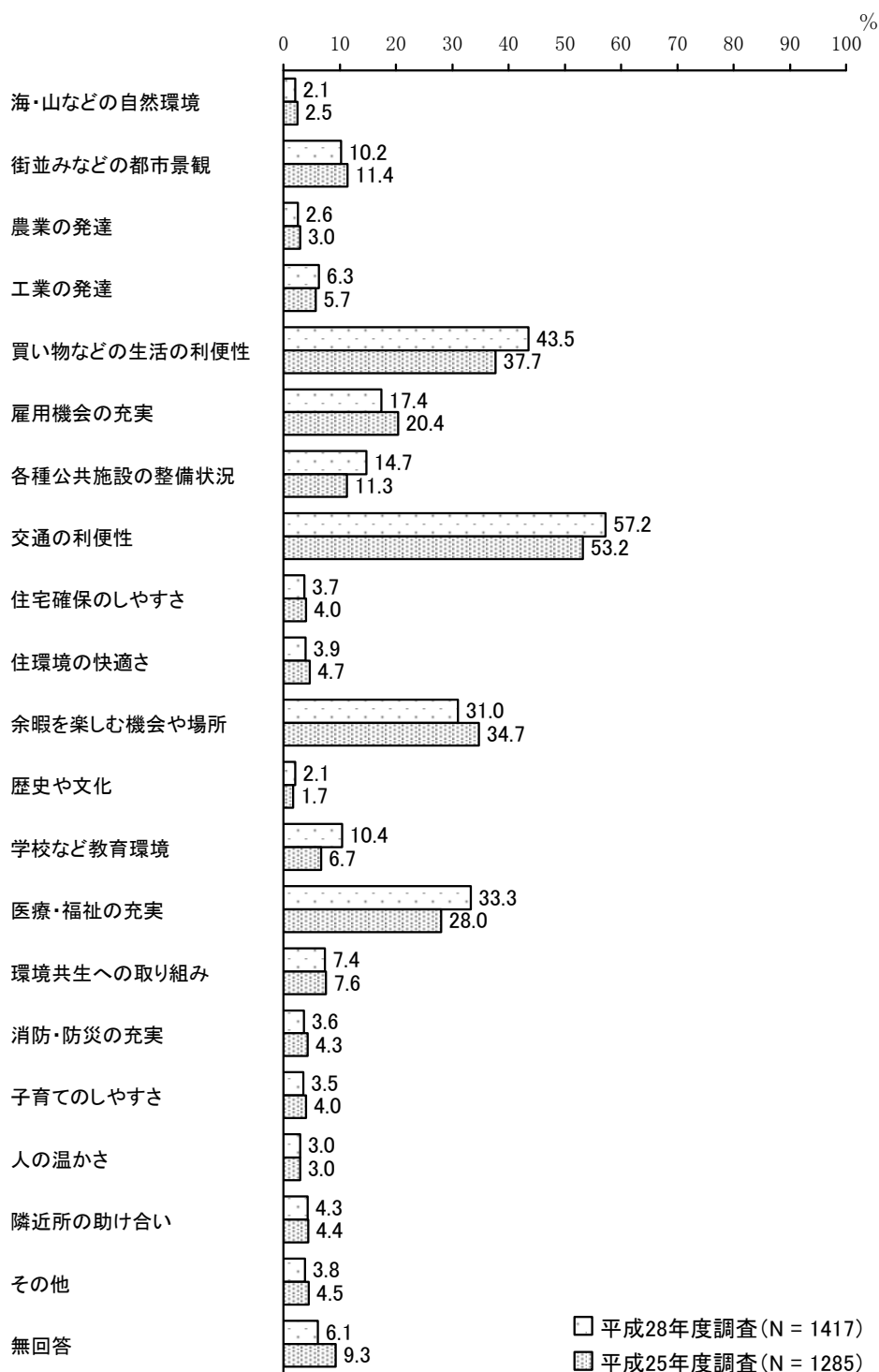
(つづき)

単位：％

区分	歴史や文化	学校など教育環境	医療・福祉の充実	環境共生への取り組み	消防・防災の充実	子育てのしやすさ	人の温かさ	隣近所の助け合い	その他	無回答
六連	5.1	5.1	20.5	2.6	5.1	7.7	20.5	10.3	5.1	—
神戸	5.5	3.1	16.4	2.3	3.9	11.7	21.1	12.5	1.6	1.6
大草	9.7	6.5	9.7	—	6.5	9.7	25.8	16.1	3.2	3.2
田原東部	8.6	1.9	15.2	2.9	2.9	10.5	24.8	11.4	—	1.9
田原南部	2.4	4.9	12.2	2.4	7.3	7.3	29.3	22.0	—	2.4
童浦	7.9	3.5	14.0	3.5	4.4	9.6	18.4	10.5	2.6	—
田原中部	7.9	3.1	13.4	3.1	0.8	7.1	18.1	6.3	3.1	3.9
衣笠	6.3	—	14.4	4.5	6.3	3.6	26.1	12.6	—	0.9
野田	—	1.4	15.1	9.6	5.5	6.8	34.2	13.7	—	4.1
高松	7.9	10.5	7.9	—	7.9	13.2	39.5	23.7	5.3	2.6
赤羽根	6.5	13.0	8.7	2.2	8.7	13.0	28.3	21.7	—	6.5
若戸	8.3	8.3	11.1	2.8	5.6	8.3	36.1	27.8	—	2.8
伊良湖岬(和地)	2.7	5.4	13.5	—	2.7	5.4	24.3	29.7	8.1	—
伊良湖岬(堀切)	4.0	2.0	10.0	—	6.0	2.0	30.0	32.0	—	2.0
伊良湖岬(伊良湖)	—	—	5.6	—	5.6	5.6	22.2	16.7	—	11.1
亀山	4.2	8.3	8.3	4.2	4.2	8.3	41.7	33.3	—	—
中山	3.1	1.0	9.2	2.0	8.2	4.1	28.6	21.4	1.0	3.1
福江	2.9	1.9	9.7	—	1.9	4.9	28.2	22.3	6.8	1.0
清田	1.5	1.5	10.4	—	3.0	6.0	29.9	25.4	—	1.5
泉	7.8	2.2	6.7	—	5.6	5.6	27.8	20.0	—	7.8

問 11 田原市に欠けていると感じることは何ですか。(あてはまるもの3つに○)

平成 25 年度調査と比べると、「買い物などの生活の利便性」「交通の利便性」「医療・福祉の充実」の割合が 4.0～5.8 ポイント増加している一方、「余暇を楽しむ機会や場所」の割合が 3.7 ポイント減少しています。



【性別】

性別で見ると、男女とも「交通の利便性」の割合が最も高く、5割を超えています。
 また、その他の項目での差はほとんどありませんが、「街並みなどの都市景観」「医療・福祉の充実」の割合で若干男女の差が見られます。

単位：％

区分	有効回答数(件)	海・山などの自然環境	街並みなどの都市景観	農業の発達	工業の発達	買い物などの生活の利便性	雇用機会の充実	各種公共施設の整備状況	交通の利便性	住宅確保のしやすさ	住環境の快適さ
男性	630	2.4	12.9	3.0	7.8	43.0	18.7	16.7	58.6	4.6	4.9
女性	752	1.7	8.2	2.1	5.2	44.7	16.5	13.6	56.4	2.5	3.2

区分	余暇を楽しむ機会や場所	歴史や文化	学校など教育環境	医療・福祉の充実	環境共生への取り組み	消防・防災の充実	子育てのしやすさ	人の温かさ	隣近所の助け合い	その他	無回答
男性	29.2	1.6	11.0	30.8	6.8	3.7	4.1	2.7	4.3	4.3	4.6
女性	33.1	2.7	9.8	35.8	8.1	3.3	3.1	3.1	4.1	3.3	6.6

【年齢別】

年齢別でみると、30歳代を除き、すべての年代で「交通の利便性」の割合が最も高くなっています。

また、50歳代で「医療・福祉の充実」の割合が高く、4割を超えています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	海・山などの自然環境	街並みなどの都市景観	農業の発達	工業の発達	買い物などの生活の利便性	雇用機会の充実	各種公共施設の整備状況	交通の利便性	住宅確保のしやすさ	住環境の快適さ
20歳代	126	1.6	12.7	—	4.8	53.2	15.1	15.9	69.8	5.6	3.2
30歳代	174	—	7.5	2.9	1.7	62.1	16.1	20.1	58.6	6.9	2.9
40歳代	209	0.5	10.5	2.4	6.7	53.6	15.8	16.7	60.3	5.7	2.4
50歳代	217	1.4	8.3	3.2	6.0	38.2	22.1	12.0	66.8	2.3	3.2
60歳代	332	2.4	12.0	1.8	6.3	36.1	22.3	15.7	56.0	2.1	6.0
70歳以上	337	4.5	10.1	3.6	8.6	36.2	12.2	11.3	45.1	2.4	3.9

区分	余暇を楽しむ機会や場所	歴史や文化	学校など教育環境	医療・福祉の充実	環境共生への取り組み	消防・防災の充実	子育てのしやすさ	人の温かさ	隣近所の助け合い	その他	無回答
20歳代	44.4	1.6	11.1	23.0	4.0	4.0	3.2	2.4	1.6	5.6	1.6
30歳代	42.5	1.7	10.3	30.5	4.0	2.9	8.0	1.7	2.3	2.3	1.1
40歳代	33.0	1.9	17.7	39.2	3.8	4.8	4.3	1.4	2.4	3.3	1.0
50歳代	34.1	1.8	13.8	43.8	6.9	1.8	3.7	1.8	1.4	4.1	3.7
60歳代	26.5	2.1	9.3	37.0	10.2	3.9	2.7	2.1	5.4	4.2	5.1
70歳以上	21.7	3.0	4.7	24.6	10.4	4.2	1.5	6.2	8.6	3.9	14.8

【地区別】

地区別でみると、すべての地区で「買い物などの生活の利便性」「交通の利便性」の割合が高くなっています。

また、大草で「子育てのしやすさ」の割合が、他の校区に比べ高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	海・山などの自然環境	街並みなどの都市景観	農業の発達	工業の発達	買い物などの生活の利便性	雇用機会の充実	各種公共施設の整備状況	交通の利便性	住宅確保のしやすさ	住環境の快適さ
六連	39	—	5.1	5.1	5.1	48.7	12.8	10.3	56.4	10.3	5.1
神戸	128	1.6	18.0	3.1	3.9	30.5	15.6	18.8	50.0	5.5	3.9
大草	31	3.2	3.2	3.2	3.2	54.8	16.1	22.6	54.8	—	3.2
田原東部	105	1.0	12.4	3.8	2.9	46.7	21.0	16.2	44.8	2.9	4.8
田原南部	41	—	9.8	—	9.8	39.0	9.8	7.3	63.4	2.4	7.3
童浦	114	1.8	14.9	—	0.9	56.1	9.6	16.7	52.6	4.4	5.3
田原中部	127	0.8	15.0	1.6	5.5	36.2	20.5	15.7	44.9	6.3	—
衣笠	111	1.8	11.7	2.7	10.8	28.8	18.0	15.3	43.2	4.5	6.3
野田	73	1.4	1.4	1.4	6.8	42.5	21.9	11.0	69.9	1.4	6.8
高松	38	2.6	2.6	5.3	—	52.6	28.9	15.8	47.4	—	7.9
赤羽根	46	6.5	6.5	4.3	4.3	45.7	8.7	17.4	65.2	—	4.3
若戸	36	—	5.6	5.6	11.1	58.3	13.9	8.3	75.0	5.6	—
伊良湖岬(和地)	37	2.7	2.7	5.4	2.7	67.6	13.5	5.4	70.3	—	—
伊良湖岬(堀切)	50	—	10.0	2.0	8.0	42.0	14.0	16.0	68.0	—	—
伊良湖岬(伊良湖)	18	5.6	—	5.6	—	50.0	27.8	5.6	83.3	—	—
亀山	24	—	8.3	—	12.5	66.7	12.5	25.0	62.5	—	12.5
中山	98	5.1	11.2	5.1	9.2	42.9	16.3	16.3	60.2	6.1	3.1
福江	103	2.9	8.7	1.0	11.7	40.8	26.2	13.6	67.0	1.9	4.9
清田	67	4.5	11.9	3.0	10.4	49.3	23.9	16.4	65.7	6.0	1.5
泉	90	1.1	7.8	—	6.7	42.2	17.8	13.3	63.3	1.1	4.4

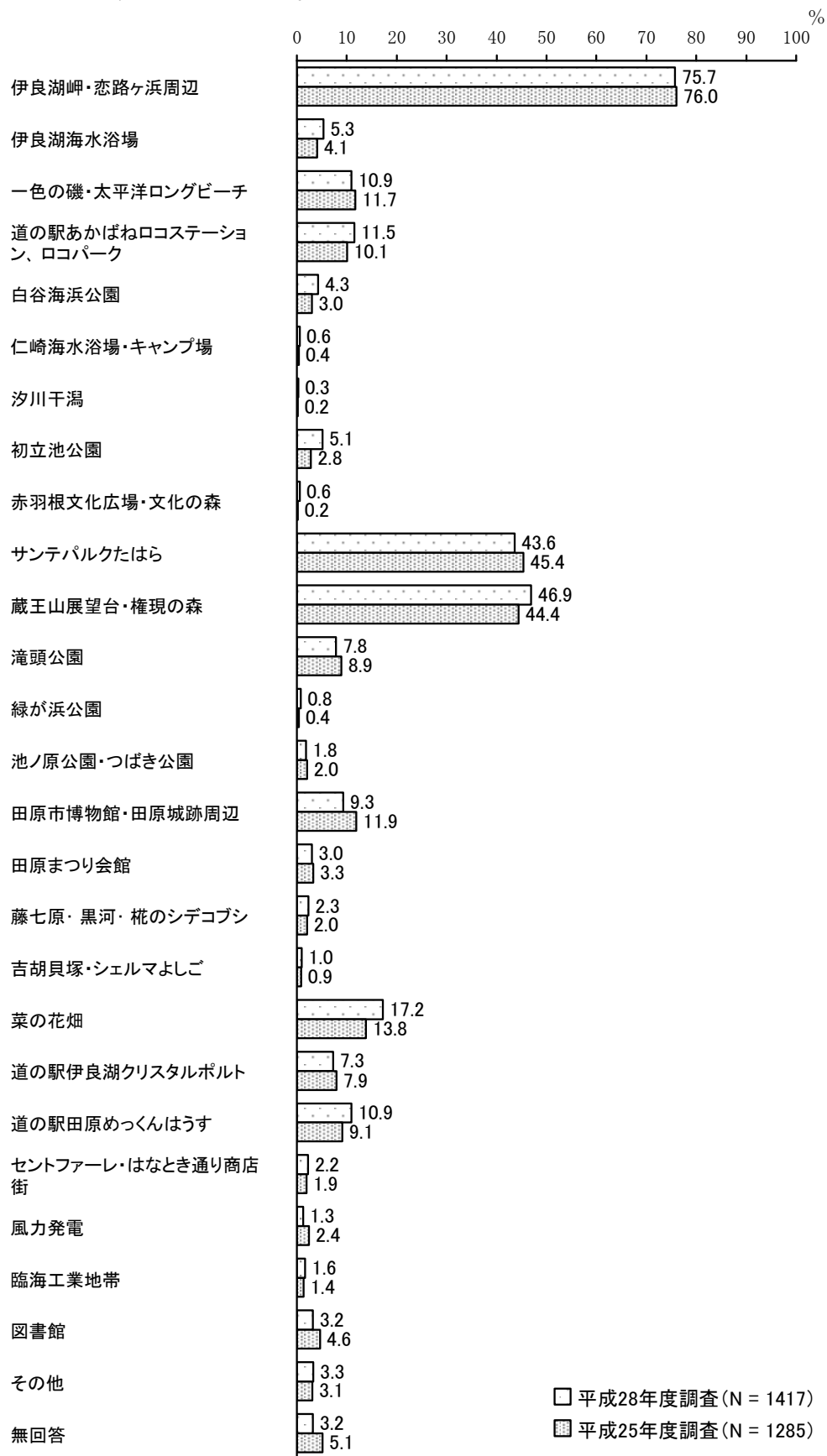
(つづき)

単位：％

区分	余暇を楽しむ機会や場所	歴史や文化	学校など教育環境	医療・福祉の充実	環境共生への取り組み	消防・防災の充実	子育てのしやすさ	人の温かさ	隣近所の助け合い	その他	無回答
六連	28.2	5.1	15.4	15.4	5.1	2.6	—	2.6	2.6	10.3	7.7
神戸	39.8	5.5	4.7	34.4	10.9	7.0	3.1	3.1	3.9	3.9	3.9
大草	29.0	—	12.9	35.5	3.2	—	12.9	3.2	—	3.2	3.2
田原東部	37.1	1.9	11.4	24.8	9.5	3.8	4.8	2.9	6.7	4.8	6.7
田原南部	41.5	2.4	14.6	41.5	7.3	4.9	7.3	—	—	2.4	7.3
童浦	39.5	1.8	8.8	32.5	4.4	2.6	3.5	4.4	7.9	1.8	4.4
田原中部	27.6	3.1	8.7	37.0	8.7	4.7	2.4	4.7	3.9	7.9	7.1
衣笠	32.4	0.9	6.3	37.8	12.6	0.9	0.9	1.8	7.2	4.5	10.8
野田	23.3	2.7	20.5	35.6	6.8	1.4	4.1	6.8	2.7	5.5	4.1
高松	23.7	2.6	5.3	50.0	7.9	—	7.9	—	5.3	5.3	5.3
赤羽根	21.7	—	6.5	39.1	2.2	8.7	6.5	2.2	4.3	2.2	4.3
若戸	22.2	2.8	11.1	47.2	—	—	2.8	2.8	5.6	—	2.8
伊良湖岬(和地)	32.4	2.7	21.6	35.1	—	—	—	—	2.7	2.7	8.1
伊良湖岬(堀切)	34.0	—	24.0	42.0	8.0	4.0	2.0	—	6.0	—	2.0
伊良湖岬(伊良湖)	33.3	—	22.2	22.2	—	11.1	5.6	5.6	—	—	5.6
亀山	20.8	—	4.2	29.2	—	4.2	4.2	4.2	—	4.2	4.2
中山	23.5	3.1	11.2	18.4	9.2	4.1	8.2	2.0	6.1	2.0	3.1
福江	30.1	2.9	11.7	37.9	12.6	4.9	1.9	1.0	1.9	1.9	1.9
清田	29.9	—	9.0	32.8	7.5	3.0	—	1.5	1.5	4.5	3.0
泉	30.0	—	7.8	28.9	4.4	3.3	2.2	2.2	3.3	3.3	14.4

問12 あなたは、友人や知人などが訪ねてきたとき、田原市のどこを案内してあげたいですか。(あてはまるもの3つに○)

平成25年度調査と比べると、「蔵王山展望台・権現の森」「菜の花畑」の割合が2.5～3.4ポイント増加しています。



【性別】

男女とも「伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺」の割合が最も高く、7割を超えています。

また、男性は「蔵王山展望台・権現の森」の割合が高く、女性は「サンテパークたはら」「菜の花畑」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺	伊良湖海水浴場	一色の磯・太平洋ロングビーチ	道の駅あかばねロコステーション・ロコパーク	白谷海浜公園	仁崎海水浴場・キャンプ場	汐川干潟	初立池公園	赤羽根文化広場・文化の森	サンテパークたはら	蔵王山展望台・権現の森	滝頭公園	緑が浜公園
男性	630	78.1	6.5	13.8	9.7	4.3	0.6	0.3	4.9	0.8	34.6	51.6	6.2	1.0
女性	752	73.9	3.9	8.9	12.9	4.5	0.5	0.3	4.9	0.3	51.1	43.5	8.9	0.7

区分	池ノ原公園・つばき公園	田原市博物館・田原城跡周辺	田原まつり会館	藤七原・黒河・椀のシデコブシ	吉胡貝塚・シエルマよしご	菜の花畑	道の駅伊良湖クリスタルポルト	道の駅田原めつくんはうす	通り商店街	セントファールレ・はなとき	風力発電	臨海工業地帯	図書館	その他	無回答
男性	1.7	11.1	3.0	1.0	1.4	14.6	8.6	10.8	2.5	2.2	2.5	2.7	4.6	2.9	
女性	1.9	8.1	2.9	3.6	0.7	19.9	6.4	10.6	1.9	0.5	0.9	3.9	2.0	3.6	

【年齢別】

各年代とも「伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺」の割合が最も高く、40歳代、50歳代で8割を超えています。

また、年齢が低くなるにつれ「菜の花畑」の割合が高くなり、年齢が高くなるにつれ「田原市博物館・田原城跡周辺」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺	伊良湖海水浴場	一色の磯・太平洋ロングビーチ	道の駅あかばねロコステーション・ロコパーク	白谷海浜公園	仁崎海水浴場・キャンプ場	汐川干潟	初立池公園	赤羽根文化広場・文化の森	サンテパルクたはら	蔵王山展望台・権現の森	滝頭公園	緑が浜公園
20歳代	126	73.8	6.3	12.7	16.7	11.1	1.6	—	—	—	41.3	44.4	8.7	1.6
30歳代	174	68.4	8.6	12.6	9.8	7.5	0.6	—	1.7	—	55.2	48.9	3.4	1.7
40歳代	209	85.6	8.6	16.7	11.5	5.7	—	0.5	1.4	—	47.4	50.7	3.8	0.5
50歳代	217	82.9	1.8	12.9	11.5	0.9	0.5	—	5.1	0.5	45.6	50.2	4.1	0.5
60歳代	332	76.5	3.6	9.3	9.6	2.7	0.3	0.6	5.1	0.3	42.5	51.8	10.2	0.3
70歳以上	337	68.8	5.3	6.2	12.2	3.3	0.9	0.3	10.1	2.1	36.5	38.6	12.2	0.9

区分	池ノ原公園・つばき公園	田原市博物館・田原城跡周辺	田原まつり会館	藤七原・黒河・椀のシデコブシ	吉胡貝塚・シエルマよし	菜の花畑	道の駅伊良湖クリスタルポルト	道の駅田原めつくんはうす	通り商店街	セントファール・はなとき	風力発電	臨海工業地帯	図書館	その他	無回答
20歳代	1.6	1.6	1.6	—	0.8	33.3	4.8	7.1	6.3	—	0.8	3.2	4.0	1.6	
30歳代	—	2.9	—	1.7	—	28.7	8.0	13.2	2.9	3.4	0.6	3.4	2.3	0.6	
40歳代	1.0	3.3	2.4	1.4	1.0	15.3	5.3	11.0	2.4	0.5	1.0	4.8	5.7	0.5	
50歳代	0.9	7.4	2.3	1.8	0.5	14.7	12.0	11.1	0.9	1.4	2.3	3.7	3.2	2.8	
60歳代	3.0	12.3	3.9	3.3	0.6	14.2	5.7	9.9	1.8	1.5	2.7	1.8	3.3	3.3	
70歳以上	2.7	17.2	4.5	3.3	2.4	12.2	8.0	11.0	1.2	1.2	1.5	3.3	2.4	6.8	

【地区別】

各地区とも「伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺」の割合が最も高く、伊良湖岬(堀切)、亀山、清田で9割を超えています。

また、田原南部、野田で「サンテパークたはら」の割合が、他の地区に比べ高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺	伊良湖海水浴場	一色の磯・太平洋ロングビーチ	道の駅あかばねロコステーション・ロコパーク	白谷海浜公園	仁崎海水浴場・キャンプ場	汐川干潟	初立池公園	赤羽根文化広場・文化の森	サンテパークたはら	蔵王山展望台・権現の森	滝頭公園	緑が浜公園
六連	39	66.7	2.6	2.6	15.4	—	—	—	—	—	53.8	61.5	2.6	2.6
神戸	128	76.6	1.6	7.8	11.7	2.3	0.8	0.8	2.3	0.8	44.5	58.6	4.7	—
大草	31	74.2	—	22.6	22.6	3.2	—	—	—	—	41.9	51.6	9.7	—
田原東部	105	74.3	1.9	5.7	4.8	3.8	1.0	1.0	1.9	1.0	46.7	61.0	12.4	1.0
田原南部	41	68.3	4.9	17.1	7.3	2.4	—	—	9.8	—	68.3	63.4	4.9	—
童浦	114	70.2	5.3	14.9	8.8	14.9	0.9	0.9	—	—	42.1	61.4	1.8	3.5
田原中部	127	69.3	2.4	7.9	7.9	5.5	0.8	—	1.6	—	37.0	59.8	14.2	—
衣笠	111	73.9	1.8	12.6	12.6	6.3	0.9	—	3.6	—	32.4	52.3	18.9	—
野田	73	69.9	1.4	13.7	9.6	5.5	—	—	—	—	65.8	49.3	4.1	2.7
高松	38	60.5	2.6	39.5	18.4	—	—	—	—	7.9	44.7	39.5	2.6	—
赤羽根	46	69.6	6.5	34.8	50.0	6.5	2.2	—	2.2	4.3	37.0	15.2	8.7	—
若戸	36	61.1	2.8	16.7	36.1	—	—	—	—	2.8	27.8	41.7	2.8	—
伊良湖岬(和地)	37	78.4	18.9	13.5	16.2	—	—	—	8.1	2.7	40.5	37.8	13.5	—
伊良湖岬(堀切)	50	94.0	14.0	8.0	4.0	2.0	—	—	14.0	—	42.0	28.0	6.0	—
伊良湖岬(伊良湖)	18	72.2	38.9	—	—	—	—	—	44.4	—	33.3	16.7	—	—
亀山	24	91.7	12.5	—	—	—	—	—	29.2	—	37.5	33.3	4.2	—
中山	98	77.6	4.1	8.2	8.2	3.1	2.0	1.0	9.2	—	42.9	29.6	6.1	1.0
福江	103	89.3	7.8	6.8	6.8	1.0	—	—	9.7	—	39.8	34.0	4.9	—
清田	67	91.0	10.4	—	10.4	1.5	—	—	9.0	—	53.7	34.3	3.0	—
泉	90	82.2	4.4	11.1	11.1	4.4	—	—	3.3	—	51.1	44.4	6.7	1.1

II 田原市市民意識調査

(つづき)

単位：%

区分	池ノ原公園・つばき公園	辺 田原市博物館・田原城跡周	田原まつり会館	藤七原・黒河・柊のシデコ ブシ	吉胡貝塚・シエルマよしこ	菜の花畑	道の駅伊良湖クリスタルポ ルト	道の駅田原めつくんはうす	通り商店街 セントファール・はなとき	風力発電	臨海工業地帯	図書館	その他	無回答
六連	—	17.9	5.1	2.6	—	10.3	2.6	17.9	2.6	—	—	2.6	5.1	5.1
神戸	0.8	10.2	4.7	2.3	—	14.1	5.5	21.9	3.1	2.3	3.9	3.1	2.3	1.6
大草	3.2	9.7	—	3.2	—	16.1	—	9.7	—	—	3.2	12.9	—	3.2
田原東部	—	9.5	2.9	5.7	1.9	17.1	5.7	12.4	2.9	—	1.9	4.8	1.9	1.9
田原南部	2.4	4.9	2.4	—	—	7.3	4.9	19.5	—	—	—	4.9	—	—
童浦	0.9	7.0	2.6	—	3.5	14.0	5.3	13.2	2.6	5.3	4.4	2.6	0.9	0.9
田原中部	3.1	22.8	10.2	—	1.6	14.2	3.1	11.0	3.1	1.6	—	3.1	3.9	2.4
衣笠	6.3	18.9	6.3	5.4	0.9	10.8	0.9	8.1	2.7	1.8	2.7	3.6	1.8	3.6
野田	4.1	11.0	—	1.4	—	11.0	—	12.3	1.4	—	—	11.0	1.4	4.1
高松	—	7.9	—	—	2.6	13.2	5.3	7.9	2.6	—	2.6	7.9	10.5	—
赤羽根	2.2	—	2.2	—	2.2	13.0	—	2.2	2.2	—	4.3	2.2	4.3	4.3
若戸	5.6	2.8	2.8	2.8	—	25.0	2.8	5.6	2.8	—	2.8	2.8	2.8	8.3
伊良湖岬 (和地)	—	2.7	2.7	—	—	27.0	18.9	—	2.7	—	2.7	2.7	2.7	—
伊良湖岬 (堀切)	—	4.0	2.0	2.0	—	38.0	12.0	4.0	2.0	—	—	—	2.0	2.0
伊良湖岬 (伊良湖)	—	5.6	—	—	—	16.7	27.8	5.6	—	—	—	—	—	11.1
亀山	—	8.3	—	—	—	25.0	20.8	8.3	—	—	—	—	4.2	—
中山	1.0	5.1	1.0	3.1	—	17.3	11.2	14.3	1.0	3.1	1.0	1.0	8.2	6.1
福江	1.0	8.7	—	2.9	1.9	32.0	16.5	5.8	1.9	—	—	1.9	4.9	1.9
清田	1.5	—	—	7.5	1.5	26.9	16.4	10.4	—	—	—	—	4.5	1.5
泉	1.1	7.8	1.1	2.2	—	12.2	8.9	3.3	1.1	2.2	1.1	—	3.3	8.9

4 各分野での市の取り組みについて

問 13 あなたは、現状の田原市の取り組みに対しどの程度満足していますか。
 (下表の「満足度」の欄に、項目ごとに評価し、該当する番号に○をつけてください。)
 また、今後、行政がどの程度重点的に取り組みを講じる必要があると思いますか。
 (下表の「重要度」の欄に、項目ごとに評価し、該当する番号に○をつけてください。)

【ポートフォリオ※による分析の考え方】

満足度と重要度を下表のような配分で点数化し、その点数の合計値を、無回答を除いた各設問の回答総数で割り、満足度・重要度を得点化しました。

さらに、各項目の満足度と重要度の得点の関係について分布図を作成し、ポートフォリオ分析により、今後の方向性を分析しました。

【満足度・重要度の得点化の手順】

満足度	得点
満足	2点
やや満足	1点
普通	0点
やや不満	-1点
不満	-2点
無回答	計算対象外

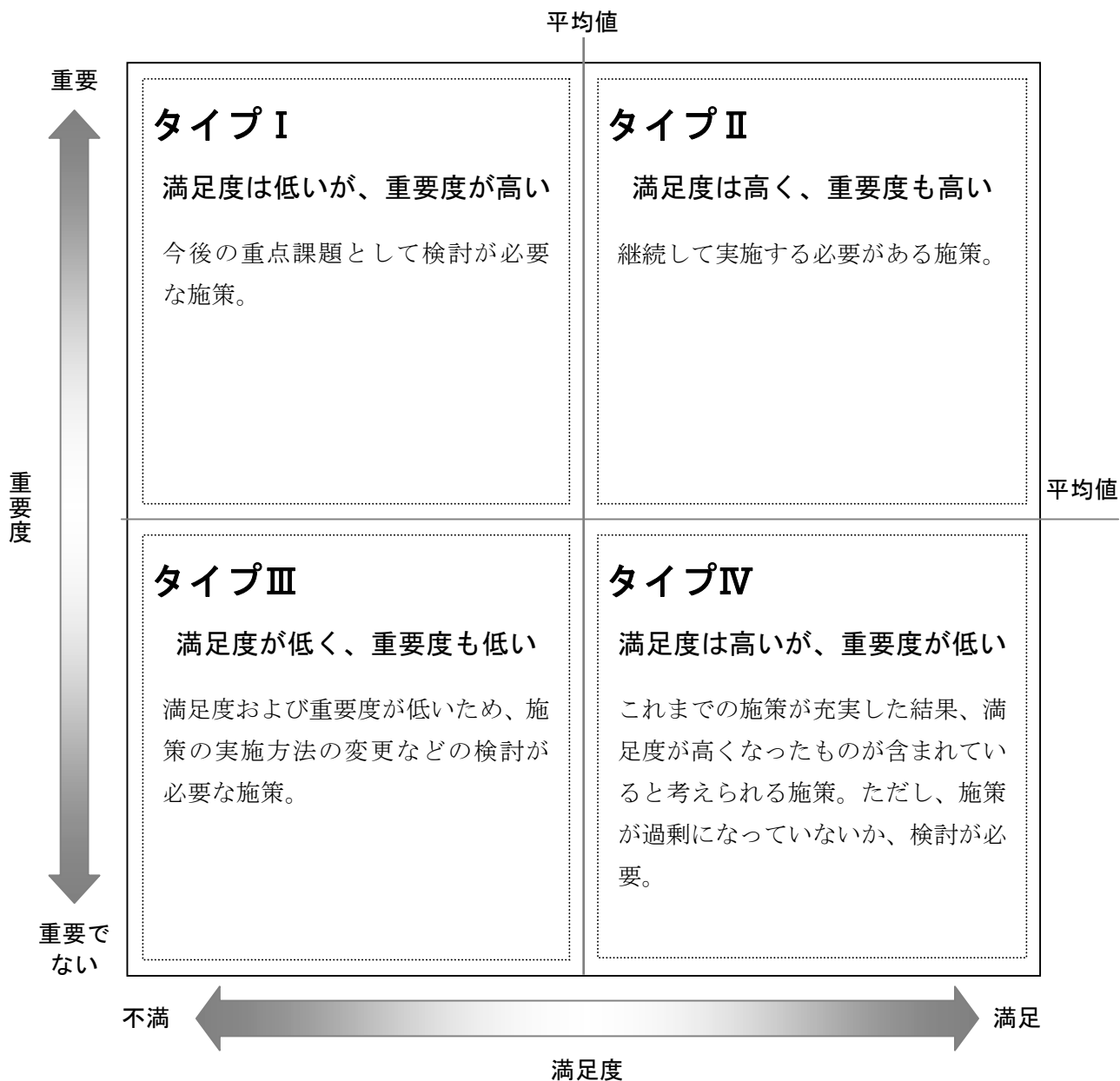
重要度	得点
非常に重要	2点
重要	1点
普通	0点
あまり重要でない	-1点
重要でない	-2点
無回答	計算対象外

【得点の算出式】

$$\begin{array}{l}
 2 \text{点} \times \text{「非常に重要 (満足)」の回答数} \\
 1 \text{点} \times \text{「重要 (やや満足)」の回答数} \\
 0 \text{点} \times \text{「普通」の回答数} \\
 -1 \text{点} \times \text{「あまり重要でない (やや不満)」の回答数} \\
 -2 \text{点} \times \text{「重要でない (不満)」の回答数}
 \end{array}
 \left. \vphantom{\begin{array}{l} \\ \\ \\ \\ \end{array}} \right\} \text{これらの数値の和}$$

無回答を除いた設問の回答総数

※得点については、小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。



※ポートフォリオとは、各属性についての満足度と総合満足度への影響度を2次元にプロットした図です。それぞれの選択肢を5段階評価で聞き、X軸に各属性の平均満足度、Y軸に重要度（期待度）として総合満足度と各満足度の偏相関係数を表しています。なお、図は4象限にわけられ、象限をわける境界線は、満足度、重要度の各平均値を使用しています。

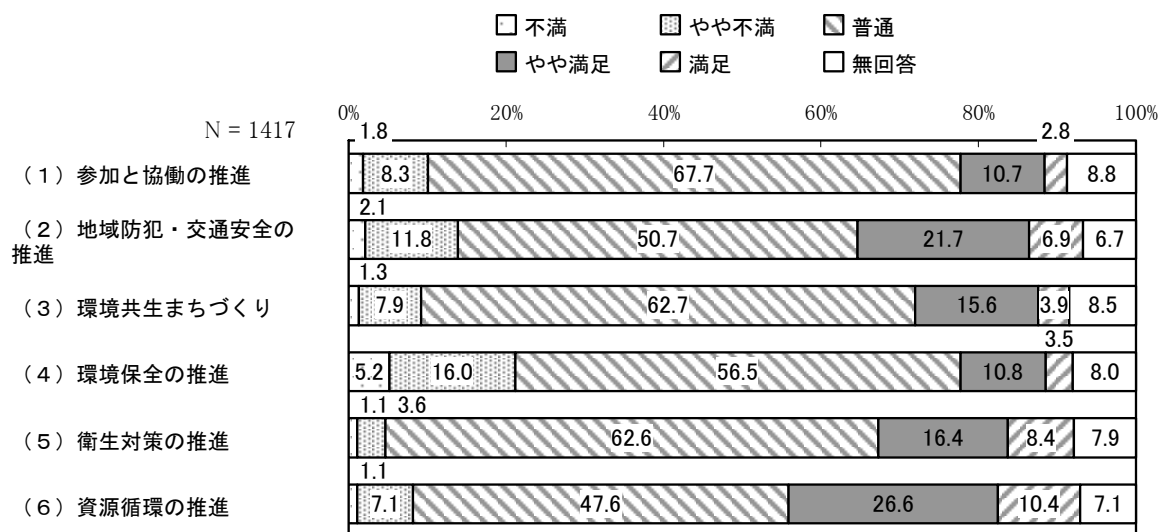
<市民環境分野>

満足度について、平成 25 年度調査と比べると、「やや満足」と「満足」をあわせた“満足”の割合がすべての項目で増加しています。

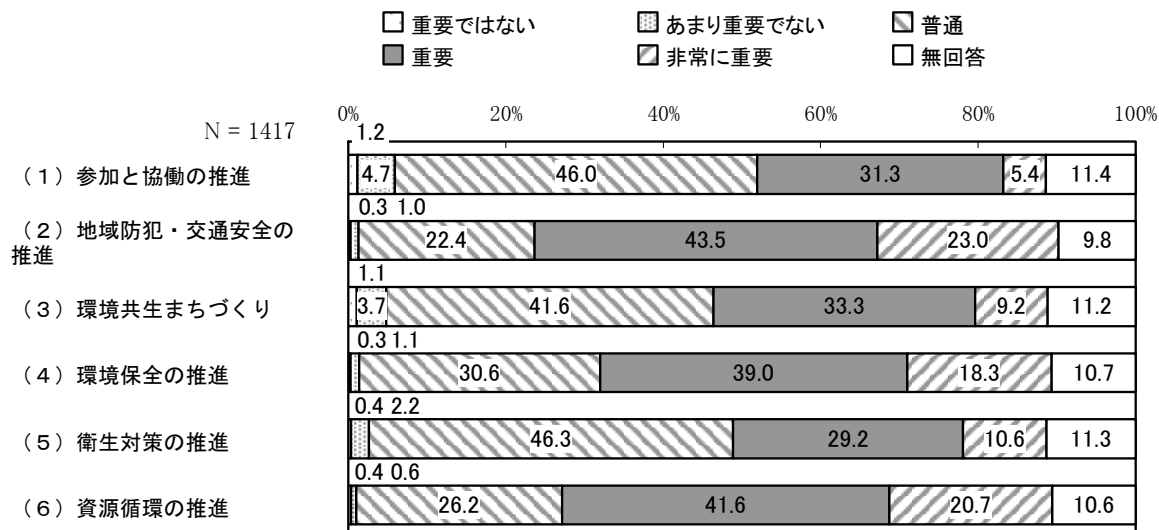
また、「不満」と「やや不満」をあわせた“不満”の割合については、(4) 環境保全の推進を除くすべての項目で減少しています。

【平成 28 年度調査】

■満足度



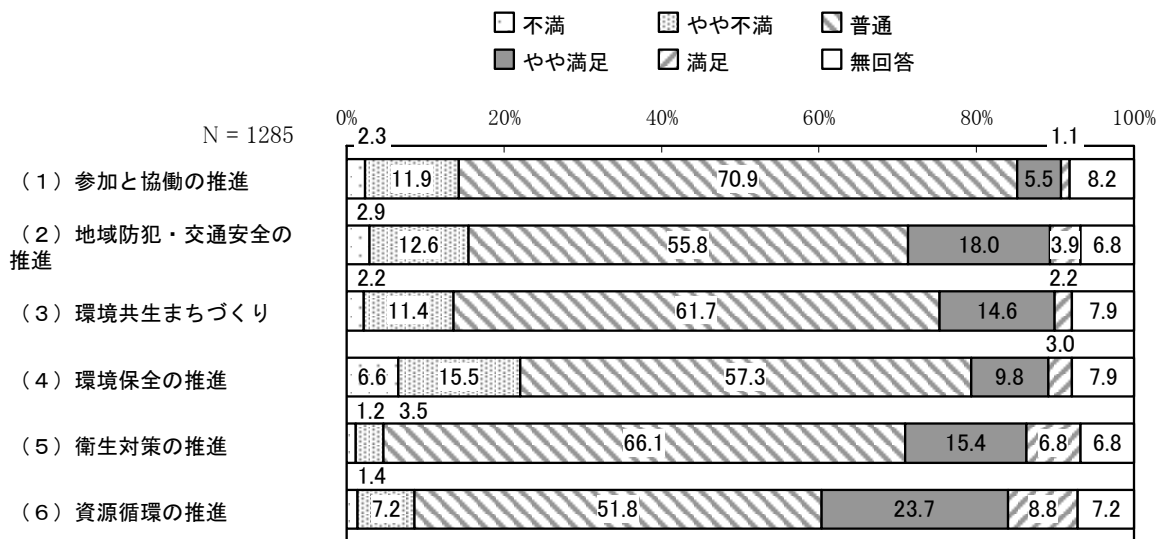
■重要度



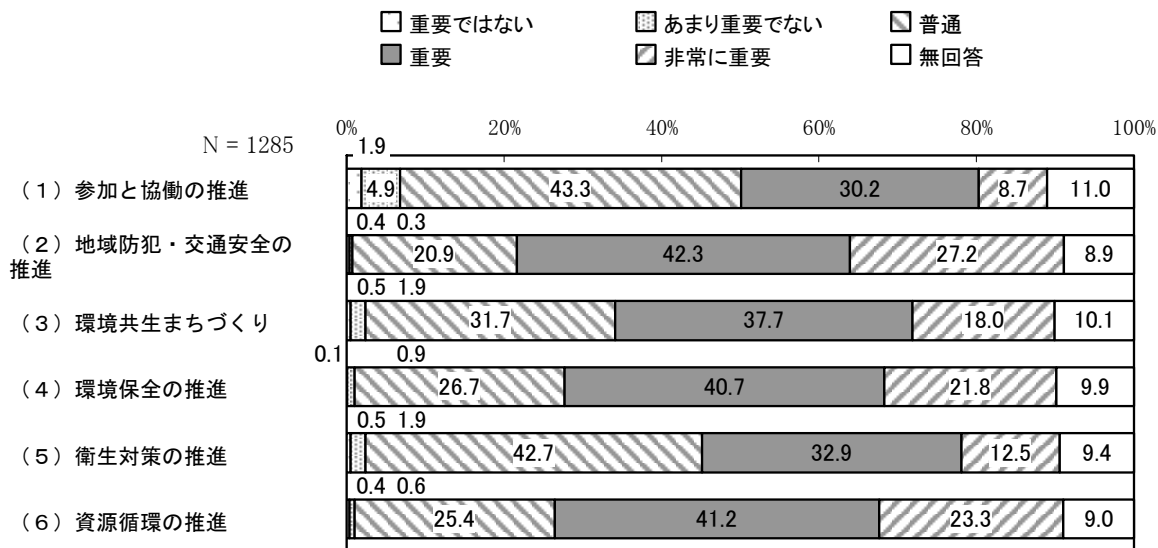
重要度について、平成 25 年度調査と比べると、「重要」と「非常に重要」をあわせた“重要”の割合がすべての項目で減少しています。

【平成 25 年度調査】

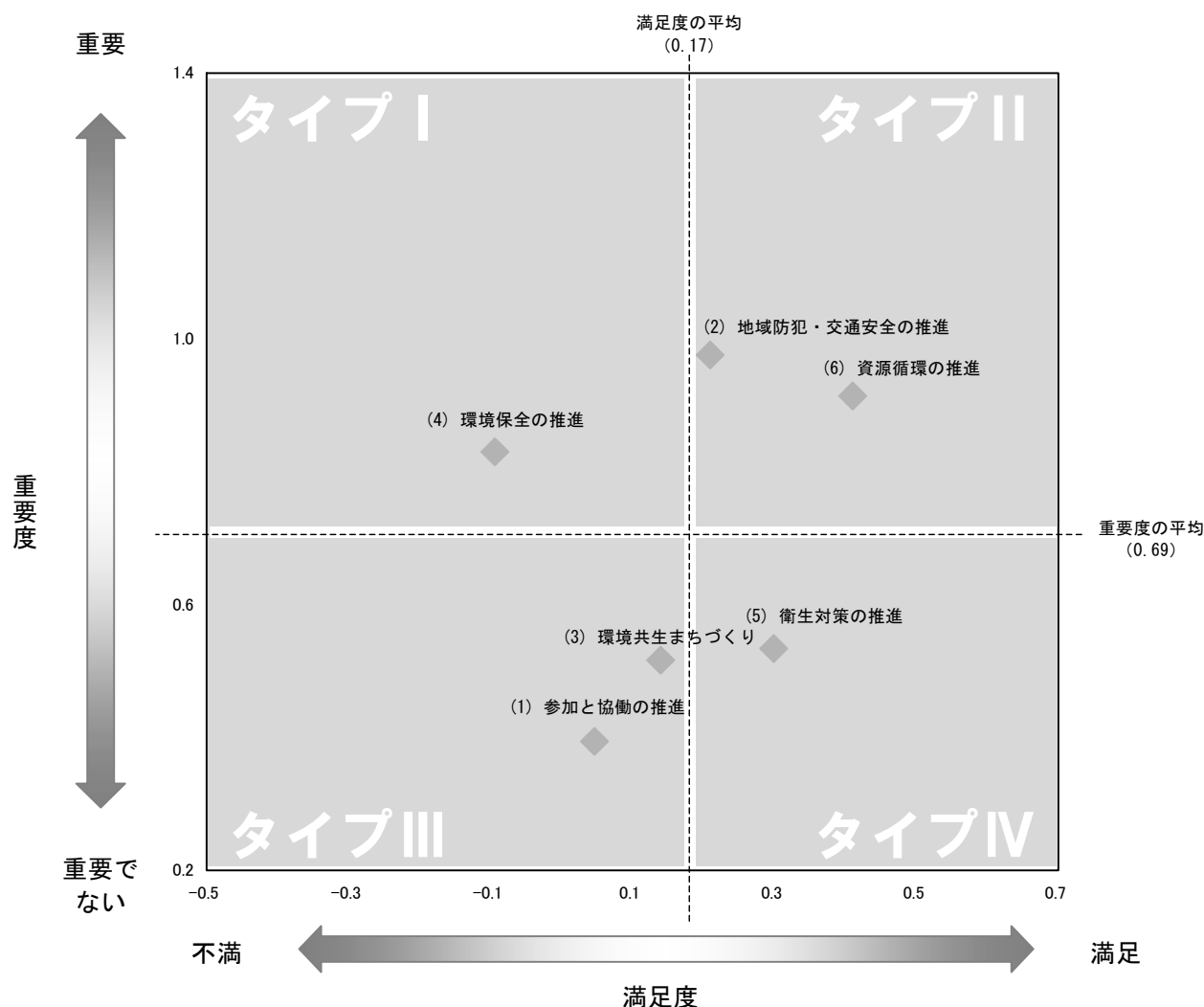
■ 満足度



■ 重要度



ポートフォリオによる市民環境分野の評価については、(4)環境保全の推進が、重要度が高いものの満足度が低くなっており、事業の強化など改善が求められます。



区分	満足度			重要度		
	H22	H25	H28	H22	H25	H28
1. 参加と協働の推進	0.02	-0.10	0.05	0.24	0.44	0.39
2. 地域防犯・交通安全の推進	-	0.08	0.21	-	1.05	0.98
3. 環境共生まちづくり	0.03	0.03	0.14	0.88	0.79	0.52
4. 環境保全の推進	-0.02	-0.14	-0.09	0.38	0.92	0.83
5. 衛生対策の推進	0.05	0.25	0.30	0.53	0.61	0.53
6. 資源循環の推進	0.18	0.34	0.41	0.79	0.95	0.91

○上図から分析判断できる最優先課題

4. 環境保全の推進

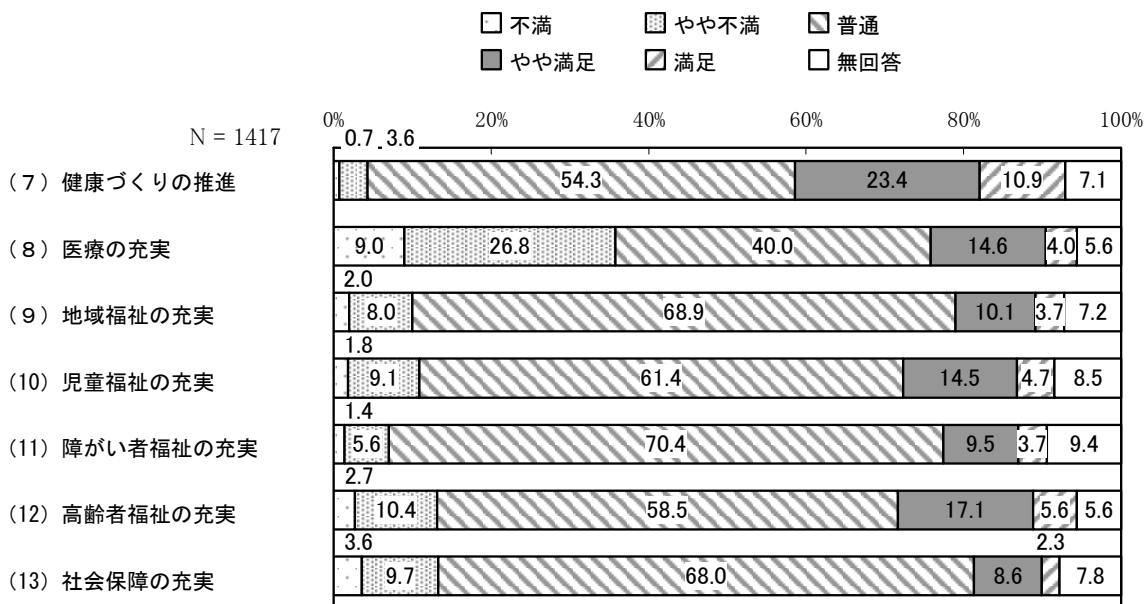
<健康福祉分野>

満足度について、平成 25 年度調査と比べると、“満足”の割合では（8）医療の充実を除くすべての項目が増加しています。

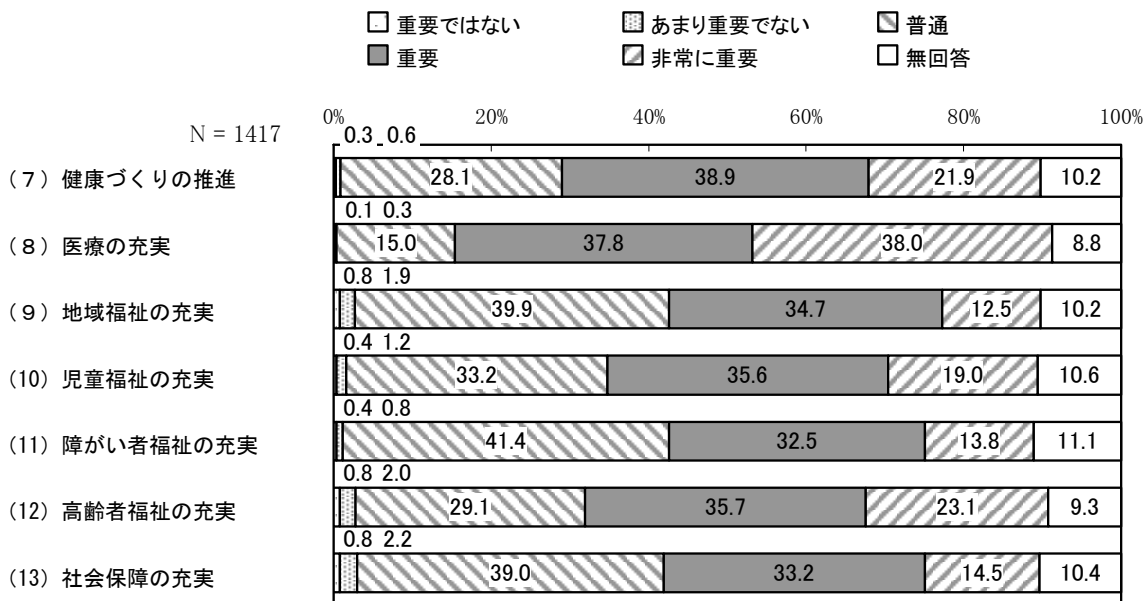
また、“不満”の割合については、（7）健康づくりの推進、（11）障がい者福祉の充実を除くすべての項目で増加しています。

【平成 28 年度調査】

■満足度



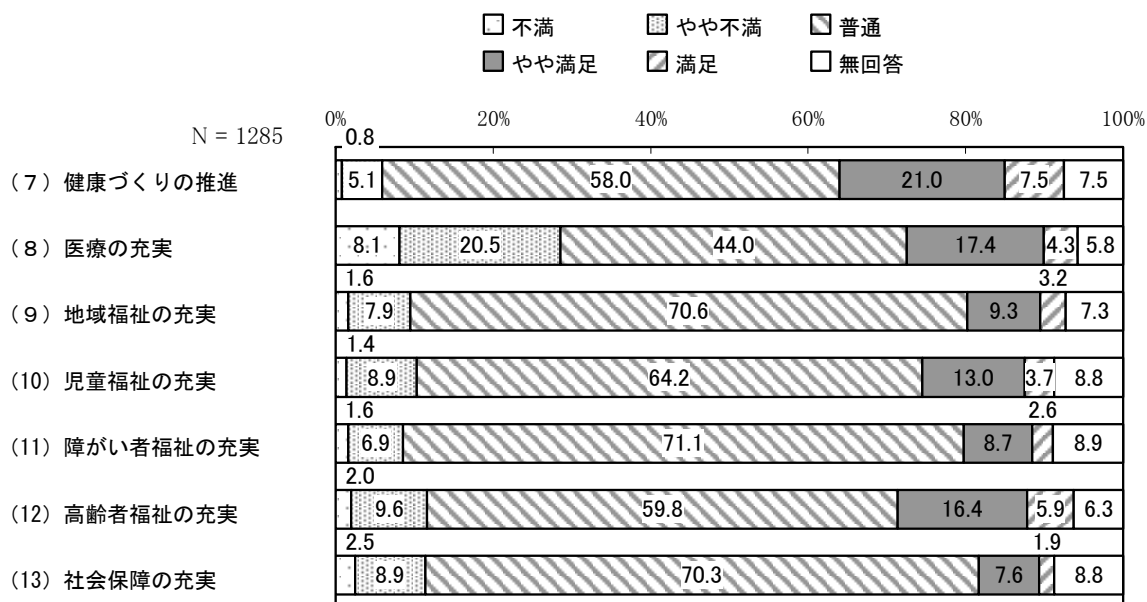
■重要度



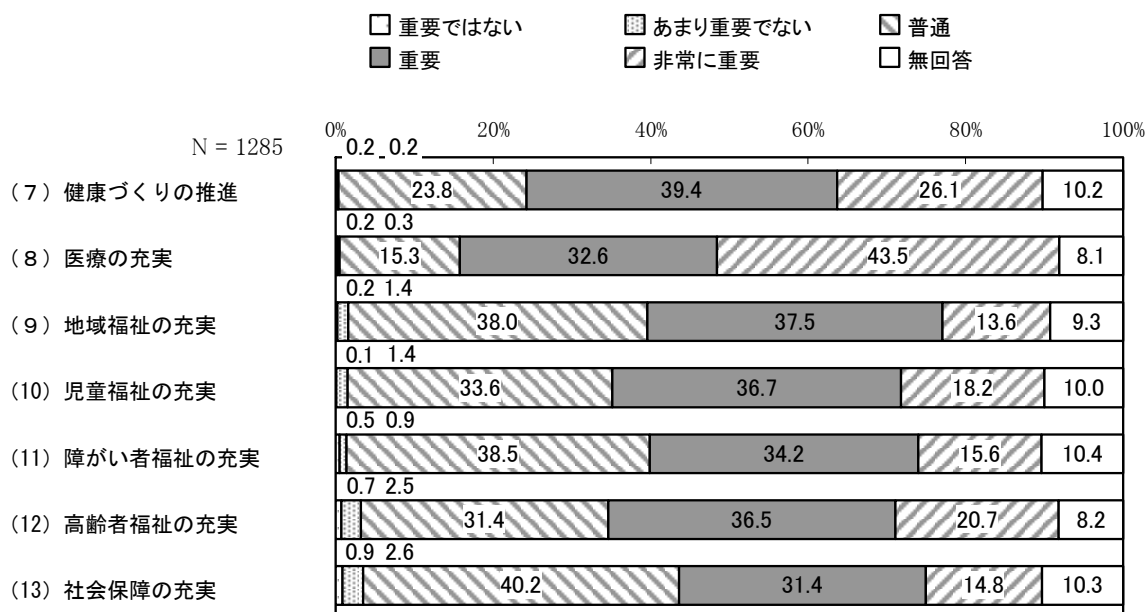
重要度について、平成 25 年度調査と比べると、“重要”の割合では、(12) 高齢者福祉の充実、(13) 社会保障の充実の割合が増加しています。

【平成 25 年度調査】

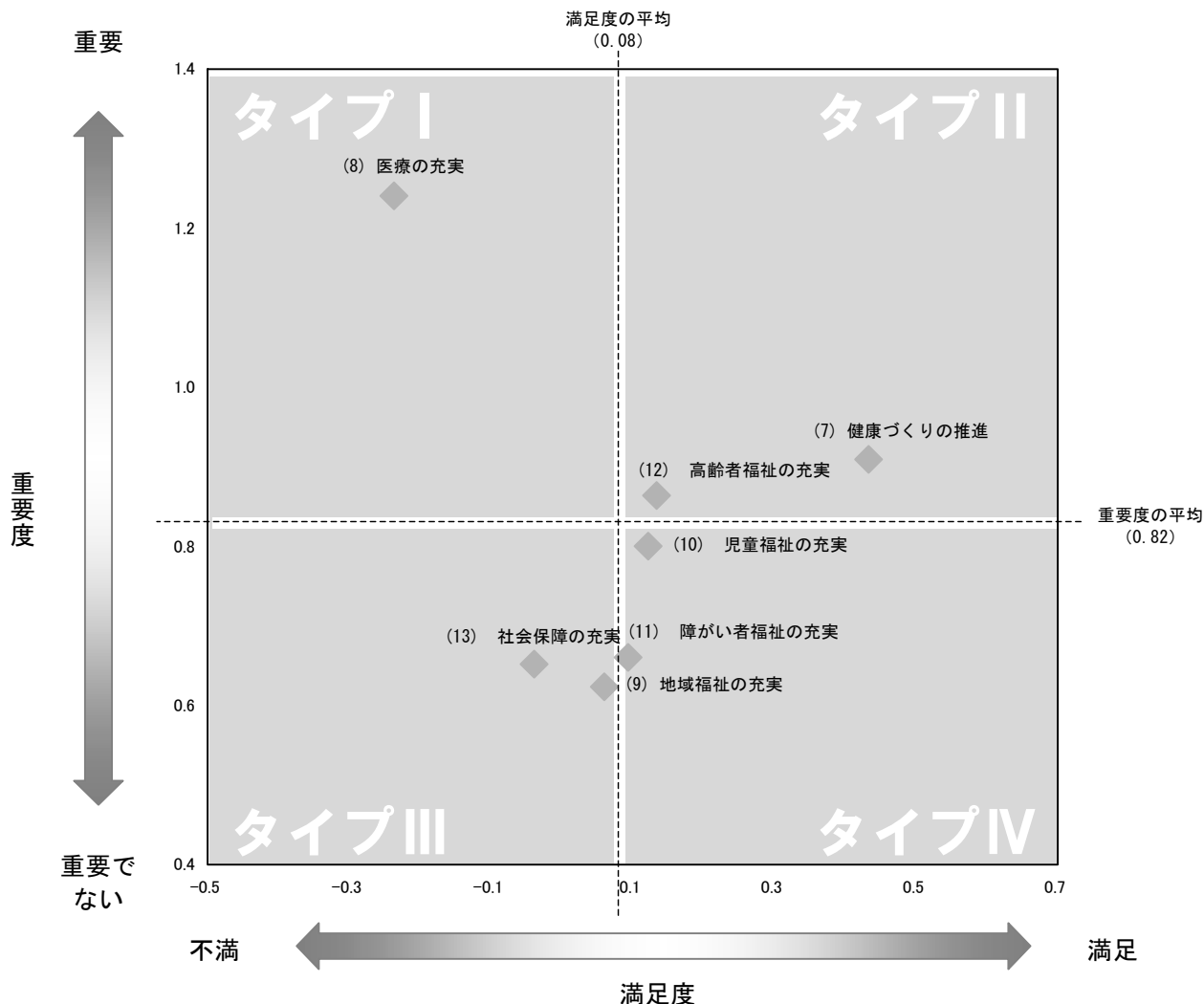
■ 満足度



■ 重要度



ポートフォリオによる健康福祉分野の評価については、(8)医療の充実が重要度が最も高いと同時に満足度が最も低くなっており、特に事業の強化など改善が求められます。



区分	満足度			重要度		
	H22	H25	H28	H22	H25	H28
7. 健康づくりの推進	0.20	0.32	0.43	0.81	1.01	0.91
8. 医療の充実	-0.19	-0.11	-0.24	1.24	1.29	1.24
9. 地域福祉の充実	-0.03	0.05	0.06	0.84	0.70	0.62
10. 児童福祉の充実	0.06	0.09	0.12	0.89	0.80	0.80
11. 障がい者福祉の充実	-0.04	0.04	0.09	0.73	0.71	0.66
12. 高齢者福祉の充実	-0.04	0.16	0.13	0.97	0.81	0.86
13. 社会保障の充実	-0.11	-0.03	-0.04	0.80	0.63	0.65

○上図から分析判断できる最優先課題

8. 医療の充実

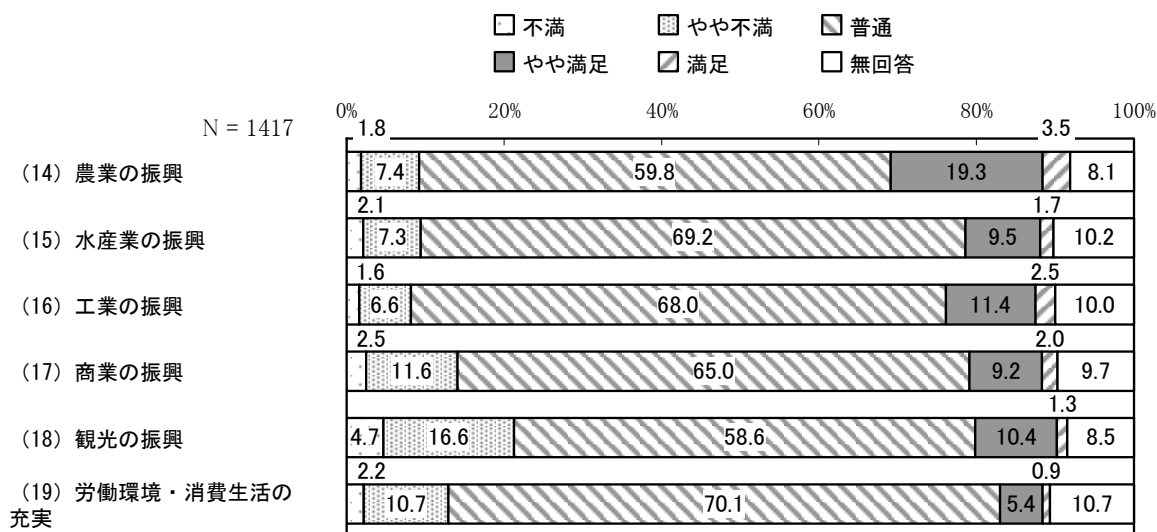
<産業経済分野>

満足度について、平成 25 年度調査と比べると、“満足”の割合ではすべての項目が増加しています。

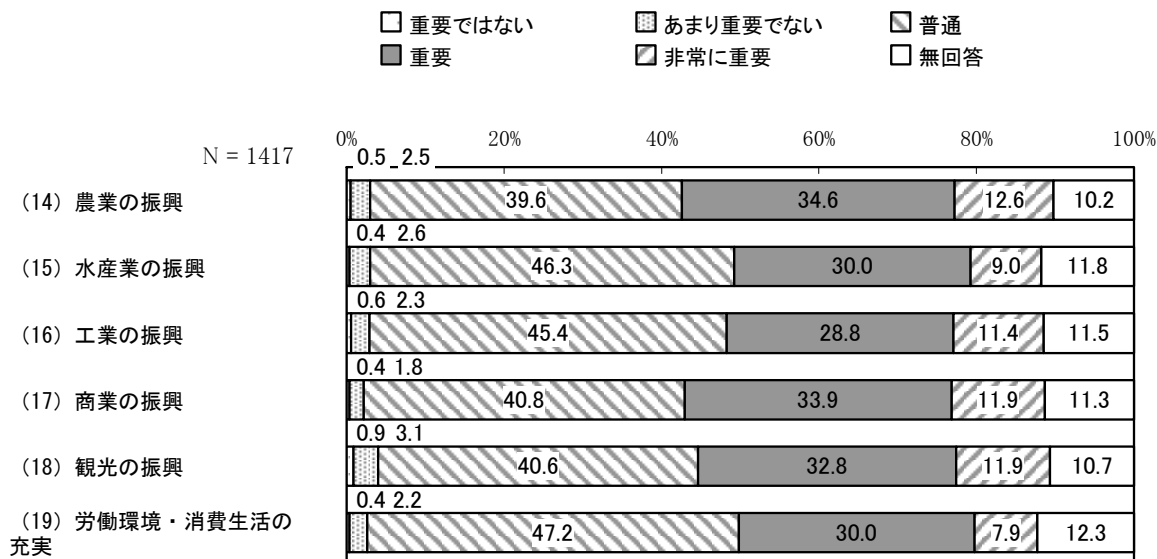
また、“不満”の割合については、(14) 農業の振興、(18) 観光の振興の割合が増加しています。

【平成 28 年度調査】

■ 満足度



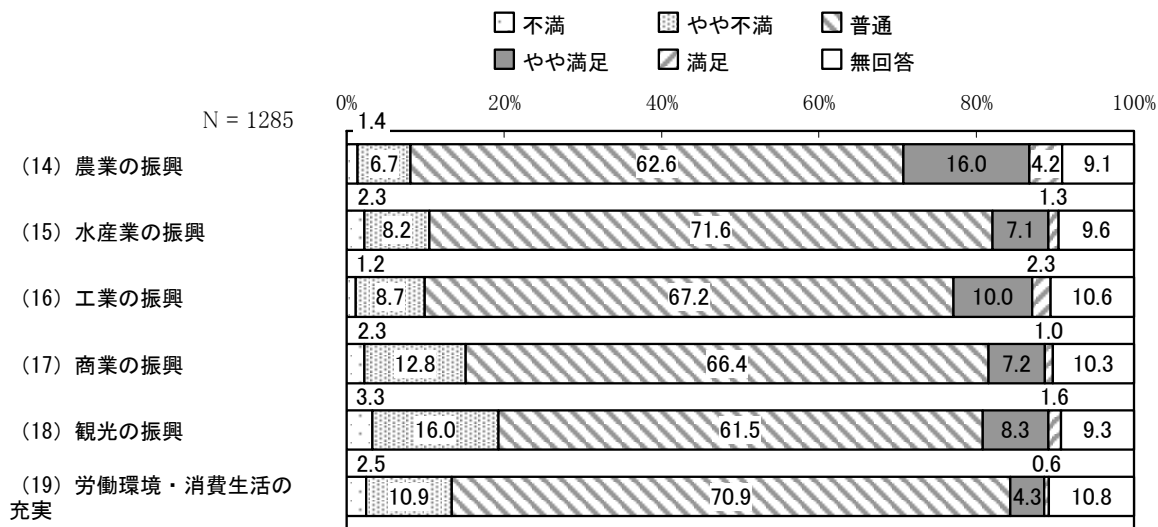
■ 重要度



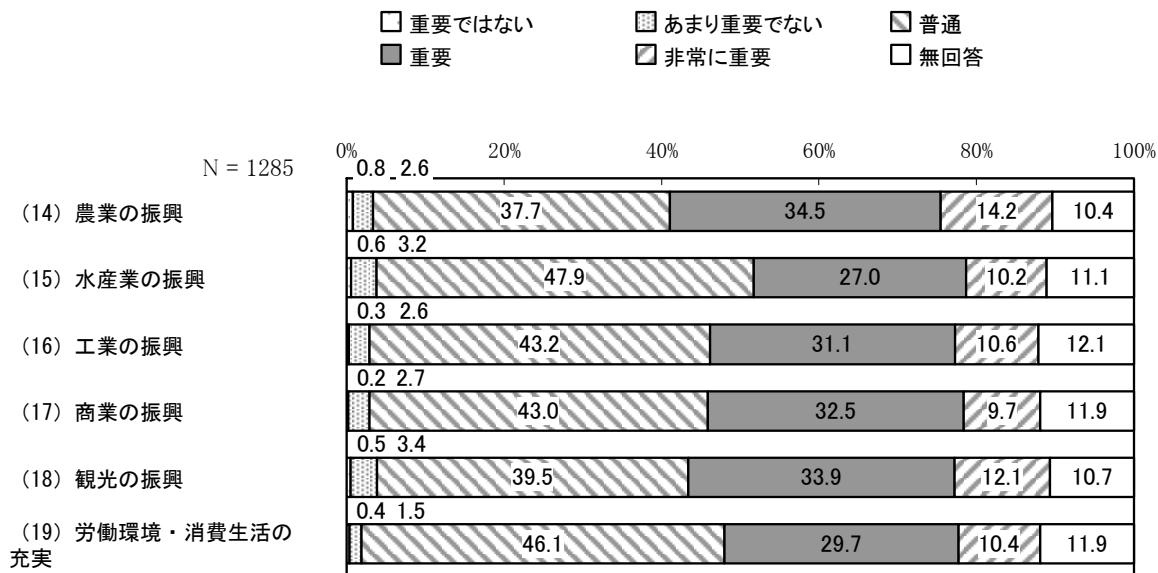
重要度について、平成 25 年度調査と比べると、“重要”の割合では、(15) 水産業の振興、(17) 商業の振興の割合が増加しています。

【平成 25 年度調査】

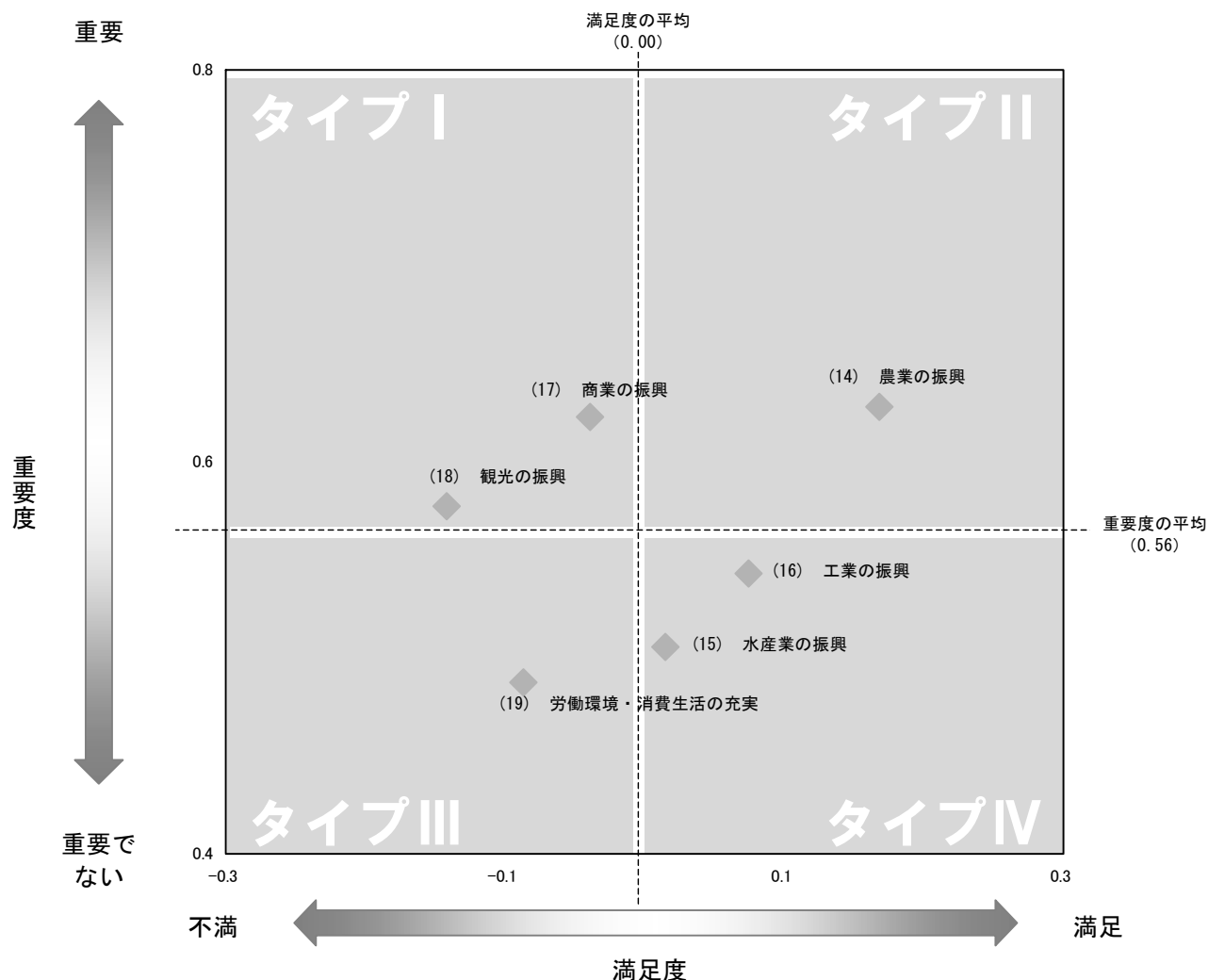
■ 満足度



■ 重要度



ポートフォリオによる産業経済分野の評価については、(17)商業の振興、(18)観光の振興が重要度が高いものの、満足度が低くなっており、事業の強化など改善が求められます。



区分	満足度			重要度		
	H22	H25	H28	H22	H25	H28
14. 農業の振興	-0.03	0.16	0.16	0.75	0.65	0.65
15. 水産業の振興	-0.07	-0.03	-0.03	0.47	0.48	0.48
16. 工業の振興	0.01	0.04	0.04	0.51	0.56	0.56
17. 商業の振興	-0.22	-0.09	-0.09	0.62	0.55	0.55
18. 観光の振興	-0.22	-0.12	-0.12	0.64	0.60	0.60
19. 労働環境・消費生活の充実	-	-0.12	-0.12	-	0.55	0.55

○上図から分析判断できる最優先課題

17. 商業の振興、18. 観光の振興

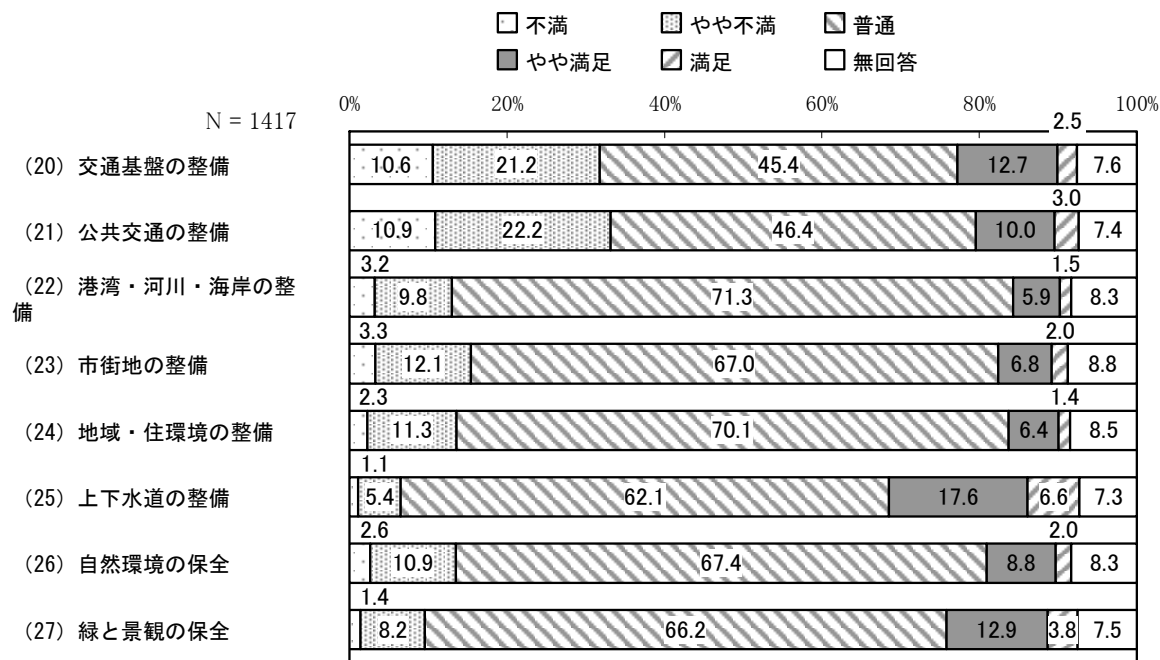
<都市整備分野>

満足度について、平成 25 年度調査と比べると、“満足”の割合では(21)公共交通の整備、(22)港湾・河川・海岸の整備を除くすべての項目が増加しています。

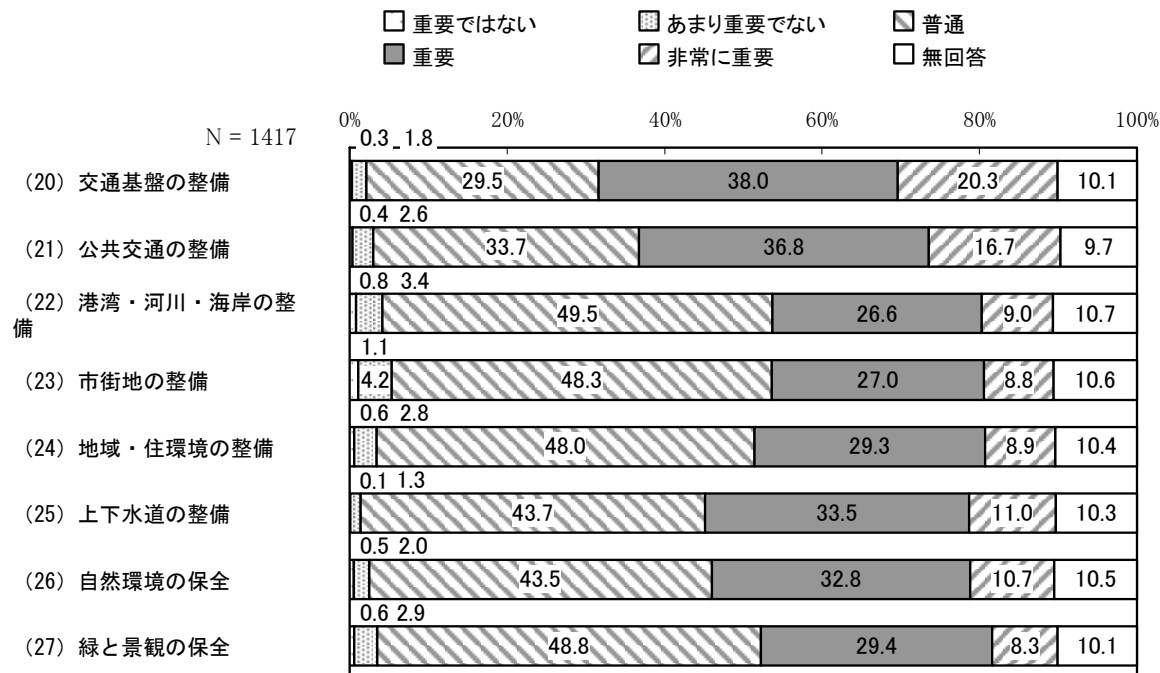
また、“不満”の割合については、(20)交通基盤の整備、(21)公共交通の整備、(23)市街地の整備、(24)地域・住環境の整備の割合が増加しています。

【平成 28 年度調査】

■満足度



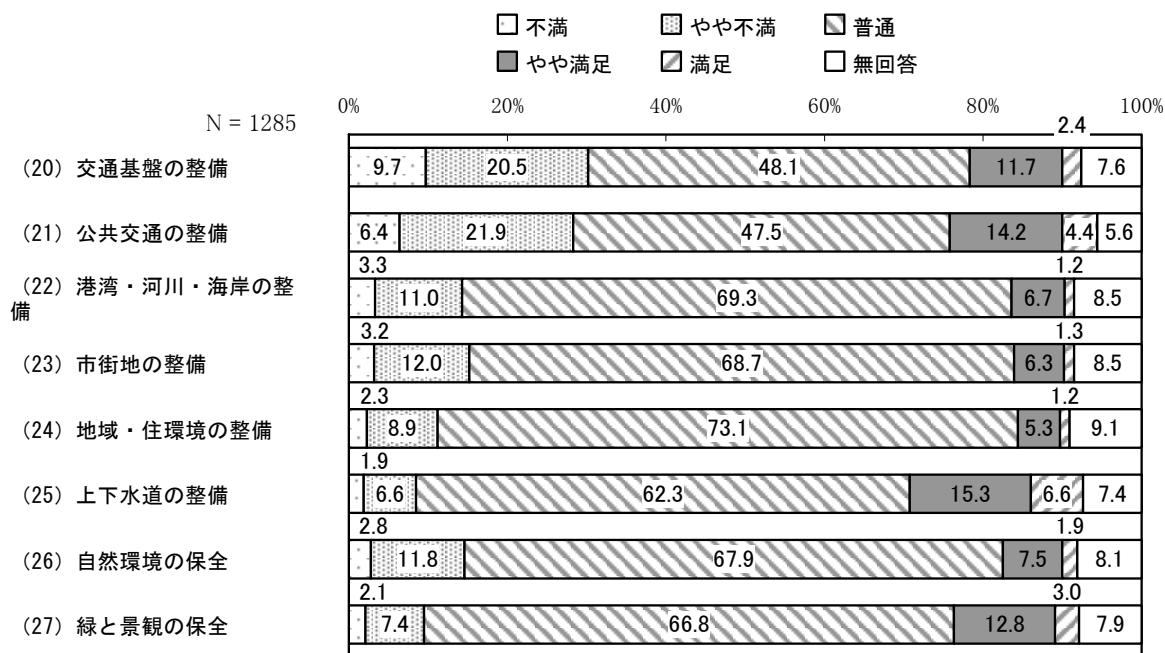
■重要度



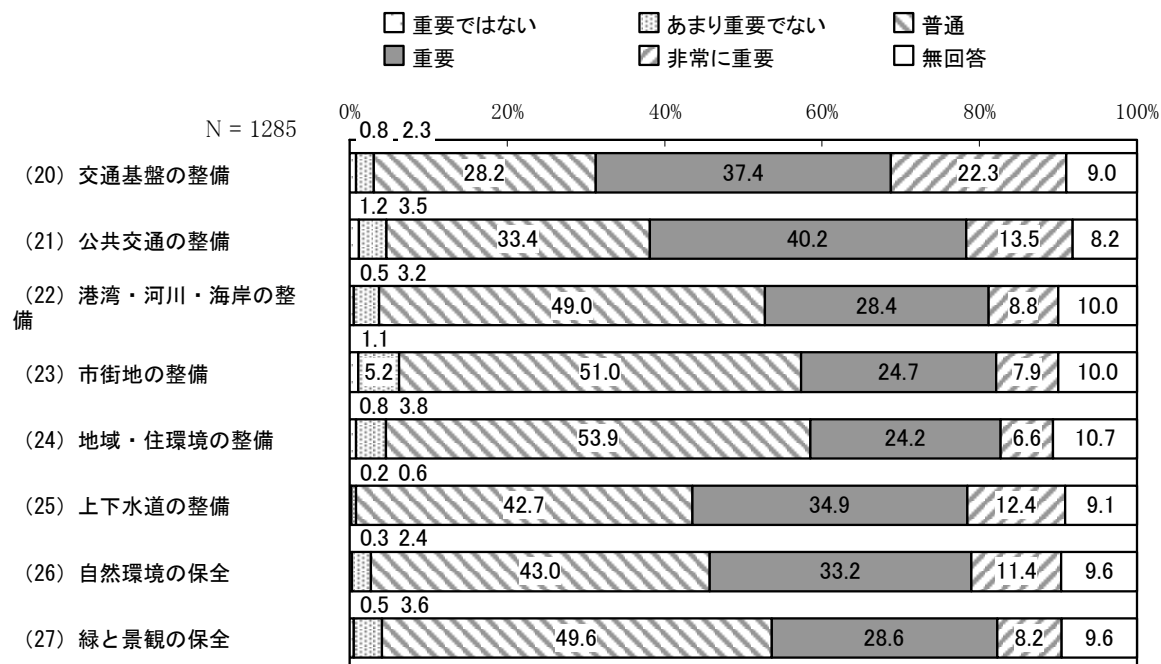
重要度について、平成 25 年度調査と比べると、“重要”の割合では、(23)市街地の整備、(24)地域・住環境の整備、(27)緑と景観の保全の振興の割合が増加しています。

【平成 25 年度調査】

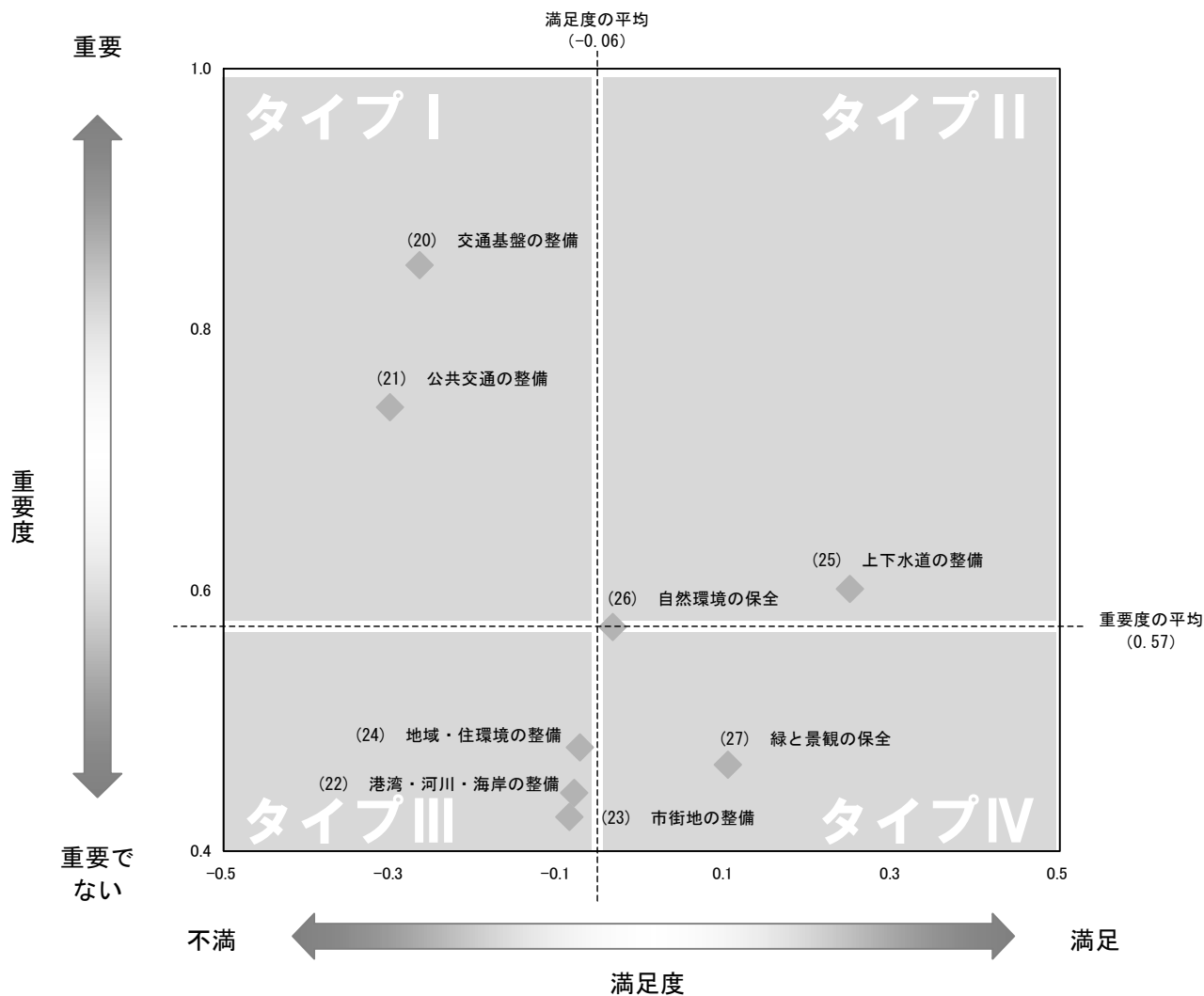
■満足度



■重要度



ポートフォリオによる都市整備分野の評価については、(20)交通基盤の整備、(21)公共交通の整備が重要度が高いものの、満足度が低く、事業の強化などが求められます。



区分	満足度			重要度		
	H22	H25	H28	H22	H25	H28
20. 交通基盤の整備	-0.32	-0.25	-0.27	0.80	0.86	0.85
21. 公共交通の整備	-	-0.12	-0.30	-	0.67	0.74
22. 港湾・河川・海岸の整備	-	-0.09	-0.08	-	0.46	0.44
23. 市街地の整備	-0.13	-0.10	-0.09	0.44	0.37	0.43
24. 地域・住環境の整備	-	-0.06	-0.07	-	0.36	0.48
25. 上下水道の整備	0.14	0.20	0.25	0.62	0.64	0.60
26. 自然環境の保全	-0.02	-0.07	-0.03	0.54	0.59	0.57
27. 緑と景観の保全	0.04	0.08	0.10	0.50	0.45	0.47

○上図から分析判断できる最優先課題

20. 交通基盤の整備、21. 公共交通の整備

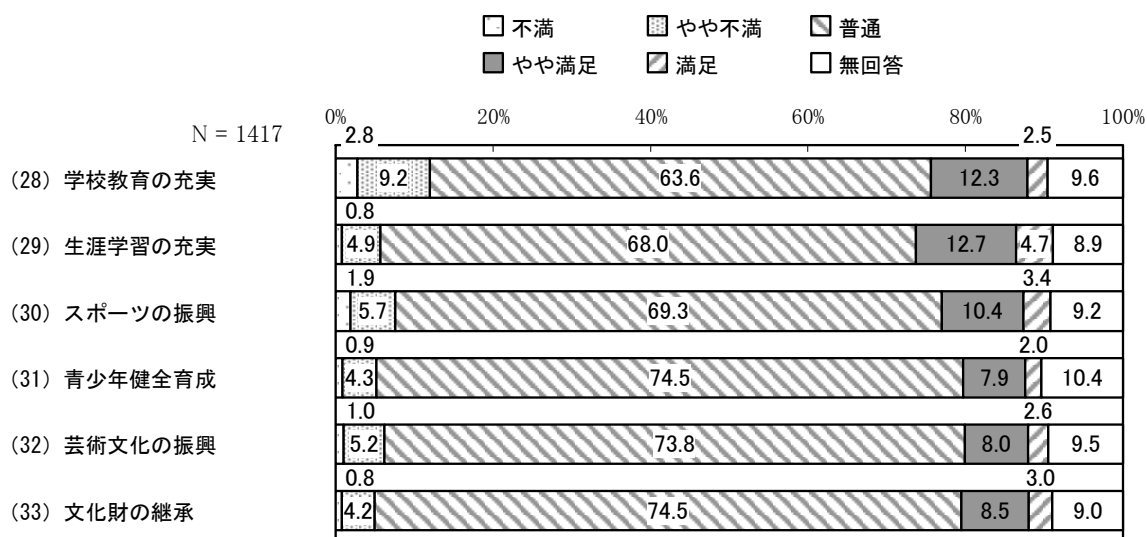
<教育文化分野>

満足度について、平成 25 年度調査と比べると、“満足”の割合ではすべての項目が減少しています。

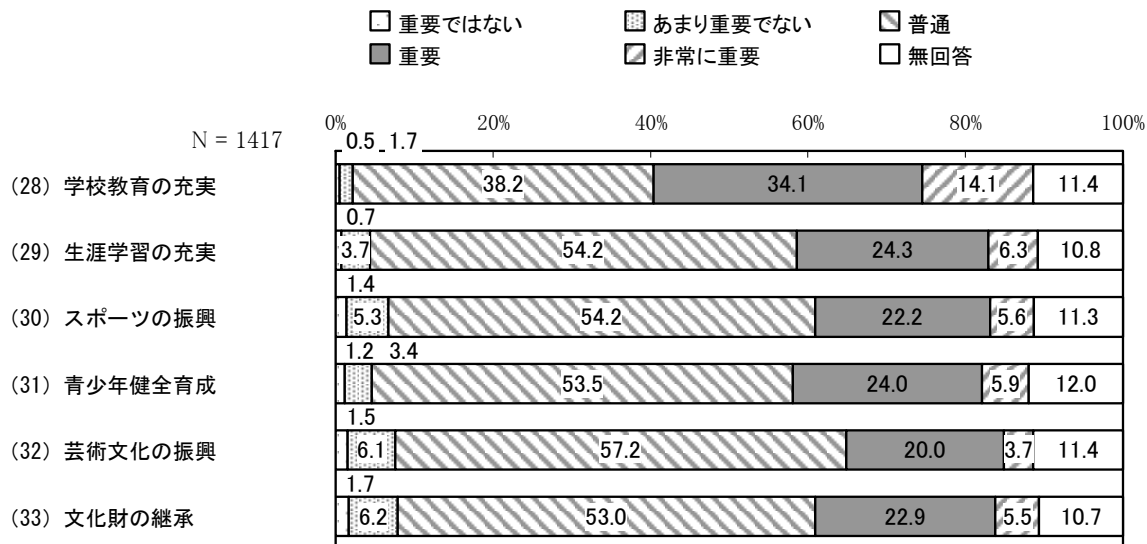
また、“不満”の割合については、(29) 生涯学習の充実、(32) 芸術文化の振興を除くすべての項目が増加しています。

【平成 28 年度調査】

■満足度



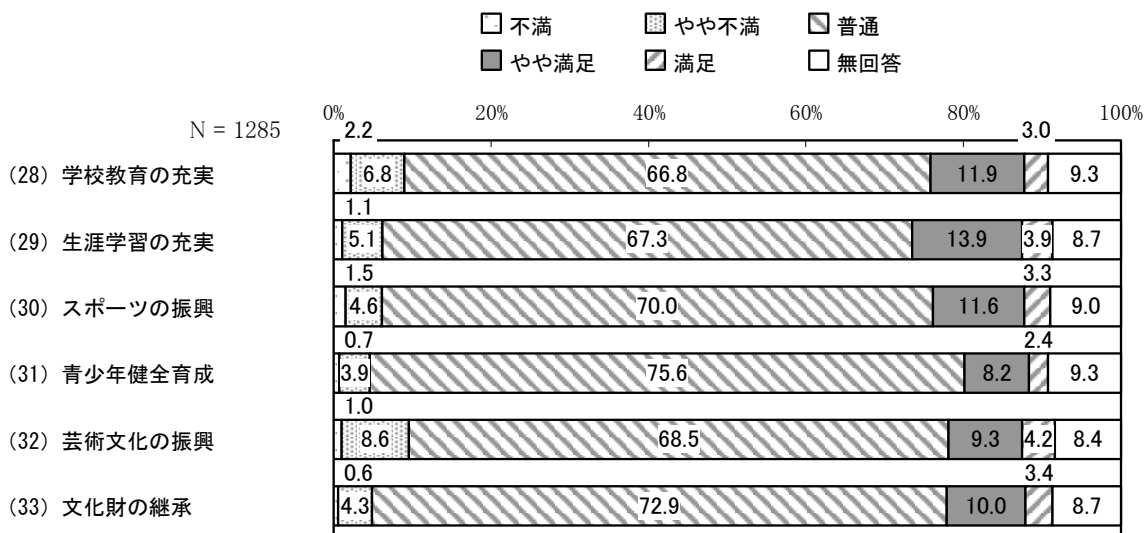
■重要度



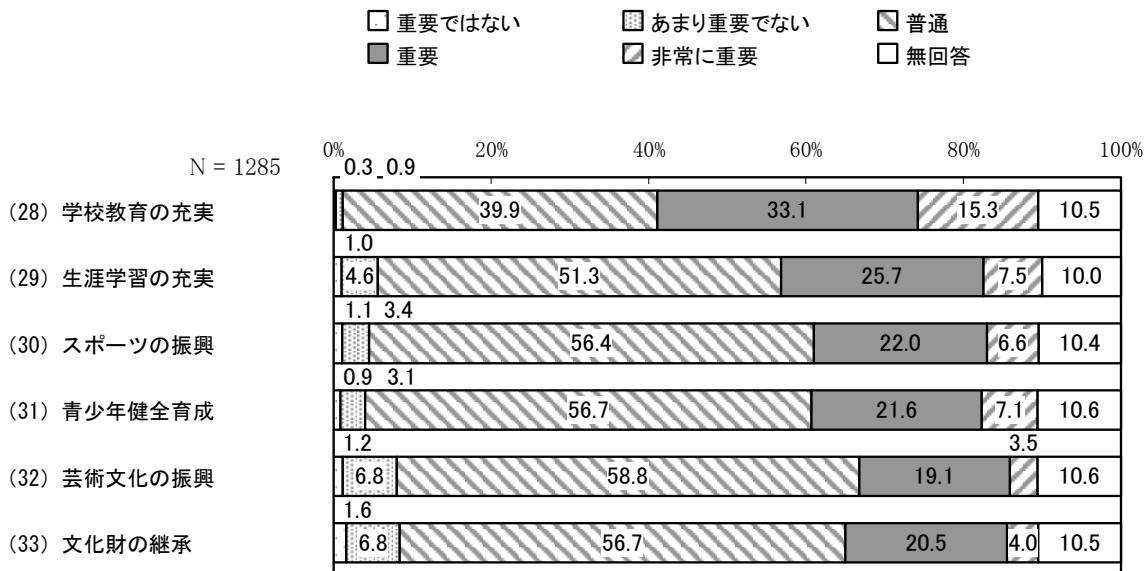
重要度について、平成 25 年度調査と比べると、“重要”の割合では、(31) 青少年健全育成、(32) 芸術文化の振興、(33) 文化財の継承の割合が増加しています。

【平成 25 年度調査】

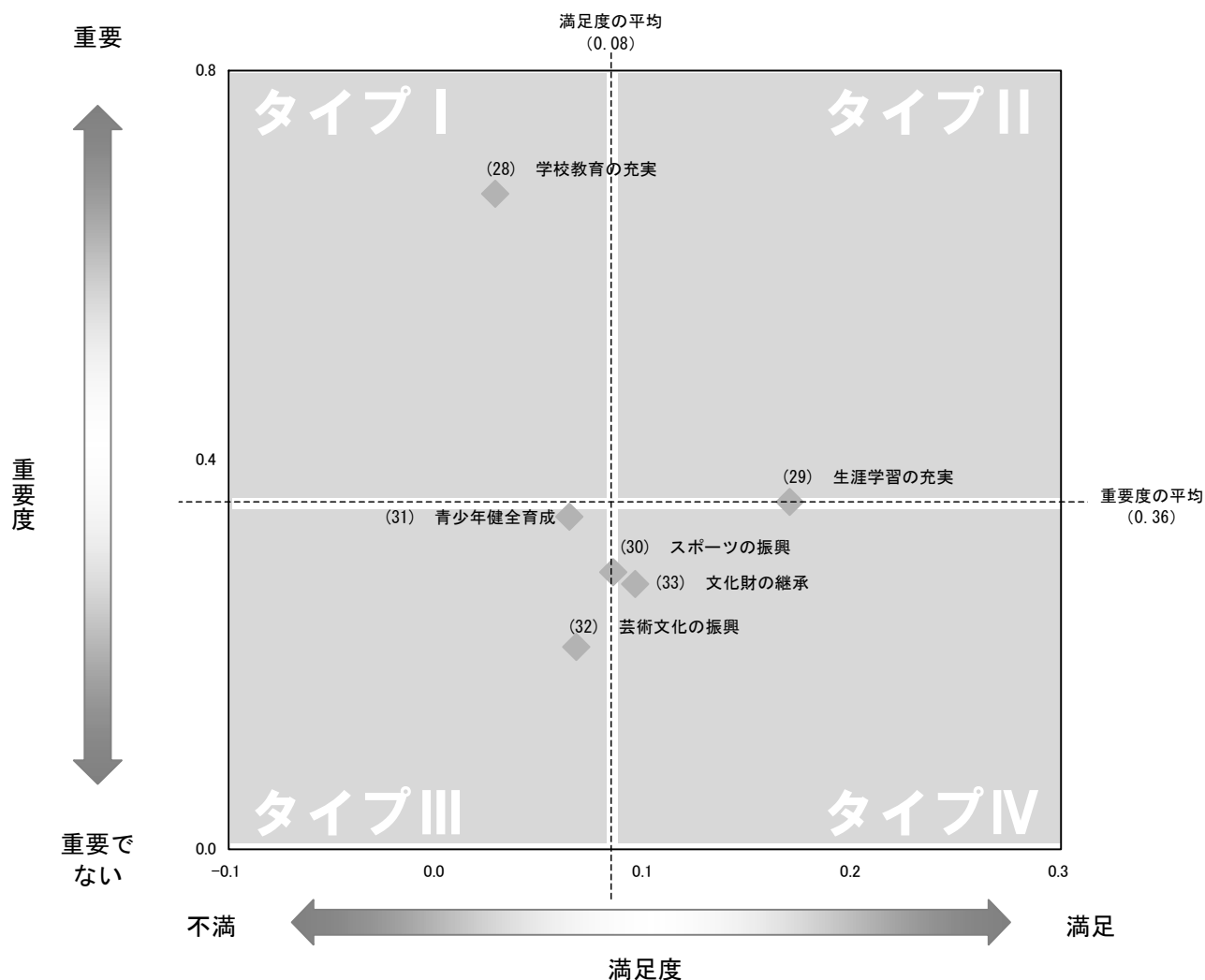
■満足度



■重要度



ポートフォリオによる教育文化分野の評価については(28)学校教育の充実が重要度が高いものの、満足度が低く、事業の強化などが求められます。



区分	満足度			重要度		
	H22	H25	H28	H22	H25	H28
28. 学校教育の充実	-0.04	0.08	0.03	0.86	0.69	0.67
29. 生涯学習の充実	0.18	0.16	0.17	0.39	0.38	0.36
30. スポーツの振興	0.08	0.12	0.08	0.27	0.33	0.28
31. 青少年健全育成	-0.09	0.08	0.06	0.67	0.35	0.34
32. 芸術文化の振興	0.05	0.08	0.07	0.15	0.19	0.21
33. 文化財の継承	0.13	0.12	0.10	0.29	0.21	0.27

○上図から分析判断できる最優先課題

28. 学校教育の充実

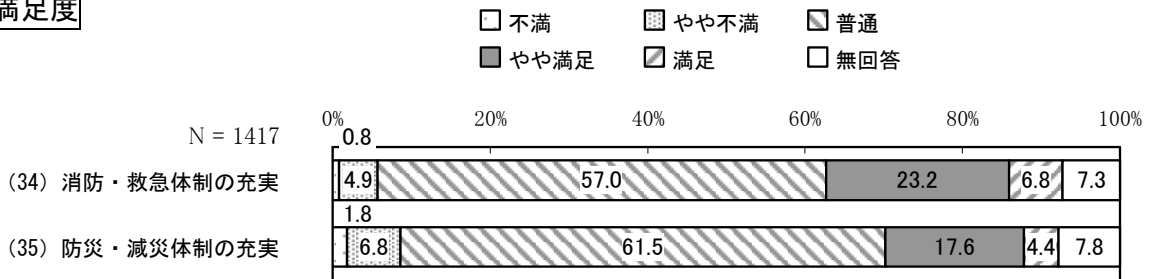
<消防防災分野>

満足度について、平成 25 年度調査と比べると、“満足”の割合ではすべての項目で増加しています。また、“不満”の割合については、(34) 消防・救急体制の充実が増加しています。

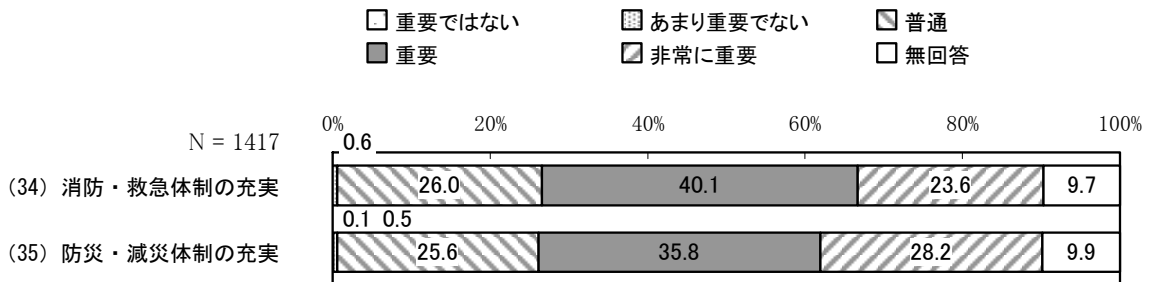
重要度について、平成 25 年度調査と比べると、“重要”の割合でも、(34) 消防・救急体制の充実の割合が増加しています。

【平成 28 年度調査】

■満足度

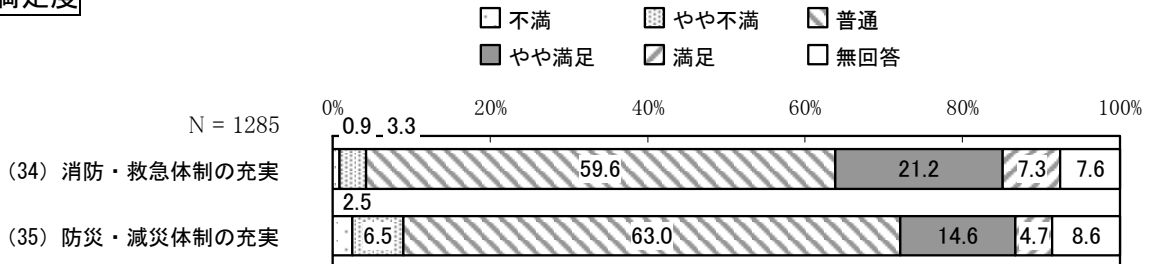


■重要度

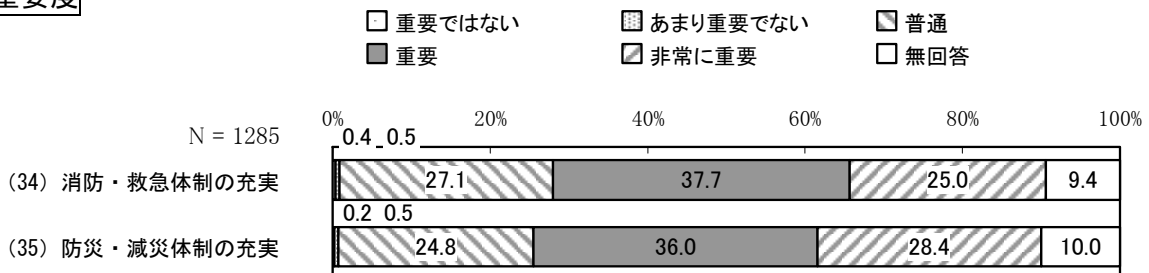


【平成 25 年度調査】

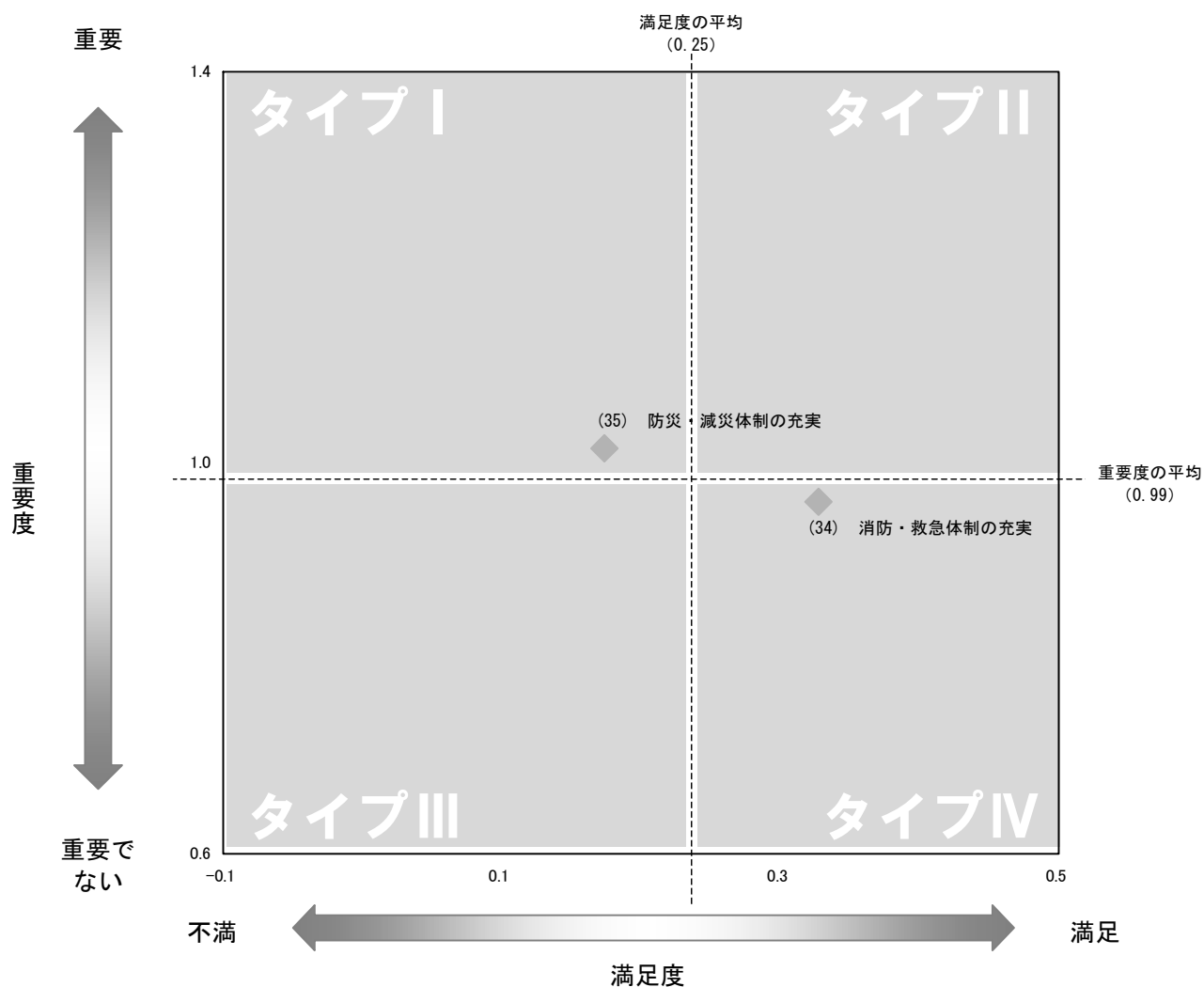
■満足度



■重要度



ポートフォリオによる消防防災分野の評価については(35)防災・減災体制の充実が重要度が高いものの、満足度が低く、事業の強化などが求められます。



区分	満足度			重要度		
	H22	H25	H28	H22	H25	H28
34. 消防・救急体制の充実	0.39	0.33	0.33	1.22	0.95	0.96
35. 防災・減災体制の充実	0.08	0.14	0.17	1.17	1.02	1.01

○上図から分析判断できる最優先課題

35. 防災・減災体制の充実

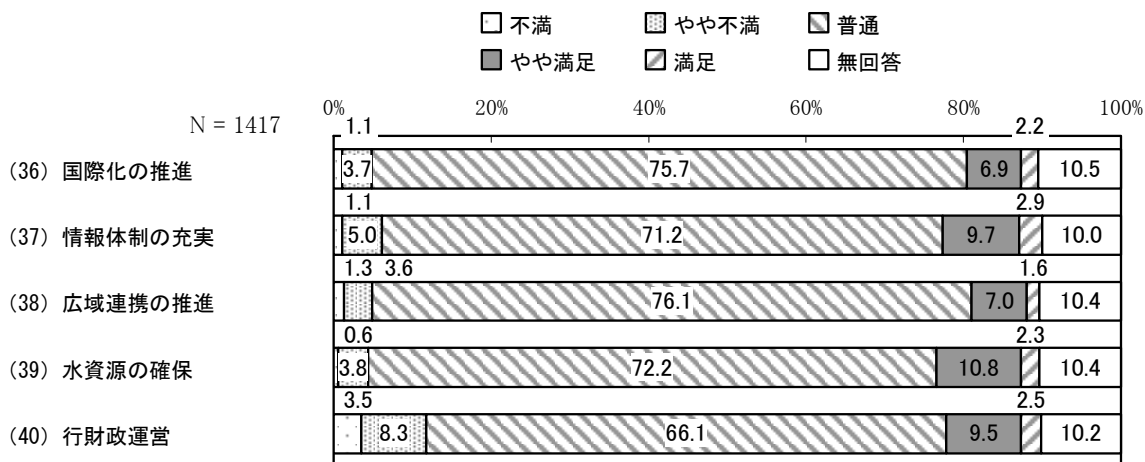
<行財政分野>

満足度について、平成 25 年度調査と比べると、“満足”の割合ではすべての項目で増加しています。

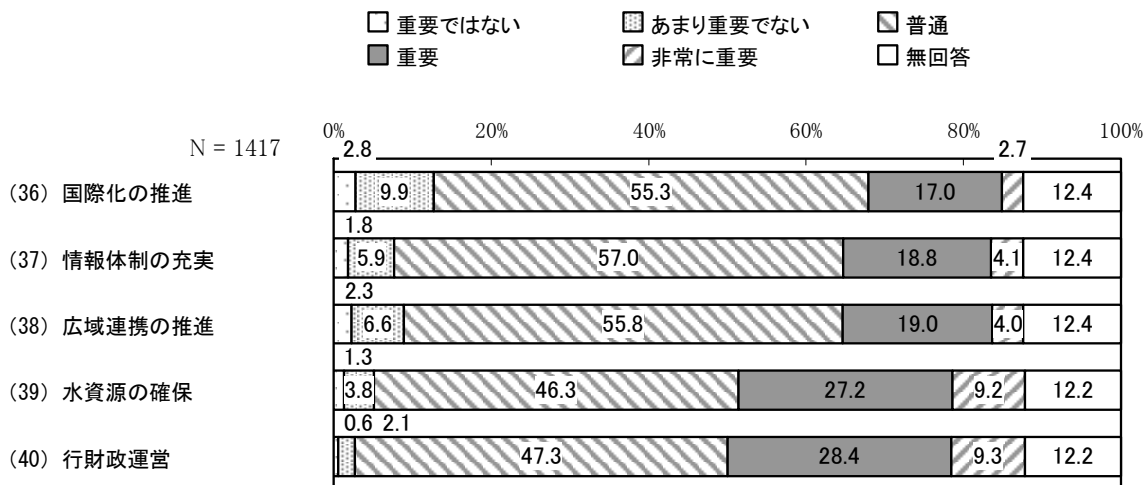
また、“不満”の割合については、(39) 水資源の確保を除くすべての項目で増加しています。

【平成 28 年度調査】

■ 満足度



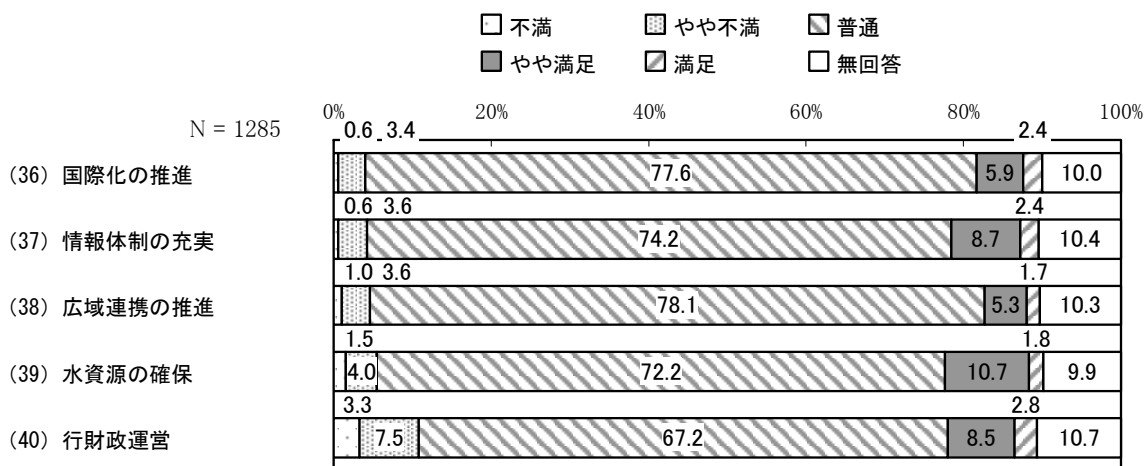
■ 重要度



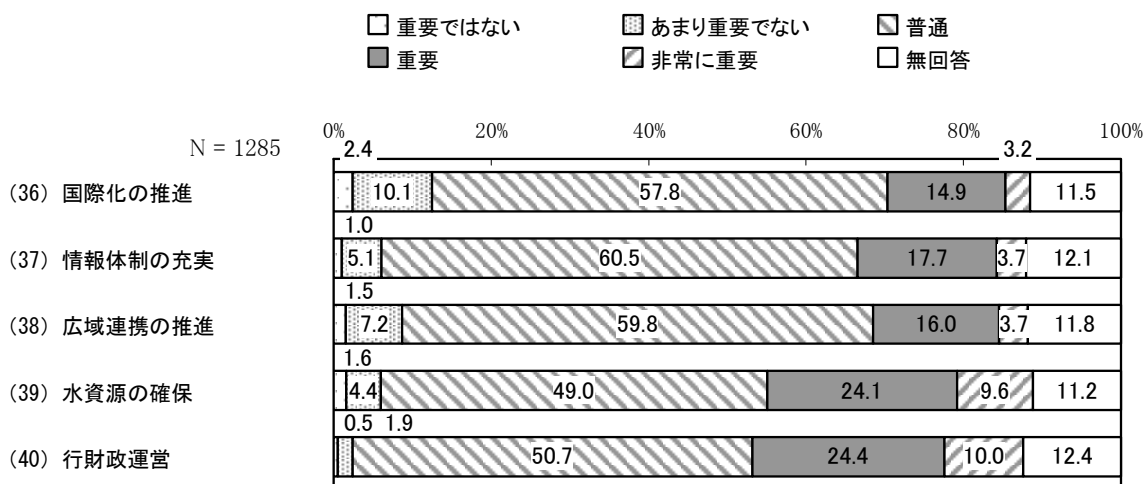
重要度について、平成 25 年度調査と比べると、“重要”の割合では、すべての項目で増加しています。

【平成 25 年度調査】

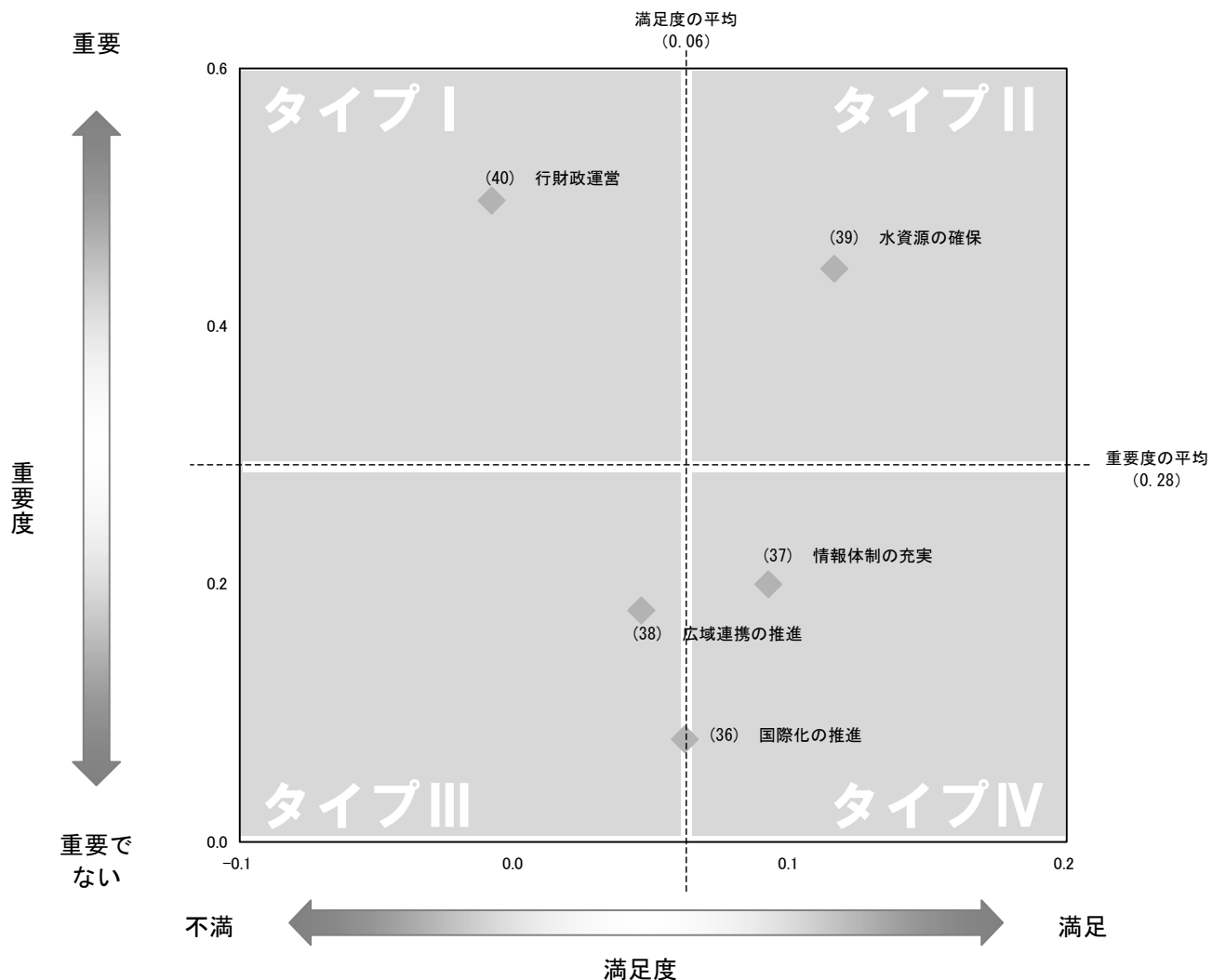
■ 満足度



■ 重要度



ポートフォリオによる行財政分野の評価については(40)行財政運営が重要度が最も高いと同時に、最も満足度が低く、事業の強化などが求められます。



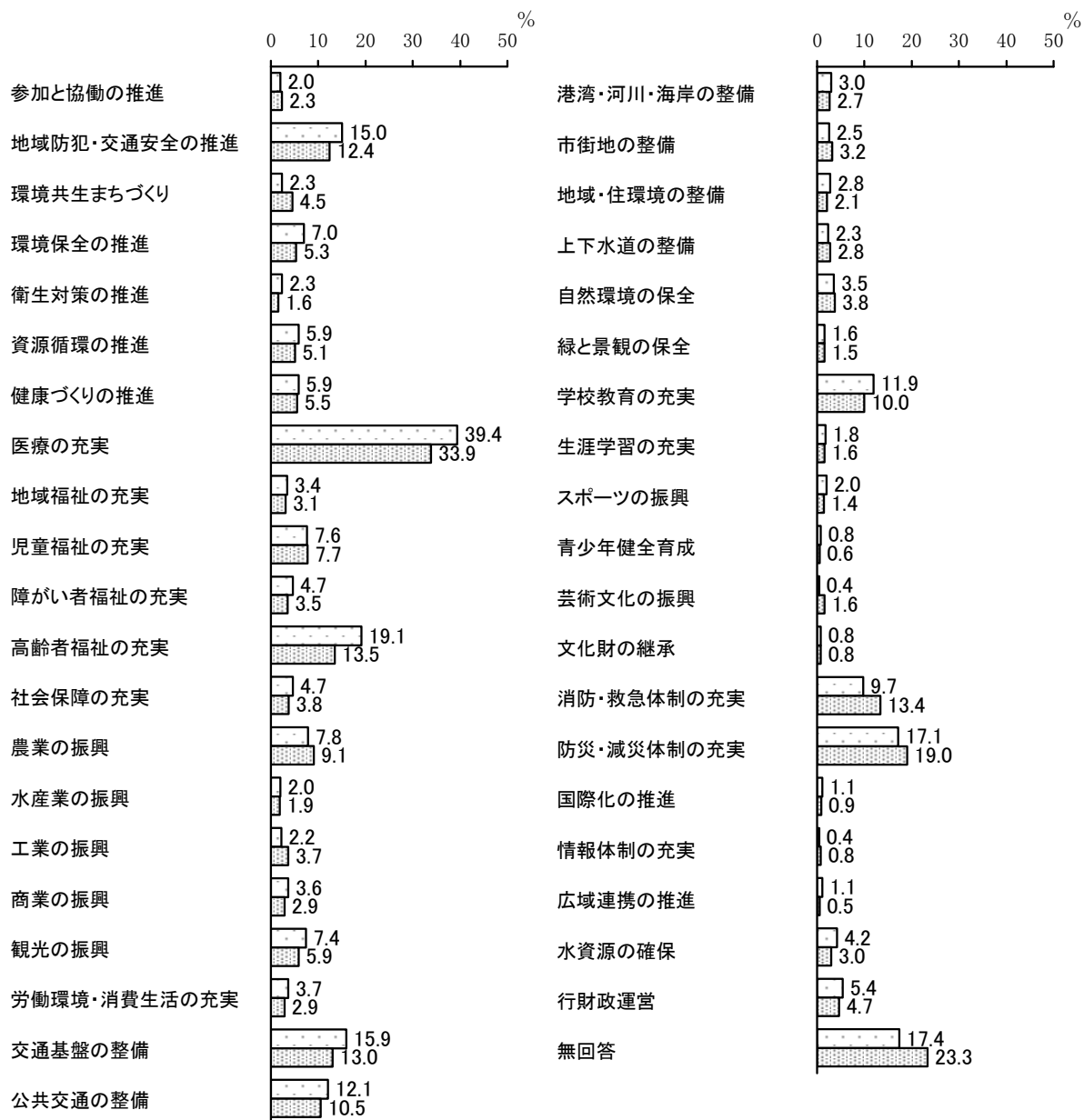
区分	満足度			重要度		
	H22	H25	H28	H22	H25	H28
36. 国際化の推進	-0.04	0.07	0.06	0.09	0.07	0.08
37. 情報体制の充実	-0.06	0.10	0.09	0.48	0.20	0.20
38. 広域連携の推進	-0.07	0.03	0.05	0.19	0.15	0.18
39. 水資源の確保	0.30	0.08	0.12	0.88	0.40	0.44
40. 行財政運営	-0.14	0.00	-0.01	0.74	0.47	0.50

○上図から分析判断できる最優先課題

40. 行財政運営

問14 問13の(1)～(40)の施策のうち、あなたが特に重要だと思う施策の番号を3つご記入ください。

平成25年度調査と比べると「医療の充実」「高齢者福祉の充実」の割合が5ポイント以上増加しています。



□ 平成28年度調査 (N = 1417)
 ■ 平成25年度調査 (N = 1285)

【性別】

性別で見ると、男女とも「医療の充実」の割合が最も高くなっています。

また、男性は「交通基盤の整備」の割合が高く、女性は「高齢者福祉の充実」「防災・減災体制の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	参加と協働の推進	地域防犯・交通安全の推進	環境共生まちづくり	環境保全の推進	衛生対策の推進	資源循環の推進	健康づくりの推進	医療の充実	地域福祉の充実	児童福祉の充実	障がい者福祉の充実	高齢者福祉の充実	社会保障の充実
男性	630	1.7	15.7	2.4	7.1	3.0	5.4	3.8	36.3	3.8	6.3	4.3	15.7	5.7
女性	752	2.0	14.8	2.0	6.8	1.7	6.5	7.8	43.0	2.9	9.0	5.1	22.5	3.7

区分	農業の振興	水産業の振興	工業の振興	商業の振興	観光の振興	労働環境・消費生活の充実	交通基盤の整備	公共交通の整備	整備 港湾・河川・海岸の	市街地の整備	地域・住環境の整備	上下水道の整備	自然環境の保全	緑と景観の保全
男性	9.2	2.1	3.3	4.3	7.3	4.8	23.0	12.2	4.0	3.7	3.2	2.7	3.3	1.6
女性	6.9	1.9	1.3	3.1	7.7	2.8	9.8	12.5	2.0	1.6	2.5	2.0	3.9	1.6

区分	学校教育の充実	生涯学習の充実	スポーツの振興	青少年健全育成	芸術文化の振興	文化財の継承	実 消防・救急体制の充	実 防災・減災体制の充	国際化の推進	情報体制の充実	広域連携の推進	水資源の確保	行財政運営	無回答
男性	10.0	1.3	3.2	1.0	0.2	1.0	10.6	14.4	1.6	0.3	1.6	6.8	6.3	14.8
女性	13.3	2.3	1.2	0.8	0.7	0.5	9.4	20.1	0.7	0.4	0.7	2.1	4.7	18.0

【年齢別】

年齢別でみると、70歳代を除く全ての年代で「医療の充実」の割合が最も高くなっています。

また、30歳代で「地域防犯・交通安全の推進」「児童福祉の充実」「学校教育の充実」の割合が、他の年代に比べ高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	参加と協働の推進	地域防犯・交通安全の推進	環境共生まちづくり	環境保全の推進	衛生対策の推進	資源循環の推進	健康づくりの推進	医療の充実	地域福祉の充実	児童福祉の充実	障がい者福祉の充実	高齢者福祉の充実	社会保障の充実
20歳代	126	5.6	15.9	2.4	4.0	0.8	4.0	13.5	37.3	4.8	11.9	4.8	11.9	4.8
30歳代	174	1.7	23.6	1.1	2.9	0.6	4.0	11.5	50.6	2.9	24.7	4.0	9.2	2.9
40歳代	209	1.4	17.7	3.3	7.7	2.4	6.7	4.3	53.6	1.0	8.1	6.7	18.7	2.4
50歳代	217	1.4	13.4	1.4	8.8	2.3	7.4	4.1	40.1	5.1	4.1	4.6	17.1	5.5
60歳代	332	2.1	14.2	2.4	8.7	3.3	6.9	5.1	42.2	2.7	4.8	4.2	27.7	7.2
70歳以上	337	1.5	10.7	2.4	7.1	2.7	5.0	3.3	23.1	4.2	2.4	4.5	20.2	3.6

区分	農業の振興	水産業の振興	工業の振興	商業の振興	観光の振興	労働環境・消費生活の充実	交通基盤の整備	公共交通の整備	整備 港湾・河川・海岸の	市街地の整備	地域・住環境の整備	上下水道の整備	自然環境の保全	緑と景観の保全
20歳代	7.9	0.8	3.2	5.6	14.3	2.4	20.6	18.3	0.8	6.3	4.8	—	6.3	4.8
30歳代	13.8	1.7	2.3	1.7	11.5	4.6	20.7	13.8	2.3	4.0	2.3	1.7	4.0	3.4
40歳代	7.7	2.9	2.9	4.8	6.7	2.9	17.7	23.0	2.9	1.9	4.8	2.9	0.5	1.0
50歳代	9.7	1.8	3.2	3.7	9.7	5.5	18.0	11.1	4.1	2.8	3.2	1.8	3.7	0.9
60歳代	6.9	2.1	2.1	2.7	6.3	4.2	16.6	9.0	3.3	2.1	2.4	2.7	4.8	0.9
70歳以上	4.7	2.1	0.9	4.2	3.3	2.4	9.2	6.5	2.7	0.6	1.2	3.0	3.0	0.9

区分	学校教育の充実	生涯学習の充実	スポーツの振興	青少年健全育成	芸術文化の振興	文化財の継承	消防・救急体制の充実	防災・減災体制の充実	国際化の推進	情報体制の充実	広域連携の推進	水資源の確保	行財政運営	無回答
20歳代	11.1	—	5.6	—	1.6	2.4	7.1	18.3	1.6	0.8	1.6	1.6	4.8	8.7
30歳代	22.4	1.7	2.9	0.6	0.6	1.1	4.0	16.7	0.6	—	—	2.3	2.9	5.2
40歳代	19.1	1.4	1.0	0.5	0.5	—	11.5	24.9	0.5	—	0.5	1.9	7.2	4.3
50歳代	15.2	2.3	2.8	1.4	—	0.5	13.4	23.0	0.9	—	1.8	4.1	6.0	10.6
60歳代	8.7	2.4	1.5	1.5	0.6	0.6	12.7	16.0	2.1	0.6	0.9	6.3	4.8	14.2
70歳以上	3.3	1.8	0.9	0.6	—	0.6	8.0	9.8	0.3	0.6	1.8	5.6	5.9	40.9

【地区別】

地区別でみると、伊良湖岬（伊良湖）を除くすべての地区で「医療の充実」の割合が最も高くなっています。

また、伊良湖岬(伊良湖)で「交通基盤の整備」の割合が高く、3割を超えています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	参加と協働の推進	地域防犯・交通安全の推進	環境共生まちづくり	環境保全の推進	衛生対策の推進	資源循環の推進	健康づくりの推進	医療の充実	地域福祉の充実	児童福祉の充実	障がい者福祉の充実	高齢者福祉の充実	社会保障の充実
六連	39	5.1	12.8	—	5.1	5.1	7.7	7.7	28.2	—	5.1	2.6	15.4	—
神戸	128	0.8	8.6	1.6	7.0	2.3	7.8	7.8	48.4	3.1	5.5	4.7	21.1	7.0
大草	31	—	16.1	3.2	3.2	3.2	3.2	9.7	48.4	—	6.5	—	16.1	3.2
田原東部	105	2.9	21.9	7.6	6.7	—	7.6	5.7	35.2	1.9	13.3	8.6	19.0	4.8
田原南部	41	2.4	12.2	2.4	2.4	—	7.3	9.8	53.7	7.3	29.3	4.9	19.5	2.4
童浦	114	0.9	22.8	4.4	5.3	1.8	8.8	7.9	40.4	2.6	7.0	2.6	17.5	7.9
田原中部	127	0.8	15.7	0.8	8.7	3.1	3.1	6.3	43.3	3.1	8.7	4.7	19.7	3.9
衣笠	111	3.6	13.5	0.9	8.1	4.5	7.2	4.5	36.9	2.7	4.5	4.5	20.7	9.0
野田	73	1.4	16.4	—	11.0	2.7	4.1	4.1	28.8	1.4	5.5	9.6	26.0	2.7
高松	38	2.6	15.8	2.6	2.6	5.3	5.3	7.9	50.0	10.5	15.8	2.6	15.8	2.6
赤羽根	46	2.2	17.4	—	2.2	—	—	4.3	37.0	2.2	2.2	2.2	8.7	4.3
若戸	36	—	13.9	2.8	5.6	5.6	5.6	2.8	50.0	5.6	11.1	8.3	11.1	—
伊良湖岬(和地)	37	—	5.4	—	8.1	—	2.7	8.1	35.1	8.1	5.4	2.7	18.9	2.7
伊良湖岬(堀切)	50	2.0	20.0	4.0	6.0	2.0	4.0	2.0	40.0	2.0	4.0	4.0	24.0	—
伊良湖岬(伊良湖)	18	—	11.1	5.6	11.1	—	—	—	22.2	—	—	5.6	—	—
亀山	24	—	16.7	—	12.5	4.2	12.5	12.5	45.8	4.2	8.3	4.2	16.7	4.2
中山	98	2.0	11.2	3.1	13.3	2.0	4.1	2.0	30.6	1.0	4.1	3.1	16.3	4.1
福江	103	1.0	14.6	1.9	8.7	2.9	6.8	8.7	41.7	2.9	6.8	4.9	22.3	1.0
清田	67	4.5	13.4	1.5	4.5	—	10.4	3.0	43.3	7.5	9.0	7.5	34.3	7.5
泉	90	4.4	18.9	1.1	4.4	2.2	5.6	6.7	35.6	5.6	10.0	3.3	15.6	5.6

(つづき)

単位：%

区分	農業の振興	水産業の振興	工業の振興	商業の振興	観光の振興	労働環境・消費生活の充実	交通基盤の整備	公共交通の整備	港湾・河川・海岸の整備	市街地の整備	地域・住環境の整備	上下水道の整備	自然環境の保全	緑と景観の保全
六連	10.3	2.6	5.1	—	7.7	—	20.5	12.8	5.1	—	10.3	5.1	5.1	2.6
神戸	6.3	—	1.6	3.1	6.3	3.9	14.1	14.1	5.5	1.6	0.8	1.6	2.3	0.8
大草	6.5	—	6.5	—	12.9	6.5	25.8	29.0	—	3.2	6.5	6.5	—	3.2
田原東部	7.6	1.9	1.9	2.9	8.6	3.8	13.3	10.5	2.9	1.0	5.7	4.8	3.8	1.0
田原南部	9.8	2.4	2.4	4.9	4.9	2.4	14.6	12.2	—	—	—	2.4	2.4	2.4
童浦	7.0	0.9	2.6	0.9	1.8	5.3	21.1	10.5	3.5	5.3	3.5	2.6	3.5	0.9
田原中部	4.7	1.6	3.9	6.3	7.9	4.7	9.4	10.2	2.4	1.6	1.6	2.4	0.8	1.6
衣笠	2.7	0.9	4.5	6.3	9.9	2.7	11.7	7.2	1.8	0.9	4.5	1.8	0.9	2.7
野田	6.8	—	—	1.4	5.5	2.7	8.2	13.7	1.4	1.4	1.4	—	6.8	1.4
高松	5.3	2.6	—	5.3	7.9	2.6	21.1	7.9	2.6	5.3	2.6	—	2.6	5.3
赤羽根	8.7	4.3	—	4.3	8.7	2.2	10.9	21.7	—	10.9	2.2	4.3	2.2	—
若戸	16.7	—	—	—	11.1	—	19.4	22.2	—	2.8	2.8	—	5.6	—
伊良湖岬(和地)	10.8	—	2.7	—	8.1	—	8.1	10.8	—	5.4	—	2.7	8.1	2.7
伊良湖岬(堀切)	8.0	—	4.0	6.0	6.0	4.0	18.0	20.0	—	2.0	4.0	2.0	4.0	—
伊良湖岬(伊良湖)	5.6	—	—	—	5.6	11.1	38.9	5.6	5.6	—	—	—	5.6	5.6
亀山	16.7	4.2	4.2	—	4.2	—	16.7	8.3	4.2	4.2	8.3	—	—	—
中山	11.2	4.1	—	—	9.2	6.1	19.4	5.1	4.1	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
福江	8.7	7.8	1.9	7.8	14.6	1.9	20.4	11.7	2.9	2.9	1.0	2.9	2.9	—
清田	13.4	3.0	3.0	6.0	4.5	4.5	14.9	14.9	3.0	3.0	3.0	3.0	9.0	1.5
泉	8.9	2.2	1.1	3.3	5.6	6.7	20.0	11.1	6.7	1.1	1.1	—	5.6	2.2

II 田原市市民意識調査

(つづき)

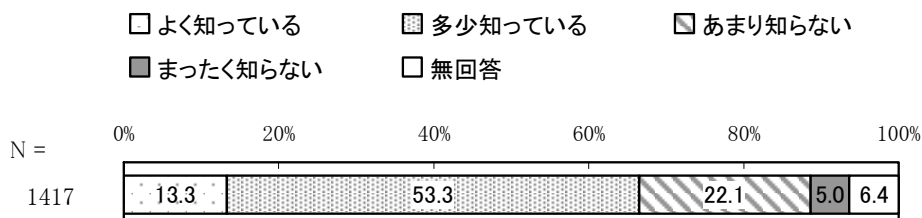
単位：%

区分	学校教育の充実	生涯学習の充実	スポーツの振興	青少年健全育成	芸術文化の振興	文化財の継承	消防・救急体制の充実	防災・減災体制の充実	国際化の推進	情報体制の充実	広域連携の推進	水資源の確保	行財政運営	無回答
六連	7.7	5.1	2.6	2.6	—	—	7.7	17.9	—	—	—	2.6	2.6	23.1
神戸	10.2	2.3	0.8	1.6	1.6	—	10.2	25.0	1.6	0.8	—	4.7	5.5	15.6
大草	16.1	3.2	3.2	—	—	—	12.9	—	3.2	3.2	3.2	—	6.5	9.7
田原東部	10.5	2.9	2.9	1.9	—	1.0	7.6	16.2	—	—	1.0	2.9	1.9	15.2
田原南部	12.2	2.4	—	—	—	—	4.9	12.2	—	—	—	2.4	4.9	14.6
童浦	14.9	—	2.6	—	0.9	2.6	14.0	25.4	—	0.9	0.9	6.1	7.0	7.9
田原中部	11.0	1.6	0.8	—	0.8	0.8	7.9	15.7	0.8	—	1.6	5.5	7.9	20.5
衣笠	10.8	2.7	1.8	0.9	—	1.8	10.8	23.4	2.7	—	0.9	1.8	9.9	17.1
野田	11.0	1.4	4.1	4.1	—	—	24.7	16.4	—	—	2.7	2.7	5.5	20.5
高松	23.7	—	2.6	—	—	—	5.3	7.9	—	—	—	7.9	7.9	10.5
赤羽根	13.0	4.3	4.3	2.2	2.2	—	4.3	17.4	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	26.1
若戸	13.9	2.8	2.8	—	—	—	11.1	16.7	5.6	—	—	—	2.8	13.9
伊良湖岬(和地)	8.1	2.7	—	—	—	—	10.8	16.2	—	—	—	2.7	5.4	32.4
伊良湖岬(堀切)	14.0	—	6.0	—	—	—	8.0	18.0	2.0	—	6.0	8.0	10.0	10.0
伊良湖岬(伊良湖)	11.1	—	—	—	—	—	16.7	5.6	5.6	—	5.6	16.7	—	33.3
亀山	25.0	—	—	—	—	—	8.3	12.5	—	—	—	4.2	—	12.5
中山	14.3	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	12.2	19.4	1.0	—	—	3.1	3.1	23.5
福江	11.7	—	1.0	—	—	—	7.8	17.5	—	—	1.0	3.9	3.9	13.6
清田	3.0	—	1.5	—	—	—	4.5	11.9	1.5	—	—	4.5	6.0	10.4
泉	13.3	3.3	1.1	—	—	1.1	6.7	10.0	—	1.1	—	4.4	4.4	20.0

5 地震対策について

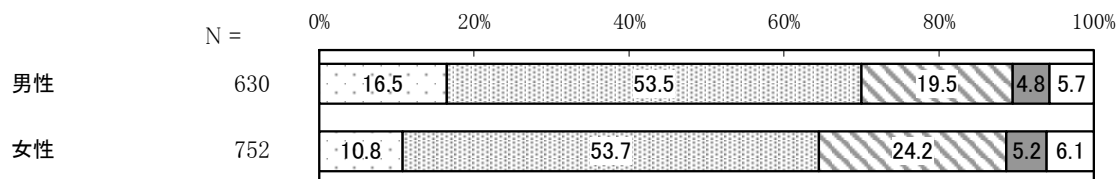
問 15 南海トラフ地震が起きたときの田原市の想定震度や被害想定をご存知ですか。

「よく知っている」と「多少知っている」をあわせた“知っている”の割合が 66.6%、「あまり知らない」と「まったく知らない」をあわせた“知らない”の割合が 27.1% となっています。



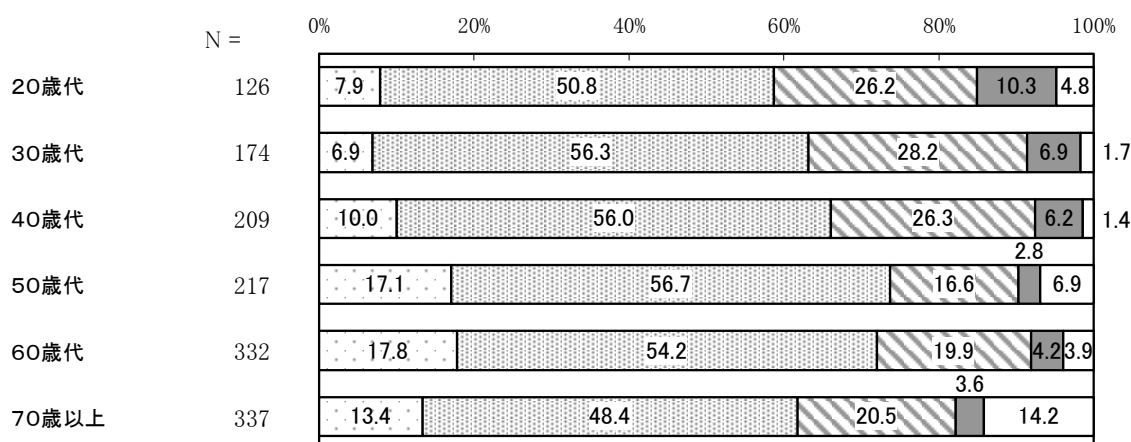
【性別】

性別で見ると、女性で“知らない”の割合が高く、約 3 割となっています。



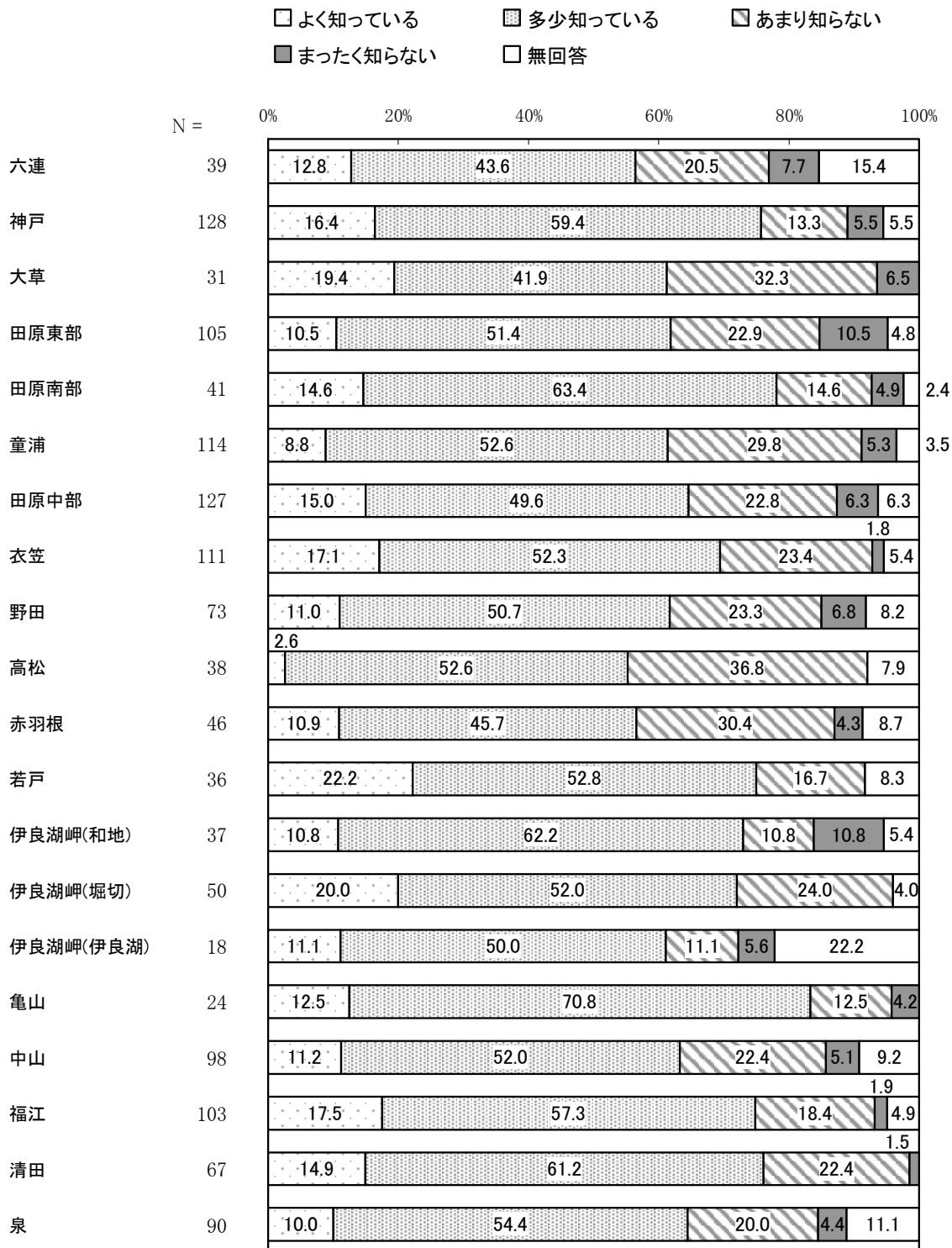
【年齢別】

年齢別で見ると、20歳代から40歳代で“知らない”の割合が高く、3割を超えています。



【地区別】

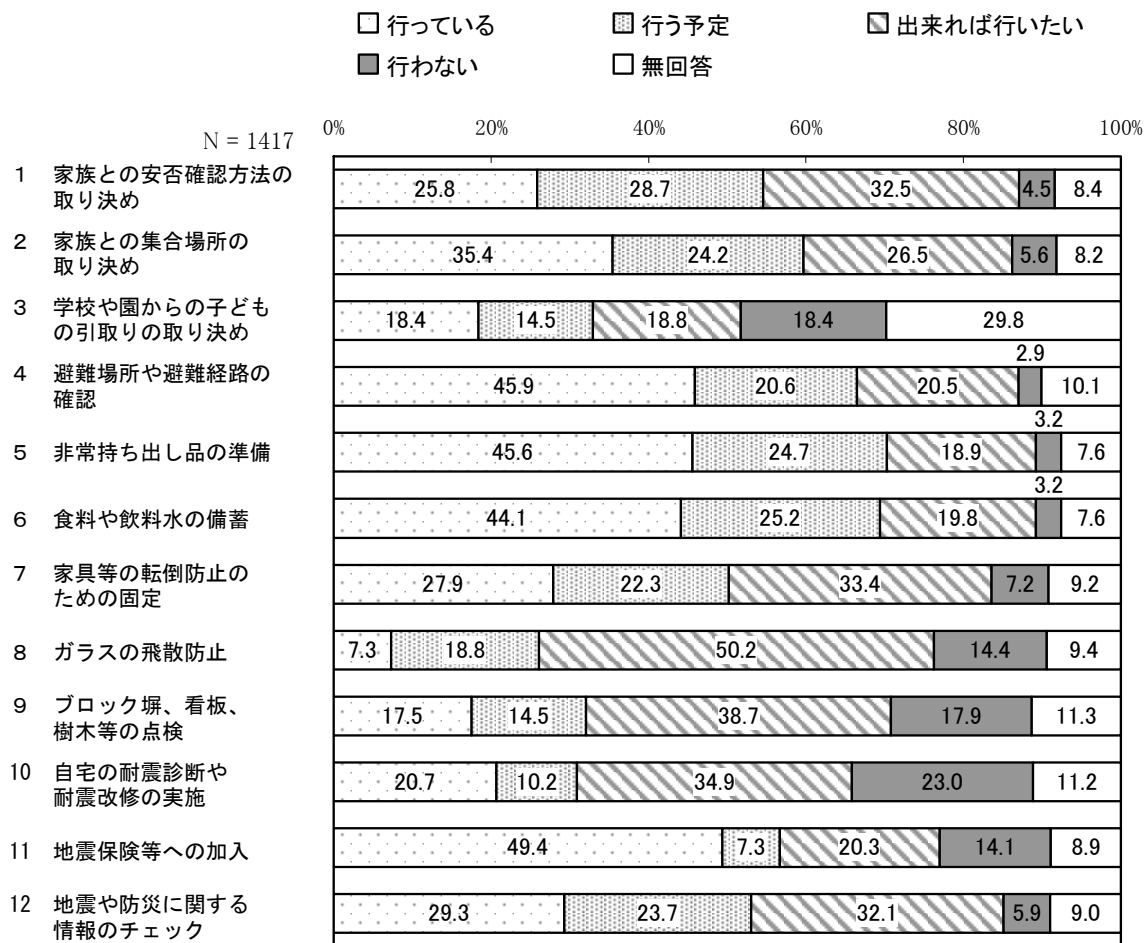
地区別で見ると、亀山で“知っている”の割合が高く、8割を超えています。
 また、大草、田原東部、童浦、野田、高松、赤羽根で“知らない”の割合が高く、3割を超えています。



問 16 地震への備えとしてあなたが日頃から行っていることは何ですか。
(項目ごとにあてはまるもの1つに○)

「行っている」の割合が「4 避難場所や避難経路の確認」「5 非常持ち出し品の準備」「6 食料や飲料水の準備」「11 地震保険等への加入」の割合が高く4割を超えている一方、「8 ガラスの飛散防止」の割合が1割以下となっています。

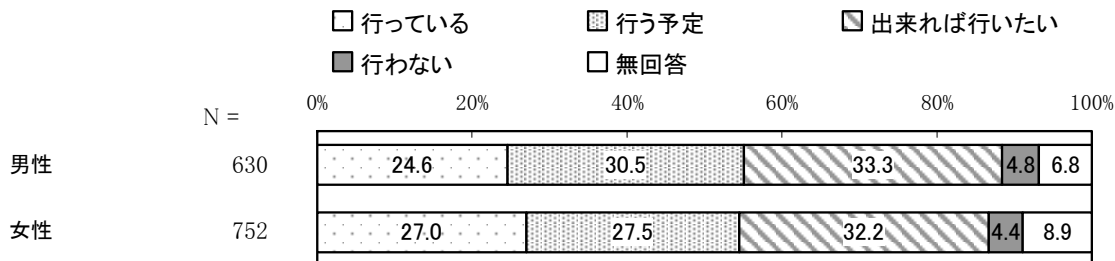
また、「行わない」の割合が『10 自宅の耐震診断や耐震改修の実施』が最も高く、2割を超えています。



1 家族との安否確認方法の取り決め

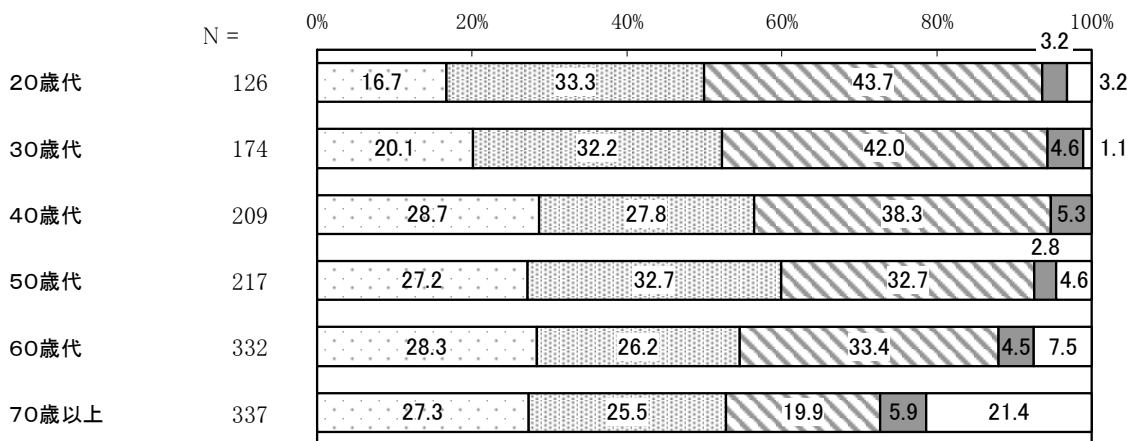
【性別】

性別で見ると、男性に比べ女性で「行っている」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別で見ると、年齢が高くなるにつれ「出来れば行いたい」の割合が低くなる傾向が見られます。

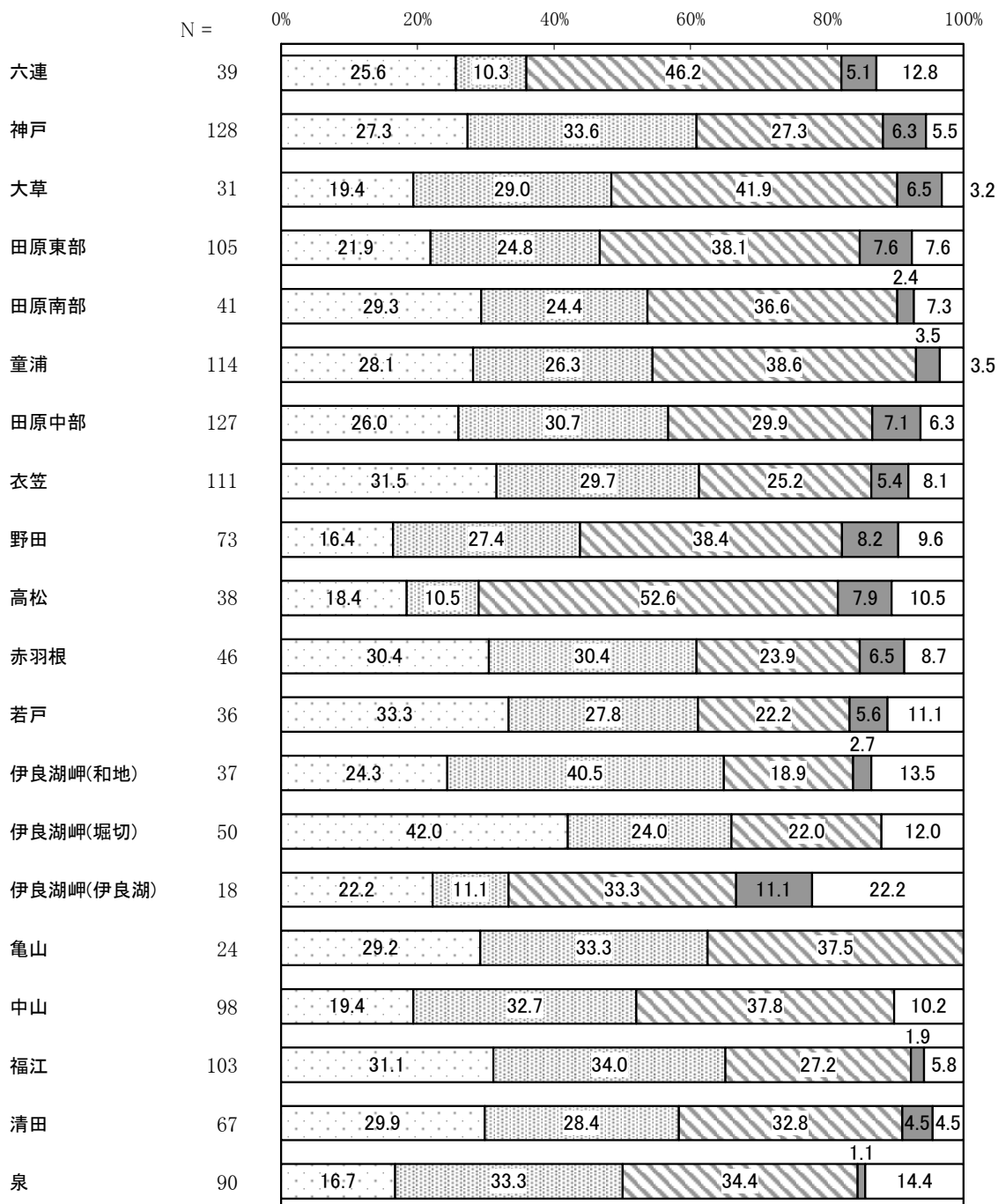


【地区別】

地区別でみると、伊良湖岬(堀切)で「行っている」の割合が高く4割を超えている一方、大草、野田、高松、中山、泉では、2割以下となっています。

また、伊良湖岬(伊良湖)で「行わない」の割合が高く、1割を超えています。

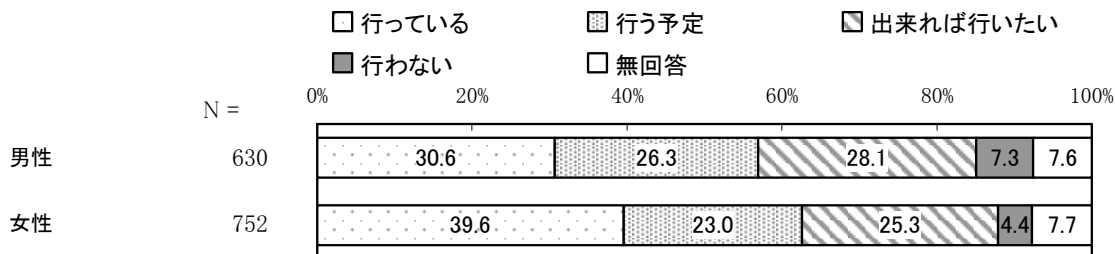
行っている 行う予定 出来れば行いたい
 行わない 無回答



2 家族との集合場所の取り決め

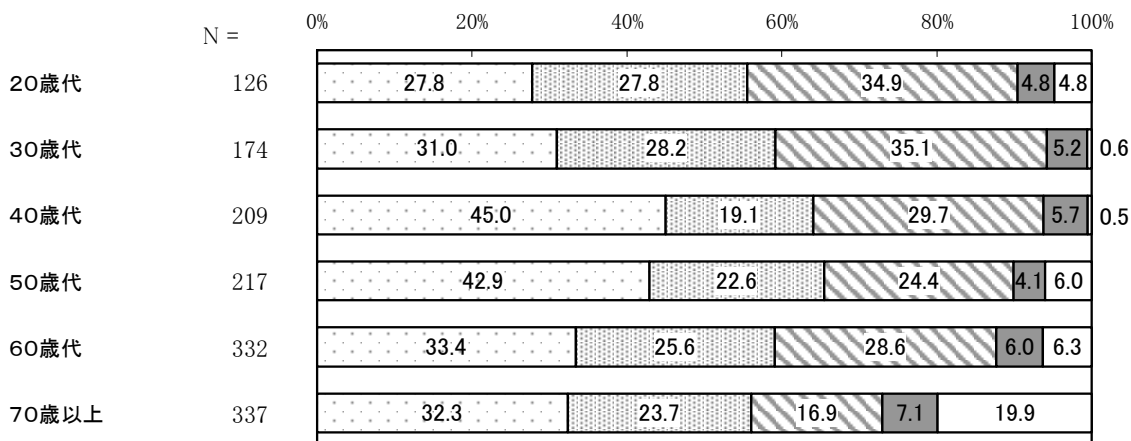
【性別】

性別で見ると、男性に比べ女性で「行っている」の割合が高くなっています。



【年齢別】

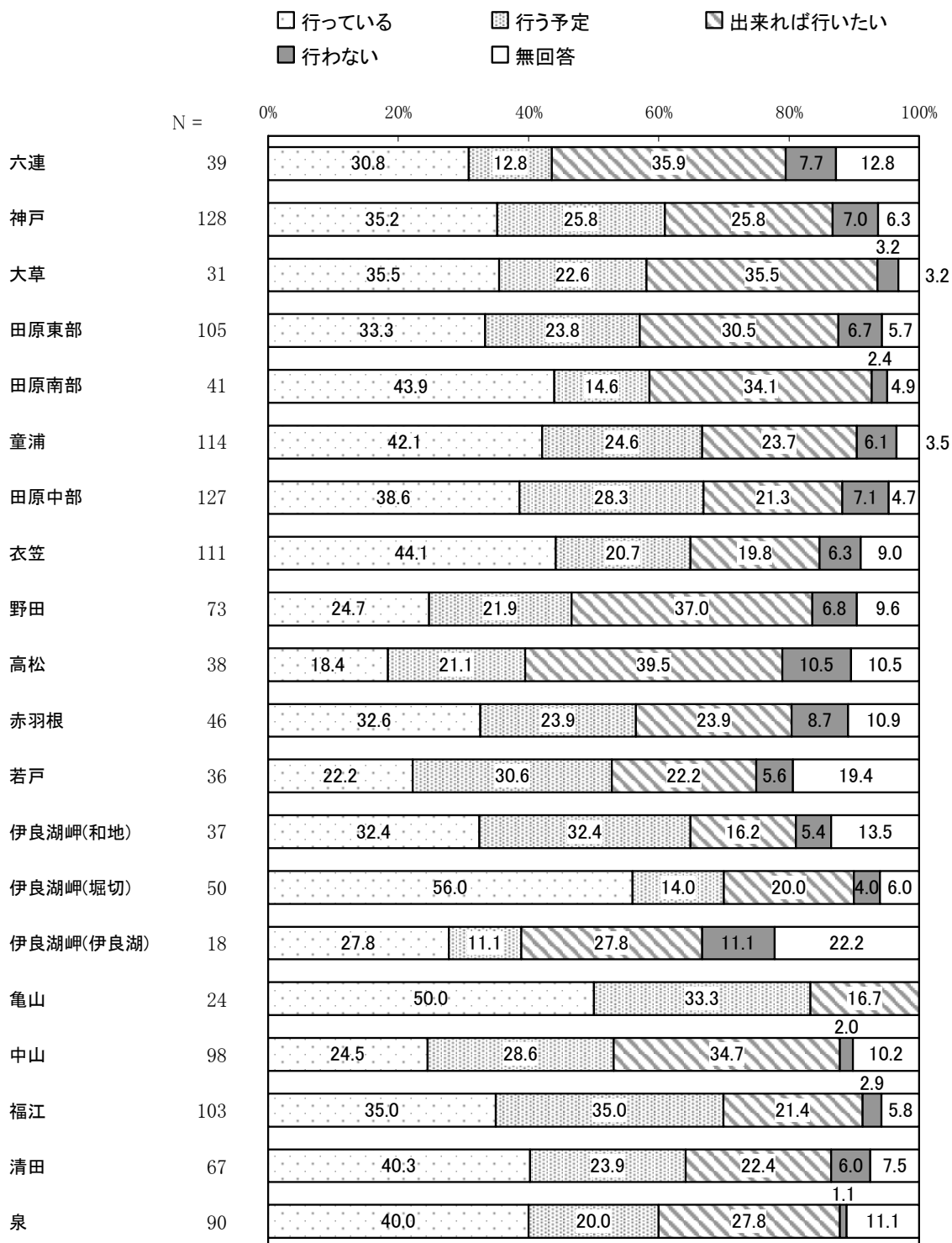
年齢別で見ると、40歳代、50歳代で「行っている」の割合が高く、4割を超えています。



【地区別】

地区別で見ると、伊良湖岬(堀切)で「行っている」の割合が高く 5 割を超えている一方、高松では 2 割以下となっています。

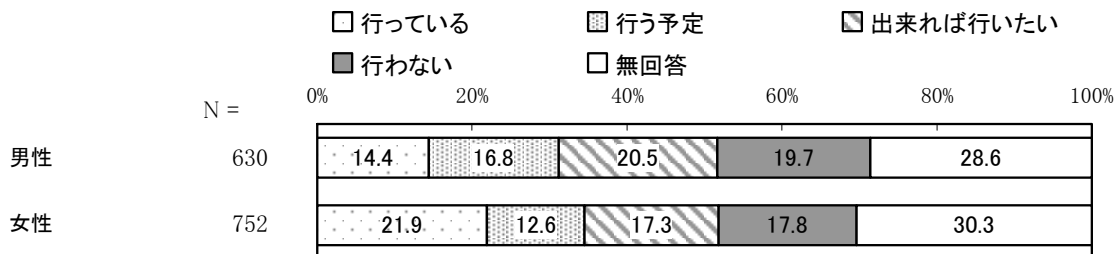
また、高松、伊良湖岬(伊良湖)で「行わない」の割合が高く、1 割を超えています。



3 学校や園からの子どもの引取りの取り決め

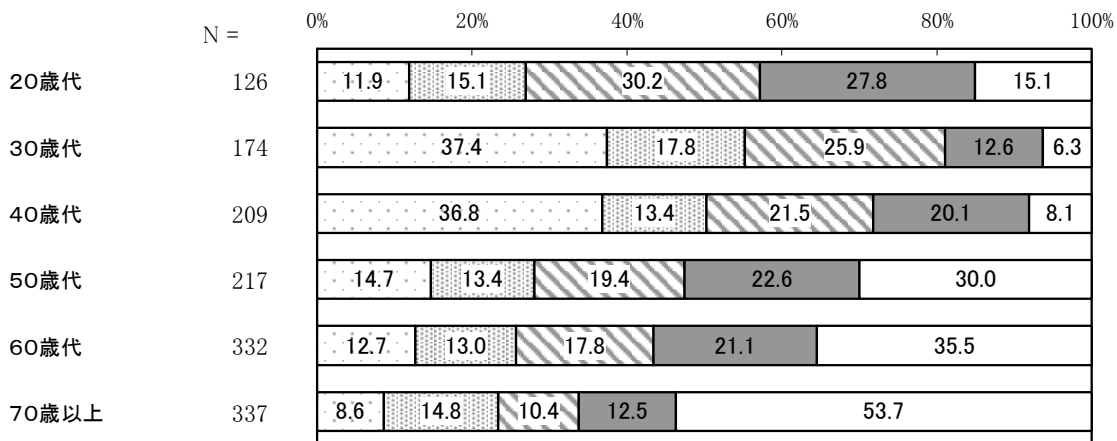
【性別】

性別で見ると、男性に比べ女性で「行っている」の割合が高く、2割を超えています。



【年齢別】

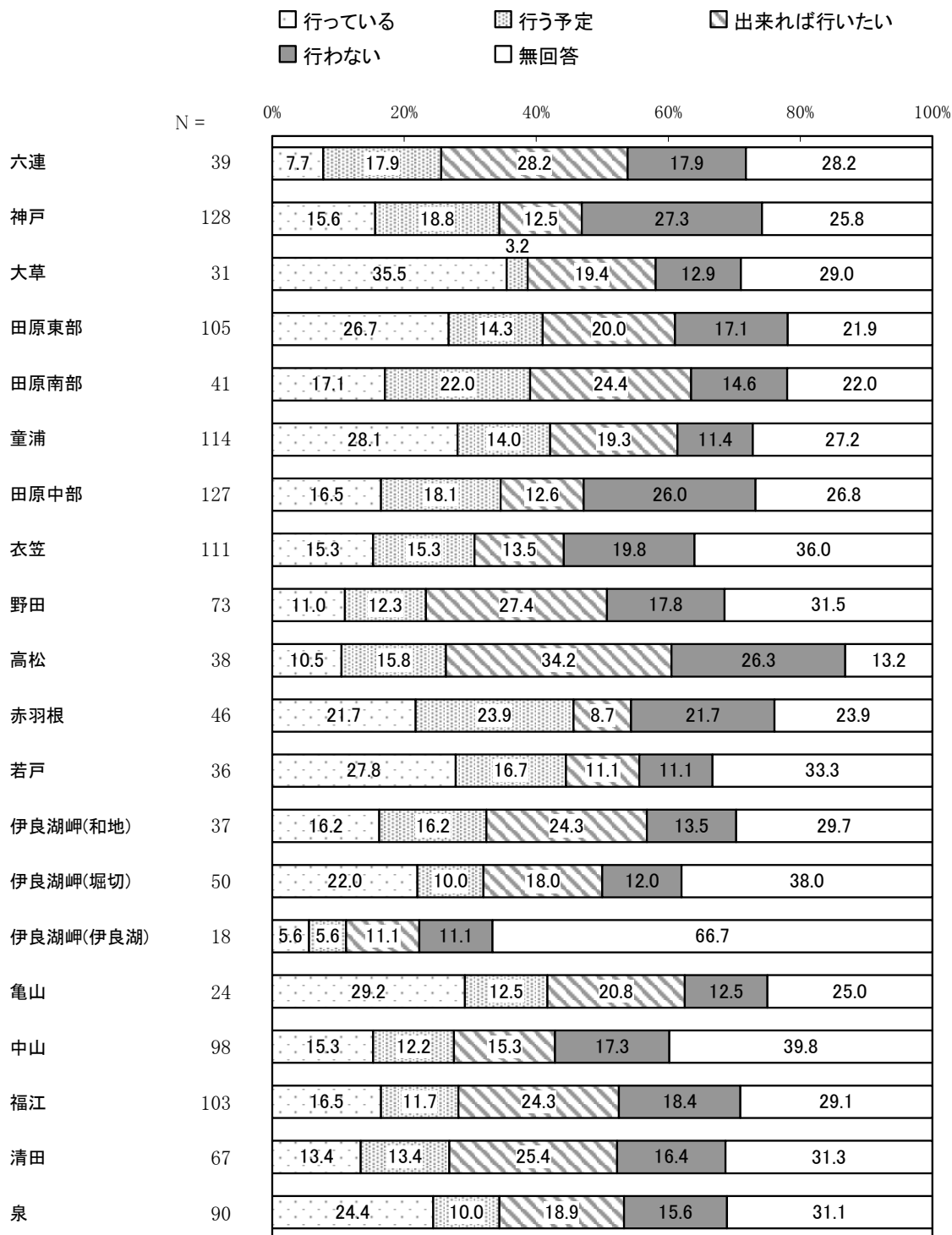
年齢別で見ると、30歳代、40歳代で「行っている」の割合が高く3割を超えている一方、その他の年代では2割以下となっています。



【地区別】

地区別で見ると、大草で「行っている」の割合が高く3割を超えている一方、六連、伊良湖岬（伊良湖）では、1割以下となっています。

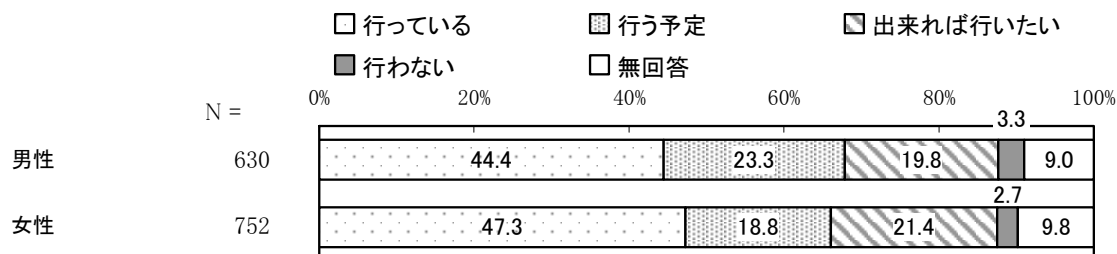
また、神戸、田原中部、高松で「行わない」の割合が高く、2割を超えています。



4 避難場所や避難経路の確認

【性別】

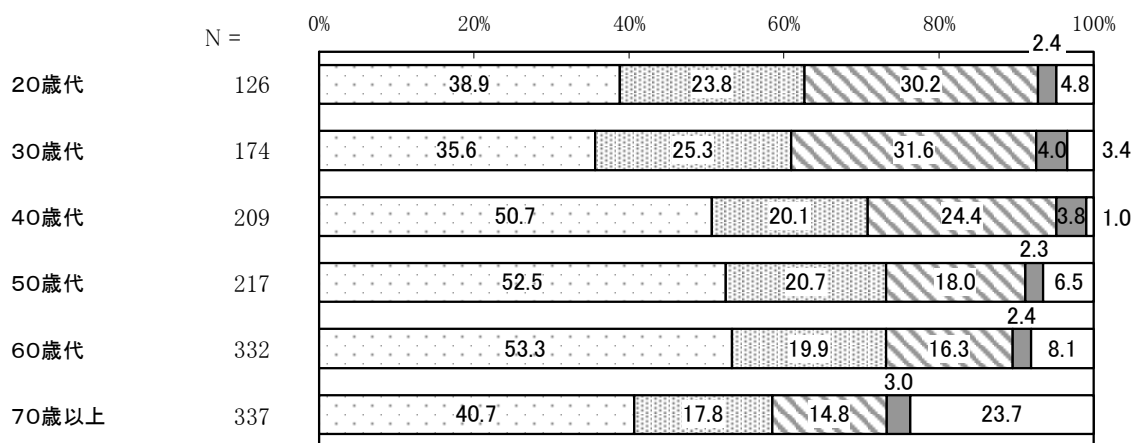
性別で見ると、男性に比べ女性で「行っている」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別で見ると、40歳代から60歳代で「行っている」の割合が5割を超えています。

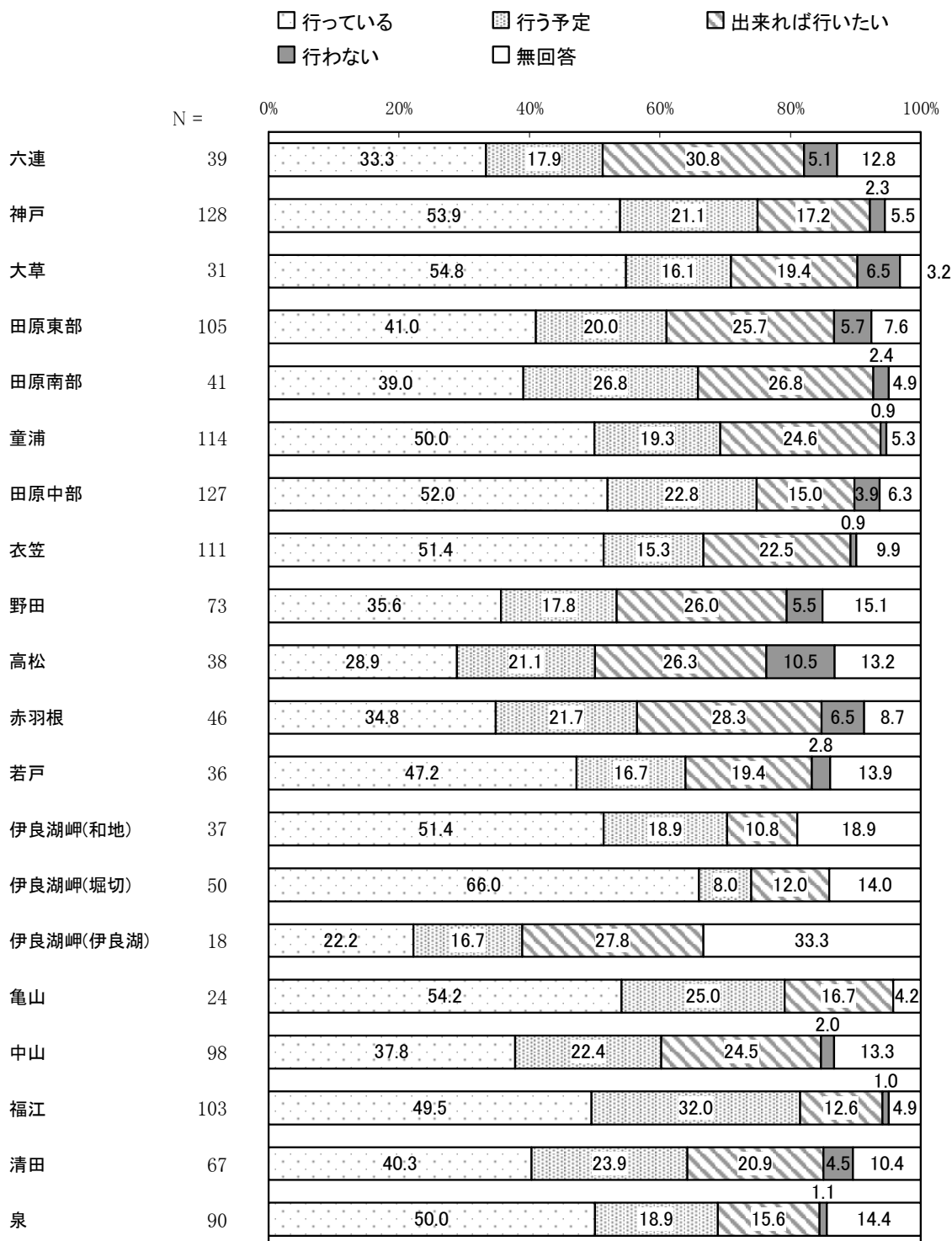
また、20歳代、30歳代では「出来れば行いたい」の割合が3割を超えています。



【地区別】

地区別でみると、伊良湖岬(堀切)で「行っている」の割合が高く6割を超えている一方、高松、伊良湖岬(伊良湖)では、3割以下となっています。

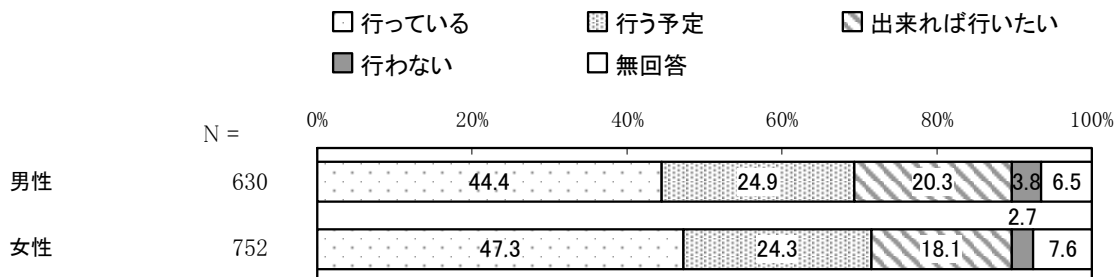
また、高松で「行わない」の割合が高く1割を超えています。



5 非常持ち出し品の準備

【性別】

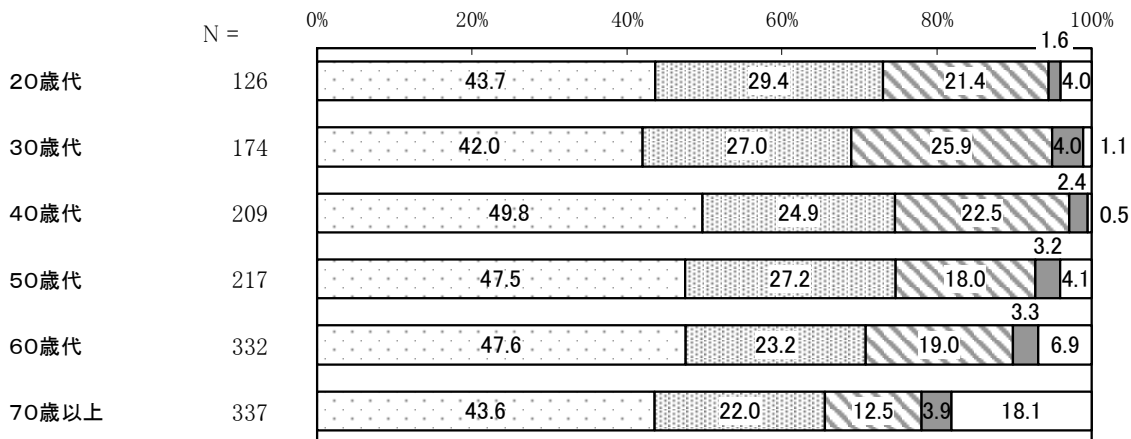
性別で見ると、男性に比べ女性で「行っている」の割合が高くなっています。



【年齢別】

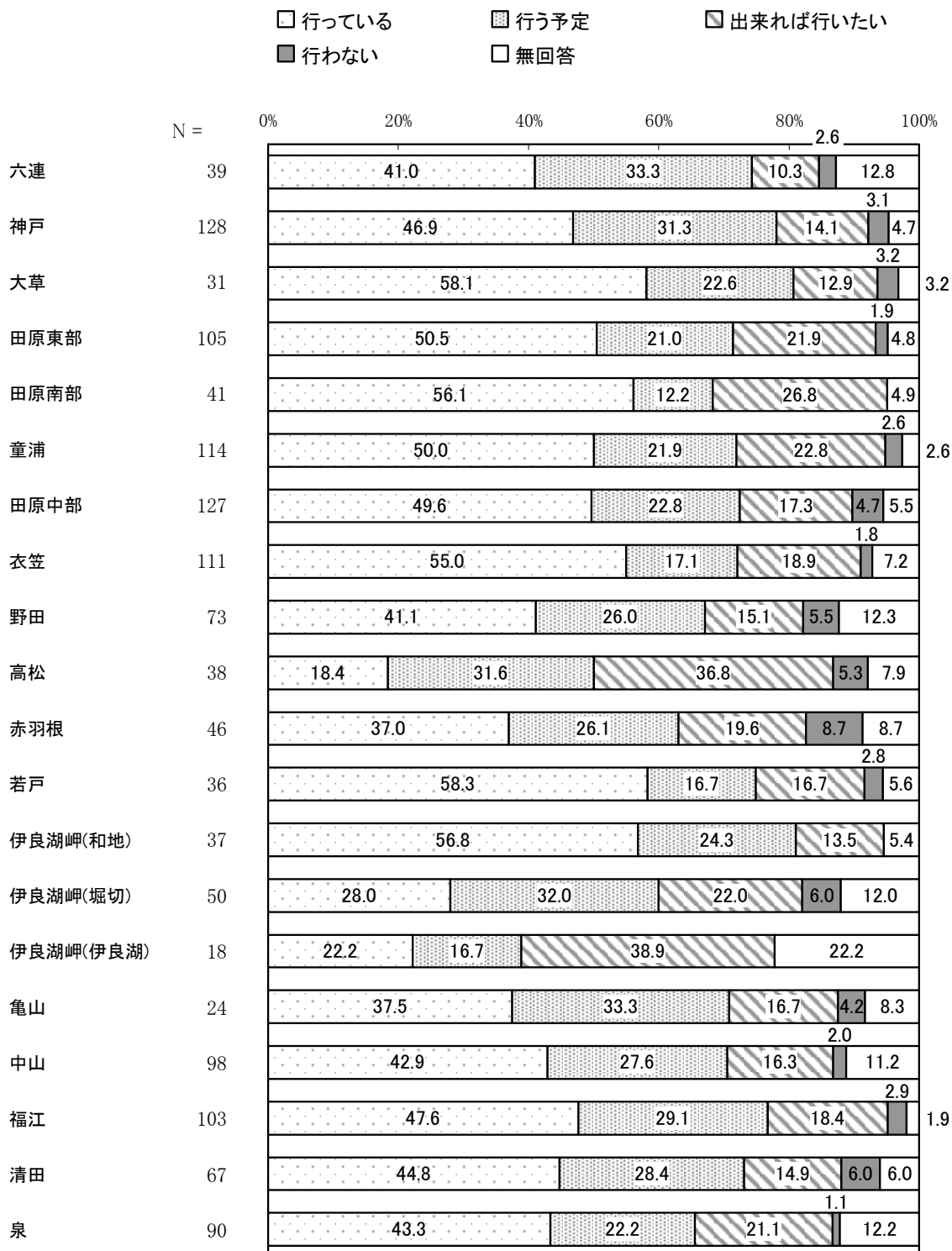
年齢別で見ると、40歳代で「行っている」の割合が最も高くなっています。

また、年齢が高くなるにつれ「出来れば行いたい」の割合が低くなる傾向が見られます。



【地区別】

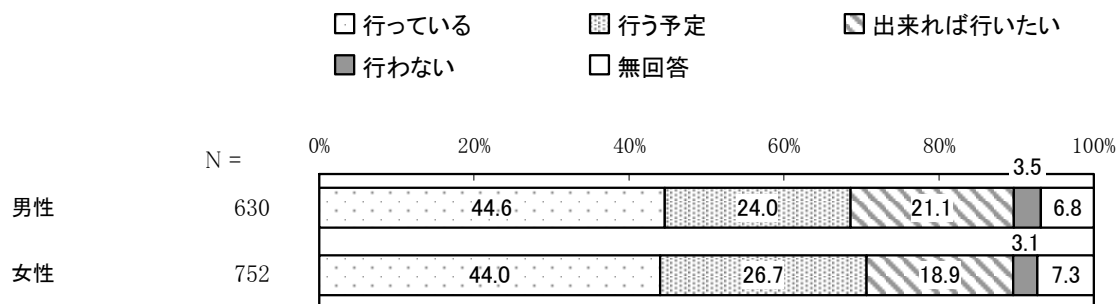
地区別で見ると、高松、伊良湖岬（堀切）、伊良湖岬（伊良湖）で「行っている」の割合が3割以下となっています。



6 食料や飲料水の備蓄

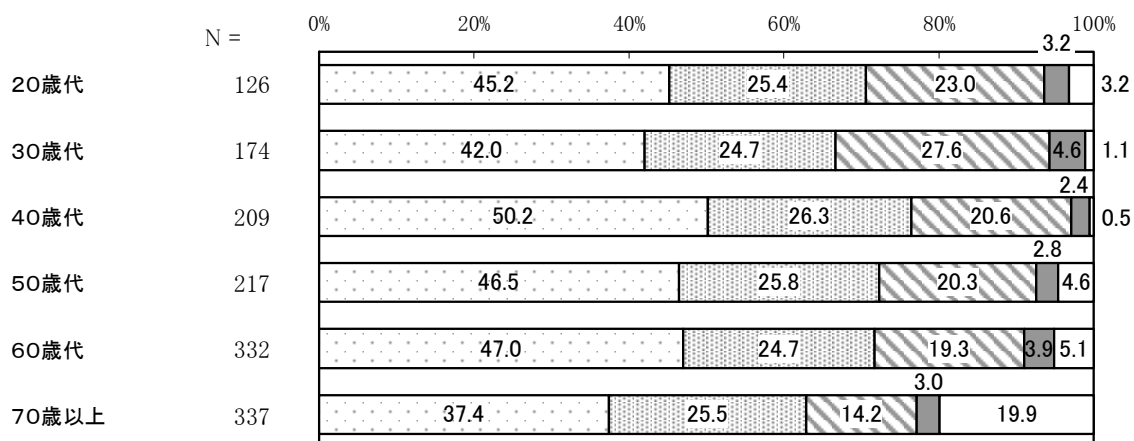
【性別】

性別で見ると、男女とも同じような割合となっていますが、「行う予定」「出来れば行いたい」で若干男女の差が見られます。



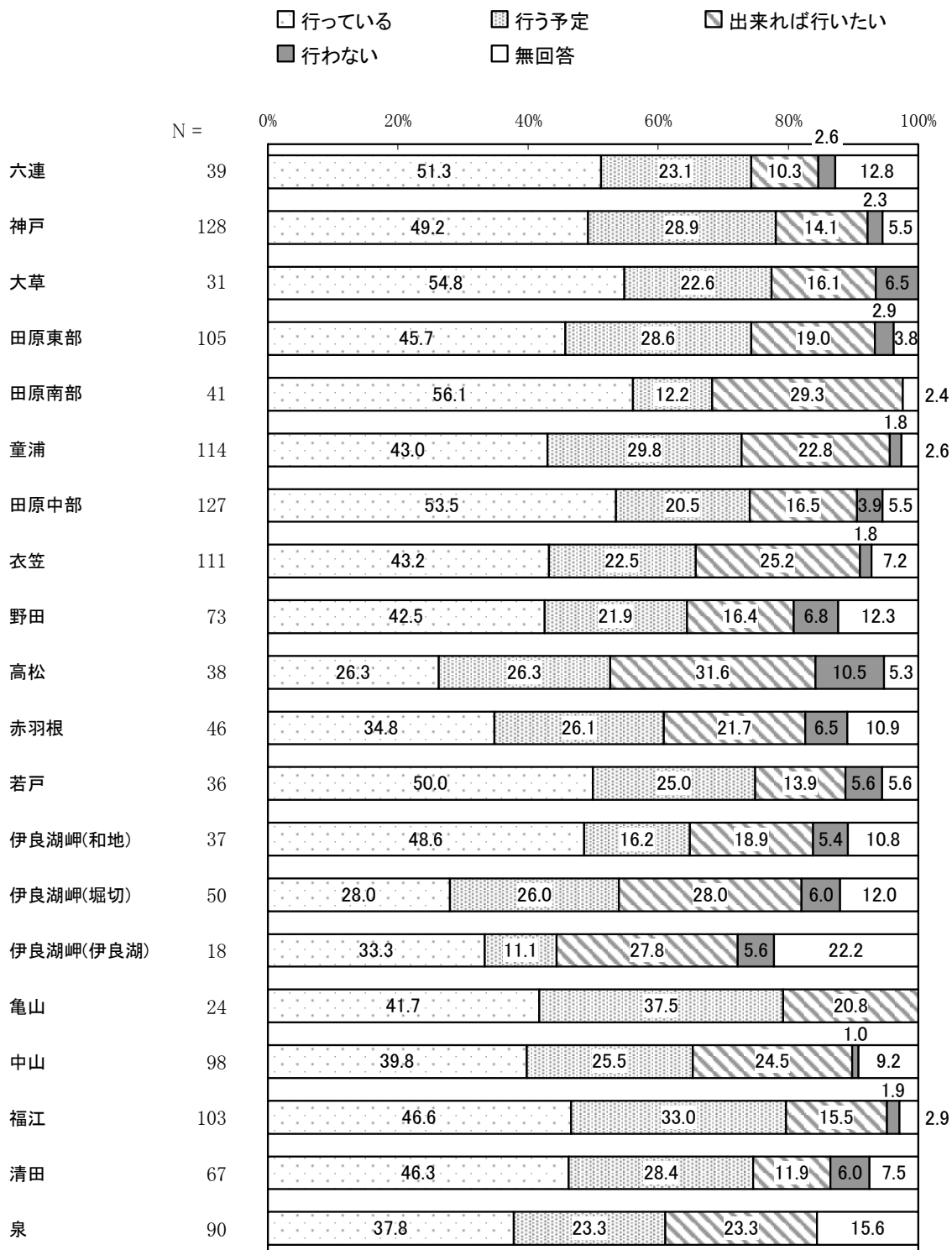
【年齢別】

年齢別で見ると、40歳代で「行っている」の割合が高く5割を超えている一方、70歳以上では4割以下となっています。



【地区別】

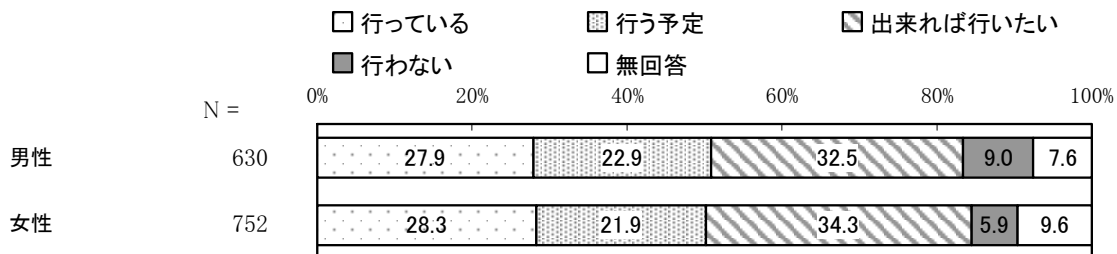
地区別でみると、高松、伊良湖岬（堀切）で「行っている」の割合が3割以下となっています。



7 家具等の転倒防止のための固定

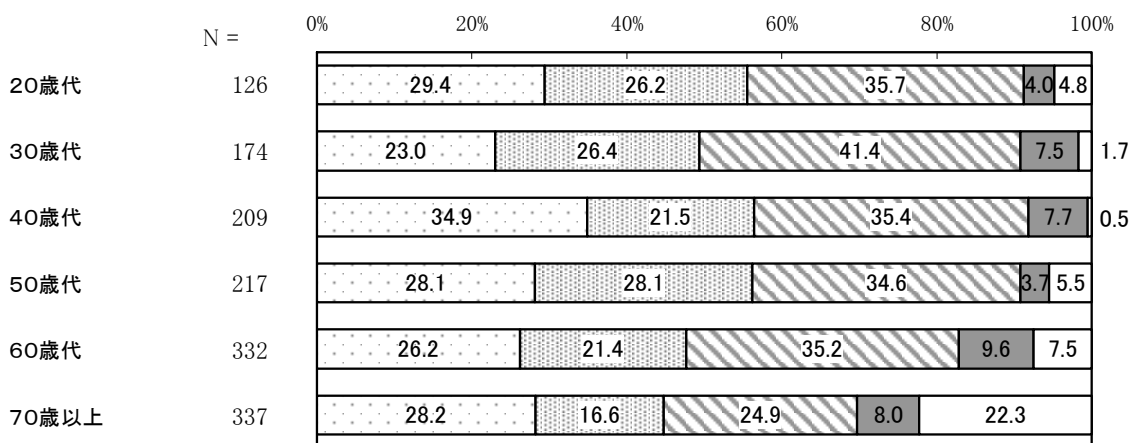
【性別】

性別で見ると、「行わない」で若干男女の差が見られます。



【年齢別】

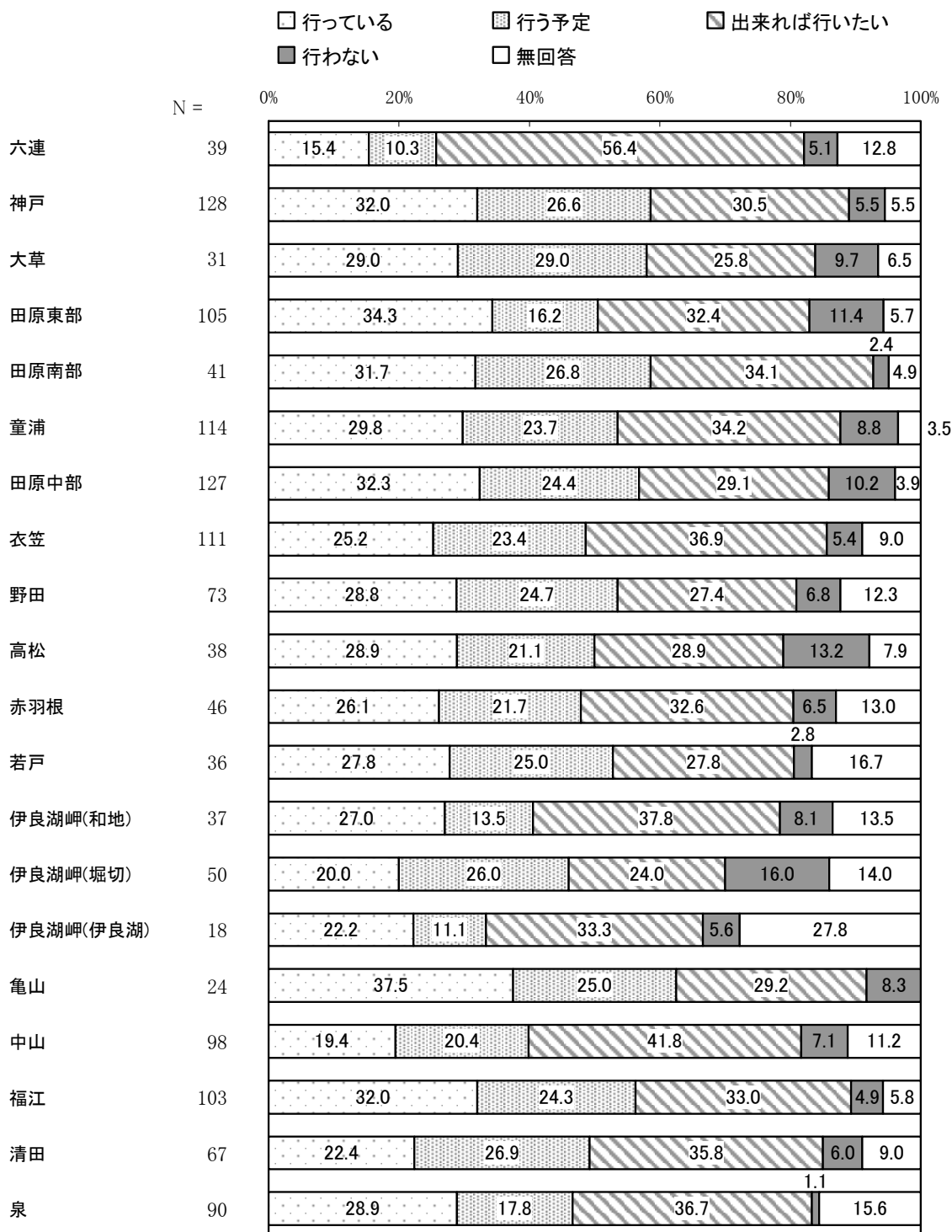
年齢別で見ると、40歳代で「行っている」の割合が高く3割を超えています。



【地区別】

地区別でみると、神戸、田原東部、田原南部、田原中部、亀山、福江で「行っている」の割合が高く3割を超えている一方、六連や中山では、2割以下となっています。

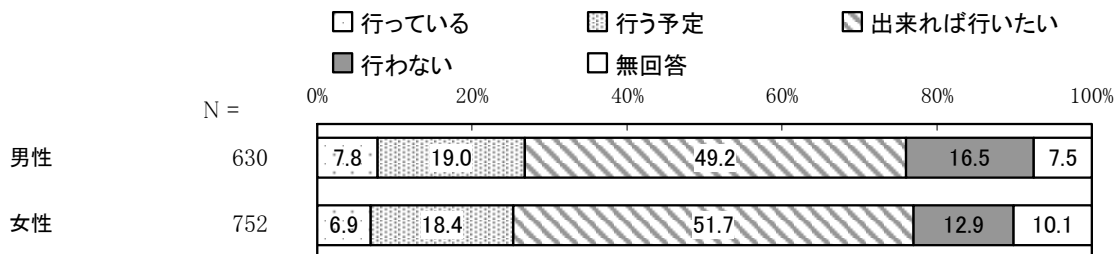
また、田原東部、高松、伊良湖岬(堀切)で「行わない」の割合が1割を超えています。



8 ガラスの飛散防止

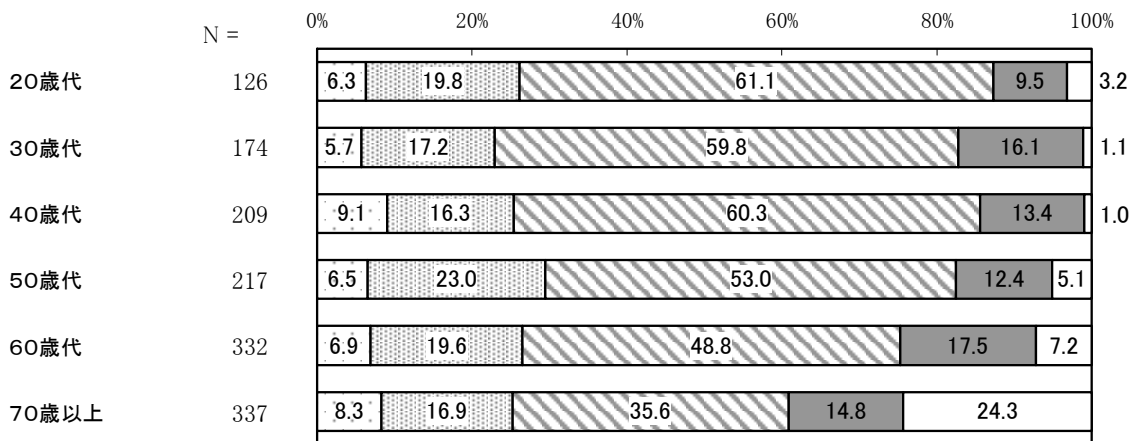
【性別】

性別で見ると、女性に比べ男性で「行わない」の割合が高くなっています。



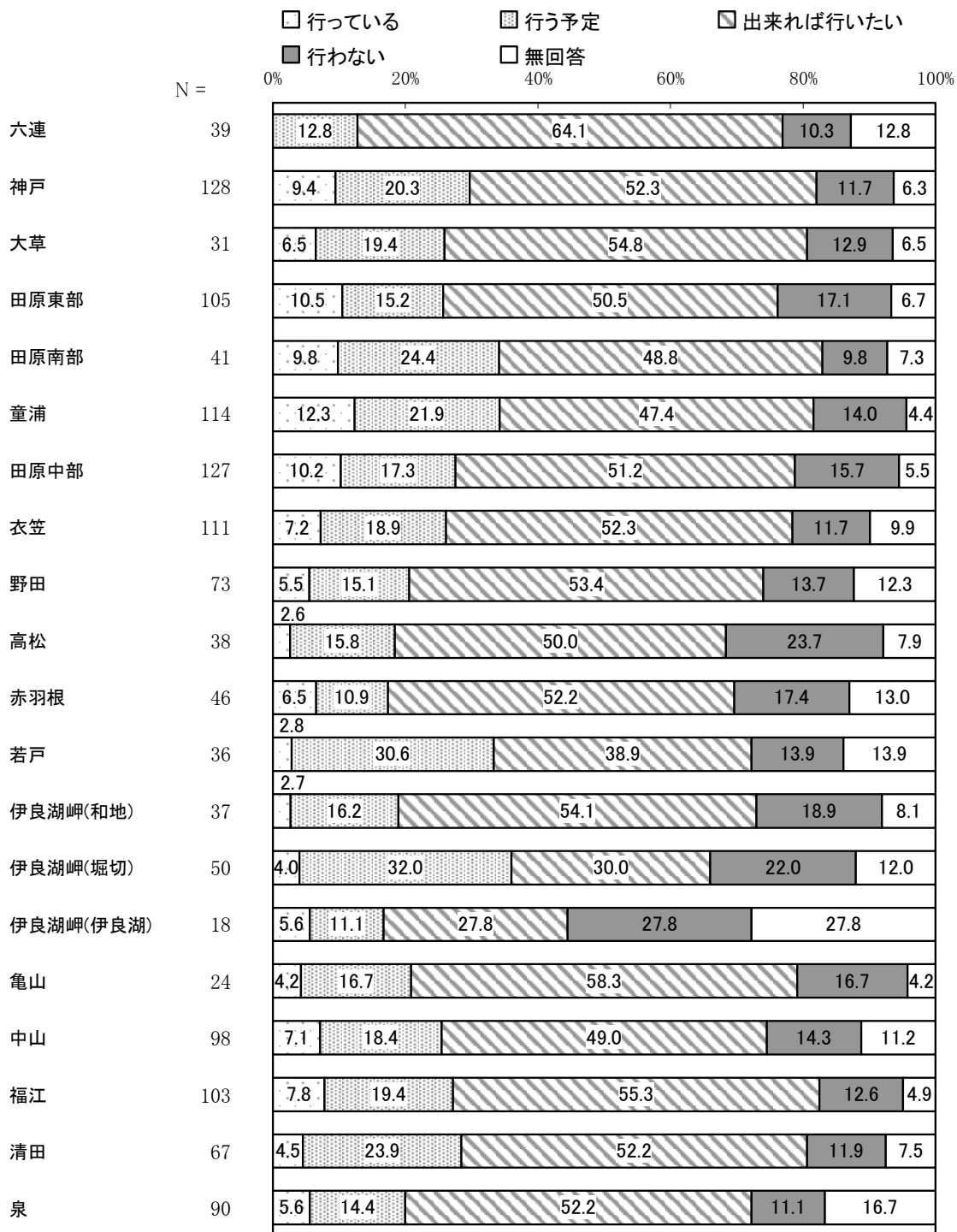
【年齢別】

年齢別で見ると、20歳代、40歳代で「出来れば行いたい」の割合が高く、6割を超えています。



【地区別】

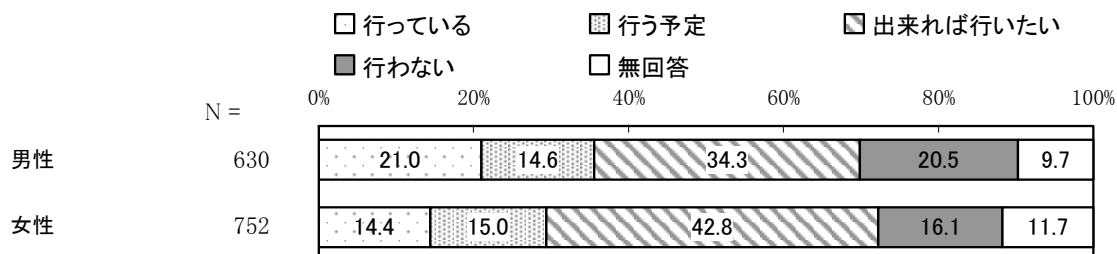
地区別でみると、すべての地区で「行っている」の割合が低くなっています。



9 ブロック塀、看板、樹木等の点検

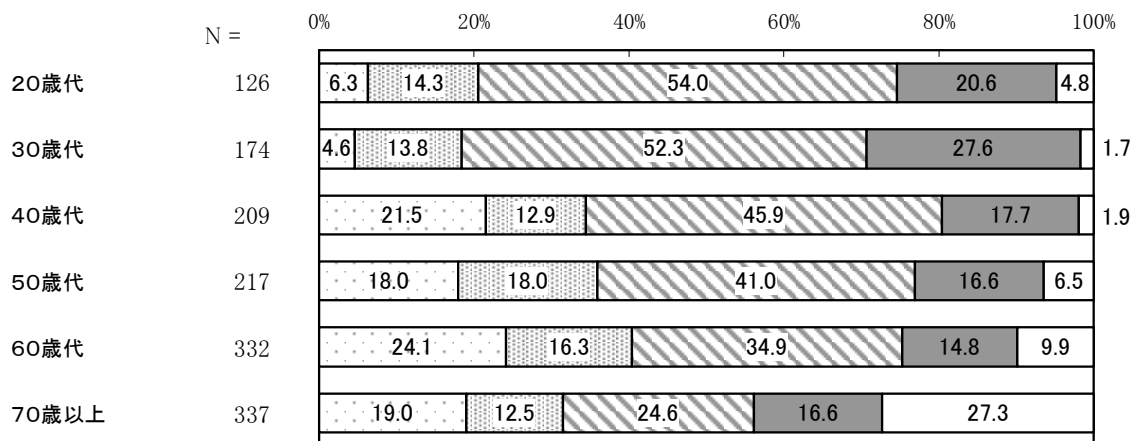
【性別】

性別で見ると、女性に比べ男性で「行っている」の割合が高く、2割を超えています。



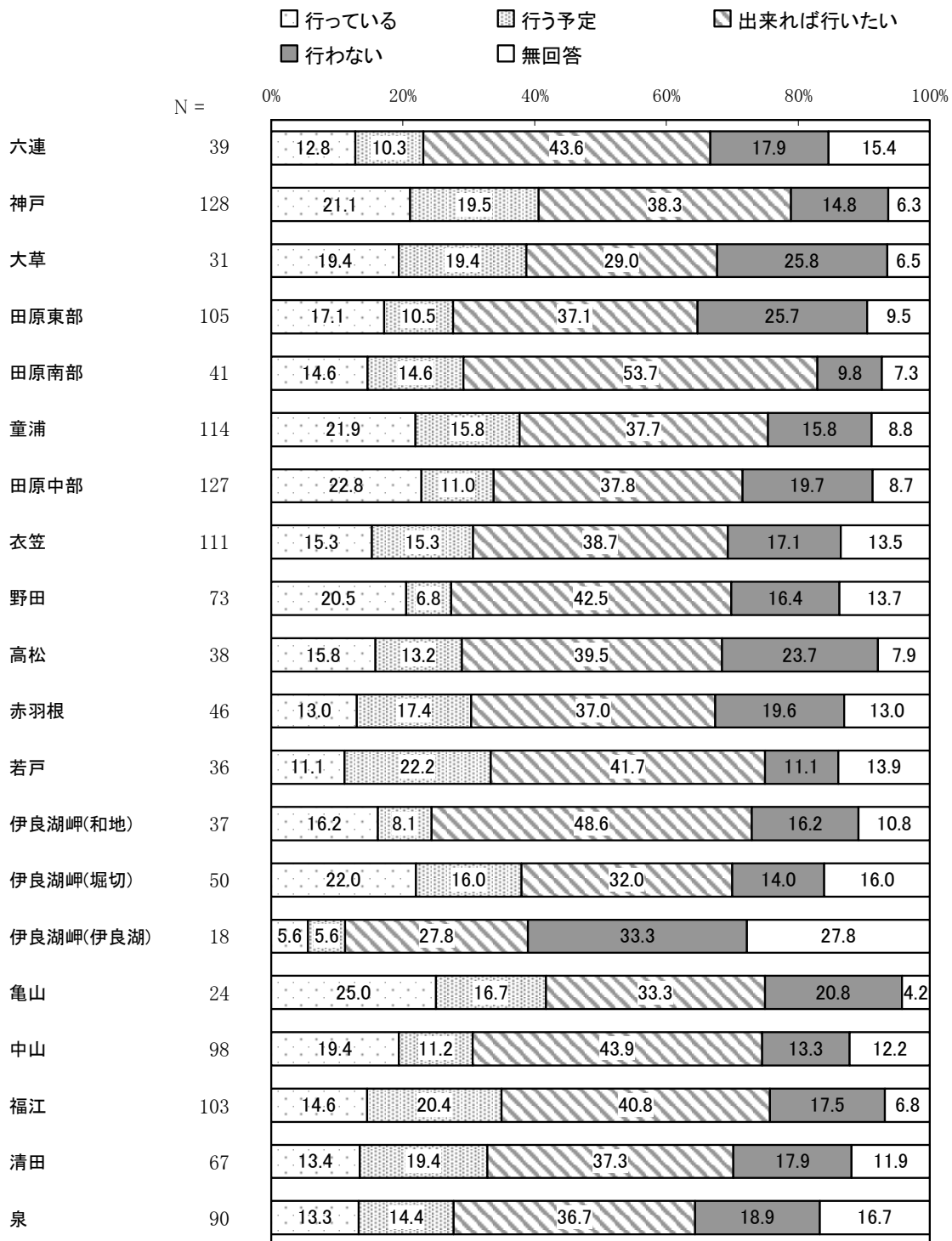
【年齢別】

年齢別で見ると、40歳代から60歳代で「行っている」の割合が高くなっている一方、20歳代、30歳代では1割以下となっています。



【地区別】

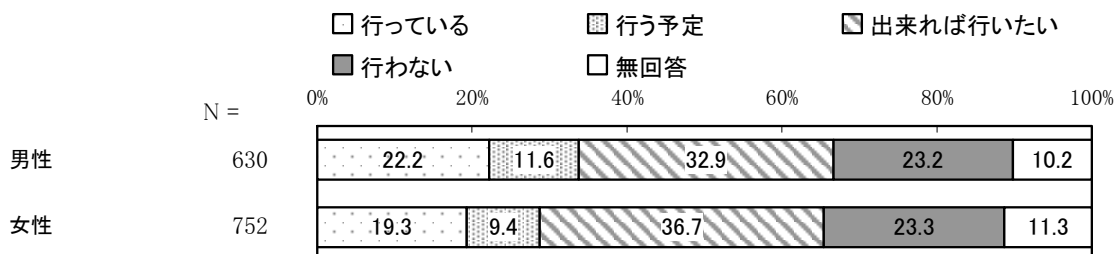
地区別で見ると、神戸、童浦、田原中部、野田、伊良湖岬（堀切）、亀山で「行っている」の割合が2割を超えている一方、伊良湖岬(伊良湖)では1割以下となっています。



10 自宅の耐震診断や耐震改修の実施

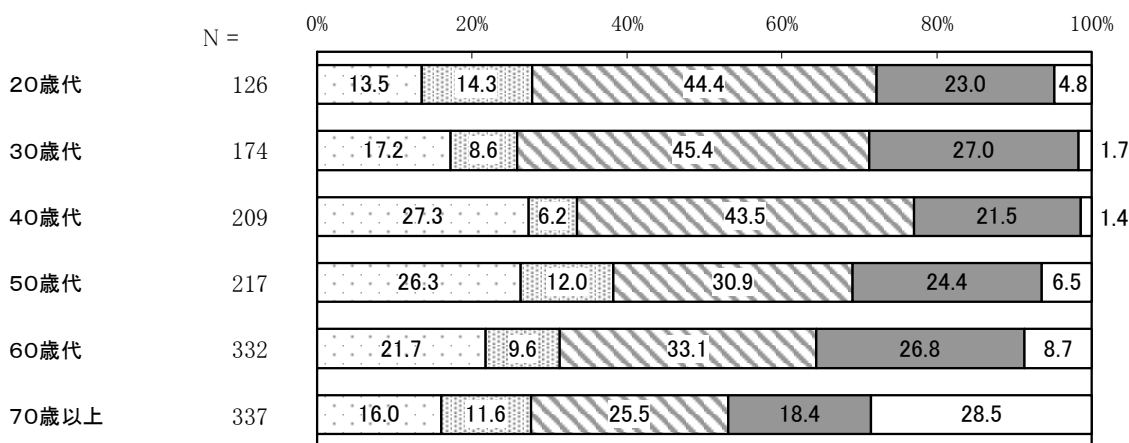
【性別】

性別で見ると、女性に比べ男性で「行っている」の割合が高く、2割を超えています。



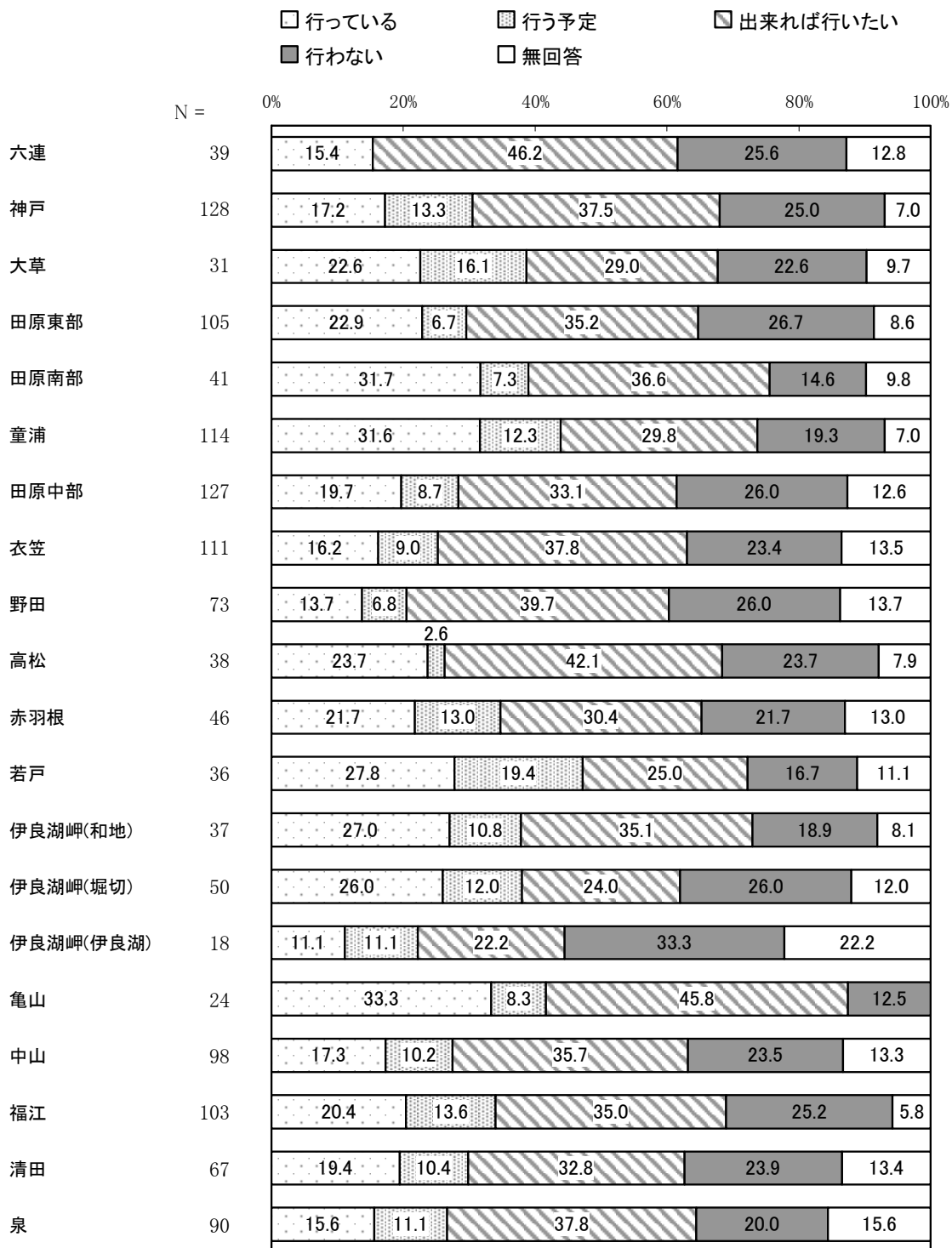
【年齢別】

年齢別で見ると、40歳代から60歳代で「行っている」の割合が高く、2割を超えています。



【地区別】

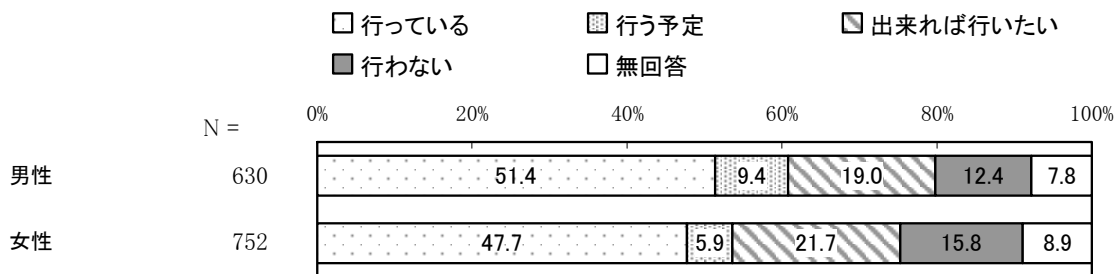
地区別で見ると、伊良湖岬（伊良湖）で「行っている」の割合が最も低くなっているとともに、「行わない」の割合も最も高く、3割を超えています。



11 地震保険等への加入

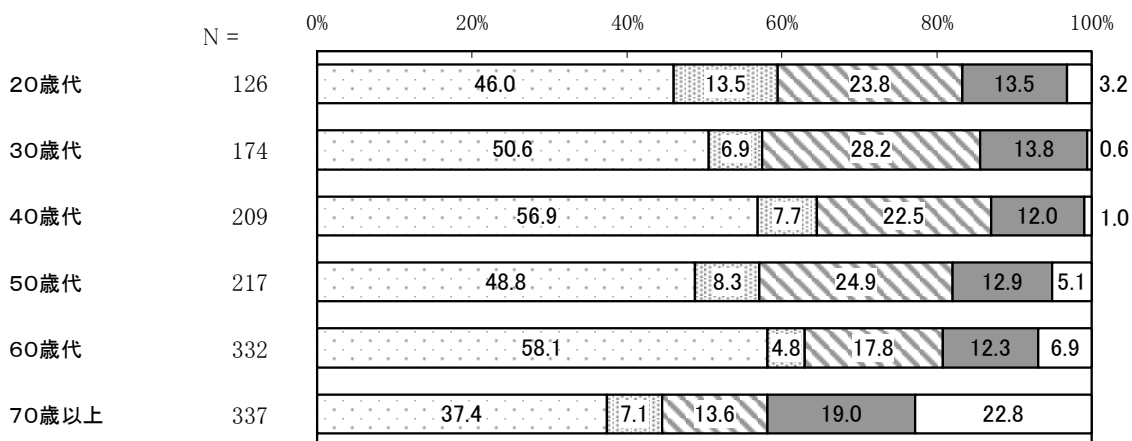
【性別】

性別で見ると、女性に比べ男性で「行っている」の割合が高く、5割を超えています。



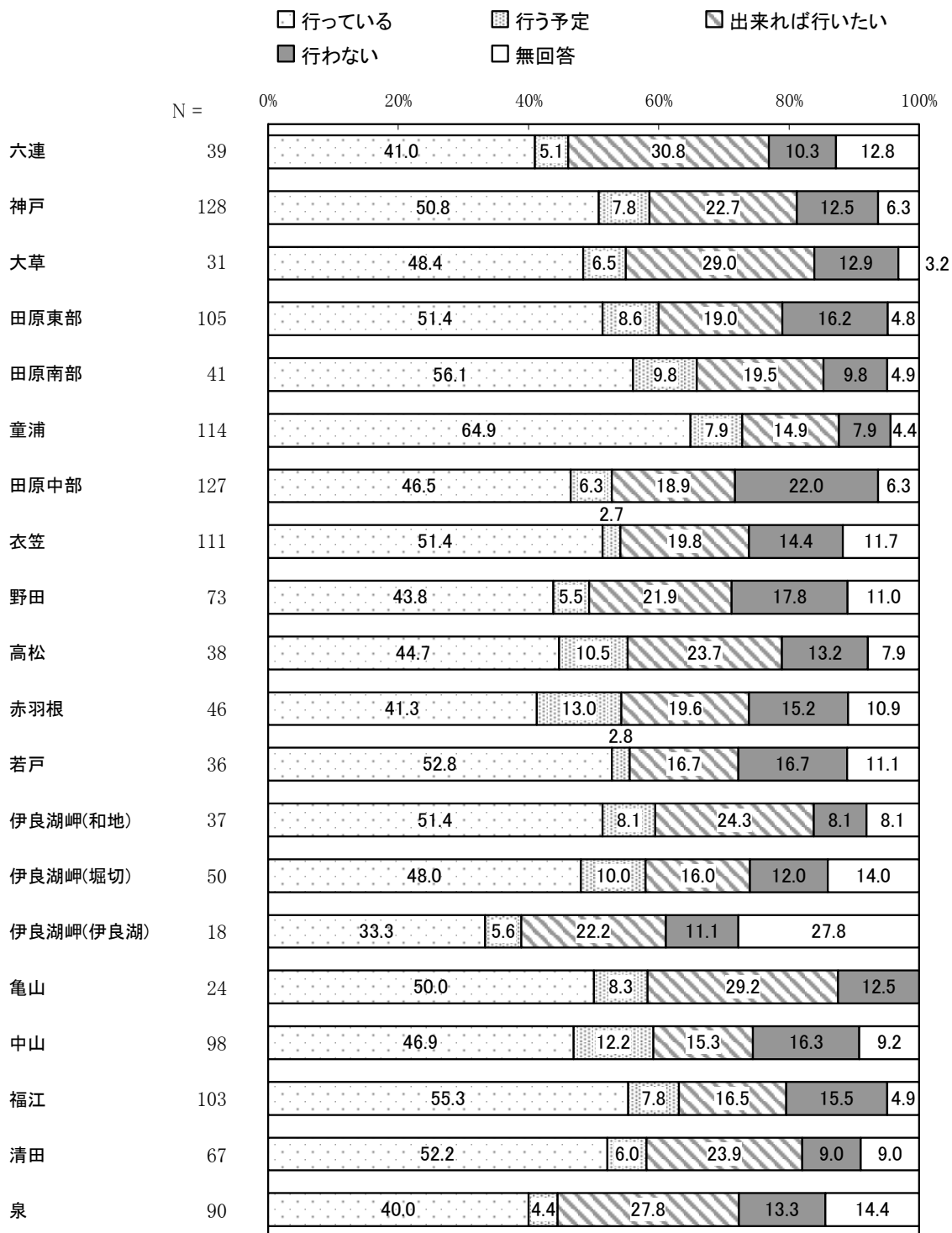
【年齢別】

年齢別で見ると、70歳代を除くすべての年代で「行っている」の割合が高くなっています。



【地区別】

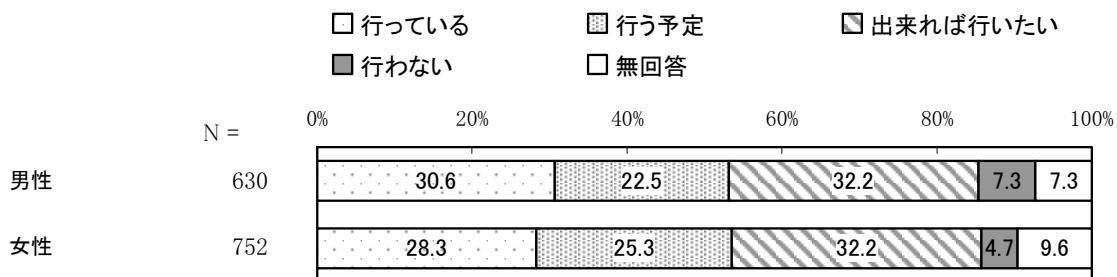
地区別でみると、伊良湖岬（伊良湖）を除くすべての地区で「行っている」の割合が高く、4割を超えています。



12 地震や防災に関する情報のチェック

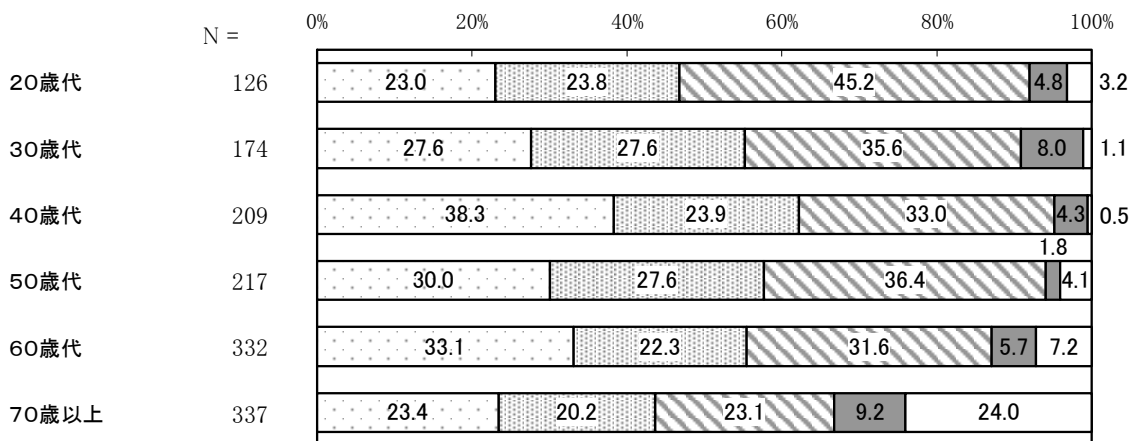
【性別】

性別で見ると、女性に比べ男性で「行っている」の割合が高く、3割を超えています。



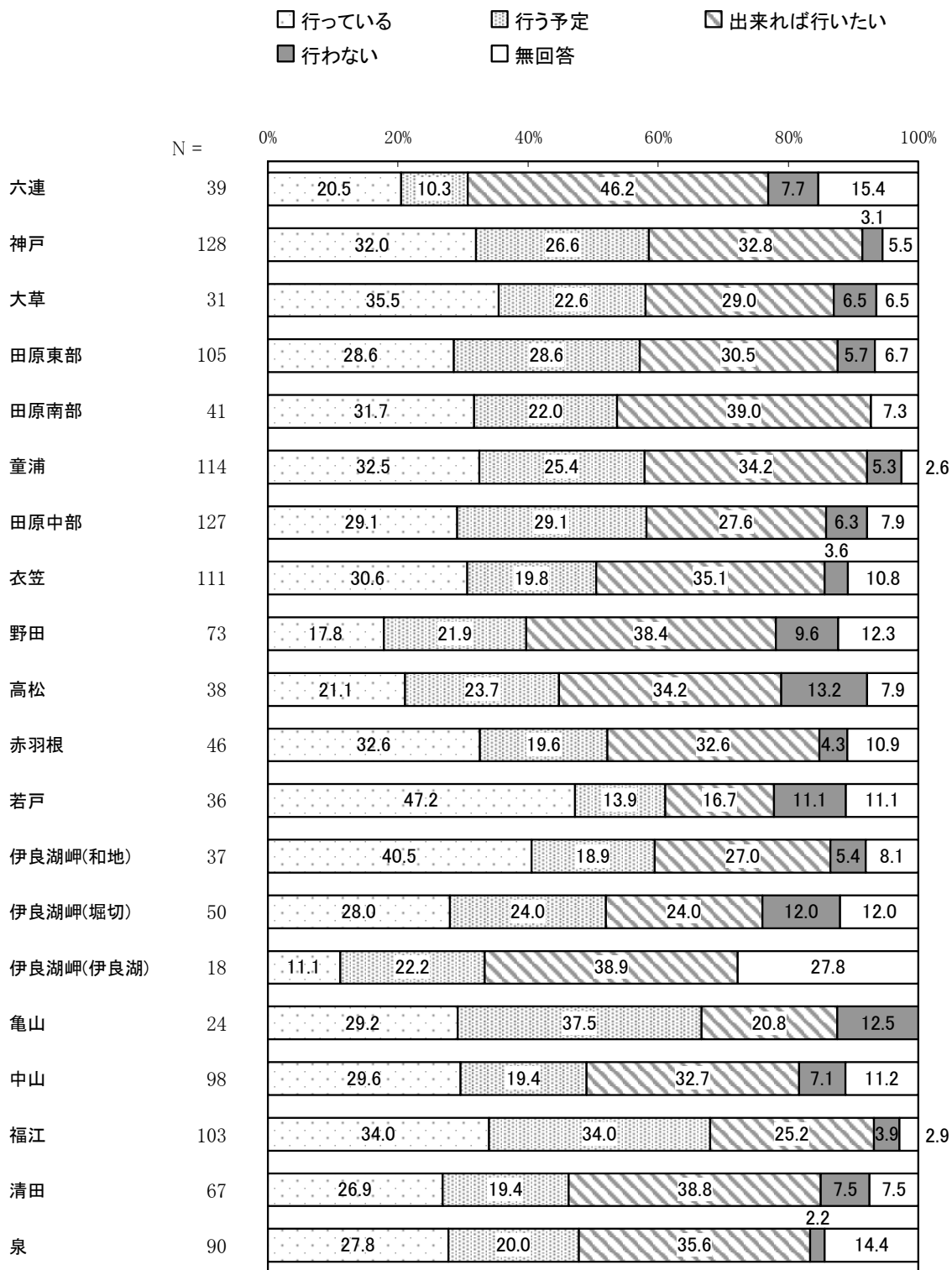
【年齢別】

年齢別で見ると、40歳代から60歳代で「行っている」の割合が高く、3割を超えています。



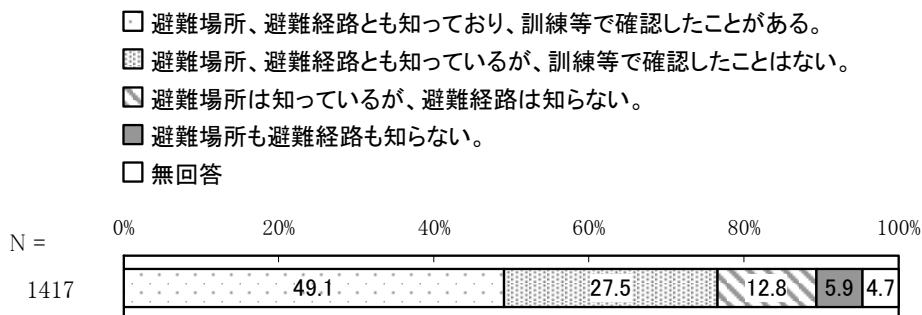
【地区別】

地区別でみると、野田、伊良湖岬（伊良湖）で「行っている」の割合が低く、2割以下となっています。



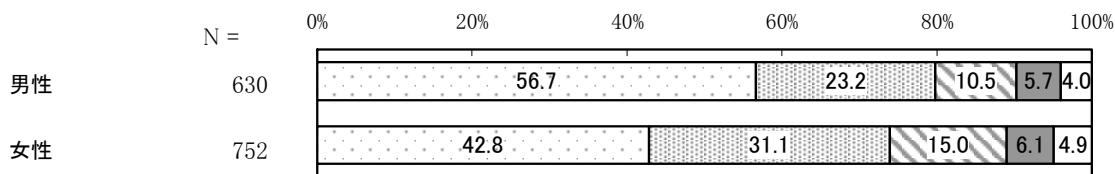
問17 ご自宅から避難場所（避難所・一時避難所）、およびそこへの避難経路についてお聞きします。（あてはまるもの1つに○）

「避難場所、避難経路とも知っており、訓練等で確認したことがある。」の割合が49.1%と最も高くなっています。



【性別】

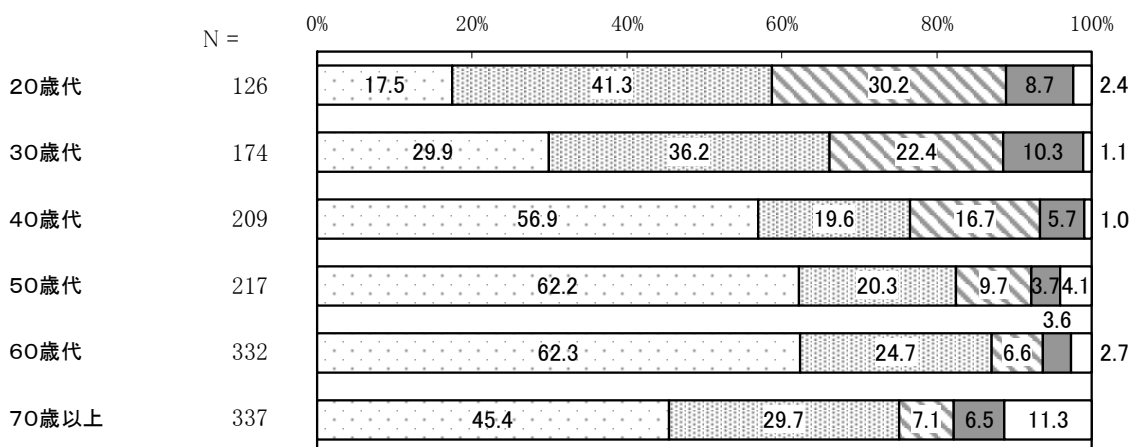
性別でみると、男性で「避難場所、避難経路とも知っており、訓練等で確認したことがある。」の割合が高く、5割を超えています。



【年齢別】

年齢別でみると、50歳代、60歳代で「避難場所、避難経路とも知っており、訓練等で確認したことがある。」の割合が高く、6割を超えています。

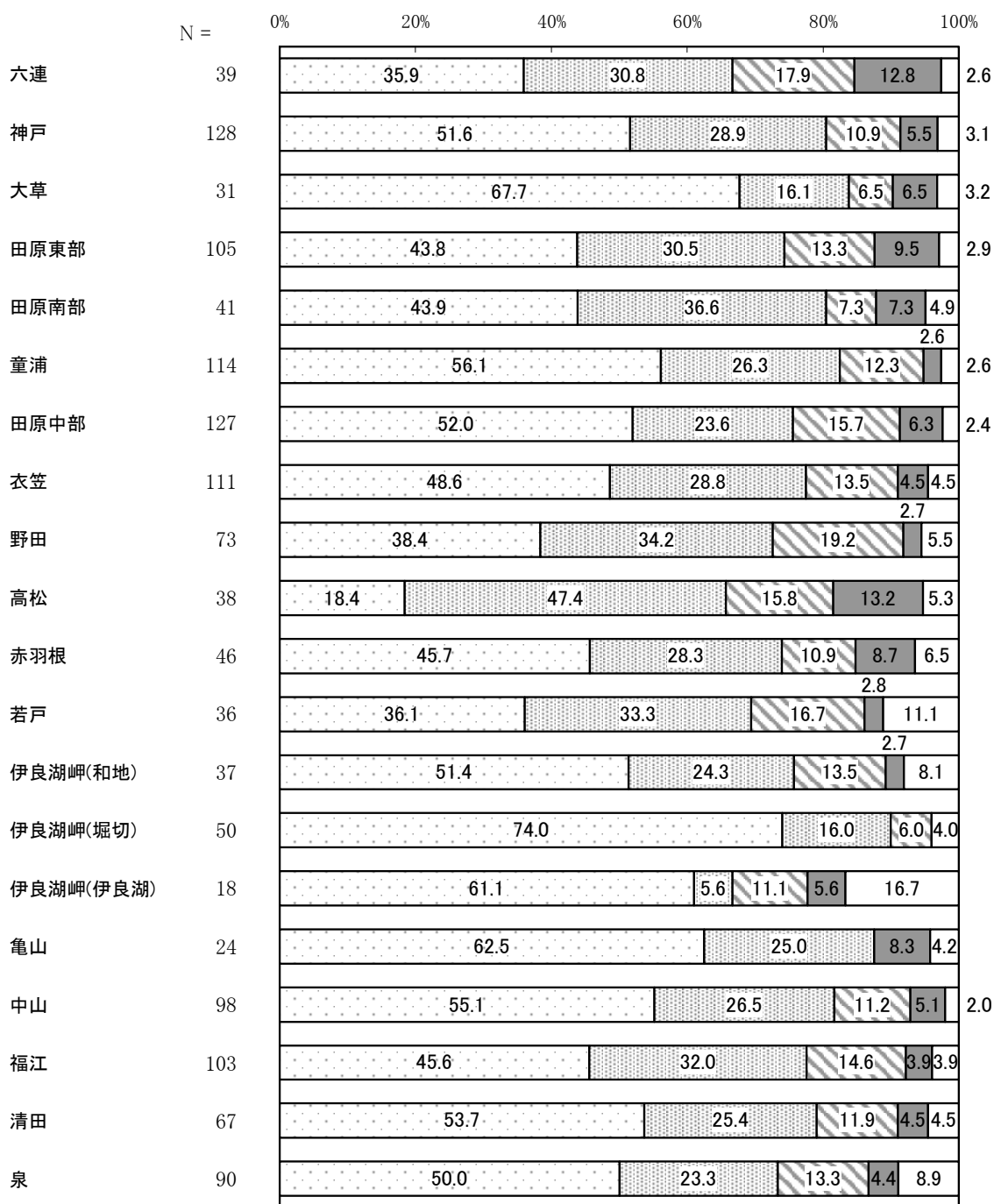
また、年齢が低くなるにつれ「避難場所は知っているが、避難経路は知らない。」の割合が高くなる傾向が見られます。



【地区別】

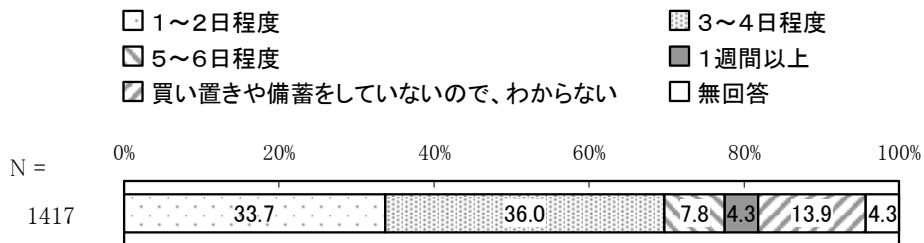
地区別でみると、高松で「避難場所、避難経路とも知っており、訓練等で確認したことがある」の割合が低く、2割以下となっています。

- 避難場所、避難経路とも知っており、訓練等で確認したことがある。
- ▨ 避難場所、避難経路とも知っているが、訓練等で確認したことはない。
- ▩ 避難場所は知っているが、避難経路は知らない。
- 避難場所も避難経路も知らない。
- 無回答



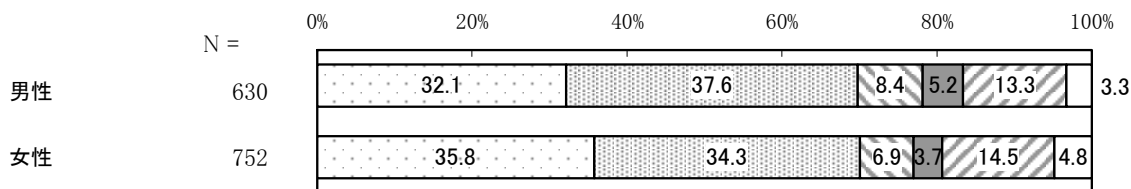
問 18 ご自宅に通常買い置いている食料や、備蓄している食料（調理不要な食品等）で災害時に何日程度暮らせるとお思いますか。（あてはまるもの1つに○）

「3～4日程度」の割合が36.0%と最も高く、次いで「1～2日程度」の割合が33.7%となっています。



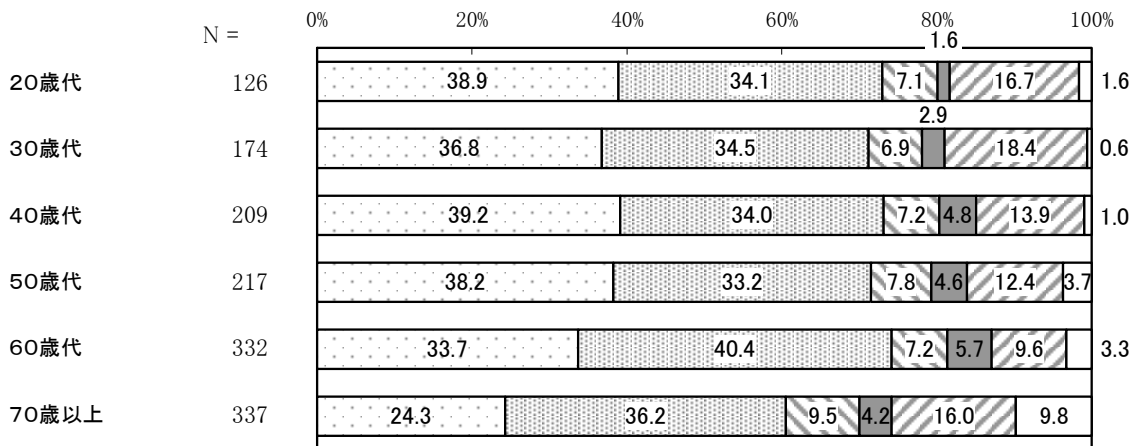
【性別】

性別でみると、「1～2日程度」「3～4日程度」で若干男女の差が見られます。



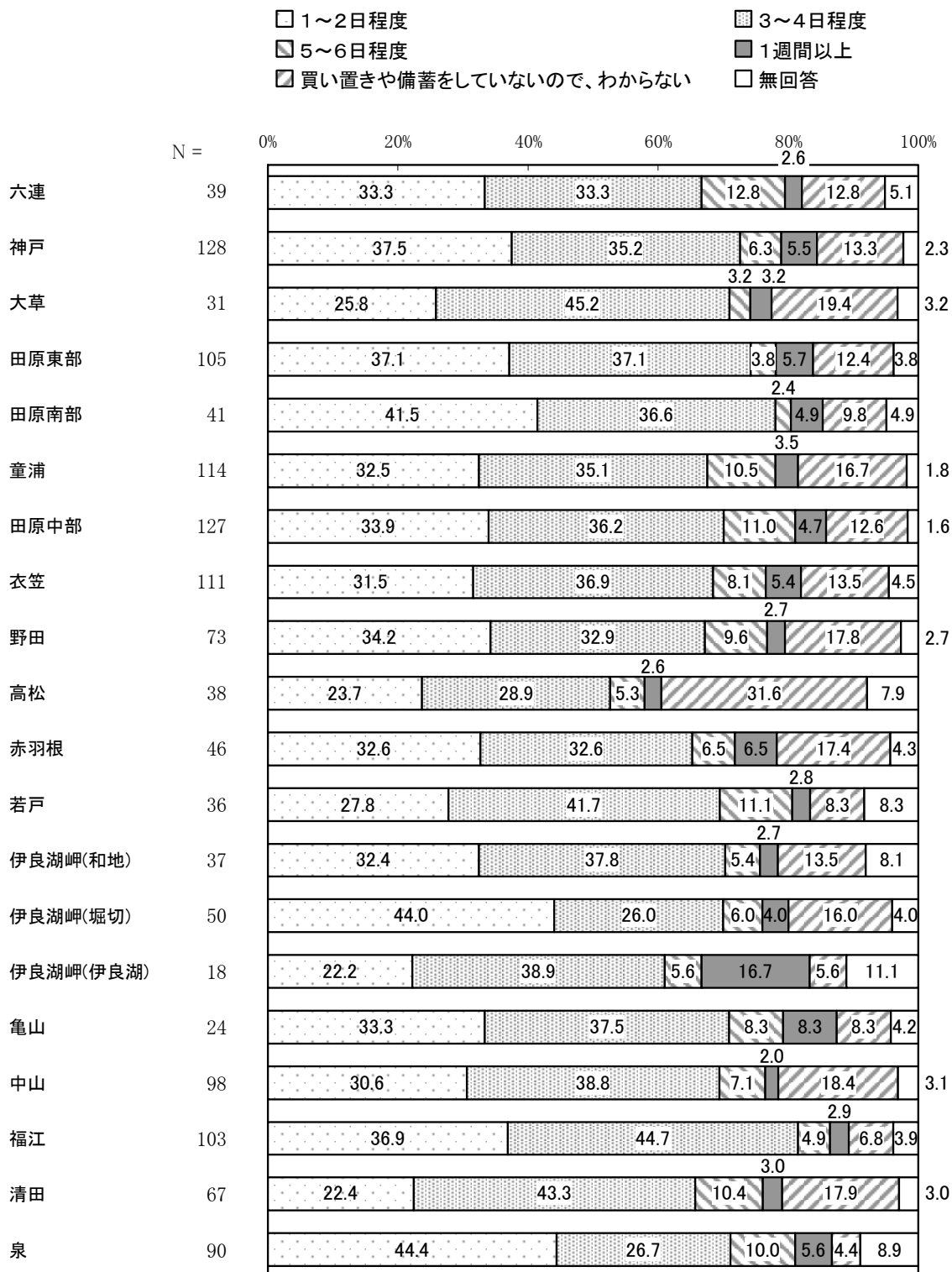
【年齢別】

年齢別でみると、60歳代で「3～4日程度」の割合が高く、4割を超えています。また、60歳代を除くすべての年代で「買い置きや備蓄をしていないので、わからない」の割合が1割を超えています。



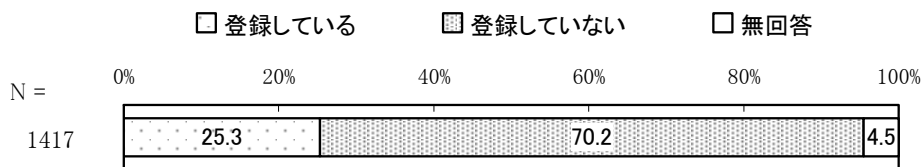
【地区別】

地区別でみると、高松で「買い置きや備蓄をしていないので、わからない」の割合が高く、3割を超えています。



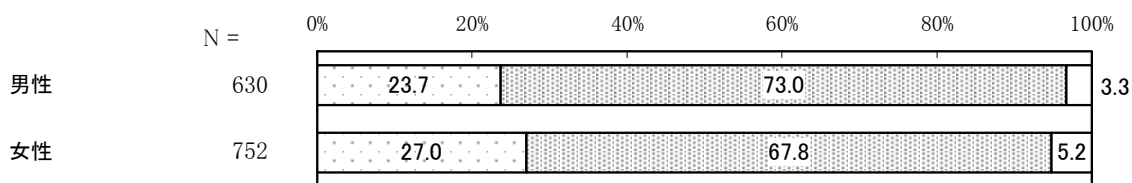
問 19 田原市安心・安全ほっとメールを登録していますか。(あてはまるもの1つに○)

「登録していない」の割合が高く、7割を超えています。



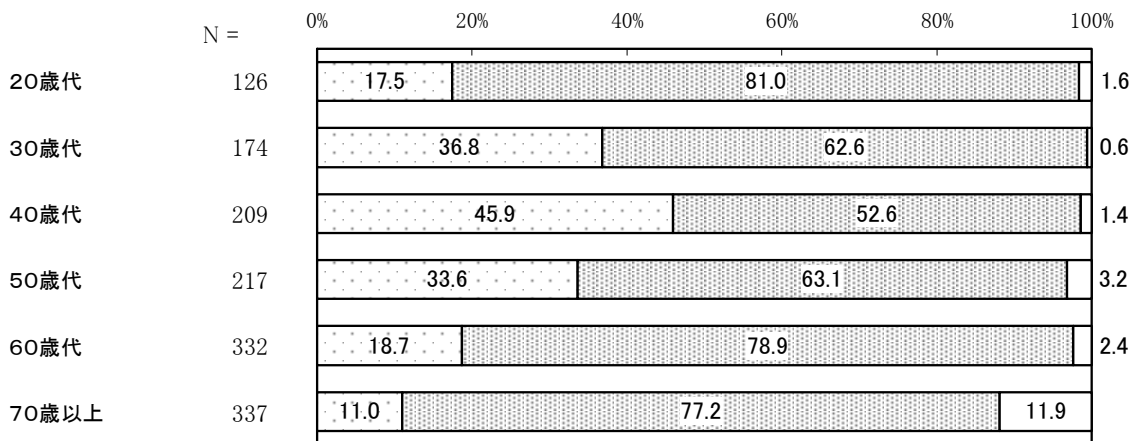
【性別】

性別でみると、男性で「登録していない」の割合が高く、7割を超えています。



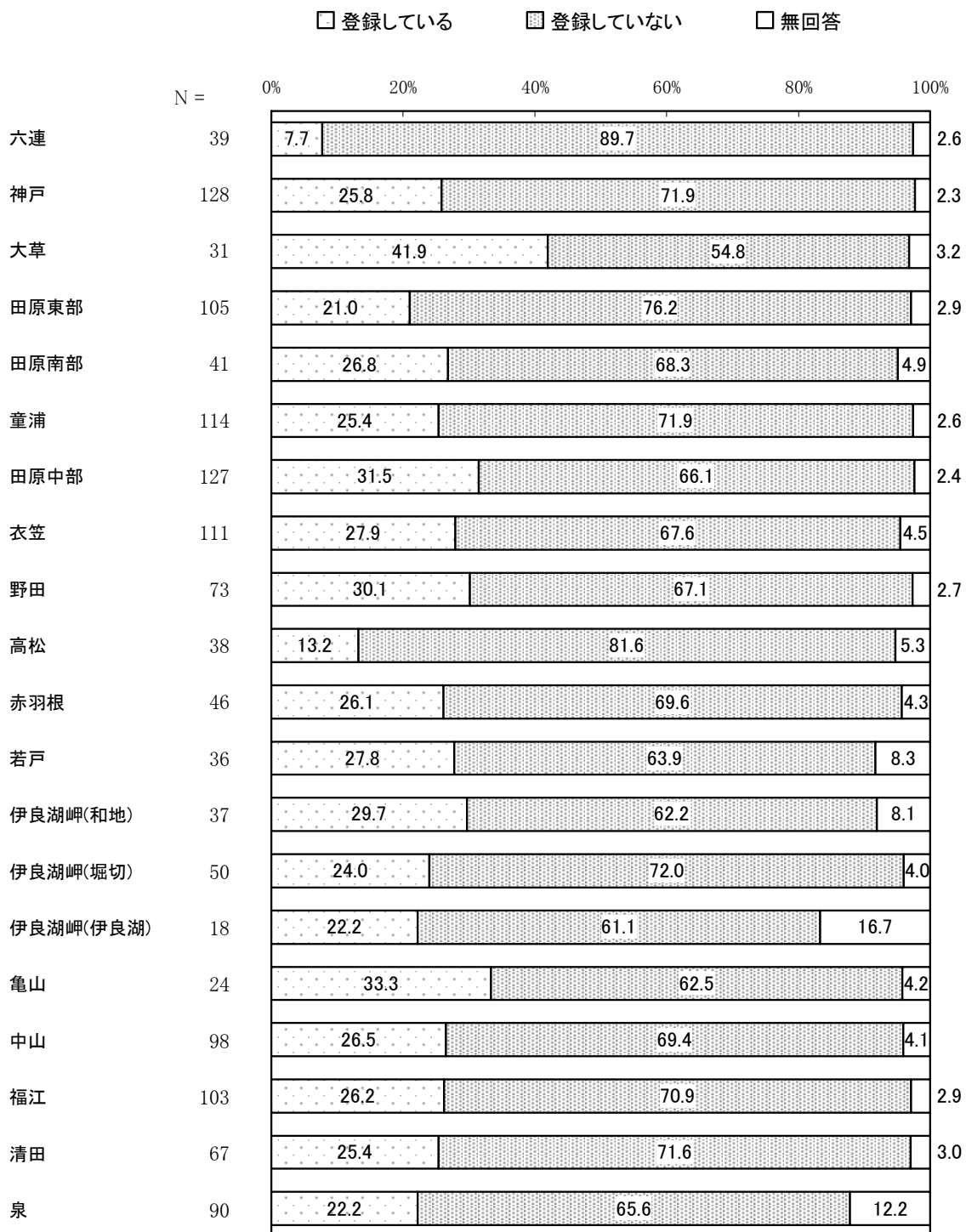
【年齢別】

年齢別でみると、40歳代で「登録している」の割合が4割を超えている一方、20歳代、60歳代以上で「登録していない」の割合が7割を超えています。



【地区別】

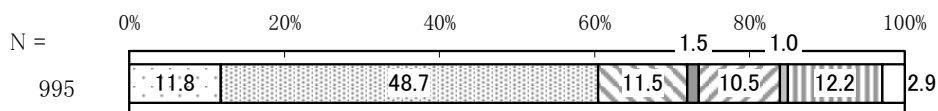
地区別でみると、六連、高松で「登録していない」の割合が高く、8割を超えています。



問 20 問 19 で「2 登録していない」と回答された方にお聞きします。登録を行わない主な理由は何ですか。(あてはまるもの1つに○)

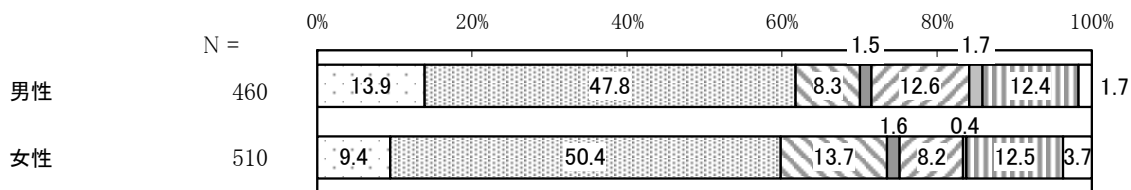
「登録の仕方がわからない」の割合が 48.7%と最も高く、次いで「手間がかかる(面倒だから)」の割合が 11.8%、「携帯電話・スマートフォンを持っていない」の割合が 11.5%となっています。

- 手間がかかる(面倒だから)
- 登録の仕方がわからない
- 携帯電話・スマートフォンを持っていない
- 利用料金が気になるから
- テレビ・ラジオ等で十分だから
- 大きな地震が起きるとは思わないから
- その他
- 無回答



【性別】

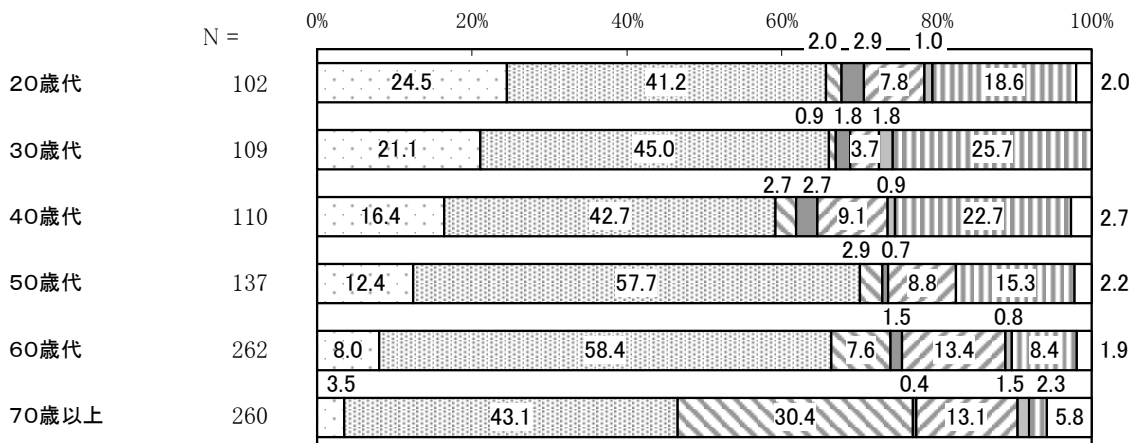
性別でみると、男女とも、「手間がかかる(面倒だから)」「登録の仕方がわからない」の割合が高く、約6割となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「手間がかかる(面倒だから)」の割合が高くなっています。

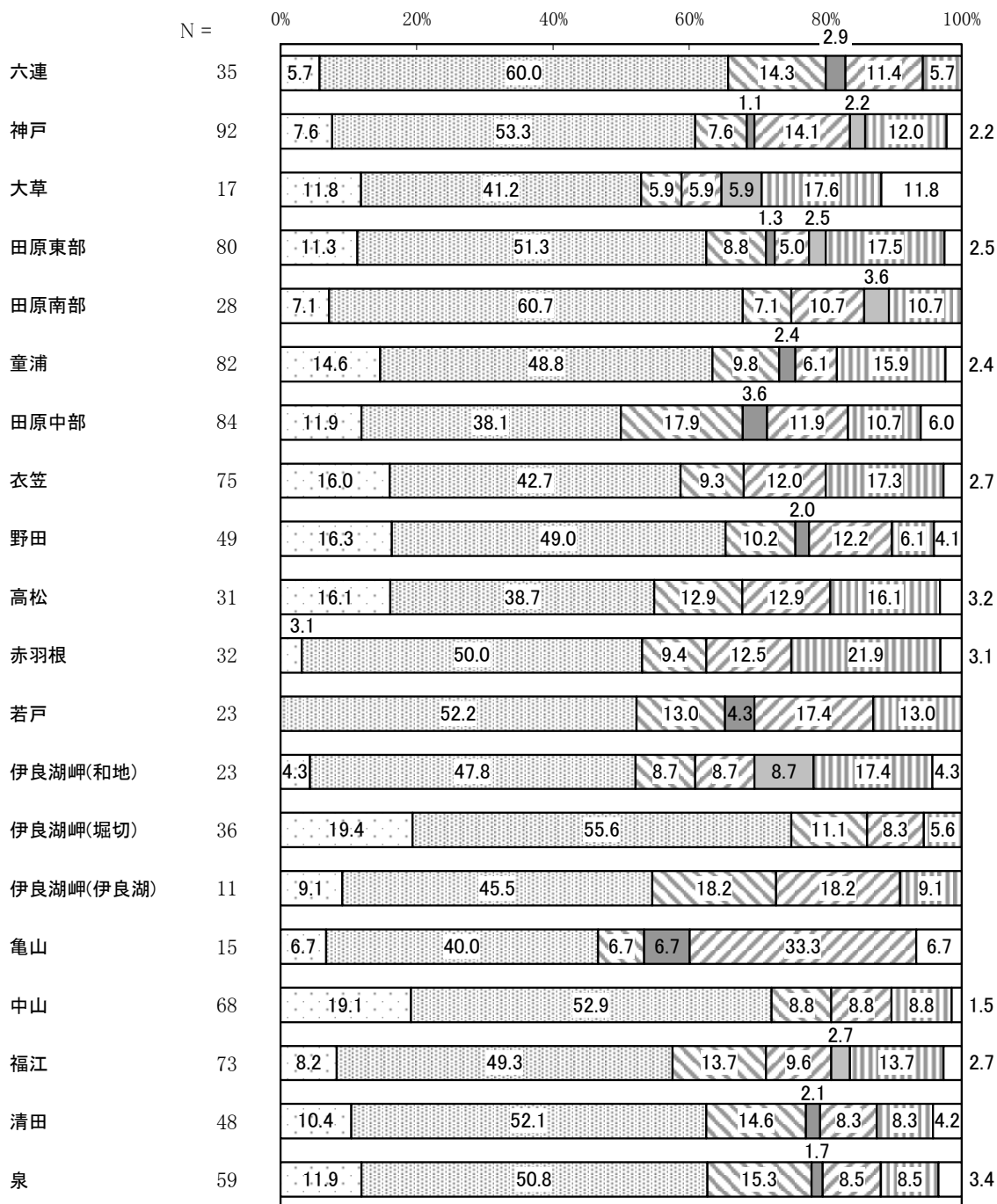
また、50歳代、60歳代で「登録の仕方がわからない」の割合が高く、70歳代以上になると「携帯電話・スマートフォンを持っていない」の割合も高くなっています。



【地区別】

地区別でみると、六連、田原南部で「登録の仕方がわからない」の割合が高く、6割を超えています。

- 手間がかかる(面倒だから)
- 携帯電話・スマートフォンを持っていない
- テレビ・ラジオ等で十分だから
- その他
- 登録の仕方がわからない
- 利用料金が気になるから
- 大きな地震が起きるとは思わないから
- 無回答

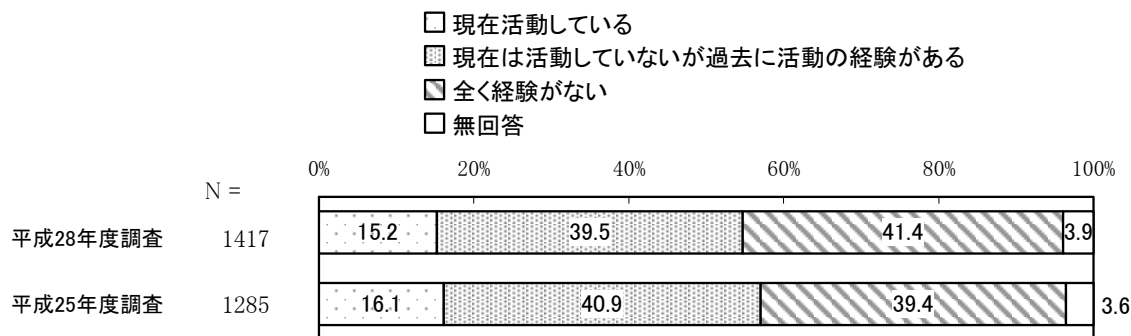


6 市民活動への参画について

問 21 あなたは、今までに地域活動やボランティア活動の経験がありますか。
(あてはまるもの1つに○)

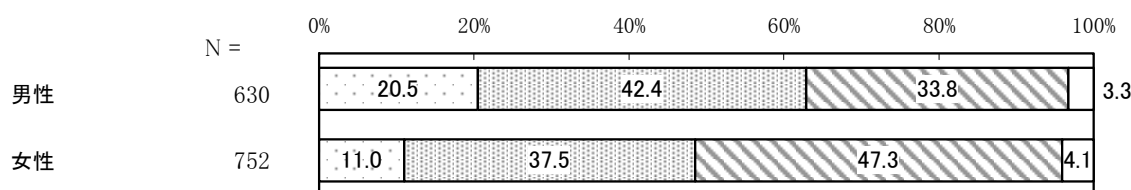
「全く経験がない」の割合が 41.4%と最も高く、次いで「現在は活動していないが過去に活動の経験がある」の割合が 39.5%となっています。

また、平成 25 年度調査と比べてみても傾向に差異が見られません。



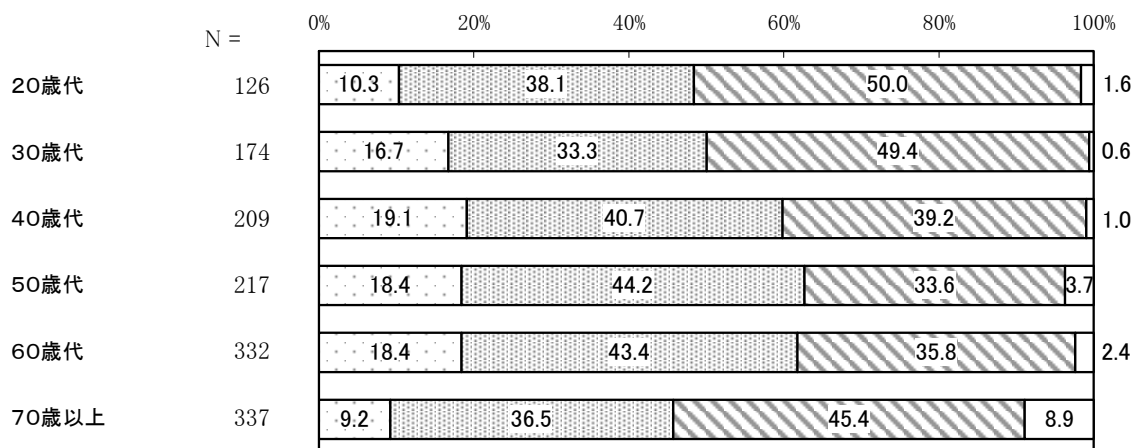
【性別】

性別でみると、男性で「現在活動している」と「現在は活動していないが過去に活動の経験がある」をあわせた“活動経験”の割合が高く、6割を超えています。



【年齢別】

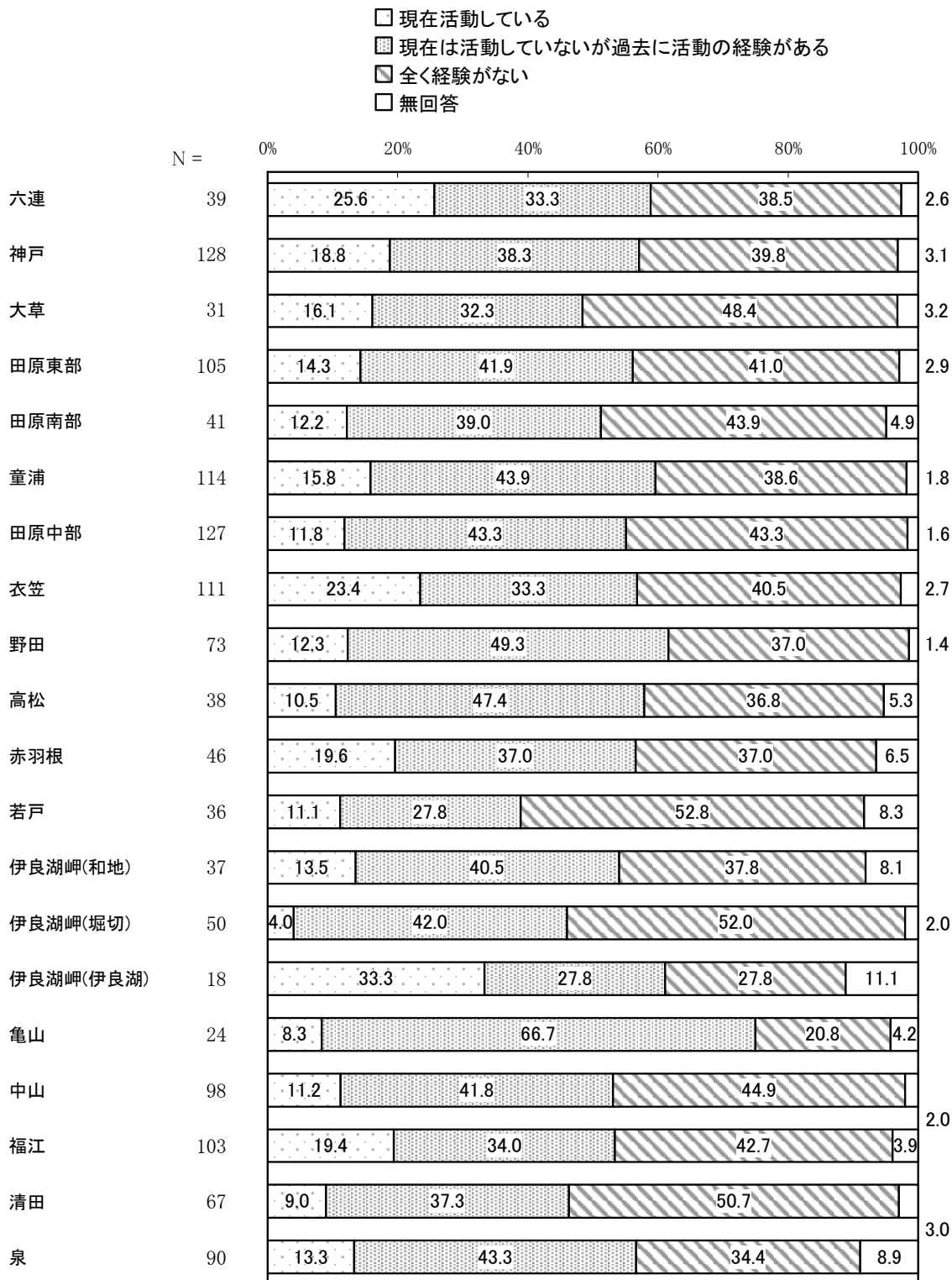
年齢別でみると、20歳代で「全く経験がない」の割合が5割を超えている一方、40歳代から60歳代で“活動経験”の割合が高く、6割を超えています。



【地区別】

地区別でみると、若戸、伊良湖岬(堀切)、清田で「全く経験がない」の割合が高く、5割を超えています。

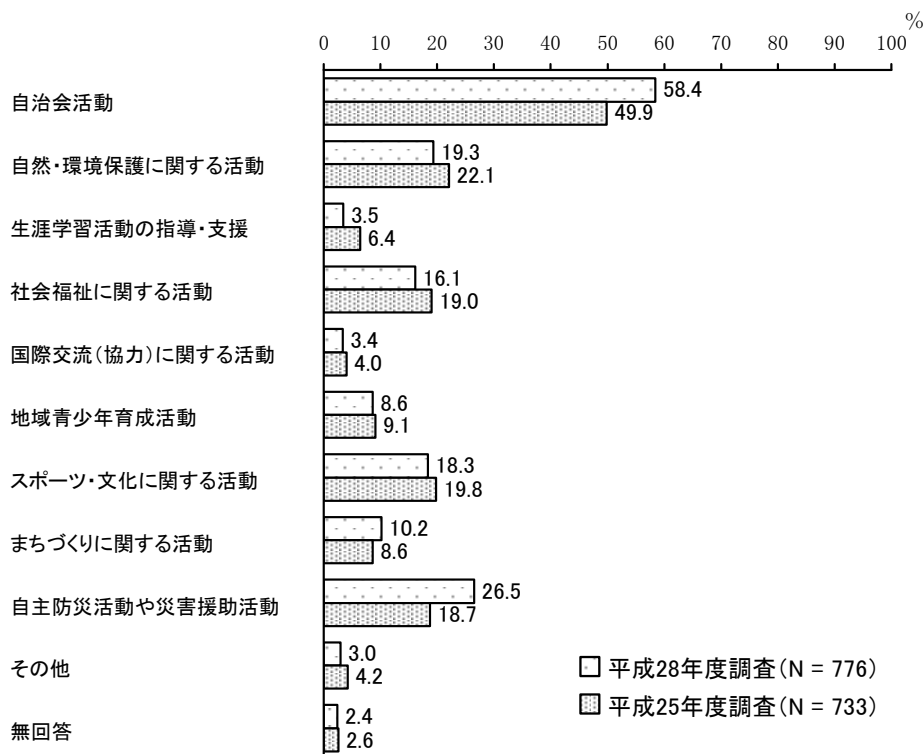
また、亀山で“活動経験”の割合が高く、7割を超えています。



問22 問21で「1 現在活動している」、「2 現在は活動していないが過去に活動の経験がある」と答えた方にお聞きします。どのような活動を行っています(いました)か。(あてはまるもの全てに○)

「自治会活動」の割合が58.4%と最も高く、次いで「自主防災活動や災害援助活動」の割合が26.5%となっています。

また、平成25年度調査と比べると「自治会活動」「自主防災活動や災害援助活動」の割合が増加しています。



【性別】

性別でみると、男女とも「自治会活動」の割合が最も高くなっています。

また、その他、男性は「地域青少年育成活動」「スポーツ・文化に関する活動」「自主防災活動や災害援助活動」の割合で、女性は「社会福祉に関する活動」の割合で5.0ポイント以上の差が見られます。

単位：%

区分	有効回答数(件)	自治会活動	自然・環境保護に関する活動	生涯学習活動の指導・支援	社会福祉に関する活動	国際交流(協力)に関する活動	地域青少年育成活動	スポーツ・文化に関する活動	まちづくりに関する活動	自主防災活動や災害援助活動	その他	無回答
男性	396	69.2	21.2	2.5	11.6	3.0	11.4	21.0	12.1	34.6	1.8	1.3
女性	365	46.6	17.3	4.4	21.1	3.8	6.0	15.9	7.9	16.4	3.8	3.6

【年齢別】

年齢別で見ると、20歳代を除くすべての年代で「自治会活動」の割合が最も高くなっています。

また、20歳代は、他の年代に比べ「社会福祉に関する活動」の割合が高く、「自主防災活動や災害援助活動」の割合が最も低くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	自治会活動	自然・環境保護に関する活動	生涯学習活動の指導・支援	社会福祉に関する活動	国際交流(協力)に関する活動	地域青少年育成活動	スポーツ・文化に関する活動	まちづくりに関する活動	自主防災活動や災害援助活動	その他	無回答
20歳代	61	13.1	37.7	3.3	31.1	1.6	4.9	24.6	11.5	3.3	—	—
30歳代	87	32.2	17.2	1.1	17.2	1.1	5.7	12.6	10.3	14.9	4.6	4.6
40歳代	125	52.0	25.6	3.2	12.0	7.2	12.0	27.2	11.2	28.0	3.2	—
50歳代	136	73.5	19.9	5.1	13.2	0.7	8.8	21.3	9.6	35.3	1.5	1.5
60歳代	205	73.7	14.1	2.4	14.6	4.9	11.2	16.1	11.2	30.2	4.4	1.0
70歳以上	154	62.3	14.3	3.9	18.2	2.6	5.8	11.7	7.8	27.3	2.6	7.1

【地区別】

地区別でみると、すべての地区で「自治会活動」の割合が最も高くなっています。

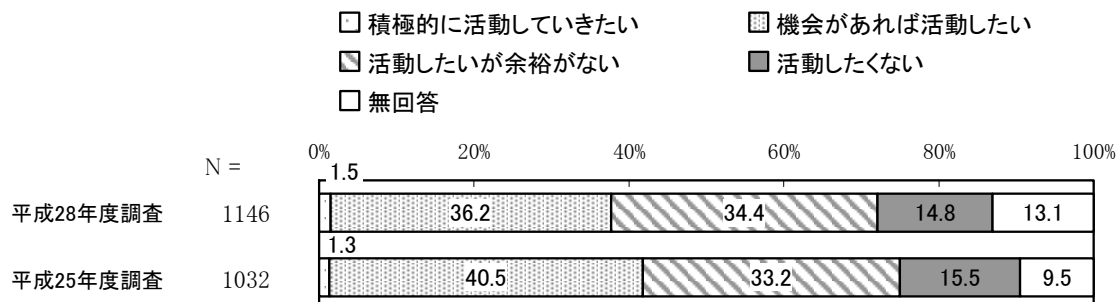
また、その他、若戸で「自然・環境保護に関する活動」の割合が、伊良湖岬(伊良湖)で「地域青少年育成活動」「スポーツ・文化に関する活動」「まちづくりに関する活動」の割合が、他の地区に比べ高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	自治会活動	活動 自然・環境保護に関する	支援 生涯学習活動の指導・	社会福祉に関する活動	国際交流(協力)に関する活動	地域青少年育成活動	活動 スポーツ・文化に関する	まちづくりに関する活動	活動 自主防災活動や災害援助	その他	無回答
六連	23	65.2	8.7	8.7	8.7	—	8.7	34.8	13.0	21.7	13.0	4.3
神戸	73	64.4	15.1	4.1	11.0	2.7	12.3	15.1	8.2	35.6	—	2.7
大草	15	66.7	13.3	6.7	6.7	—	6.7	26.7	—	46.7	6.7	—
田原東部	59	55.9	11.9	1.7	23.7	5.1	8.5	11.9	6.8	15.3	5.1	1.7
田原南部	21	76.2	9.5	14.3	19.0	—	28.6	19.0	9.5	42.9	—	4.8
童浦	68	67.6	16.2	1.5	13.2	1.5	7.4	22.1	8.8	19.1	2.9	—
田原中部	70	44.3	18.6	2.9	22.9	4.3	7.1	18.6	11.4	25.7	2.9	4.3
衣笠	63	55.6	17.5	3.2	22.2	4.8	11.1	15.9	3.2	31.7	3.2	4.8
野田	45	66.7	28.9	4.4	17.8	6.7	13.3	17.8	8.9	33.3	4.4	—
高松	22	50.0	22.7	—	18.2	9.1	9.1	22.7	9.1	27.3	—	—
赤羽根	26	53.8	23.1	3.8	—	—	15.4	19.2	15.4	23.1	7.7	3.8
若戸	14	71.4	42.9	7.1	14.3	14.3	7.1	21.4	7.1	35.7	—	—
伊良湖岬(和地)	20	60.0	15.0	—	15.0	—	—	20.0	5.0	10.0	5.0	5.0
伊良湖岬(堀切)	23	73.9	8.7	—	8.7	—	—	39.1	13.0	34.8	—	—
伊良湖岬(伊良湖)	11	72.7	36.4	—	9.1	9.1	45.5	45.5	36.4	27.3	—	9.1
亀山	18	61.1	38.9	—	27.8	5.6	11.1	11.1	11.1	27.8	—	—
中山	52	57.7	21.2	5.8	13.5	—	3.8	9.6	9.6	25.0	5.8	1.9
福江	55	45.5	20.0	3.6	18.2	1.8	5.5	12.7	23.6	27.3	1.8	—
清田	31	45.2	19.4	3.2	25.8	3.2	3.2	19.4	19.4	19.4	—	3.2
泉	51	62.7	23.5	2.0	9.8	3.9	2.0	15.7	2.0	23.5	2.0	3.9

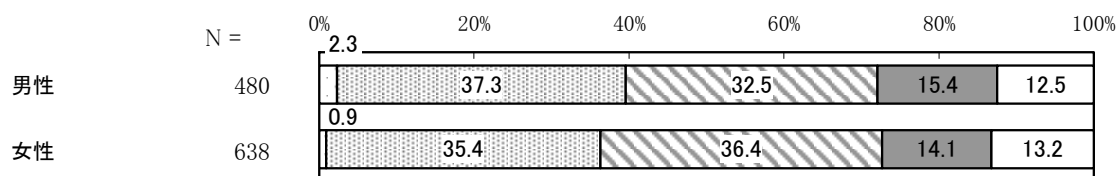
問 23 問 21 で「2 現在は活動していないが過去に活動の経験がある」、「3 全く経験がない」と答えた方にお聞きします。今後、活動を行ないたいと思いませんか。

「機会があれば活動したい」の割合が 36.2%と最も高くなっていますが、平成 25 年度調査と比べ 4.3 ポイント減少しています。



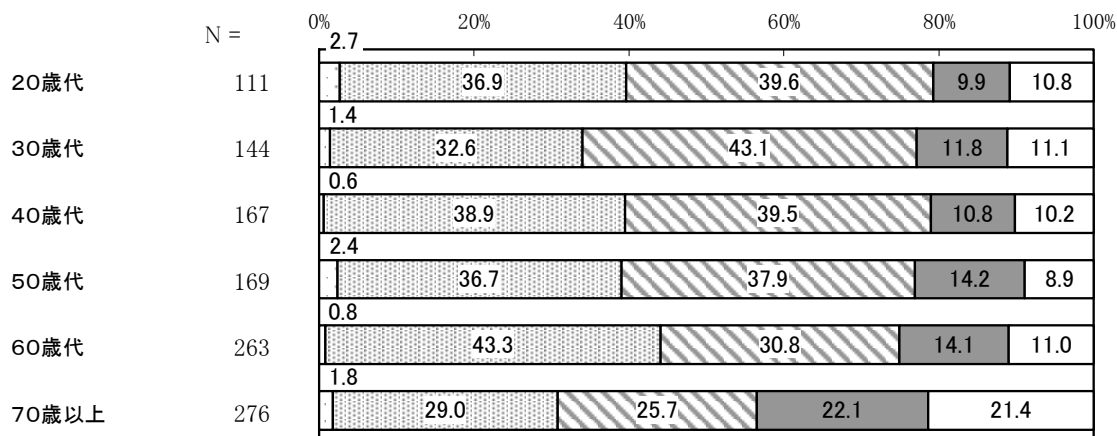
【性別】

性別でみると、「活動したいが余裕がない」で若干男女の差が見られます。



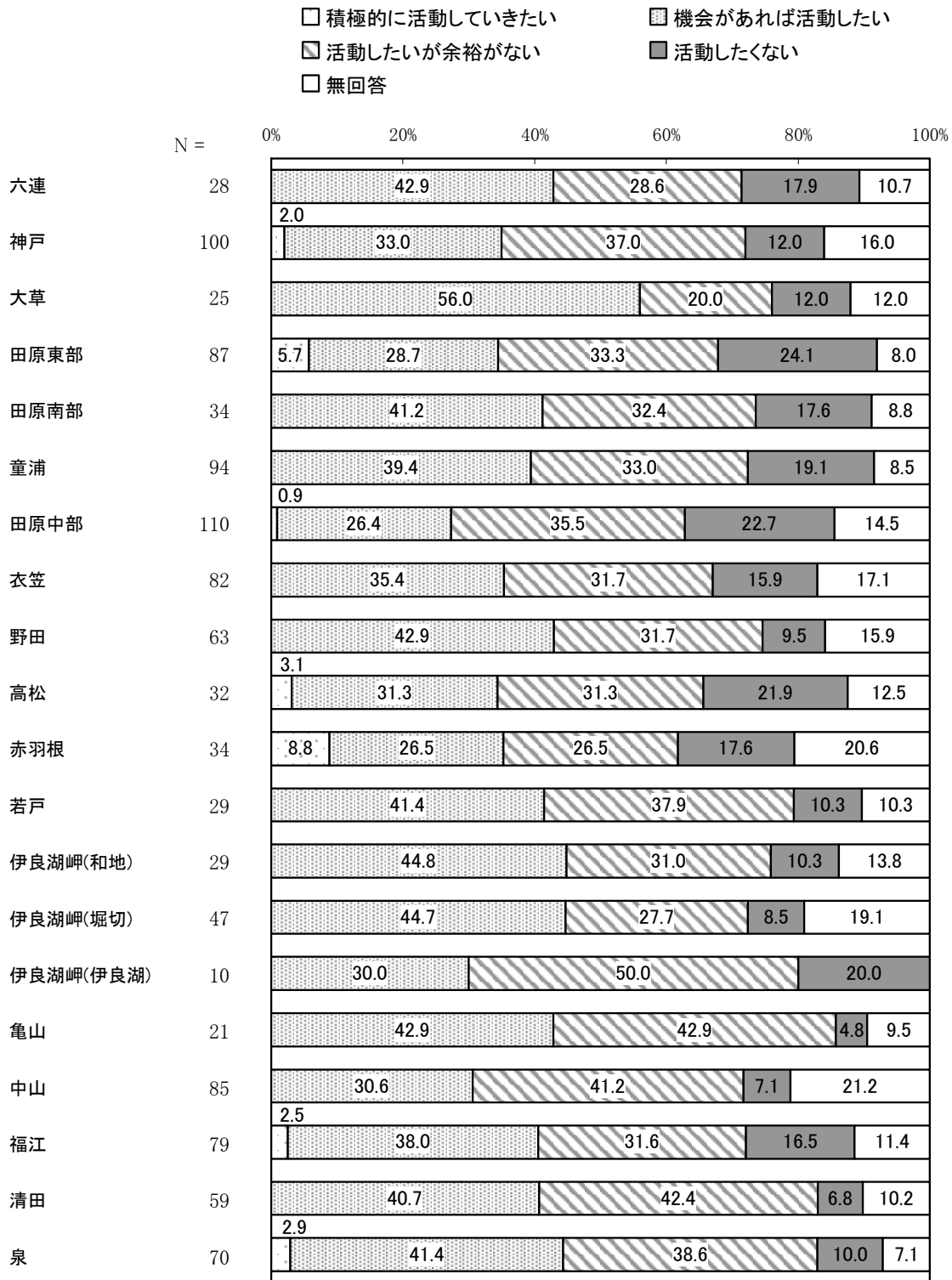
【年齢別】

年齢別でみると、60歳代で「機会があれば活動したい」の割合が高く4割を超えている一方、年齢が高くなるにつれ「活動したくない」の割合も高くなる傾向がみられます。



【地区別】

地区別でみると、大草で「機会があれば活動したい」の割合が5割を超えている一方、田原東部、田原中部、高松、伊良湖岬(伊良湖)で「活動したくない」の割合が2割を超えています。



7 自由意見

問 24 市政に対するご意見、ご要望がありましたらご自由にお書き下さい。

(1) 都市基盤整備 (19 件)

●市街地の整備などについて (12 件)

- ・市民プールを作ってください (3 件)
- ・もっと農村部に目を向けて欲しい (1 件)
- ・市の中心市街地の整備に予算を使いすぎている (1 件)
- ・三河田原駅周辺の整備が何年も前から進んでいると思います (1 件)
- ・廃屋、空屋が目立って来ましたので、市で条例を設けて頂き、環境整備をして近隣住民の迷惑を解消して頂きたいです (1 件)
- ・独身でも安く入居できる公共住宅があればいいと思います (1 件)
- ・田原の豊かな自然を生かし、樹木葬場を作ってほしい (1 件)
- ・きれいな町作りをお願いしたいです (1 件)
- ・街灯が少ない (1 件)
- ・駅の近くに温泉施設が出来て欲しいです (1 件)

●中心地区の開発と他地区の開発について (5 件)

- ・田原市中心部周囲の環境整備、景観整備ばかりが目につく思い (4 件)
- ・中心部だけでなく、全体がうるおうようをお願いしたい (1 件)

●その他 (2 件)

- ・田原の町並造りが上手にいけないと思う (2 件)

(2) 道路・交通 (72 件)

●道路に関すること (37 件)

- ・交通基盤の整備、充実 (32 件)
- ・何とか渥美半島に高速道路を (2 件)
- ・浜名バイパスのような半島道路を実現してほしい (2 件)
- ・市役所前の旧 259 号線の整備は必要があるのか。 (1 件)

●ぐるりんバスに関すること (21 件)

- ・バス会社を守るより市民の利便を考えてほしい (13 件)
- ・ぐるりんバスをもっと本数を増やしてほしい (6 件)
- ・ぐるりんバスの運転手の適正診断を強化してほしい。 (1 件)
- ・ぐるりんバスの小型化 (1 件)

●バスに関すること (9 件)

- ・本数が少ない (6 件)
- ・バス代が高すぎる (2 件)
- ・高校生のバス代補助があればよい (1 件)

●その他 (5 件)

- ・豊橋鉄道渥美線を渥美エリアまで延ばしてほしい (2 件)

II 田原市市民意識調査

- ・豊島にある総合運動公園が駐車場になった所ですが、あんなに大きい駐車場にしてもったいないと思います（1件）
- ・地域乗合タクシーについて2時間間隔では使いづらい（1件）
- ・路上駐車があり、道がせまいため、通行のさまたげになるのでなんとかしてほしい（1件）

(3) 公共施設（22件）

●公園に関すること（17件）

- ・公園や水あそび場をつくってほしいです（10件）
- ・維持管理もしっかりとやってほしいです（4件）
- ・安全で楽しく遊べる公園が少ない（3件）

●公共施設の建設に関すること（5件）

- ・バスの停めてある所、タクシーの停めてある所が自家用車の一時駐車場には変更できないものでしょうか（3件）
- ・駐車場を平いらにしていきたい（1件）
- ・田原で基本的な生活はできても、娯楽などがない（1件）

(4) 環境、自然に関すること（29件）

●悪臭に関すること（8件）

- ・悪臭防止対策をしてほしい（8件）

●環境美化に関すること（19件）

- ・道路にはみ出している草を処理してほしい（15件）
- ・ポイステ等のゴミの始末（2件）
- ・ゴミを24時間捨てられるところが欲しい（1件）
- ・ユニチカ跡地の汚染土壌を片浜の田原ふ頭に運んでいるようだが、どのように処理しているのか（1件）

●自然エネルギーに関すること（2件）

- ・資源ごみ焼却時の熱を利用して市民のためにお風呂等の施設があると活気につながる（1件）
- ・広い場所で太陽光発電で得る電気エネルギーを市役所が管理したほうがいいと思います（1件）

(5) 医療、保健（34件）

●医療に関すること（34件）

- ・病院、医療の充実（21件）
- ・病院までの交通手段が不満です（7件）
- ・大きい病院が近くにない（1件）
- ・病院に行かなくてすむように健康づくりに重きをおいてほしい（1件）
- ・子どもはもちろんのこと、大人の医療費も考え直してほしいです（1件）
- ・がん検診（ペット）に補助金を出してほしい（1件）

- ・産科が少ない（1件）
- ・小児科の夜間外来を田原市に用意して下さい（1件）

（6）福祉（21件）

●**児童福祉に関すること（3件）**

- ・できれば児童手当などを高校生までいただけると嬉しいです（1件）
- ・子ども手当や出産一時金などをもっと増やしてほしい（1件）
- ・幼児期等、育児手当を付け少しでも子どもが生まれるよう努めたほうがいいと思います（1件）

●**高齢者福祉、障がい者福祉に関すること（18件）**

- ・高齢者の社会保障とか、高齢者雇用の充実を図っていただきたい（8件）
- ・障害者福祉の充実（4件）
- ・介護の負担が大きい（2件）
- ・福祉センターの充実（1件）
- ・高齢者ドライバーが免許証を手放せず、事故が多発する状況はこれから増々深刻化して行くと思われます。免許が無くても便利に過ごせる町になるよう、対策を更に考えて欲しいと思います（1件）
- ・後期高齢者健診はいらないと思う（1件）
- ・家庭看護が多くなるかと思います。家族に看護手当が必要かと思います（1件）

（7）教育、文化（19件）

●**教育に関すること（15件）**

- ・保育園、小学校の合併問題（3件）
- ・夏休み子ども教室について、時間を早くしてほしい（1件）
- ・子ども会行事の宮田村交流の支援をお願いいたします（1件）
- ・学校に防犯装置を設置してほしい（1件）
- ・高校以降の教育の場がなく、遠くへ出なくてはいけない（1件）
- ・外人の教育をちゃんとやってほしい（1件）
- ・子育て、教育面が今以上に向上してくれるといい（1件）
- ・小、中学校の部活動と勉強とのバランスを考えるべきではないか（1件）
- ・小中学校各クラスにエアコンがあったらなと思います（1件）
- ・もう少し先生の質を上げてほしい（1件）
- ・保育園の環境が校区によって差がある（1件）
- ・共働きで祝日も会社が稼働日のため「祝日保育」を早急に実施して頂きたい（検討頂きたい）と思います（1件）
- ・保育料が高いと思う（1件）

II 田原市市民意識調査

●文化に関すること（4件）

- ・文化活動に対しての街として支援をご要望していただきたいかなと思います（2件）
- ・シェルマ吉胡の施設は平日ほとんど利用がない（1件）
- ・芸術や文化への意識が低いので、コンサートや演劇などをもっとさかんな町にしてほしいと思う（1件）

（8）産業・観光に関すること（33件）

●商業に関すること（9件）

- ・もっと商業施設、店舗、飲食店がほしい（8件）
- ・店が年々なくなり、すごく不便になりました（1件）

●観光に関すること（18件）

- ・観光をさかんにして、仕事を増やしてほしい（10件）
- ・観光に対してPRが不足しているように思います（3件）
- ・田原市に必要なことはゆるキャラやアイドルではなく、外部と接触しようとする姿勢だと思う（2件）
- ・観光は不安定で、あまりあてにならないと思います（1件）
- ・もっと幅広い年齢が来れる市にする必要があると思います（1件）
- ・田原市のブランド化（1件）

●農林漁業に関すること（6件）

- ・農業の後継者を育てる必要がある（2件）
- ・農業、漁業の発展を考えた市政をしてほしい（2件）
- ・15年前からアサリの漁場を自分のもののようにし、他の者がその漁場に行くと暴言をはいたり威嚇したりマンガをぶついたり、その場に寄せつけないようにしています。組合も動かず市のほうで何かいい方法はないでしょうか（1件）
- ・有害鳥獣の駆除に力を入れてほしい。年々被害が拡大して困っている（1件）

（9）防犯、防災、安全（26件）

●防犯に関すること（10件）

- ・主要道路も市道もこまめに舗装、白線をなおしてほしい。（3件）
- ・街灯がとても少ない。防犯もかねて、増やしてほしい。（3件）
- ・樹木や雑草が生い茂って交通の妨げになっており、事故の危険性がある。（2件）
- ・交通マナーが最悪。改善をお願いします。（1件）
- ・不審者が出た場合マイクなどで市民に情報を流してほしい。（1件）

●防災に関すること（15件）

- ・地域にあった防災を行ってほしい（5件）
- ・災害時での避難場所が遠いので、老人は避難ができない（4件）
- ・災害時の被害の軽減を図るようお願いします（1件）

- ・地震の訓練などもっと頻繁にしてほしいですし、情報がもっと分かりやすくみんなに伝わるようにしてほしいです（1件）
- ・地震のときの避難場所が小中山の郷の中にはありません（1件）
- ・南海トラフ地震に起因する津波の想定がいろいろあるが、最悪の事態に備えて対策を練っているとは思えない（1件）
- ・震災の際、リフォームで補助金がでるのはいいけど、建替えでも補助金を出してほしい
（1件）
- ・折立港の堤防の補強（1件）
- 安心、安全に関すること（1件）
- ・平和で安心して住める街造りに専念してやっていただけるよう、心からお願い申し上げます
（1件）

(10) 市政、行政（50件）

- 市政に関する全体的なイメージに関すること（6件）
- ・安心・安全で暮らしやすい町“田原市”の変化を期待する。（1件）
- ・市の若返りに期待します。（1件）
- ・各分野の方々の意見もあると思うが、方向性を失わないでほしい。（1件）
- ・市の農業委員の職員がある個人を故意に圧力をかけることは許されない。（1件）
- ・頑張った人が報われるまちであってほしいです。（1件）
- ・市の財政が豊かなばかりに、職員の方の柔軟な発想が乏しい。（1件）
- 施策や事業に関すること（12件）
- ・旧渥美と田原市の差がひどいと思います（4件）
- ・市長の望むことと市民の望むことがかけ離れているのではないかと（1件）
- ・とにかく無駄が多いので、事業を減らす努力をしてもらいたい（1件）
- ・公共事業の拡大（1件）
- ・市としてやるべきだと思ったことは思い切ってやってほしい（1件）
- ・生まれてから死ぬまでずーっと暮らしたいと思えるまちづくりをお願いします（1件）
- ・田原で2020年オリンピックでサーフィン会場に手を挙げているが、後の事を考えているのか疑問（1件）
- ・スポーツ課が出来ても全くスポーツのあり方が変わらない（1件）
- ・地域の人のお話を聞き、長期的な計画と早急をお願いしてあることをスムーズに施工して欲しい
（1件）
- 市民意見の吸い上げ、市民との協働、情報提供（3件）
- ・波瀬と光崎の間に街路灯の設置をお願いしていますが、市はいつ設置をしてくれるのでしょうか（1件）
- ・市として市民に周知し、要望を募る努力をしてほしい（1件）
- ・今の市長さんは相談すると耳を傾け聞いて来れるのでうれしかったです（1件）

II 田原市市民意識調査

●市役所の窓口、担当課の対応について（11件）

- ・職員の態度、部署によって態度が悪い（5件）
- ・自分から行動できず家にひきこもっている人達がたくさんいると思います。そういう人達に向けて勇気づけができるような企画やイベント、相談場所などの提供をよろしくお願いします
（1件）
- ・職員の方の対応の仕方は、やさしく親切でていねいに応対して下さりとても嬉しかったです
（1件）
- ・軽自動車税の引落しをこちらが申請してないのに「過去に事実があったからという」理由で勝手に実行するのはやめて下さい。本当に迷惑です。どうしてそういう大切な事を勝手にするのですか？理由にならないと思いますが。変更して欲しいと言うと手続きに来て下さいってどういう身勝手な対応なの（1件）
- ・現場第一主義で、市民に対してほしい。（1件）
- ・届出をしても情報が統一されていないので、他の部署で同じような手続きをしなければならなかった。効率が悪い。（1件）
- ・市職員個人個人のスキルアップと市民の目線に合った対応が必要。（1件）

●行財政運営について（11件）

- ・よく話題になる金と時間の問題（2件）
- ・職員数が過剰なのでは（2件）
- ・健康保険や保育料など、固定資産税を払った上にまた固定資産があるために課税されるのは二重に税を取られているように感じます（2件）
- ・国民健康保険税など税金が以前より高くなって、田原市が住みにくくなった（1件）
- ・税金の使い道は、お手盛りでなく各地域の重要度に応じた使用も考えては（1件）
- ・ムダな公共事業をさせない（1件）
- ・資金を大切に使ってください（1件）
- ・固定資産税の増額、年金の減額によりますます生活が苦しくなってきました（1件）

●市議会について（2件）

- ・議員報酬の削減、議員定数の削減（2件）

●情報公開について（5件）

- ・田原市役所のホームページがみにくいです。情報をもっとのせてほしいです（1件）
- ・市から流れる放送が全然聞き取れません。大事な用件だと思いますので大変困っています
（1件）
- ・市議会の質疑応答等、テレビで放送してほしい（1件）
- ・より積極的に広報等でわかりやすく情報を流していただきたい（1件）
- ・回覧板や広報の配布回数の見直し（1件）

(11) アンケートについて (28 件)

- ・ アンケートや調査をよく回答しますが、それをまとめて報告書を作成して終わることのないように (6 件)
- ・ 具体的なイメージがつかめず、回答するのがとても難しかったです (5 件)
- ・ 時間と税金の無駄だと思います (5 件)
- ・ 高齢なのでわからないところは書いていません (4 件)
- ・ 本アンケートは、設問の数が多すぎる (2 件)
- ・ 市政、自治会等に参加していれば質問にも答えれるが、関心のない人にはなかなか答えれないと思う (2 件)
- ・ アンケートがあまりにも大ざっぱ過ぎて、一体全体この解答をどのように市政に活かすことができるのか甚だ疑問に思う (1 件)
- ・ 毎回届きますが、本当に無作為に選ばれていますか (1 件)
- ・ 意識調査はすばらしい実践であると思います (1 件)
- ・ 字が小さくて読みにくい (1 件)

(12) その他 (47 件)

- ・ より良い環境づくりをお願いします (9 件)
- ・ 道路が目の前で夜中などにバイクの騒音がすごいです (4 件)
- ・ とくにありません (4 件)
- ・ いつもありがとうございます (3 件)
- ・ 知ろうとしない自分も悪いが、そもそも田原市の政策を知らない (2 件)
- ・ 地域活動への参加を強制させることがよくあり、困っています (2 件)
- ・ 住みやすい田原市の改善に期待しております (2 件)
- ・ 日頃は市民のために取り組み等、いろいろとありがとうございます (1 件)
- ・ 豊橋から引っ越してきて 10 年以上になりますが、田原は住みやすいまちだと思います (1 件)
- ・ 昼のチャイムを止めて欲しい (1 件)
- ・ 何事にも意識なくただ毎日毎日を無事に生活しているだけです (1 件)
- ・ もっと何もできない人のことも考えてほしいです (1 件)
- ・ スポーツが強い田原、特に野球、陸上と強いので、中学、高校生にもっとチャンスを与えれば、世界で活躍できると思います (1 件)
- ・ 昔の古い街並も大切にしていきたいと思います (1 件)
- ・ 初心者でも参加しやすいバレーボール等のスポーツのグループがあるといい (1 件)
- ・ アルゼンチンアリ防除方法の効果的な駆除をお願いします (1 件)
- ・ 赤羽根にスポーツ施設がないので、ほしいと思います (1 件)
- ・ 赤ちゃんの体重を気軽にはかれるところがほしい (1 件)
- ・ 商、工、農の調和が取れる市政をたのむ (1 件)
- ・ 90 歳になって自分の健康を祈るだけ (1 件)

II 田原市市民意識調査

- ・若い世代がもっと意欲的に動いていきたい（1件）
- ・自治会長会議の時間が中途半端な時間に行われたり、農家中心で行われる為、自治会長のなり手がいない（1件）
- ・給料の格差がありすぎる（1件）
- ・田原最高です。住むなら田原が1番です。田原人でよかった（1件）
- ・結果が出たら知りたいです（1件）
- ・市の火葬場を利用する事があったのですが、亡くなった人のお骨になって、出て来た時あまりのあつかいに見ていてなみだがとまりませんでした。もうちょっと大切にあつかってほしいし、言葉づかいもなんとかしてほしいです。お骨ひろいもせかさね、もう二度と利用したくないと思いました（1件）
- ・若者を甘やかすことなく弱者に優しい田原市を望みます（1件）
- ・成人式の開催時間を昼から（PM1時頃）にしてはどうか。子供たちの準備も市役所の方の会場の準備も楽になるのでは（1件）

■Ⅲ 市内事業者アンケート調査

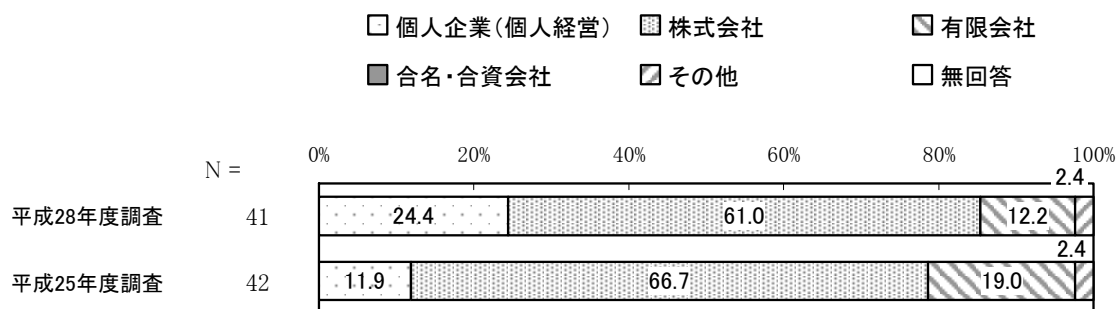
Ⅲ 市内事業者アンケート調査

1 回答者属性

問1 あなたの事業所についてお答えください。

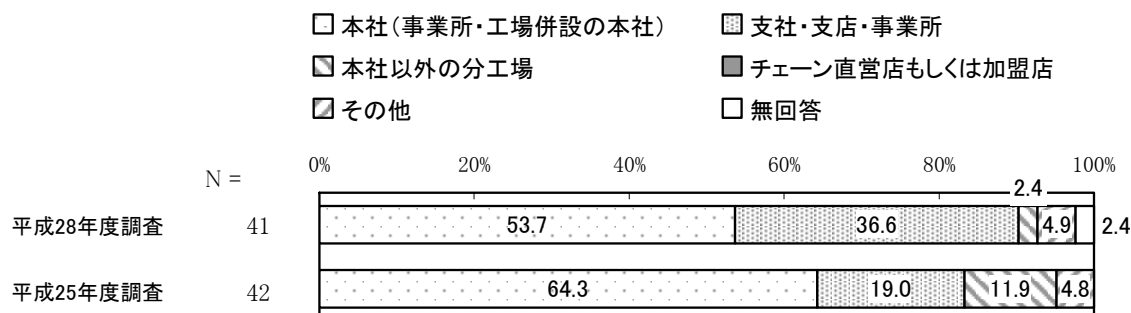
① 企業形態

「株式会社」の割合が61.0%と最も高く、次いで「個人企業（個人経営）」の割合が24.4%、「有限会社」の割合が12.2%となっています。



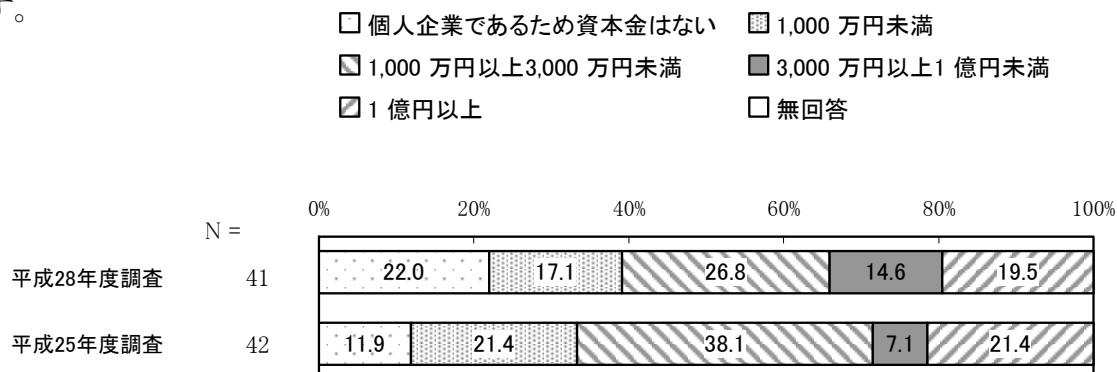
② 本社・事業所区分

「本社（事業所・工場併設の本社）」の割合が53.7%と最も高く、次いで「支社・支店・事業所」の割合が36.6%となっています。



③ 資本金

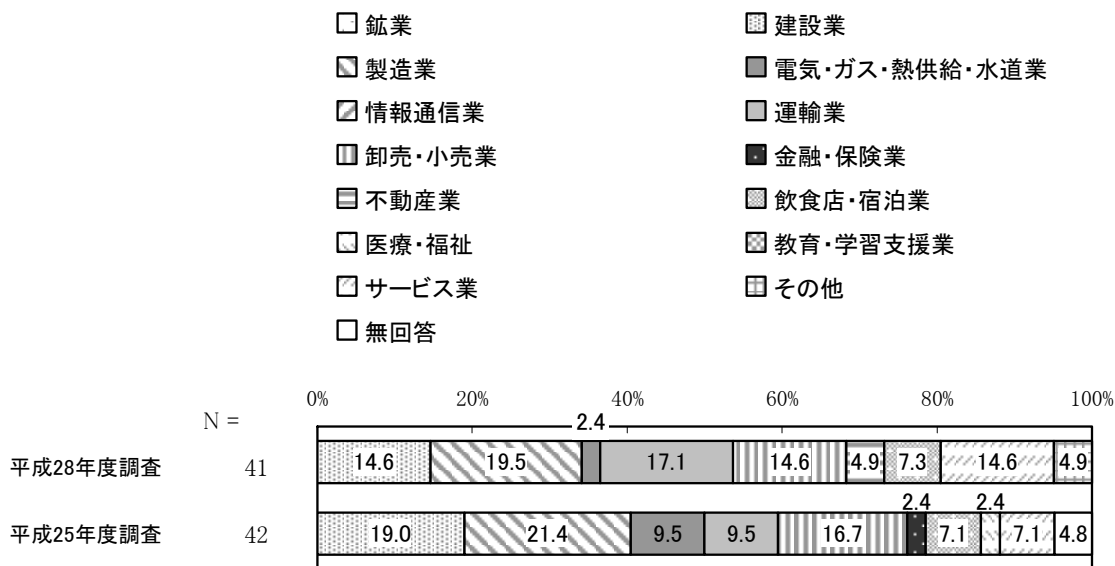
「1,000万円以上3,000万円未満」の割合が26.8%と最も高く、次いで「個人企業であるため資本金はない」の割合が22.0%、「1億円以上」の割合が19.5%となっています。



Ⅲ 市内事業者アンケート調査

④ 業種

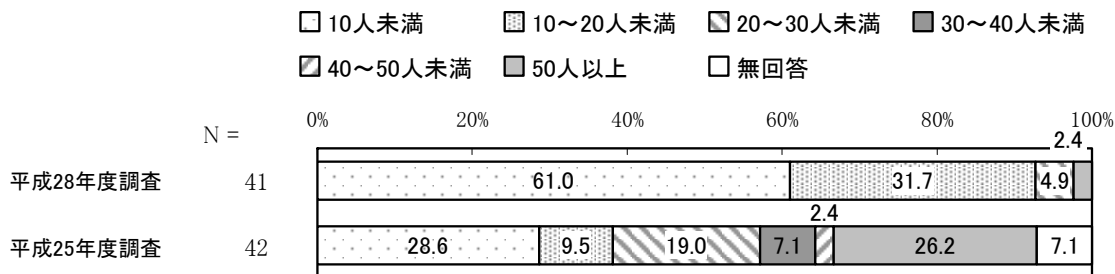
「製造業」の割合が19.5%と最も高く、次いで「運輸業」の割合が17.1%、「建設業」、「卸売・小売業」、「サービス業」の割合が14.6%となっています。



⑤ 従業員数 (H28.4.1時点)

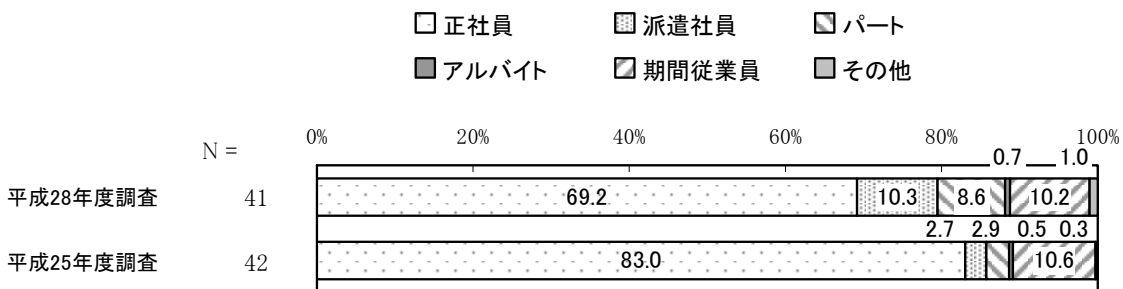
【総数】

「10人未満」の割合が61.0%と最も高く、次いで「10～20人未満」の割合が31.7%となっています。



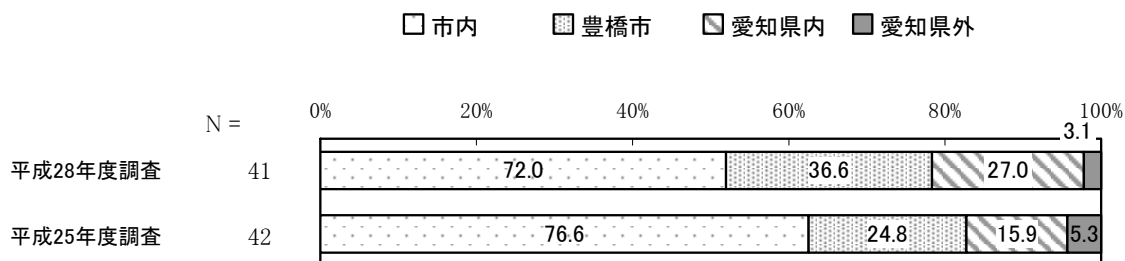
【従業員の内訳】

「正社員」の割合が69.2%と最も高く、次いで「派遣社員」の割合が10.3%となっています。



⑥ 事業所（工場）の従業員の居住先の概ねの比率

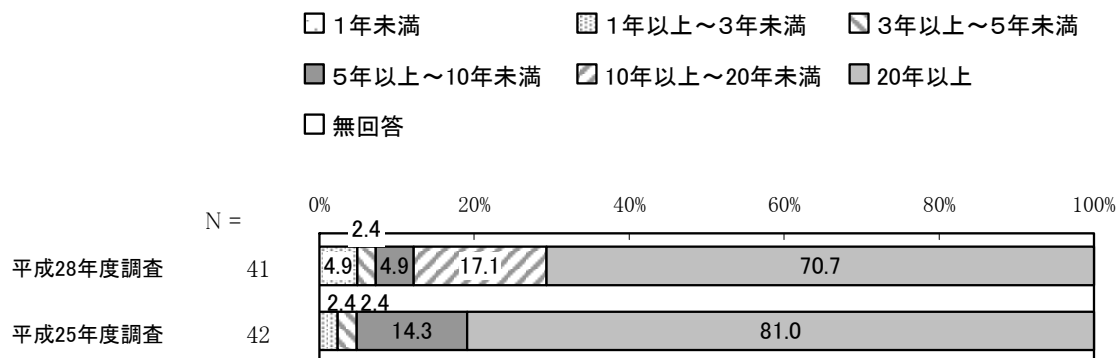
「市内」の割合が72.0%と最も高く、次いで「豊橋市」の割合が36.6%、「愛知県内」の割合が27.0%となっています。



※回答者の平均値であるため、合計が100%になりません。

⑦ 田原市での事業年数

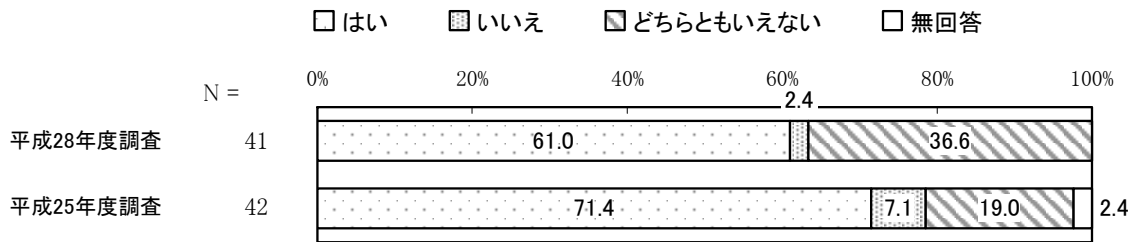
「20年以上」の割合が70.7%と最も高く、次いで「10年以上～20年未満」の割合が17.1%となっています。



2 田原市の事業環境について

問2 田原市は、あなたの事業所にとって事業をしやすいまちだと思いますか。
(○は1つ)

「はい」の割合が61.0%、「どちらともいえない」の割合が36.6%となっています。
また、平成25年度調査と比べると、「どちらともいえない」の割合が17.6ポイント増加しています。



【業種別】

業種別にみると、建設業、サービス業で「はい」の割合が高く、8割を超えています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	はい	いいえ	どちらともいえない	無回答
鉱業	—	—	—	—	—
建設業	6	83.3	—	16.7	—
製造業	8	75.0	12.5	12.5	—
電気・ガス・熱供給・水道業	1	100.0	—	—	—
情報通信業	—	—	—	—	—
運輸業	7	42.9	—	57.1	—
卸売・小売業	6	66.7	—	33.3	—
金融・保険業	—	—	—	—	—
不動産業	2	50.0	—	50.0	—
飲食店・宿泊業	3	—	—	100.0	—
医療・福祉	—	—	—	—	—
教育・学習支援業	—	—	—	—	—
サービス業	6	83.3	—	16.7	—
その他	2	—	—	100.0	—

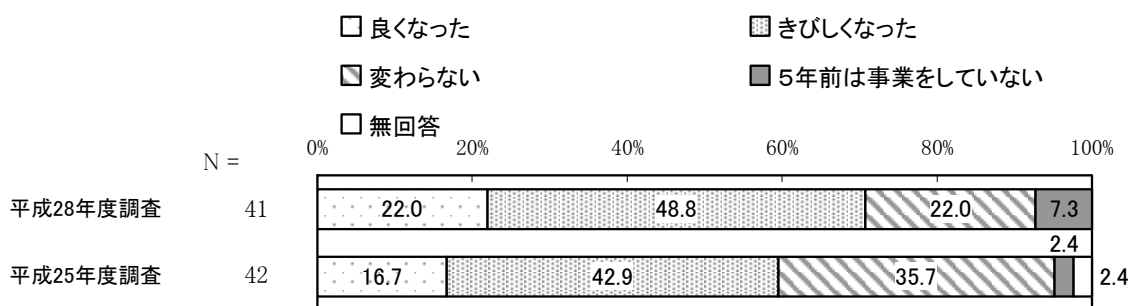
問3 田原市で事業を行う環境について

(1) 田原市で事業を行う環境は、5年前と比べて全体的にどうなったとお考えですか。

(○は1つ)

「きびしくなった」の割合が48.8%と最も高く、次いで「良くなった」「変わらない」の割合が22.0%となっています。

また、平成25年度調査と比べると、「良くなった」と答える割合が5.3ポイント増加しているとともに、「きびしくなった」の割合も5.9ポイント増加しています。



【業種別】

業種別にみると、卸売・小売業で「きびしくなった」の割合が高く、8割を超えています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	良くなった	きびしくなった	変わらない	5年前は事業をしていない	無回答
鉱業	—	—	—	—	—	—
建設業	6	66.7	16.7	16.7	—	—
製造業	8	37.5	50.0	12.5	—	—
電気・ガス・熱供給・水道業	1	—	100.0	—	—	—
情報通信業	—	—	—	—	—	—
運輸業	7	14.3	28.6	42.9	14.3	—
卸売・小売業	6	16.7	83.3	—	—	—
金融・保険業	—	—	—	—	—	—
不動産業	2	—	100.0	—	—	—
飲食店・宿泊業	3	—	100.0	—	—	—
医療・福祉	—	—	—	—	—	—
教育・学習支援業	—	—	—	—	—	—
サービス業	6	—	16.7	50.0	33.3	—
その他	2	—	50.0	50.0	—	—

(2) 田原市で事業を行う環境について、良くなった点、きびしくなった点などについて、具体的にお聞かせください。

【良くなった点】

- ・道路環境がよくなった。(5件)
- ・農家が多いので農業関連の仕事がある。(1件)
- ・以前より季節のイベントが多くなり観光客が多くなった。(1件)
- ・新規事業が順調になってきた。(1件)

【きびしくなった点】

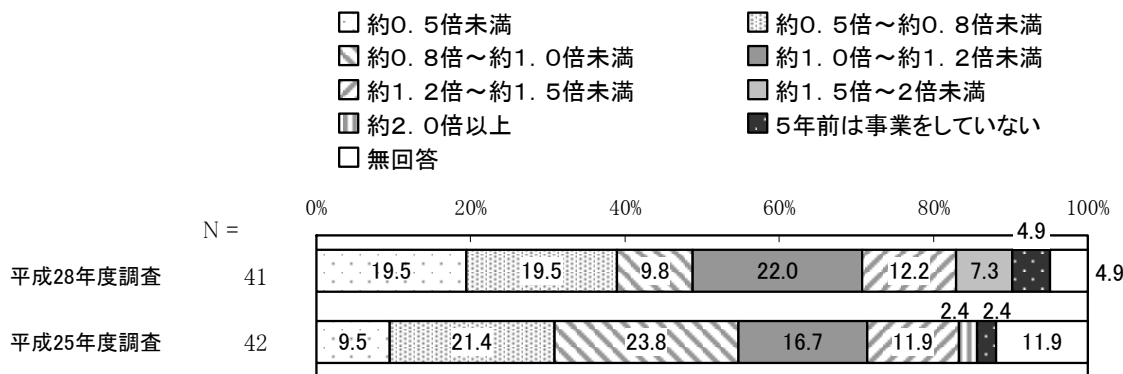
- ・交通渋滞がひどくなった。(3件)
- ・税金が高い。(3件)
- ・土地が買われて建設業の仕事が減ってしまった。(3件)
- ・仕事の受注が減少した。(2件)
- ・自動車関連会社の生産数量の減少に伴う売上減(2件)
- ・企業、人口の減少(2件)
- ・渥美3町が合併して、大きくなり過ぎた。(1件)
- ・同業他産の進出(1件)

3 あなたの事業所の事業について

問4 あなたの事業所の直近の売上高は、5年前の売上高の何倍程度ですか。(〇は1つ)

「約0.5倍未満」、「約0.5倍～約0.8倍未満」、「約0.8倍～約1.0倍未満」をあわせた“1.0倍未満”が48.8%となっており、売上高が減少している事業所は5割以下となっています。

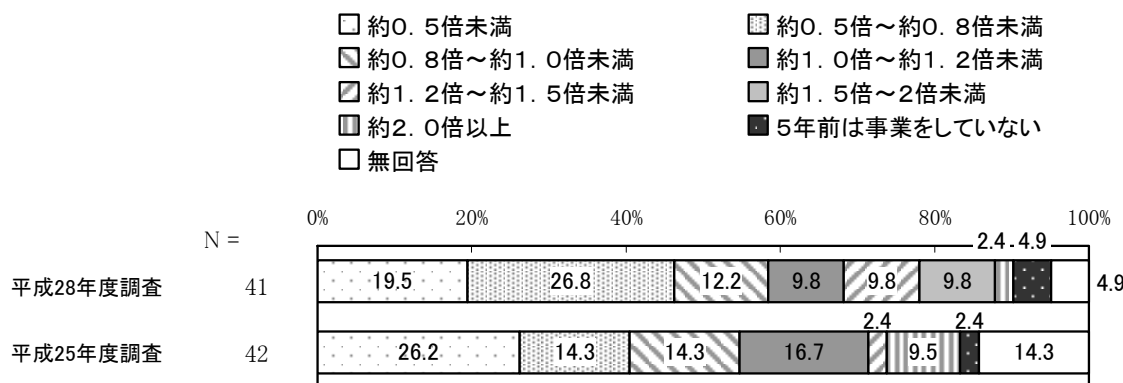
また、平成25年度調査と比べると、“1.0倍未満”の割合が5.9ポイント減少しています。



問5 あなたの事業所の直近の経常利益(所得)は、5年前の経常利益(所得)の何倍程度ですか。(〇は1つ)

「約0.5倍未満」、「約0.5倍～約0.8倍未満」、「約0.8倍～約1.0倍未満」をあわせた“1.0倍未満”が58.5%となっており、経常利益(所得)が減少している事業所が半数を超えています。

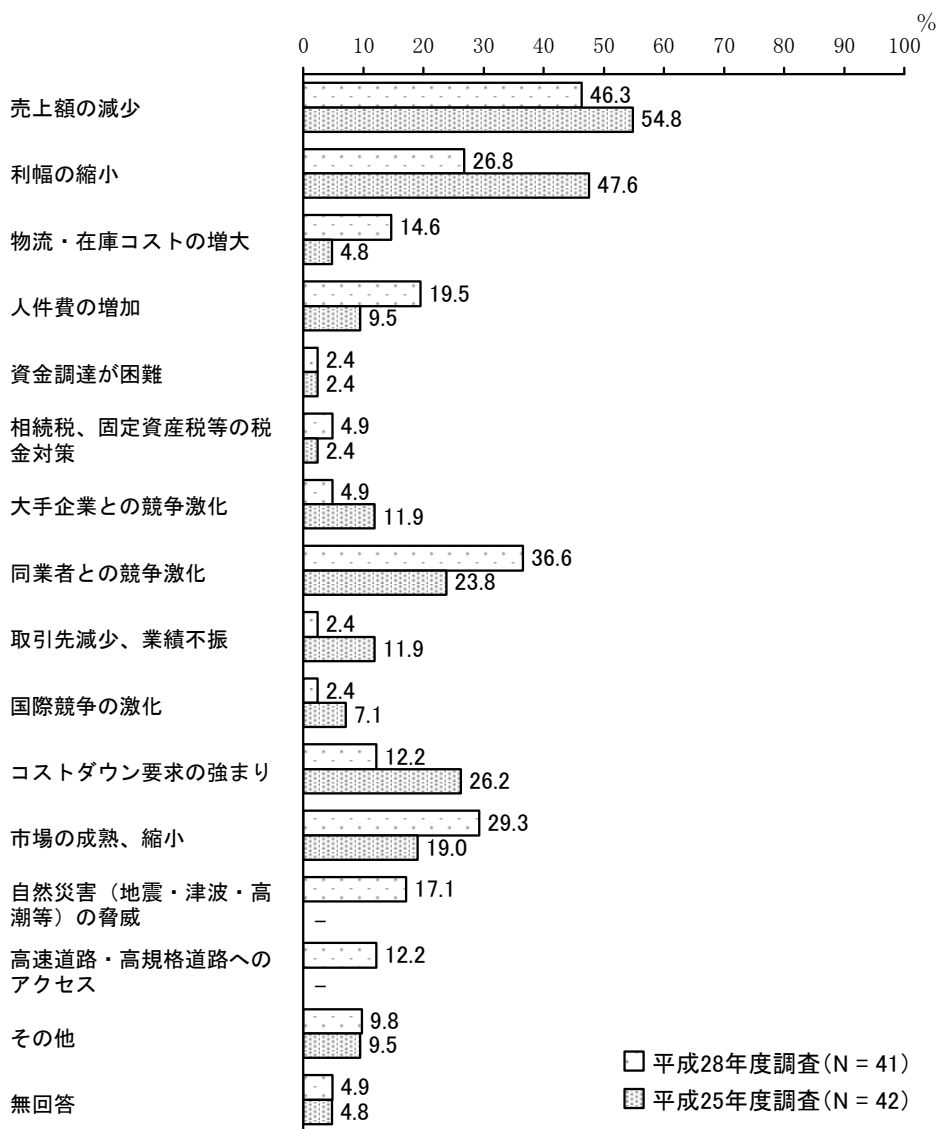
また、平成25年度調査と比べると、“1.0倍未満”の割合が3.7ポイント増加しています。



問6 あなたの事業所が、現在の事業を行う上で、経営上の問題点はどこにあるとお考えですか。(〇は3つまで)

「売上額の減少」の割合が46.3%と最も高く、次いで「同業者との競争激化」の割合が36.6%、「市場の成熟、縮小」の割合が29.3%となっています。

また、平成25年度調査と比べると、「人件費の増加」「同業者との競争激化」「市場の成熟、縮小」の割合が10ポイント以上増加しています。

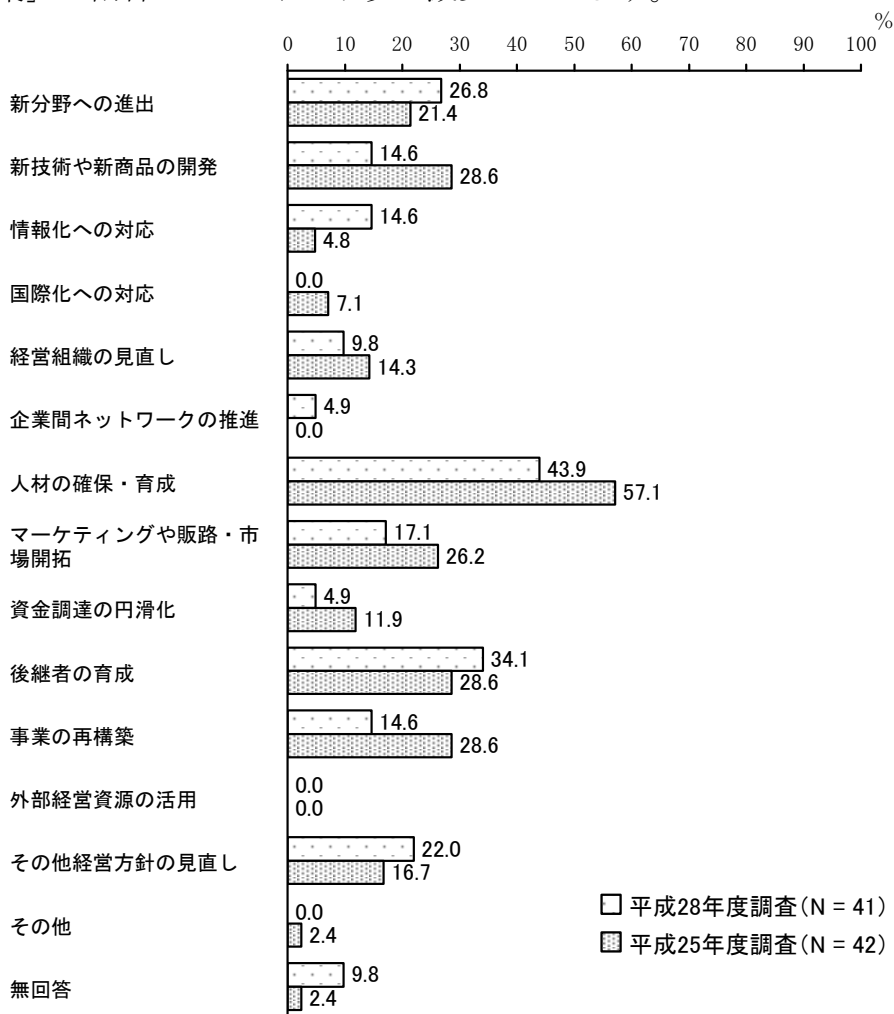


※「自然災害（地震・津波・高潮等）の脅威」「高速道路・高規格道路へのアクセス」は平成25年度調査にはありませんでした。

**問7 あなたの事業所が今後重視したい取り組みはどのようなものですか。
(〇は3つまで)**

「人材の確保・育成」の割合が43.9%と最も高く、次いで「後継者の育成」の割合が34.1%、「新分野への進出」の割合が26.8%となっています。

また、平成25年度調査と比べると、「新分野への進出」「情報化への対応」「後継者の育成」の割合が増加している一方、「新技術や新商品の開発」「人材の確保・育成」「事業の再構築」の割合が10ポイント以上減少しています。



問8 経営課題を解決するうえで必要となる市の取り組みがありましたら、具体的にご記入願います。

- ・ 交通アクセスの改善 (2件)
- ・ 企業の誘致 (2件)
- ・ 市として売り先、ネット販売などに協力して欲しい。(1件)
- ・ 宅建協会会員にも情報提供をお願いします。(1件)
- ・ 必要外の支出を無くす。(1件)
- ・ 市の仕事は市内の業者で行って欲しい。(1件)
- ・ 労働力確保 (1件)
- ・ インフラの整備 (1件)

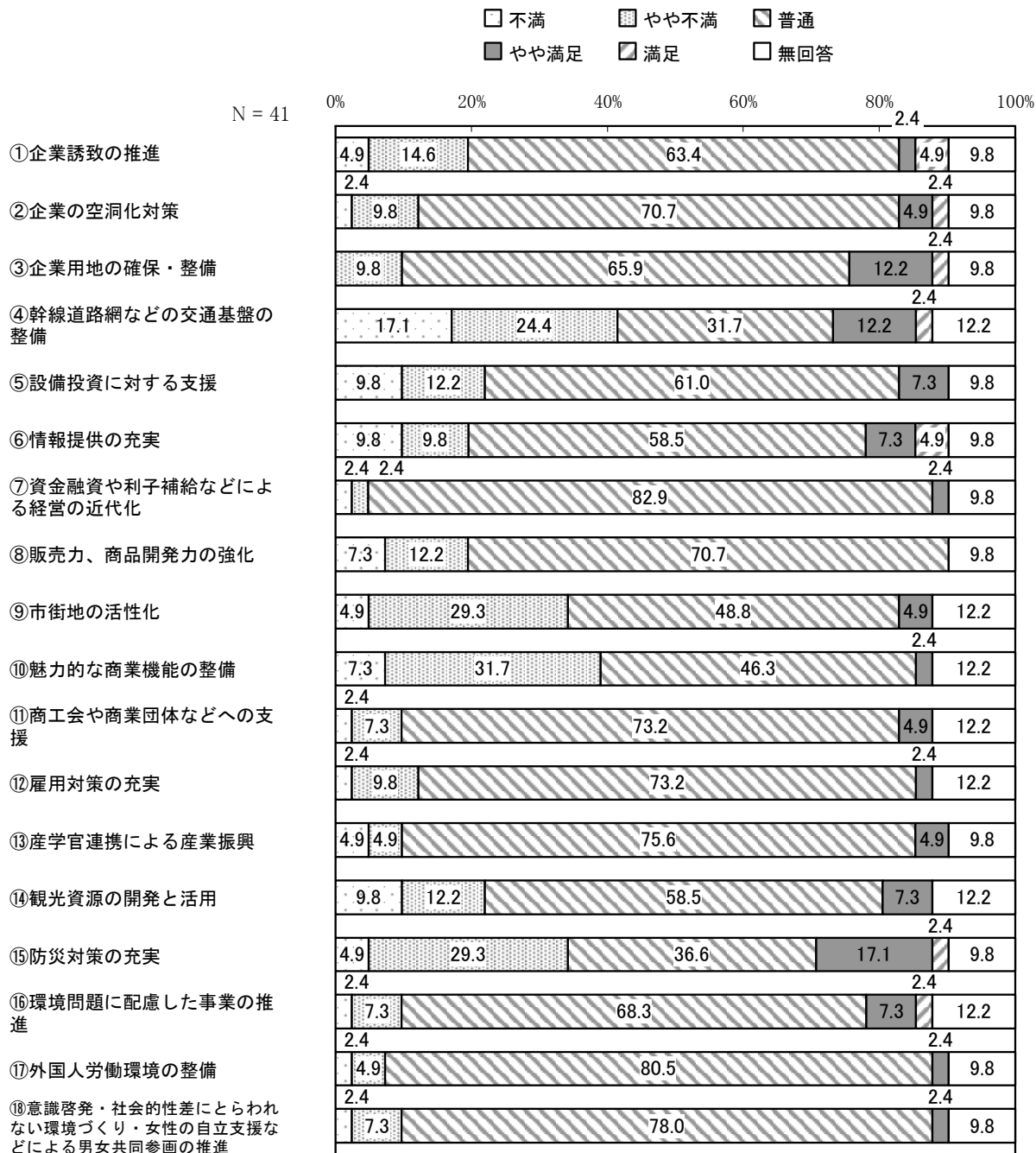
4 市の施策について

問9 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
 (各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○を1つずつ付ける)

■評価

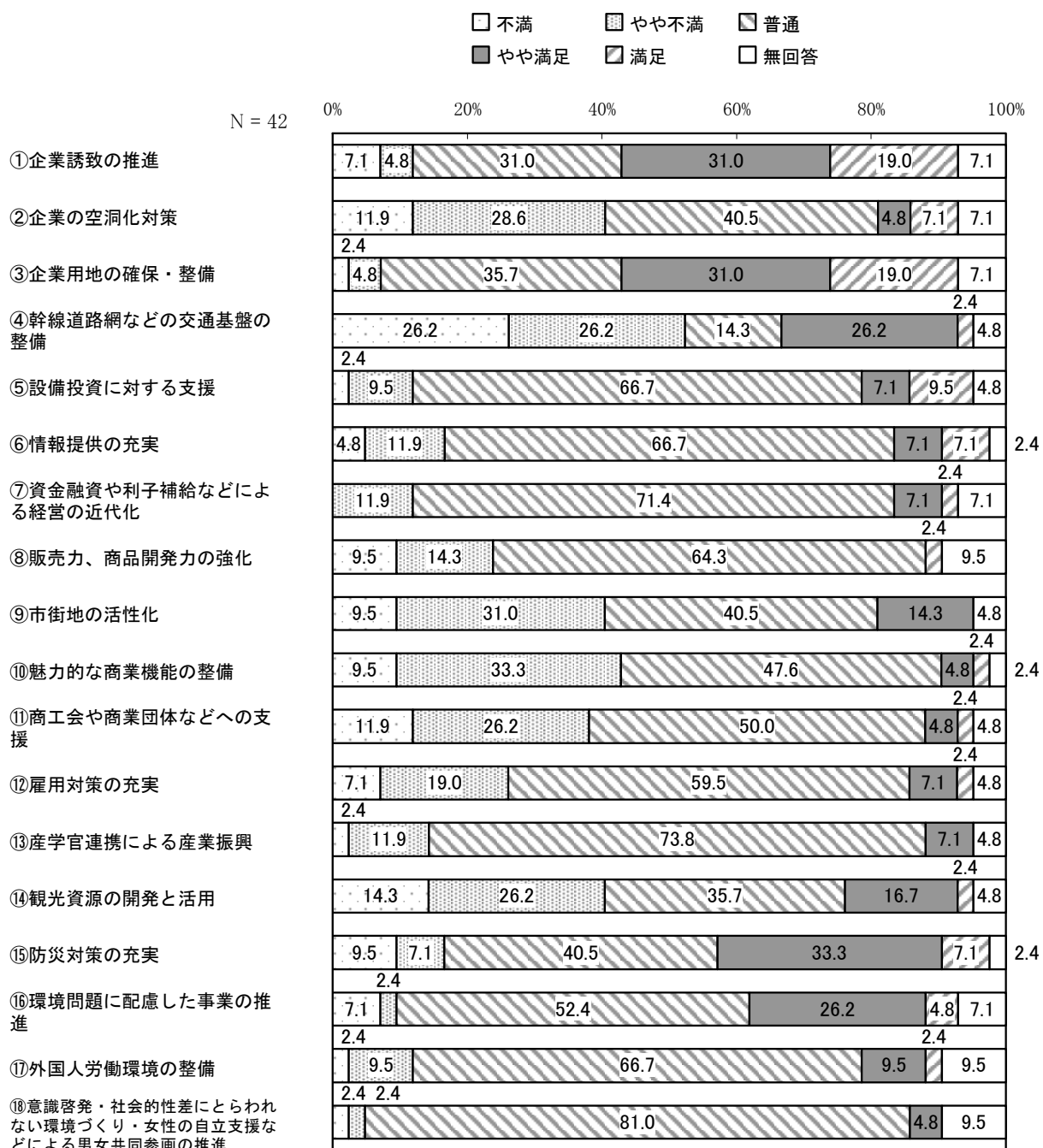
「不満」と「やや不満」をあわせた“不満”の割合が「④幹線道路網などの交通基盤の整備」「⑨市街地の活性化」「⑩魅力的な商業機能の整備」「⑮防災対策の充実」で高く、3割を超えています。

【平成28年度調査】



また、平成 25 年度調査と比べると、「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が、「①企業誘致の推進」「③企業用地の確保・整備」で 30 ポイント以上減少しているとともに、“不満”の割合では、「⑮防災対策の充実」「⑤設備投資に対する支援」が 10 ポイント以上増加しています。

【平成 25 年度調査】

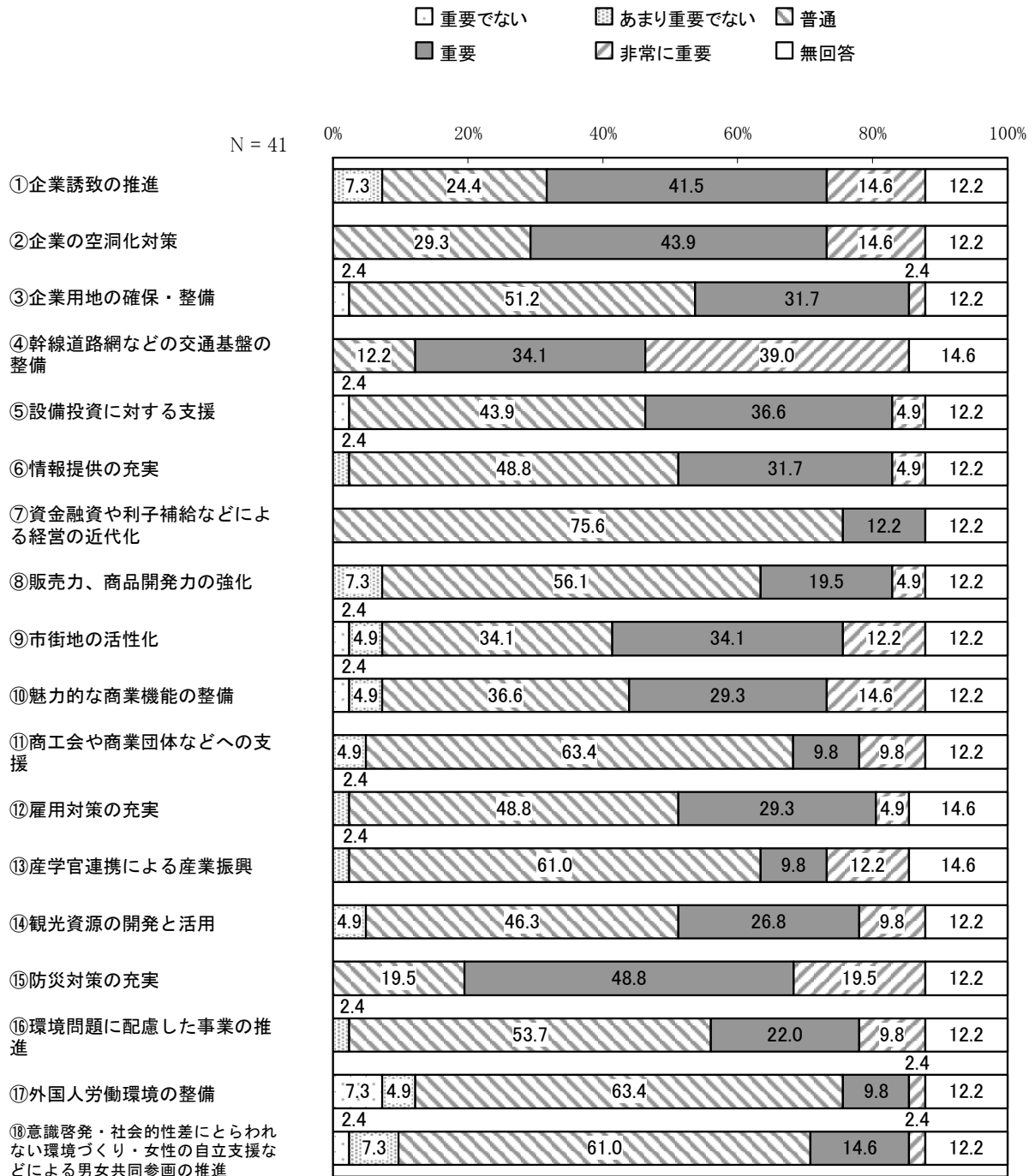


Ⅲ 市内事業者アンケート調査

■重要性

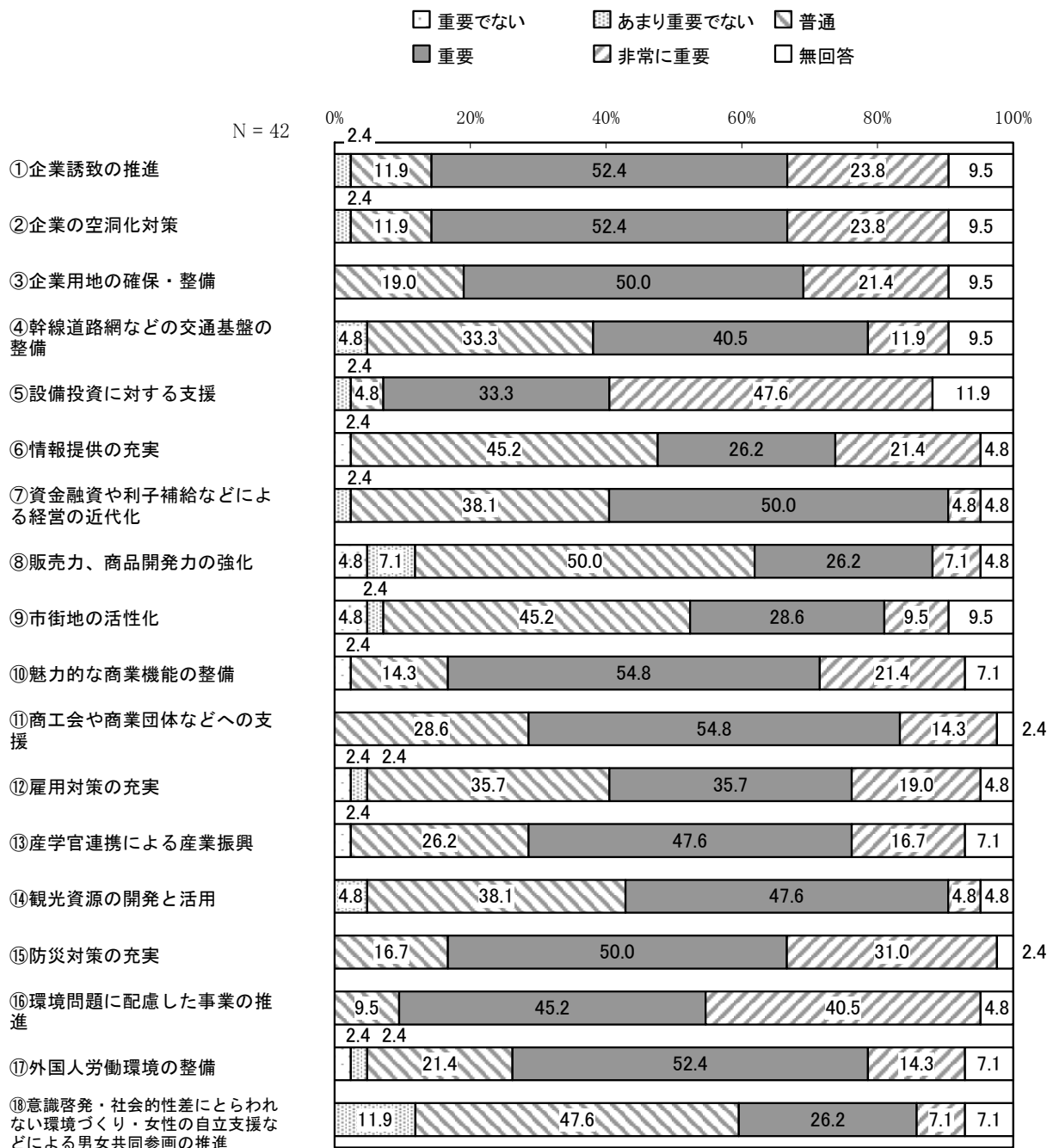
「重要」と「非常に重要」をあわせた“重要である”の割合が「④幹線道路網などの交通基盤の整備」の割合が73.1%と最も高く、次いで「⑮防災対策の充実」の割合が68.3%となっています。

【平成28年度調査】



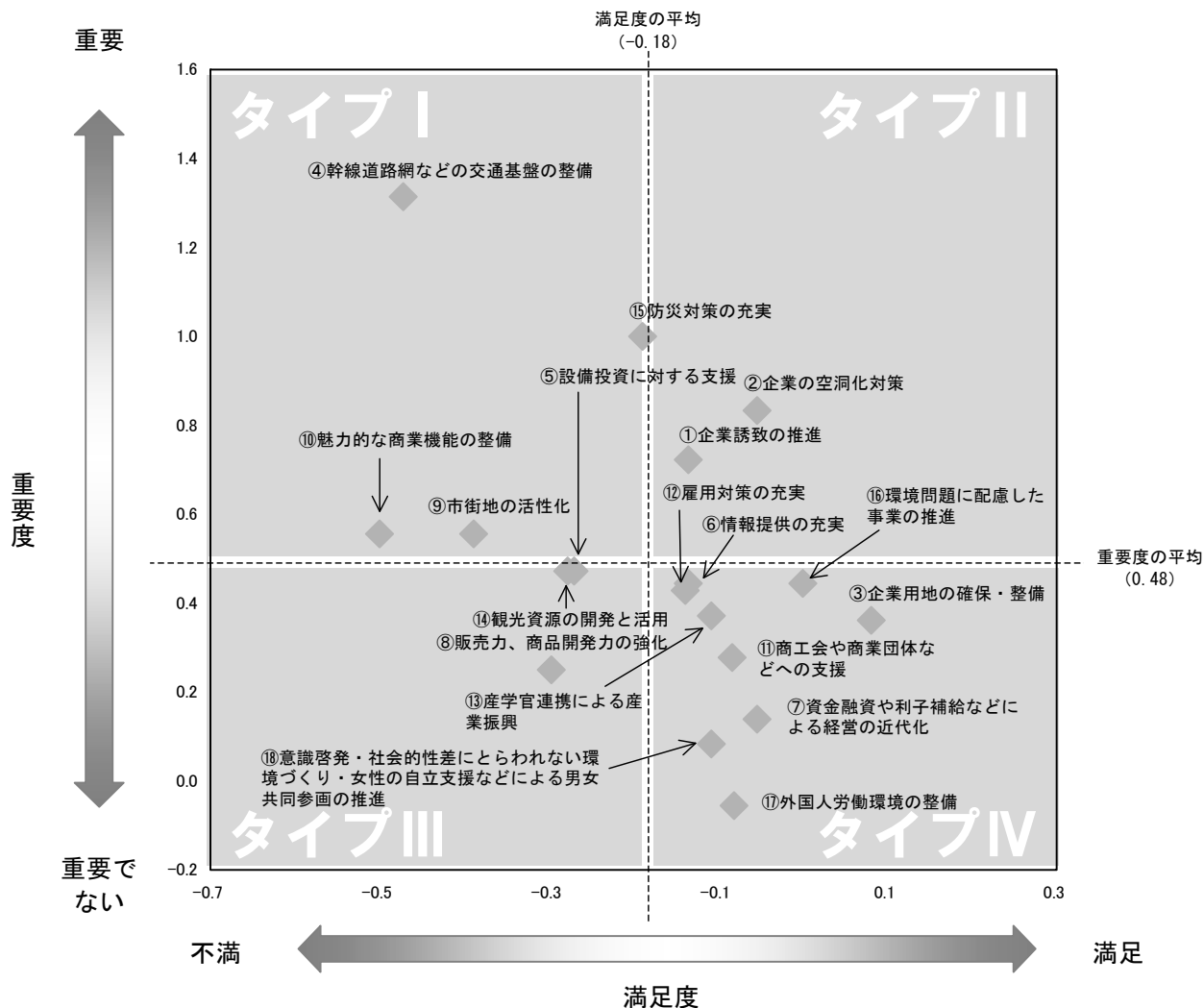
また、平成 25 年度調査と比べると、“重要である”の割合が、「⑭観光資源の開発と活用」の割合が 40 ポイント以上減少しているとともに、「重要でない」と「あまり重要でない」をあわせた“重要ではない”の割合では、「⑩魅力的な商業機能の整備」が 7 ポイント以上増加しています。

【平成 25 年度調査】



Ⅲ 市内事業者アンケート調査

ポートフォリオによる市の施策の評価については、④幹線道路網などの交通基盤の整備、⑨市街地の活性化、⑩魅力的な商業機能の整備、⑮防災対策の充実が重要度が高いものの満足度が低くなっており、事業の強化など改善が求められます。



区分	満足度	重要度
①企業誘致の推進	-0.14	0.72
②企業の空洞化対策	-0.05	0.83
③企業用地の確保・整備	0.08	0.36
④幹線道路網などの交通基盤の整備	-0.47	1.31
⑤設備投資に対する支援	-0.27	0.47
⑥情報提供の充実	-0.14	0.44
⑦資金融資や利子補給などによる経営の近代化	-0.05	0.14
⑧販売力、商品開発力の強化	-0.30	0.25
⑨市街地の活性化	-0.39	0.56
⑩魅力的な商業機能の整備	-0.50	0.56
⑪商工会や商業団体などへの支援	-0.08	0.28
⑫雇用対策の充実	-0.14	0.43
⑬産学官連携による産業振興	-0.11	0.37
⑭観光資源の開発と活用	-0.28	0.47
⑮防災対策の充実	-0.19	1.00
⑯環境問題に配慮した事業の推進	0.00	0.44
⑰外国人労働環境の整備	-0.08	-0.06
⑱意識啓発・社会的性差にとられない環境づくり・女性の自立支援などによる男女共同参画の推進	-0.11	0.08

○上図から分析判断できる最優先課題

- ④ 幹線道路網などの交通基盤の整備
- ⑨ 市街地の活性化
- ⑩ 魅力的な商業機能の整備
- ⑮ 防災対策の充実

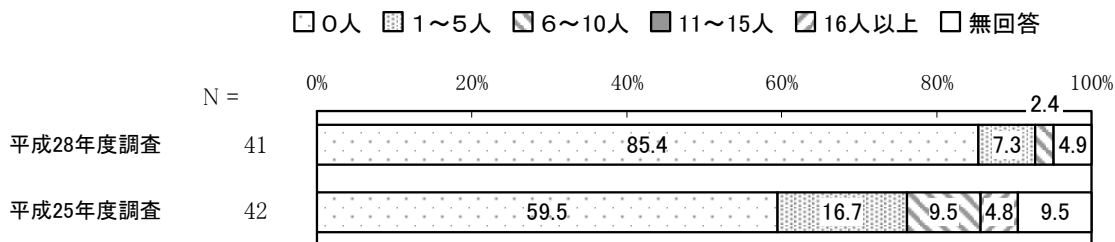
5 従業員の雇用環境について

問 10 あなたの事業所の昨年度の新規学卒者の採用状況、今後 5 年間の採用見込みについてお聞かせ下さい。

■平成 27 年度の新規学卒採用者

「0 人」の割合が 85.4%と最も高く、次いで「1～5 人」の割合が 7.3%となっています。

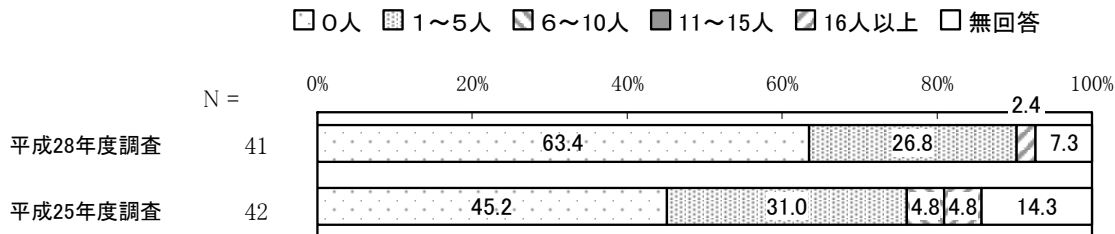
また、平成 25 年度調査と比べると、「0 人」の割合が 25.9 ポイント増加しています。



■平成 28 年度以降 5 年間の採用見込み

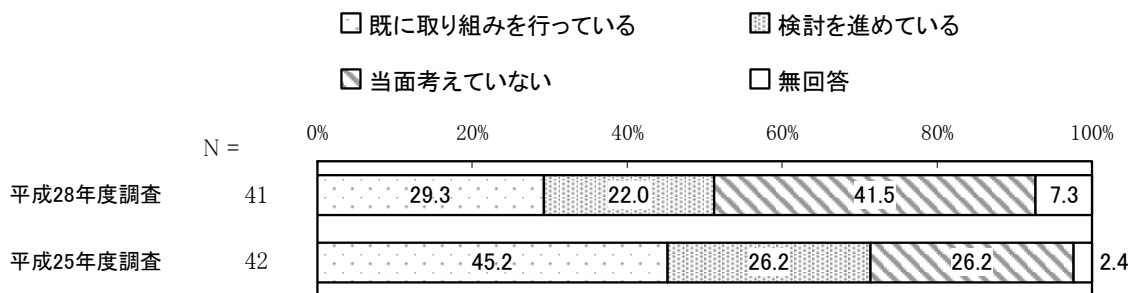
「0 人」の割合が 63.4%と最も高く、次いで「1～5 人」の割合が 26.8%となっています。

また、平成 25 年度調査と比べると「0 人」の割合が 18.2 ポイント増加しています。



問 11 あなたの事業所では、定年制の延長についての取り組みが行われていますか。

平成 25 年度調査と比べると、「当面考えていない」の割合が 15.3 ポイント増加しています。

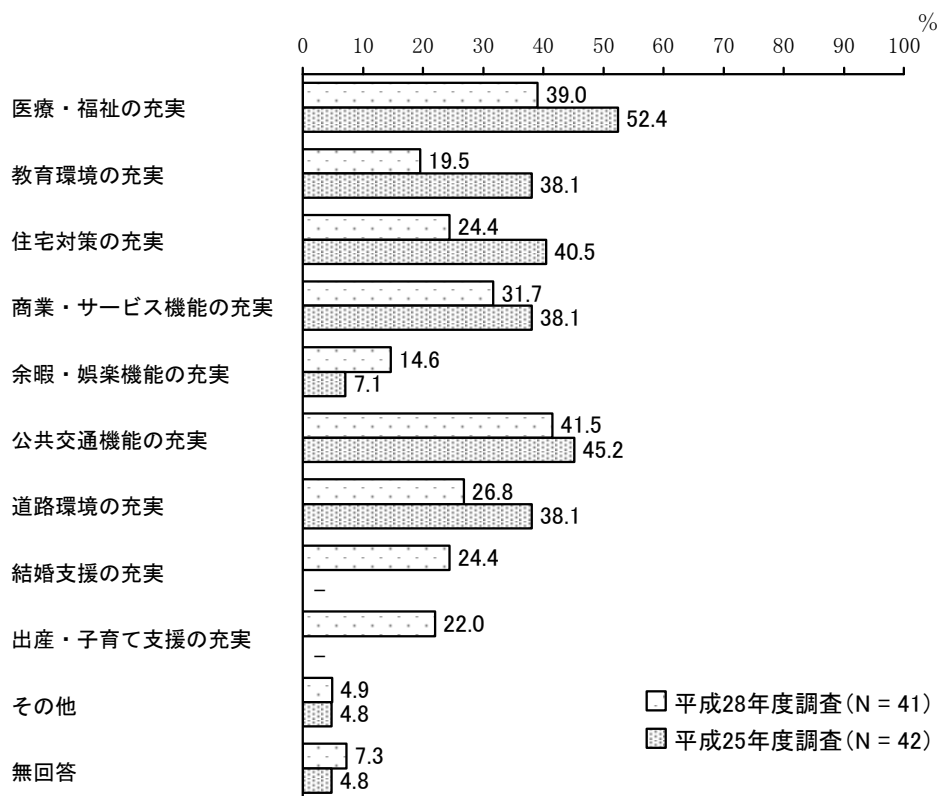


6 従業員の市内定住対策について

問 12 従業員の方が田原市に住んでいただくためには、特にどういった対策が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「公共交通機能の充実」の割合が 41.5%と最も高く、次いで「医療・福祉の充実」の割合が 39.0%、「商業・サービス機能の充実」の割合が 31.7%となっています。

また、平成 25 年度調査と比べると、「余暇・娯楽機能の充実」の割合のみ 7.5 ポイント増加しているほかは、新規の選択肢を除くすべての項目の割合が減少しています。



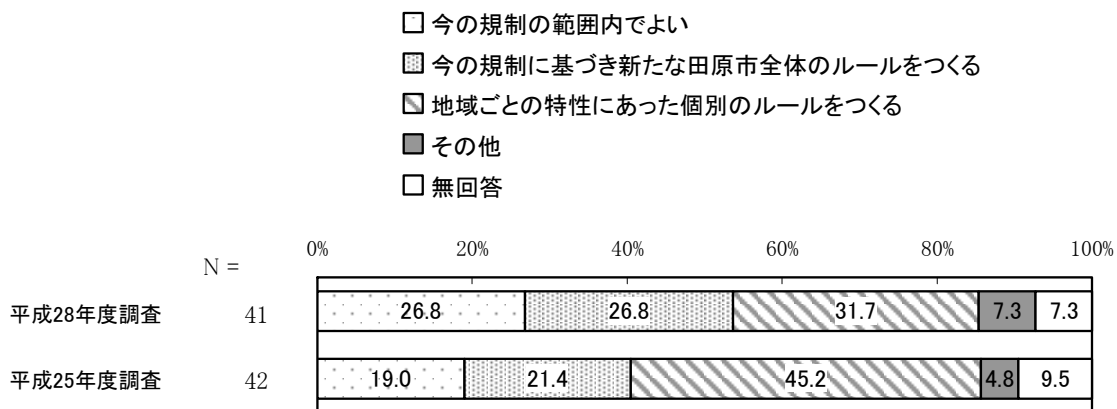
※ 「結婚支援の充実」「出産・子育て支援の充実」は平成 25 年度調査にはありませんでした。

7 土地利用について

問 13 田原市では、計画的な土地利用(利用規制)を図っています。これからの土地の利用(規制)について、どのようにお考えですか。(〇は1つ)

「地域ごとの特性にあった個別のルールをつくる」の割合が 31.7%と最も高く、次いで「今の規制の範囲内でよい」「今の規制に基づき新たな田原市全体のルールをつくる」の割合が 26.8%となっています。

また、平成 25 年度調査と比べると、「地域ごとの特性にあった個別のルールをつくる」の割合が 13.5 ポイント減少しています。

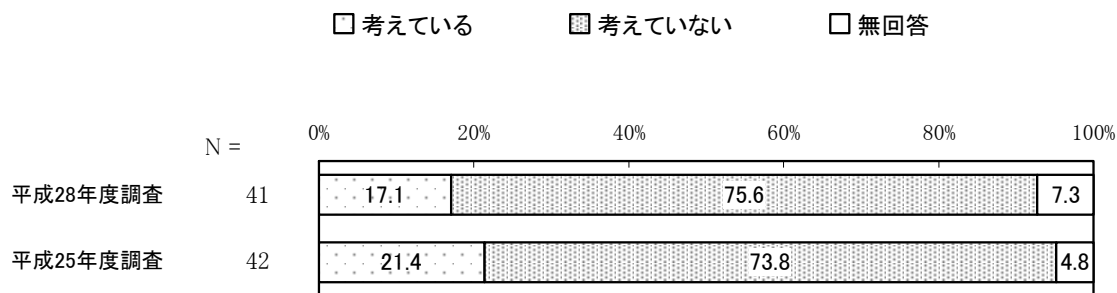


8 農商工連携による事業展開について

問 14 田原市には、農業・漁業などさまざまな地域資源がありますが、これらと連携した事業展開をお考えですか。(○は1つ)

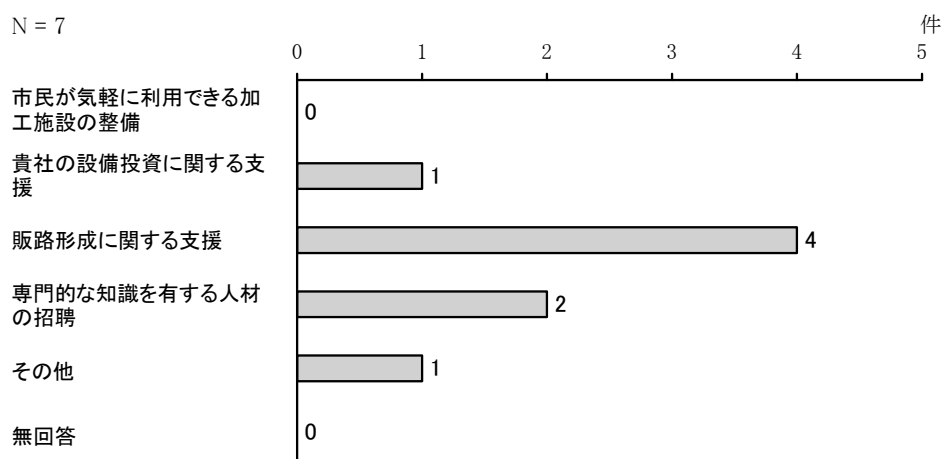
「考えていない」の割合が75.6%と最も高く、次いで「考えている」の割合が17.1%となっています。

また、平成25年度調査と比べると、「考えている」の割合が4.3ポイント減少しています。



「1 考えている」と答えた方にお聞きします。事業を行う上でどのような支援が必要だとお考えですか。

「販路形成に関する支援」が4件、「専門的な知識を有する人材の招聘」が2件、「貴社の設備投資に関する支援」が1件となっています。

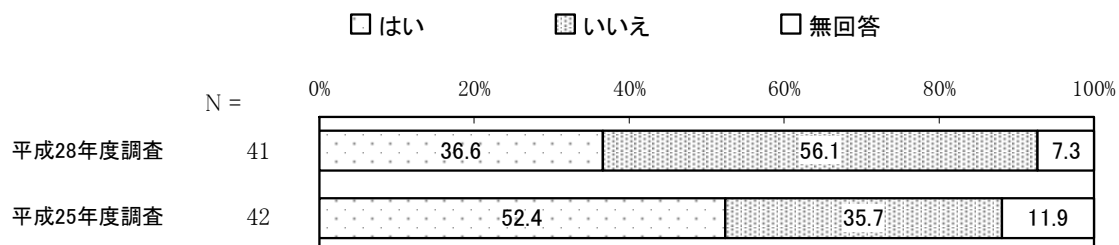


9 環境共生について

問 15 環境や景観などに配慮した事業経営を行っていますか。

「いいえ」の割合が 56.1%と、半数以上の企業が環境や景観に配慮しない事業経営を行っています。

また、平成 25 年度調査と比べると、「はい」の割合が 15.8 ポイント減少しています。



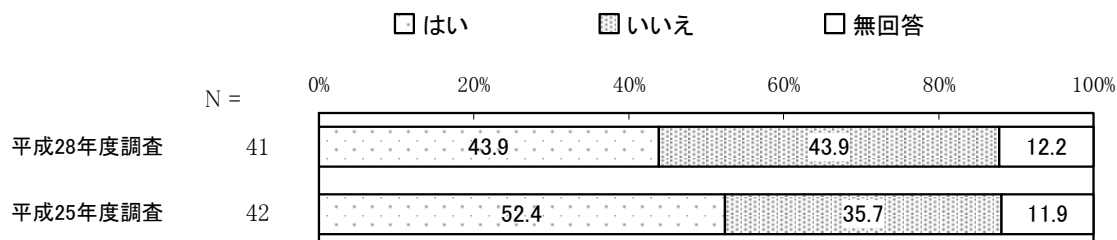
「1 はい」と答えた方にお聞きします。どんなことに配慮していますか。

- ・エネルギー、コピー用紙の削減、5 S活動への参加（地域）、グリーン調達品の購入など。(6件)
- ・分別収集処分 (3件)
- ・排ガス規制に伴う新基準に対応したトラックの導入。(3件)
- ・店舗、事務所の前に花を植える。(1件)
- ・省エネにつながる機器、工事の販売 (1件)

10 男女共同参画について

問 16 職場での性差別をなくし、仕事と家庭生活を両立できる環境づくりに取り組んでいますか。

「はい」「いいえ」の割合が 43.9%となっています。
また、平成 25 年度調査と比べると、「はい」の割合が 8.5 ポイント減少しています。



「1 はい」と答えた方にお聞きします。どんなことに配慮していますか。

- ・短時間勤務の選択可 (6 件)
- ・育児休暇制度の活用 (5 件)
- ・会社コンプライアンス方針に沿って配慮 (3 件)

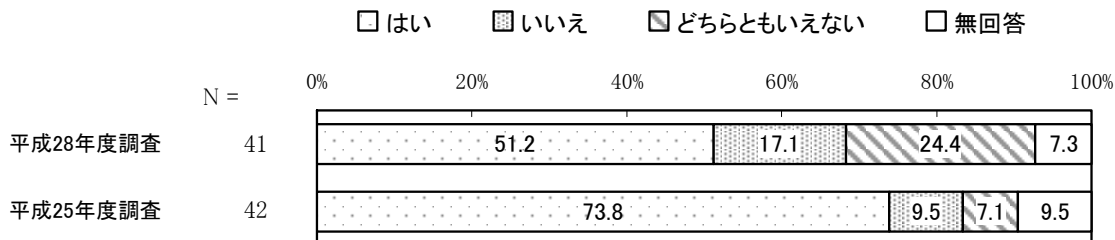
「2 いいえ」と答えた方にお聞きします。取り組みを行っていない理由がありましたら、ご記入願います。

- ・男女平等は難しいから (7 件)
- ・家族経営だから (6 件)
- ・時間が不安定なので (1 件)
- ・特になし (1 件)

11 地域社会への貢献活動について

問 17 あなたの事業所では、地域社会へ何らかの貢献活動を行っていますか。(〇は1つ)

「はい」の割合が51.2%と最も高く51.2%となっているが、平成25年度調査と比べると、「はい」の割合が22.6ポイント減少し、地域社会への貢献活動を行っている企業が減少しています。

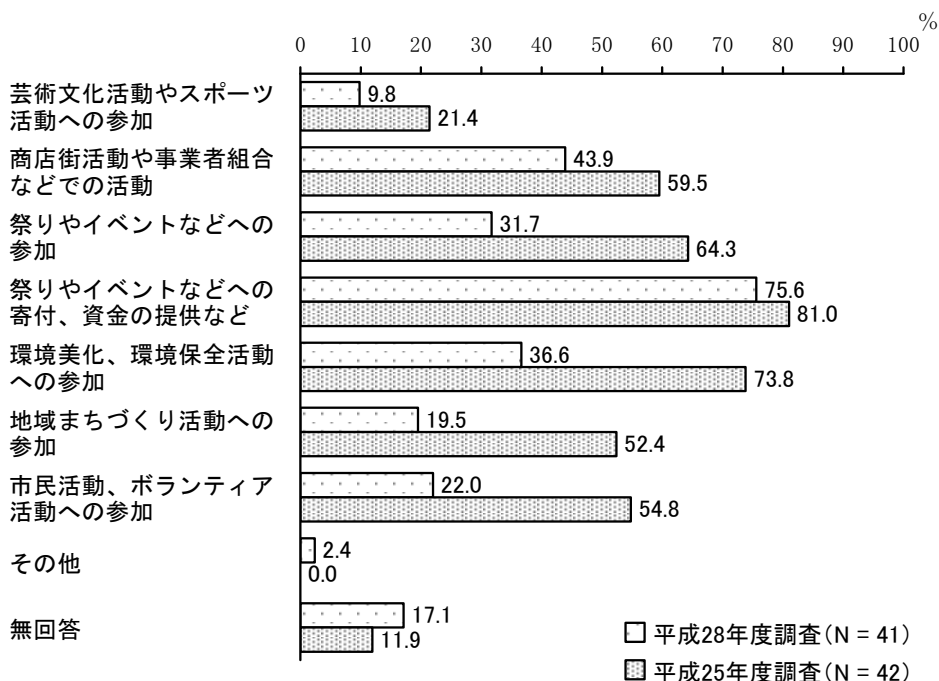


問 18 あなたの事業所で「現在行っている貢献活動」や「今後行っても良い貢献活動」について、あてはまるものに〇をつけてください。(該当する欄に〇を記入)

■現在行っている貢献活動

現在行っている地域社会への貢献活動については、「祭りやイベントなどへの寄付、資金の提供など」の割合が75.6%、「商店街活動や事業者組合などでの活動」の割合が43.9%、「環境美化、環境保全活動への参加」の割合が36.6%となっています。

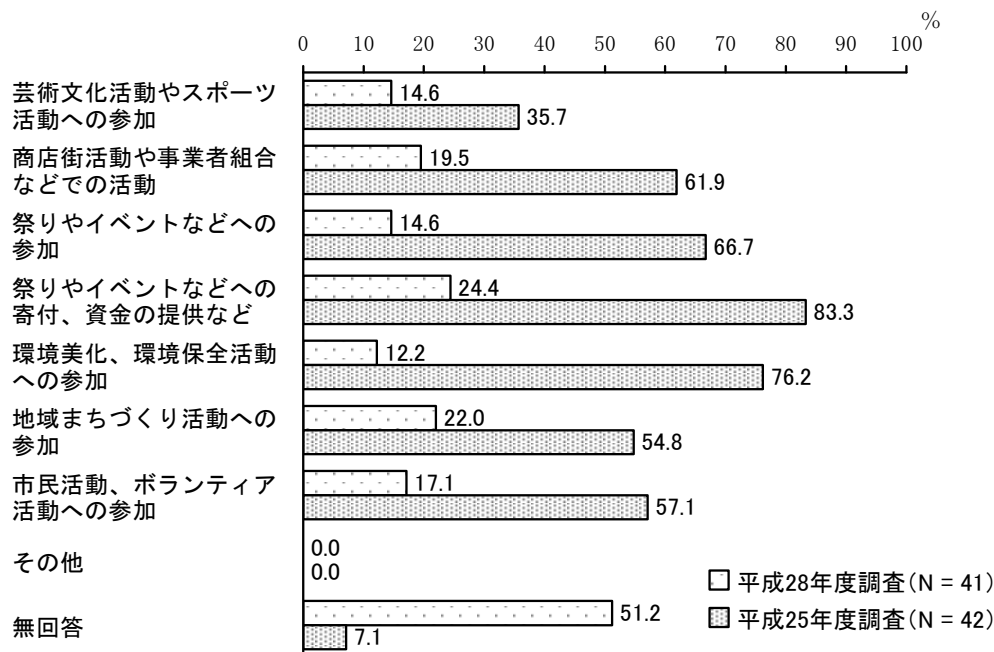
また、平成25年度調査と比べると、すべての項目で割合が減少しており、特に「環境美化、環境保全活動への参加」で37.2ポイント減少しています。



■ 今後行っても良い貢献活動

今後行っても良い地域社会への貢献活動については、「祭りやイベントなどへの寄付、資金の提供など」の割合が 24.4%、「地域まちづくり活動への参加」の割合が 22.0%、「商店街活動や事業者組合などでの活動」の割合が 19.5%となっています。

また、平成 25 年度調査と比べると、すべての項目で割合が減少しており、特に「環境美化、環境保全活動への参加」で 64.0 ポイント減少しています。



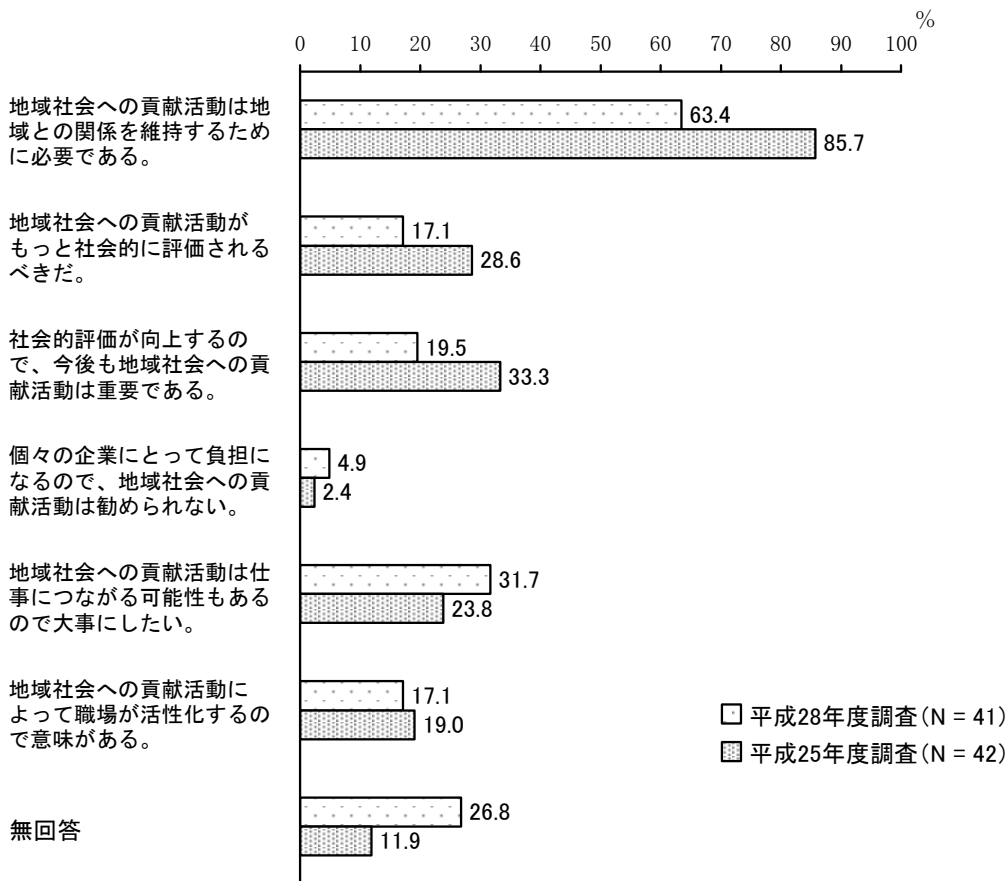
問 19 あなたの事業所が行っている地域社会への貢献活動をご紹介します。また、貢献活動を行う上で、市へのご要望、ご意見等があればお書きください。

- ・ 地域イベントへの寄付+参加（田原まつり等）（7 件）
- ・ 環境美化活動への参加。（4 件）
- ・ 見守り活動において交差点での実施をもっと展開されてはと思う。（1 件）
- ・ ゴミ収集場所を増やして欲しい。（1 件）
- ・ 交通安全教室等（1 件）
- ・ 会社よりも個人参加が多過ぎて、仕事に影響あり（1 件）

**問 20 あなたの事業所では次のような貢献活動の考え方について賛成できますか。
(〇はいくつでも)**

「地域社会への貢献活動は地域との関係を維持するために必要である。」の割合が63.4%と最も高く、次いで「地域社会への貢献活動は仕事につながる可能性もあるので大事にしたい。」の割合が31.7%となっています。

また、平成25年度調査と比べると、「地域社会への貢献活動は仕事につながる可能性もあるので大事にしたい。」の割合が7.9ポイント増加しています。



12 市政に対するご意見

- ・人口増加を目指して下さい！集客力のある建物を作って下さい。(他県からでも来たくなる渥美半島にしかない、また、ここでしか買えないそういうもの) (1件)
- ・当社の様な零細企業に対するアンケートの内容ではない！環境だの地域社会への貢献活動だのアンケートの対象になる企業をよく考えて欲しい！こんな長いアンケートに回答するのも時間の無駄、紙の無駄、怒れてくる (1件)
- ・市の施策事業は具体的にわからない。わかるような冊子があれば (1件)
- ・臨海部への公共交通の充実を図って頂きたい。田原駅から先への交通網の充実(観光の活性化) (1件)
- ・市民意識調査の内容が本当に知ろうとしている事？質問の内容を検討した方が良いのでは
(1件)
- ・個人経営の方が会社員よりも苦しい生活をしている事をわかってほしい。市内の個人経営が無くなる。市として税の使い道を考えて欲しい。地域にお金を落とししてほしい。市長が給料を下げたくらいでは市民は納得しない (1件)
- ・市が活性化する事は何でもして欲しい。ふるさと納税のピーアール、渥美線利用者を増やす為の対策 (1件)
- ・特になし (1件)

Ⅲ 市内事業者アンケート調査

■IV 市内農業者アンケート調査

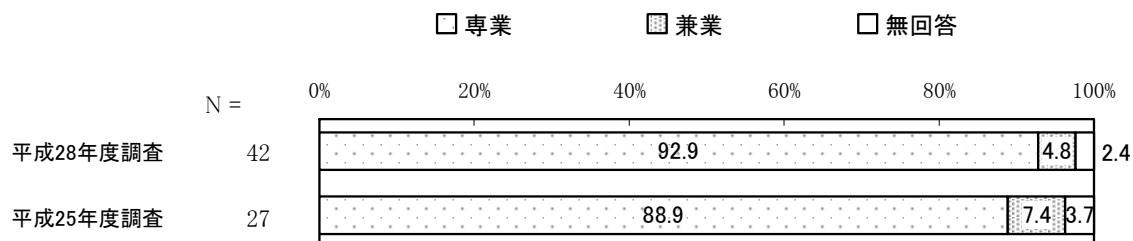
IV 市内農業者アンケート調査

1 回答者属性

問1 あなたの事業についてお聞きします。(〇は1つ)

① 専業・兼業の別

「専業」の割合が92.9%、「兼業」の割合が4.8%となっています。

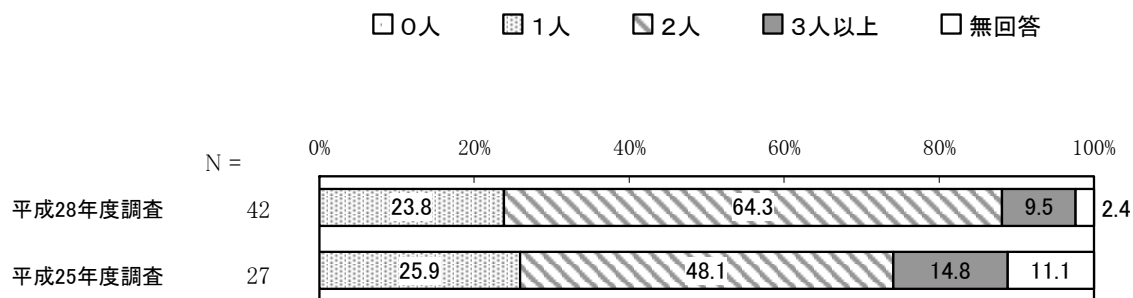


② 農業に従事している人数

■ 常時農業に従事している人

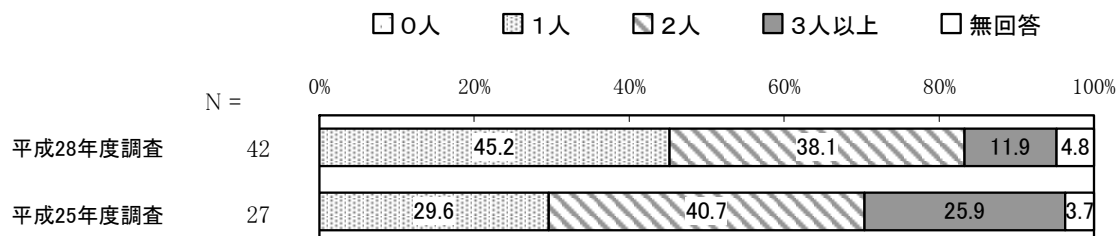
【男性】

「2人」の割合が64.3%と最も高く、次いで「1人」の割合が23.8%となっています。



【女性】

「1人」の割合が45.2%と最も高く、次いで「2人」の割合が38.1%、「3人以上」の割合が11.9%となっています。



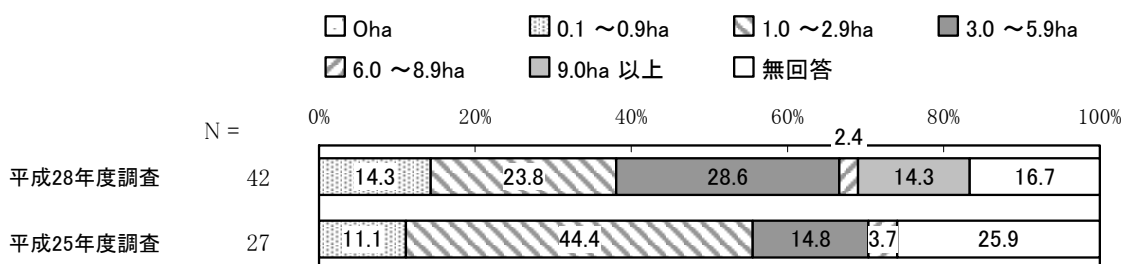
■臨時に農業に従事する人

男性については、1人が「4人」と回答し、1人が「0人」と回答しています。
 女性については、7人が「3人以上」と回答し、2人が「2人」と回答し、7人が「1人」と回答しています。

③ おおよその耕地面積

【耕地面積】

「3.0～5.9ha」の割合が28.6%と最も高く、次いで「1.0～2.9ha」の割合が23.8%となっています。



【不耕作地】

7人が「0ha」と回答し、7人が「0.1～0.9ha」と回答し、2人が「1.0～2.9ha」と回答しています。

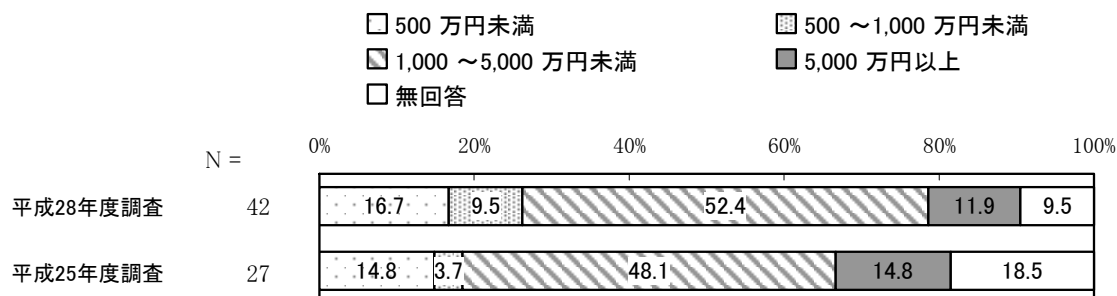
④ 主な農作物

No.	農産物	件数	No.	農産物	件数
1	キャベツ	17件	15	大葉	1件
2	キク	6件	16	大根	1件
3	米	6件	17	堆肥	1件
4	トマト	5件	18	人参	1件
5	ブロッコリー	4件	19	鶏卵	1件
6	トウモロコシ	4件	20	リーフレタス	1件
7	乳肉複合	3件	21	ピンポンマム	1件
8	露地メロン	2件	22	バラ	1件
9	養豚	2件	23	タバコ	1件
10	野菜	2件	24	セロリ	1件
11	メロン	2件	25	スイカ	1件
12	みかん	2件	26	カーネーション	1件
13	洋花	1件	27	イチゴ	1件
14	畜産	1件	28	アルストロメリア	1件
				総計	71件

⑤ おおよその農業所得

「1,000～5,000万円未満」の割合が52.4%と最も高く、次いで「500万円未満」の割合が16.7%、「5,000万円以上」の割合が11.9%となっています。

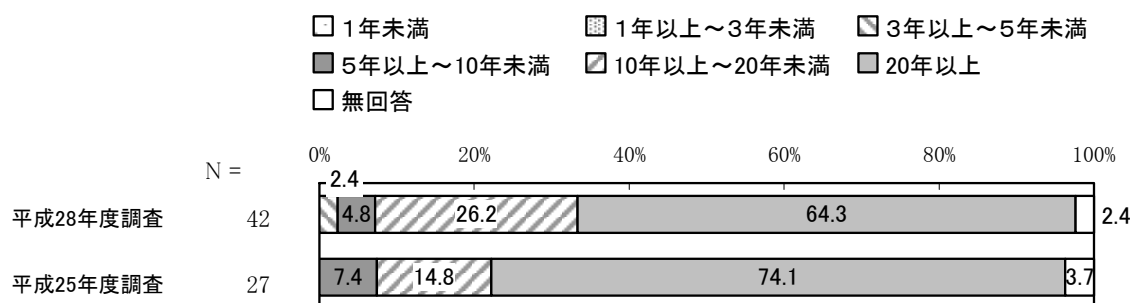
また、平成25年度調査と比べると、「500万円未満」と「500～1,000万円未満」と「1,000万円～5,000万円未満」をあわせた“5,000万円未満”の割合が12ポイント増加しています。



⑥ 田原市での就農年数

「20年以上」の割合が64.3%となっています。

また、平成25年度調査と比べると、10年以上の就農年数を経た農業者が1.6ポイント増加しているとともに、「3年以上～5年未満」の農業者も僅かながら増加しています。

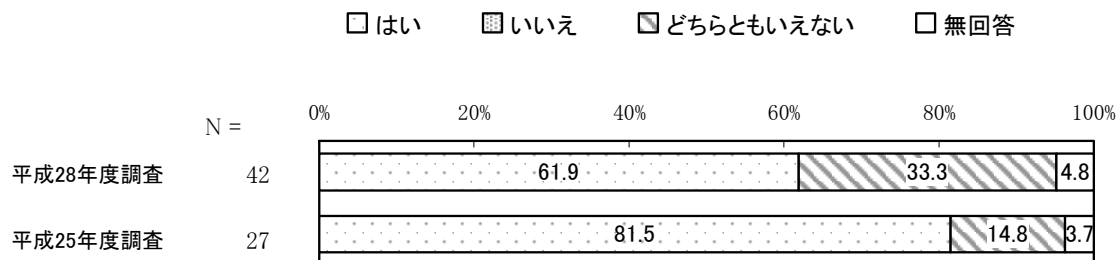


2 田原市の農業全般について

問2 田原市は、農業がしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

「はい」の割合が61.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が33.3%となっています。

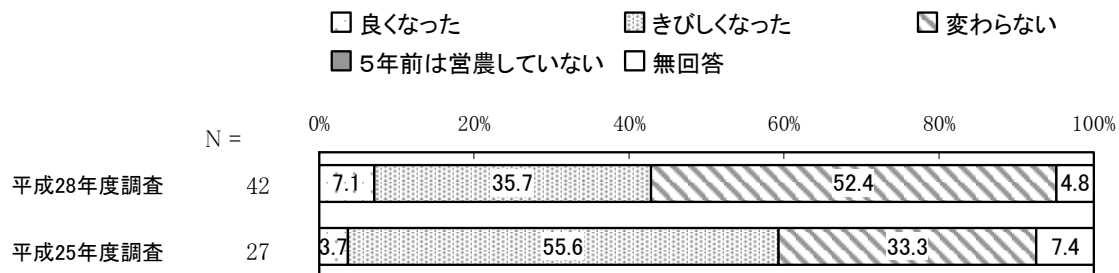
また、平成25年度調査と比べると、「はい」の割合が19.6ポイント減少しています。



問3 田原市で農業を行う環境は、5年前と比べて全体的にどうなったとお考えですか。(〇は1つ)

「変わらない」の割合が52.4%と最も高く、次いで「きびしくなった」の割合が35.7%となっています。

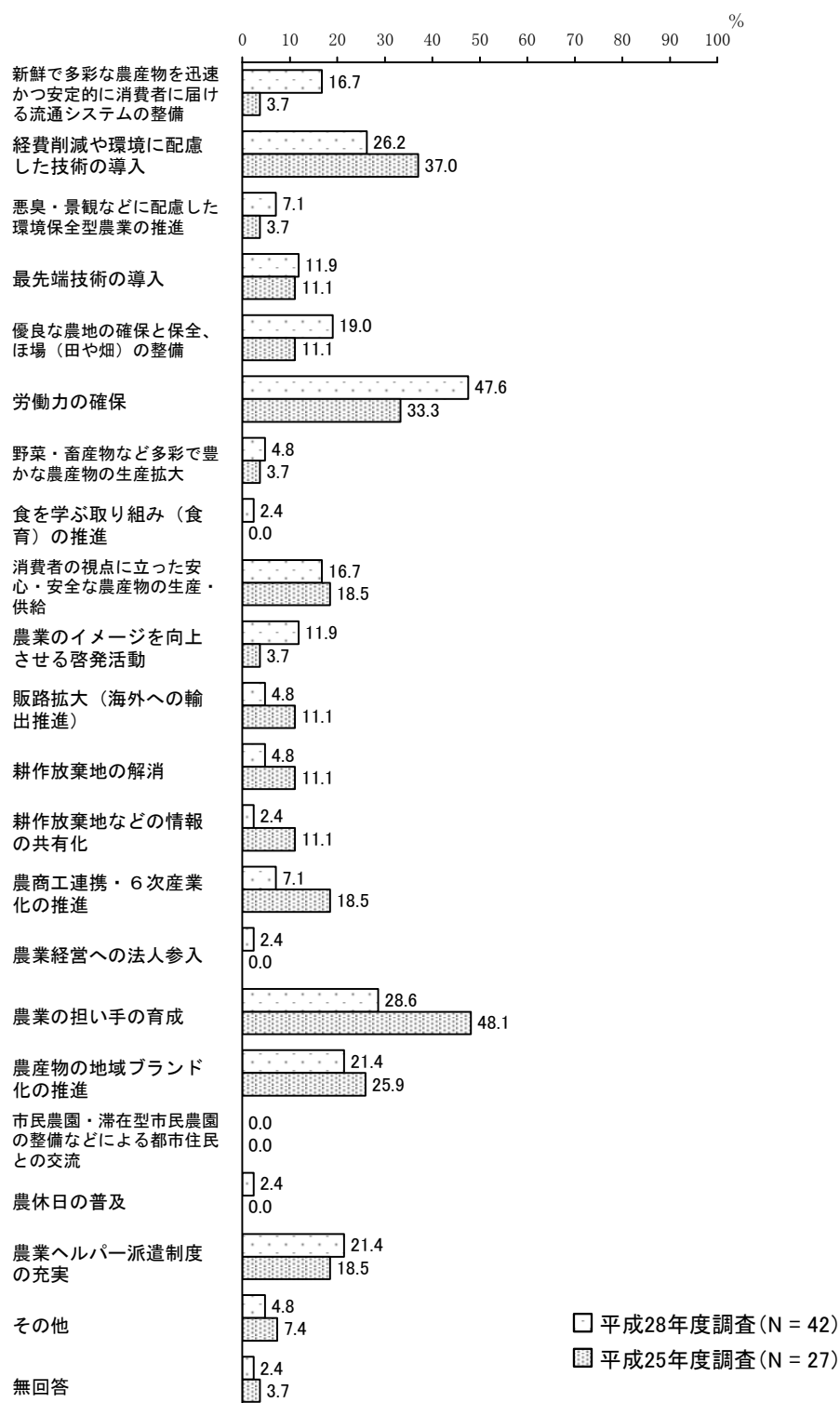
また、平成25年度調査と比べると、「変わらない」の割合が19.1ポイント増加しています。



問4 あなたは、農業産出額トップクラスである田原市が、今後さらに農業を発展させるためには何が重要だと思いますか。(〇は3つまで)

「労働力の確保」の割合が47.6%と最も高く、次いで「農業の担い手の育成」の割合が28.6%、「経費削減や環境に配慮した技術の導入」の割合が26.2%となっています。

また、平成25年度調査と比べると、「新鮮で多彩な農産物を迅速かつ安定的に消費者に届ける流通システムの整備」「労働力の確保」の割合が10ポイント以上増加しています。

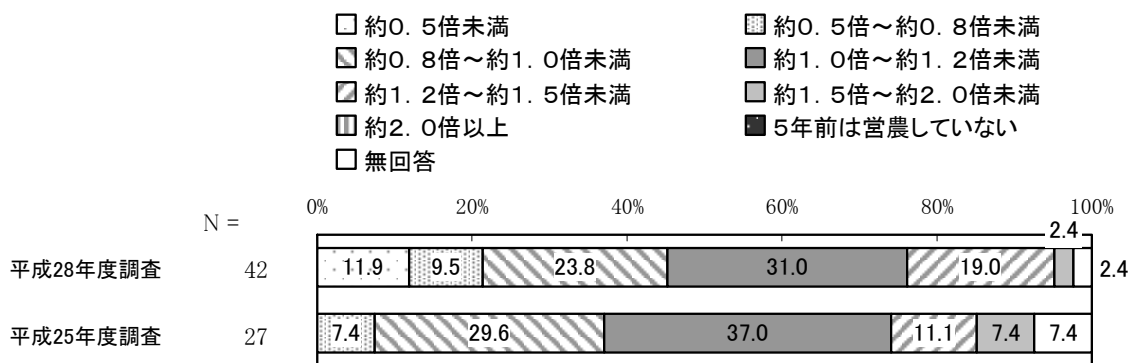


3 あなたの農業経営について

問5 あなたの直近の売上高は、5年前の売上高に比べ何倍程度になりましたか。(〇は1つ)

「約0.5倍未満」「約0.5倍～約0.8倍未満」「約0.8倍～約1.0倍未満」をあわせた“1倍未満”の割合は45.2%、「約1.0倍～約1.2倍」「約1.2倍～約1.5倍未満」「約1.5倍～約2.0倍未満」「約2.0倍以上」をあわせた“1倍以上”の割合は52.4%となっています。

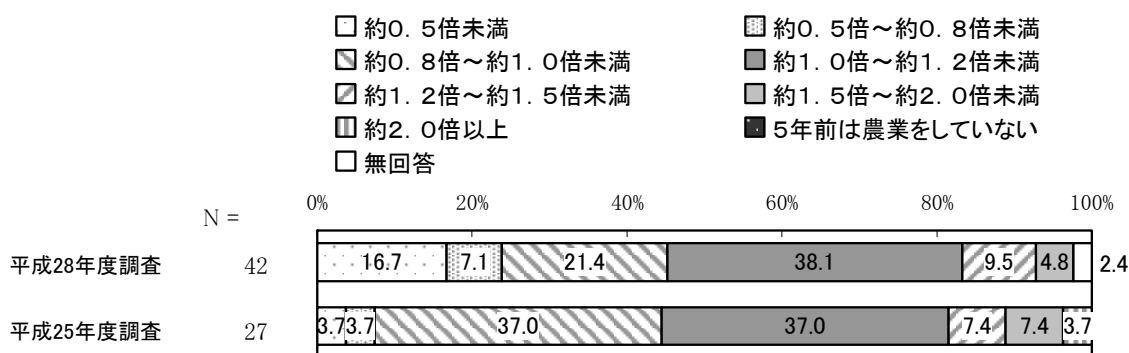
また、平成25年度調査と比べると、“1倍未満”の割合が8.2ポイント増加しています。



問6 あなたの直近の所得は、5年前の所得に比べ何倍程度になりましたか。(〇は1つ)

「約0.5倍未満」「約0.5倍～約0.8倍未満」「約0.8倍～約1.0倍未満」をあわせた“1倍未満”の割合は45.2%、「約1.0倍～約1.2倍」「約1.2倍～約1.5倍未満」「約1.5倍～約2.0倍未満」「約2.0倍以上」をあわせた“1倍以上”の割合は52.4%となっています。

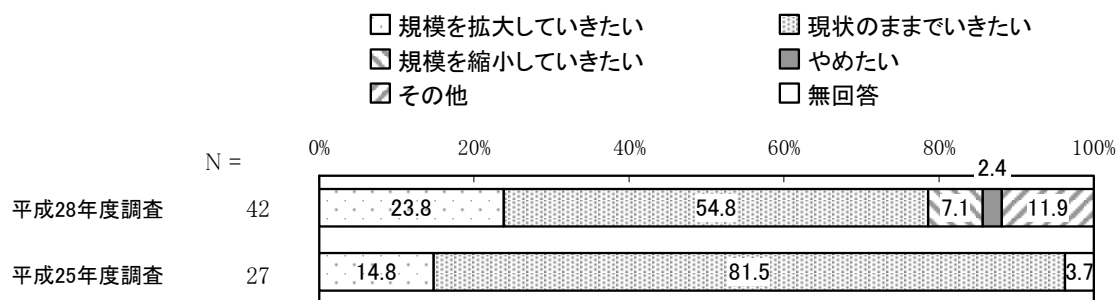
また、平成25年度調査と比べると、「約0.8倍未満」の割合が16.4ポイント増加しています。



問7 あなたは、これから農業経営をどのようにしていきたいとお考えですか。(〇は1つ)

「現状のままでいきたい」の割合が54.8%と最も高く、次いで「規模を拡大していきたい」の割合が23.8%となっています。

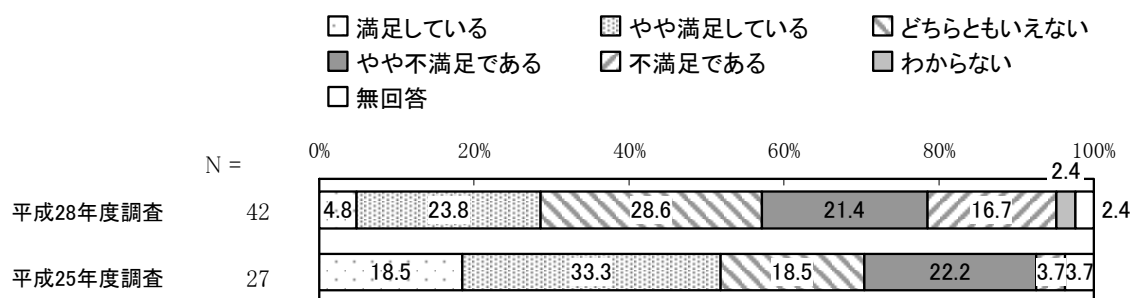
また、平成25年度調査と比べると、「規模を拡大していきたい」の割合が9ポイント増加している一方、「規模を縮小していきたい」「やめたい」と回答する割合も9.5ポイント増加しています。



問8 あなたは、自分の農業経営に満足していますか。(〇は1つ)

「満足している」と「やや満足している」をあわせた“満足している”の割合は28.6%、「やや不満足である」と「不満足である」をあわせた“不満足である”の割合は、38.1%となっており、“不満足である”が“満足している”を上回っています。

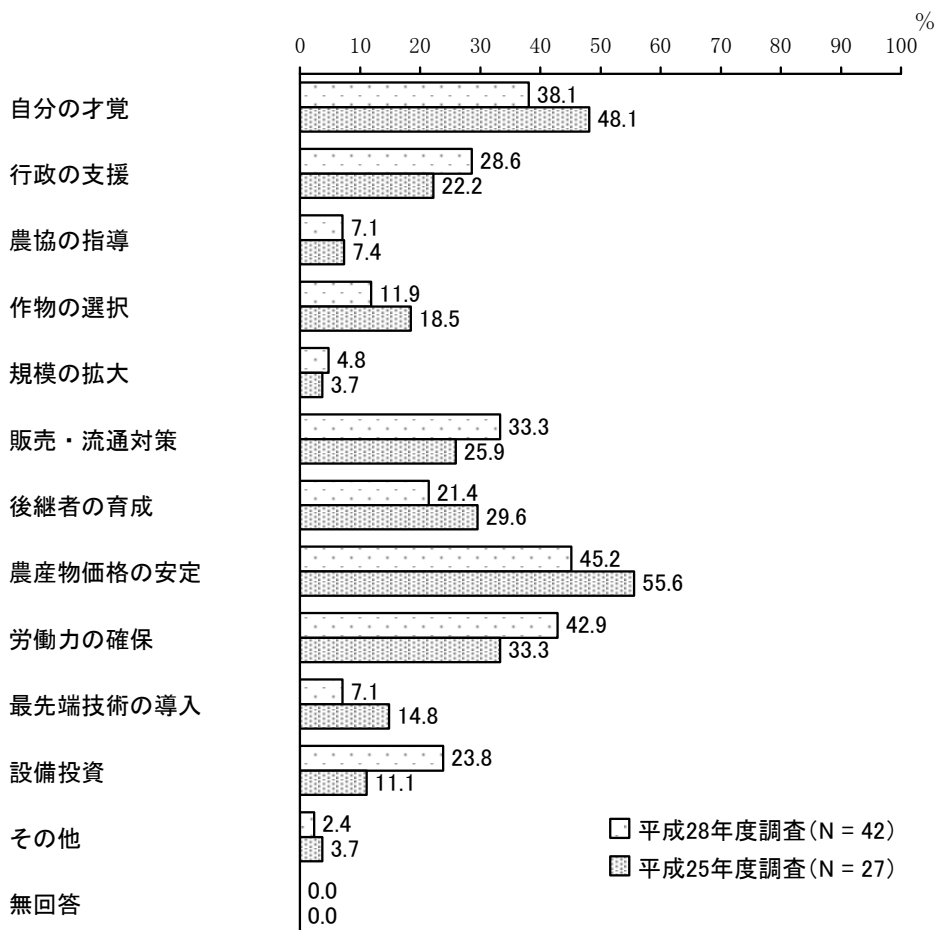
また、平成25年度調査と比べると、“満足している”の割合が23.2ポイント減少している一方、“不満足である”の割合が12.2ポイント増加しています。



問9 あなた自身の農業経営で、重要と考えられることはどれですか。(〇は3つまで)

「農産物価格の安定」の割合が 45.2%と最も高く、次いで「労働力の確保」の割合が 42.9%となっています。

また、平成 25 年度調査と比べると、「設備投資」の割合が 12.7 ポイント増加しているほか、「行政の支援」「販売・流通対策」「労働力の確保」も 6 ポイント以上増加しています。



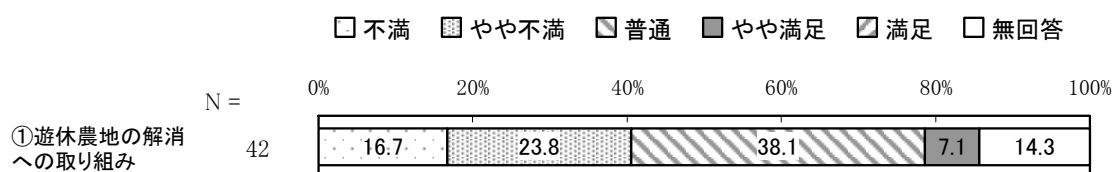
4 農地の保全・活用について

問 10 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
(各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○を1つずつ付ける)

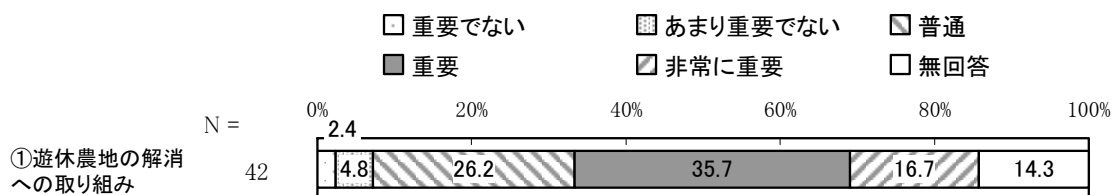
現在の評価については、「不満」と「やや不満」をあわせた“不満”の割合が40.5%、「やや満足」と「満足」をあわせた“満足”の割合が7.1%となっています。

今後の重要性については、「重要でない」と「あまり重要でない」をあわせた“重要でない”の割合が7.2%、「重要」と「非常に重要」をあわせた“重要である”の割合が52.4%となっています。

■現在の評価

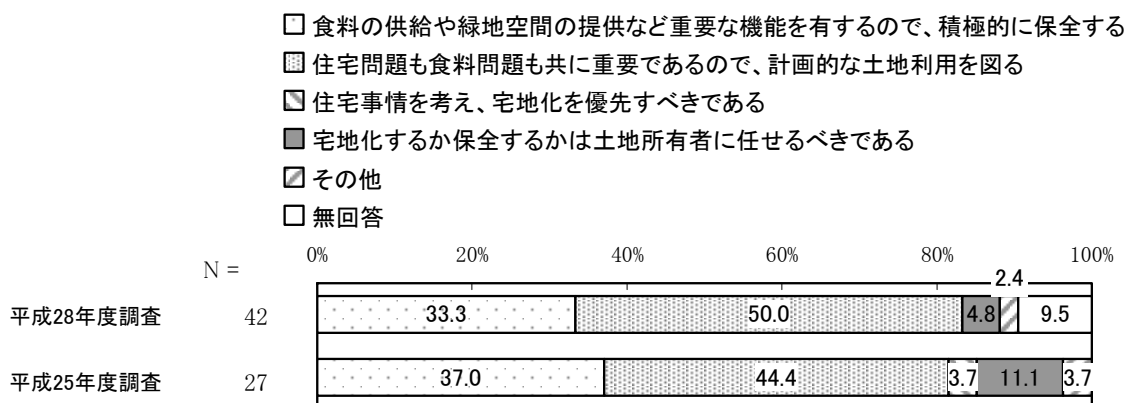


■今後の重要性



問 11 あなたは、農地の保全・活用についてどうお考えですか。あなたの考えに一番近いものを次の中から選んでください。(○は1つ)

平成25年度調査と比べると、「住宅問題も食料問題も共に重要であるので、計画的な土地利用を図る」の割合が5.6ポイント増加している一方、「宅地化するか保全するかは土地所有者に任せるべきである」の割合が6.3ポイント減少しています。



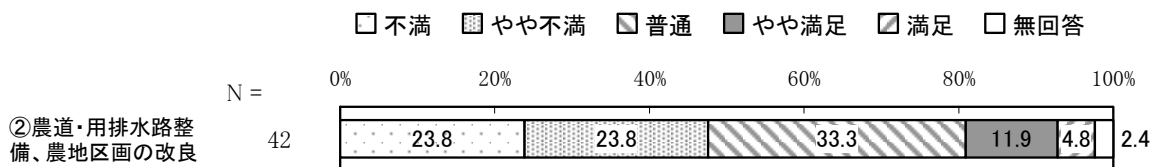
5 農業基盤の整備について

問 12 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
 (各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○を1つずつ付ける)

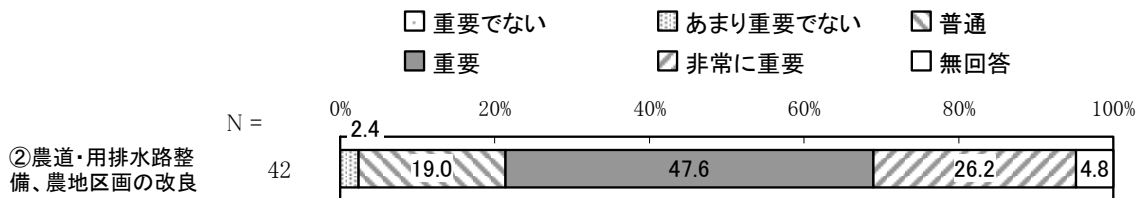
現在の評価については、「不満」と「やや不満」をあわせた“不満”の割合が47.6%、「やや満足」と「満足」をあわせた“満足”の割合が16.7%となっています。

今後の重要性については、「重要でない」と「あまり重要でない」をあわせた“重要でない”の割合が2.4%、「重要」と「非常に重要」をあわせた“重要である”の割合が73.8%となっています。

■現在の評価



■今後の重要性



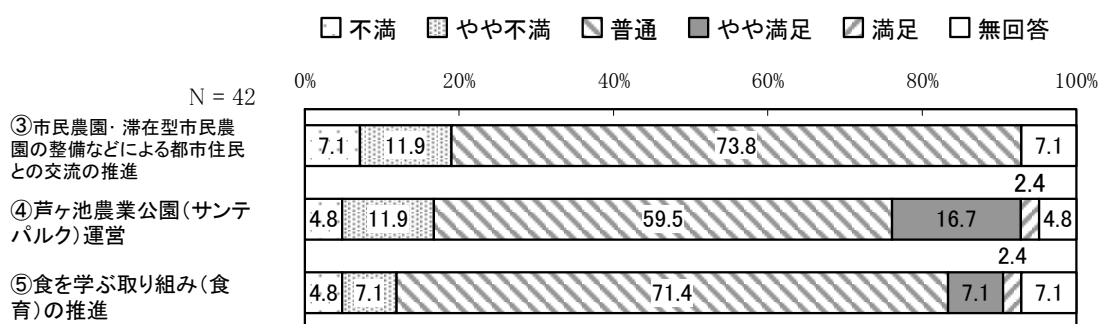
6 交流・食育の推進について

問 13 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
(各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○を1つずつ付ける)

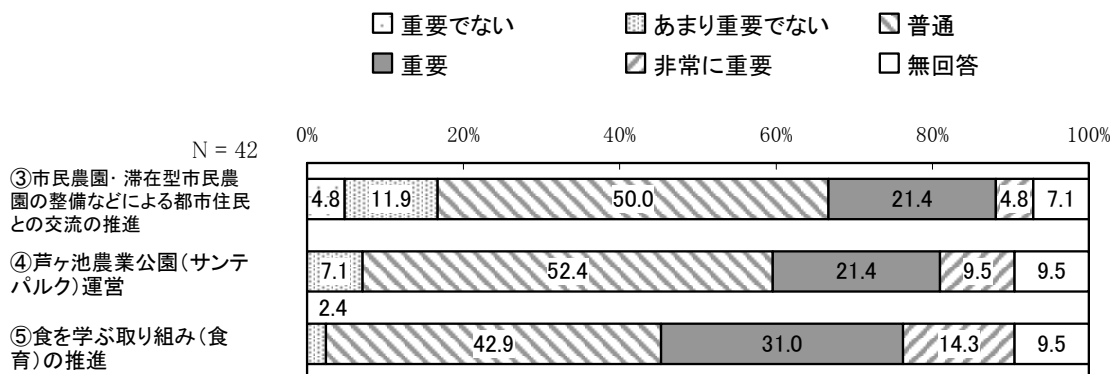
現在の評価については、④芦ヶ池農業公園（サンテパーク）運営で「やや満足」と「満足」をあわせた“満足”の割合が最も高く、19.1%となっています。

今後の重要性については、⑤食を学ぶ取り組み（食育）の推進で「重要」と「非常に重要」をあわせた“重要”の割合が最も高く、45.3%となっています。

■現在の評価



■今後の重要性



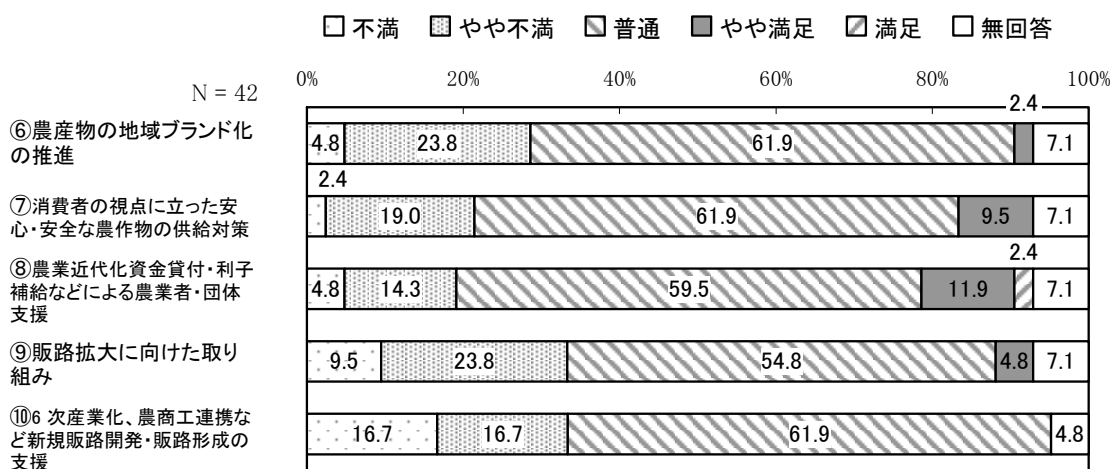
7 農業経営について

問 14 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
 (各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○を1つずつ付ける)

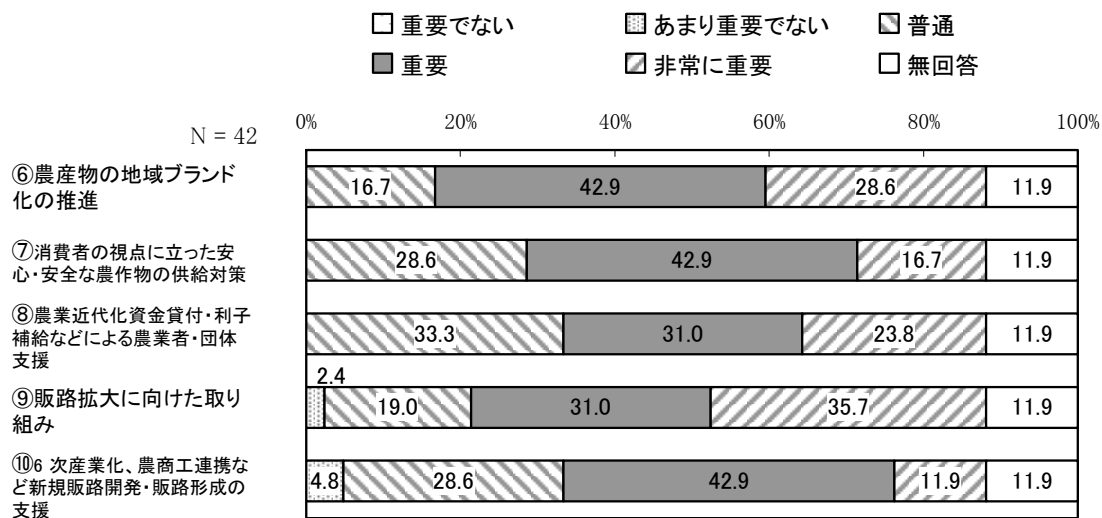
現在の評価については、⑧農業近代化資金貸付・利子補給などによる農業者・団体支援で「やや満足」と「満足」をあわせた“満足”の割合が最も高く、14.3%となっています。

今後の重要性については、⑥農産物の地域ブランド化の推進で「重要」と「非常に重要」をあわせた“重要”の割合が最も高く、71.5%となっています。

■現在の評価



■今後の重要性



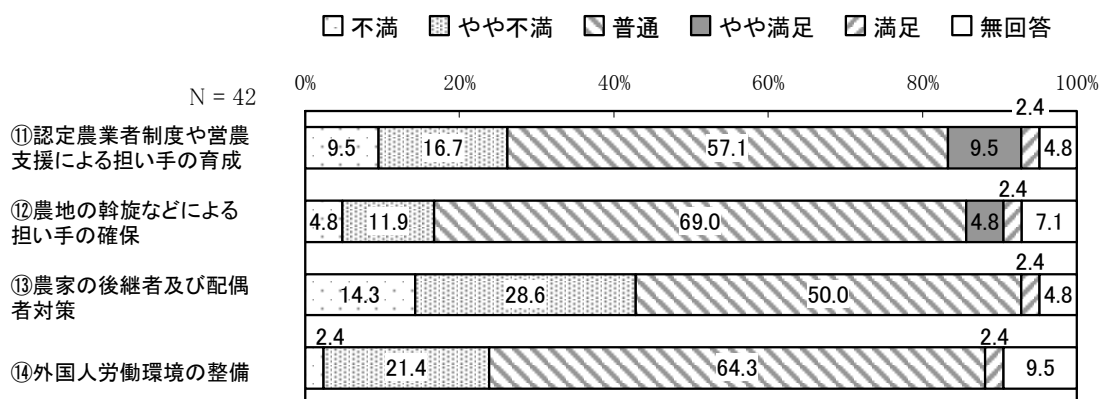
8 担い手づくりの推進について

問 15 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
(各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○を1つずつ付ける)

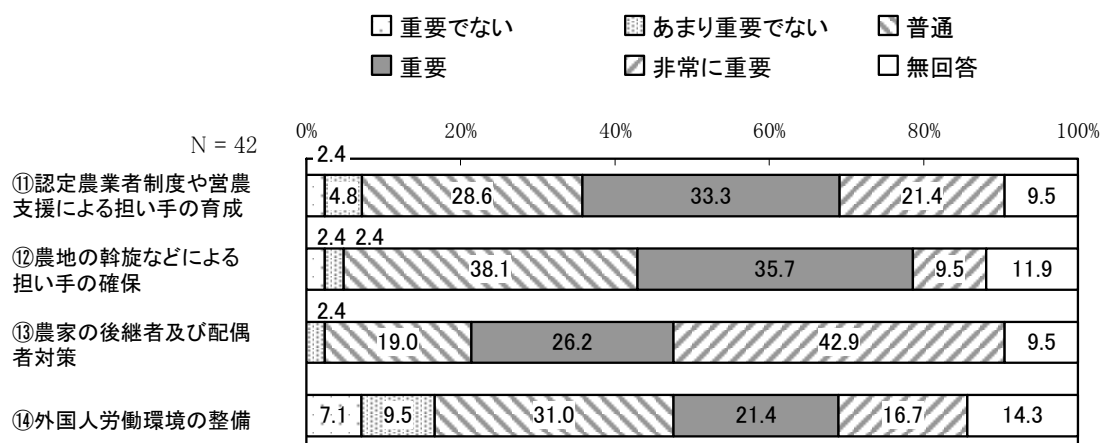
現在の評価については、⑪認定農業者制度や営農支援による担い手の育成で「やや満足」と「満足」をあわせた“満足”の割合が最も高く、11.9%となっています。

今後の重要性については、⑬農家の後継者及び配偶者対策で「重要」と「非常に重要」をあわせた“重要”の割合が最も高く、69.1%となっています。

■現在の評価



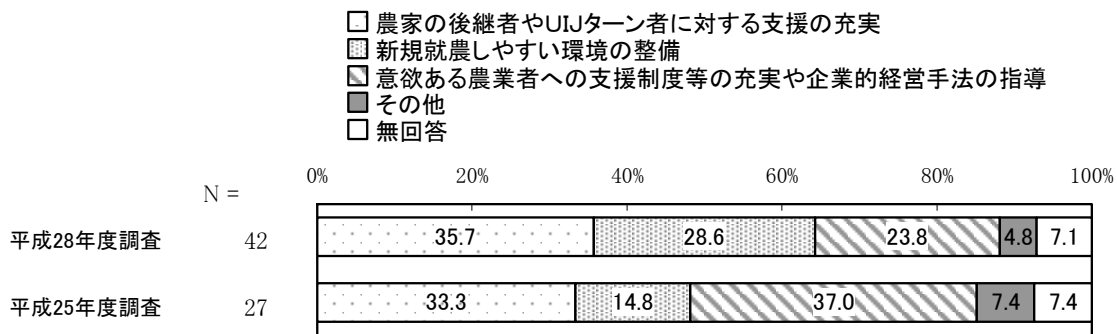
■今後の重要性



問 16 農業の担い手を確保・育成するために何が重要だとお考えですか。(〇は1つ)

「農家の後継者やUIJ ターン者に対する支援の充実」が 35.7%と最も高く、次いで「新規就農しやすい環境の整備」の割合が 28.6%となっています。

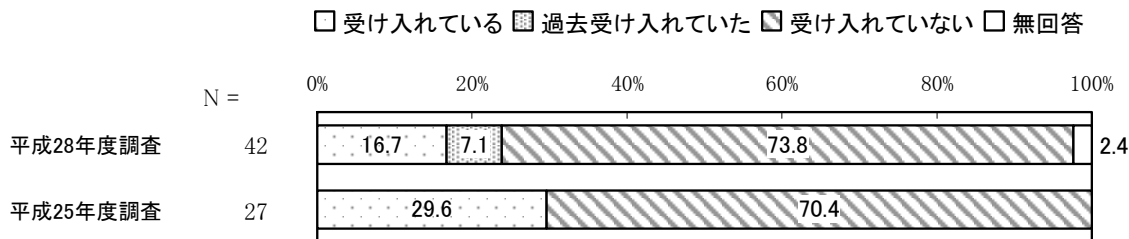
また、平成 25 年度調査と比べると、「新規就農しやすい環境の整備」の割合が 13.8 ポイント増加しています。



問 17 外国人研修生を受け入れていますか。(〇は1つ)

「過去受け入れていた」「受け入れていない」をあわせた“受け入れていない”の割合が 8 割を超えています。

また、平成 25 年度調査と比べると、「受け入れている」の割合が 12.9 ポイント減少しています。



「1 受け入れている」、「2 過去受け入れていた」と答えた方にお聞きします。受入れて良かったこと、困ったことなどがあればお聞かせください。

- ・言葉の違いによる意思疎通がうまくいかない事がある。(4件)
- ・安定的な労働力の確保。(3件)
- ・住まい整備費、人材会社への管理費など負担は大きい。(1件)

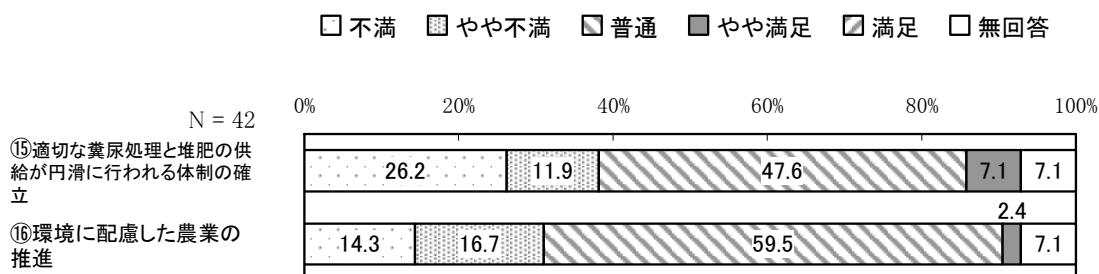
9 環境保全型農業の推進について

問 18 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
(各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○を1つずつ付ける)

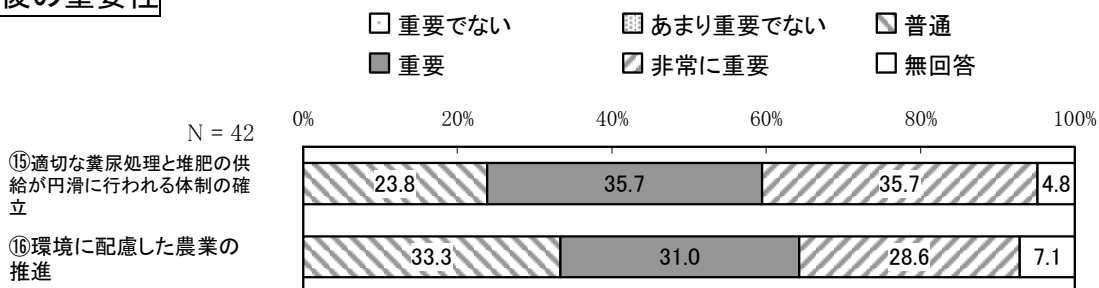
現在の評価については、⑮適切な糞尿処理と堆肥の供給が円滑に行われる体制の確立で「不満」と「やや不満」をあわせた“不満”の割合が最も高く、38.1%となっています。

今後の重要性については、⑮適切な糞尿処理と堆肥の供給が円滑に行われる体制の確立で「重要」と「非常に重要」をあわせた“重要”の割合が最も高く、71.4%となっています。

■現在の評価



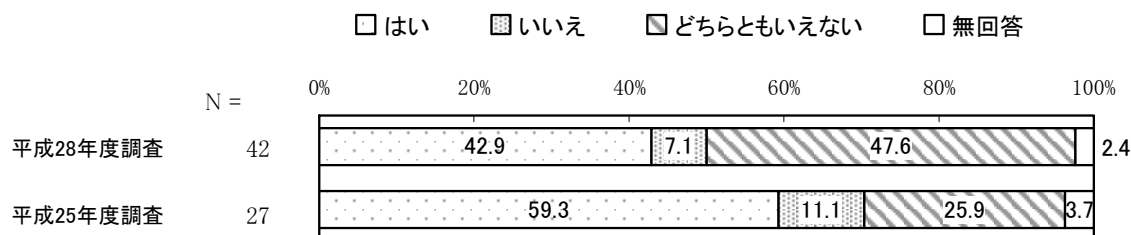
■今後の重要性



問 19 あなたは悪臭・景観などに配慮した農業経営を行っていますか。

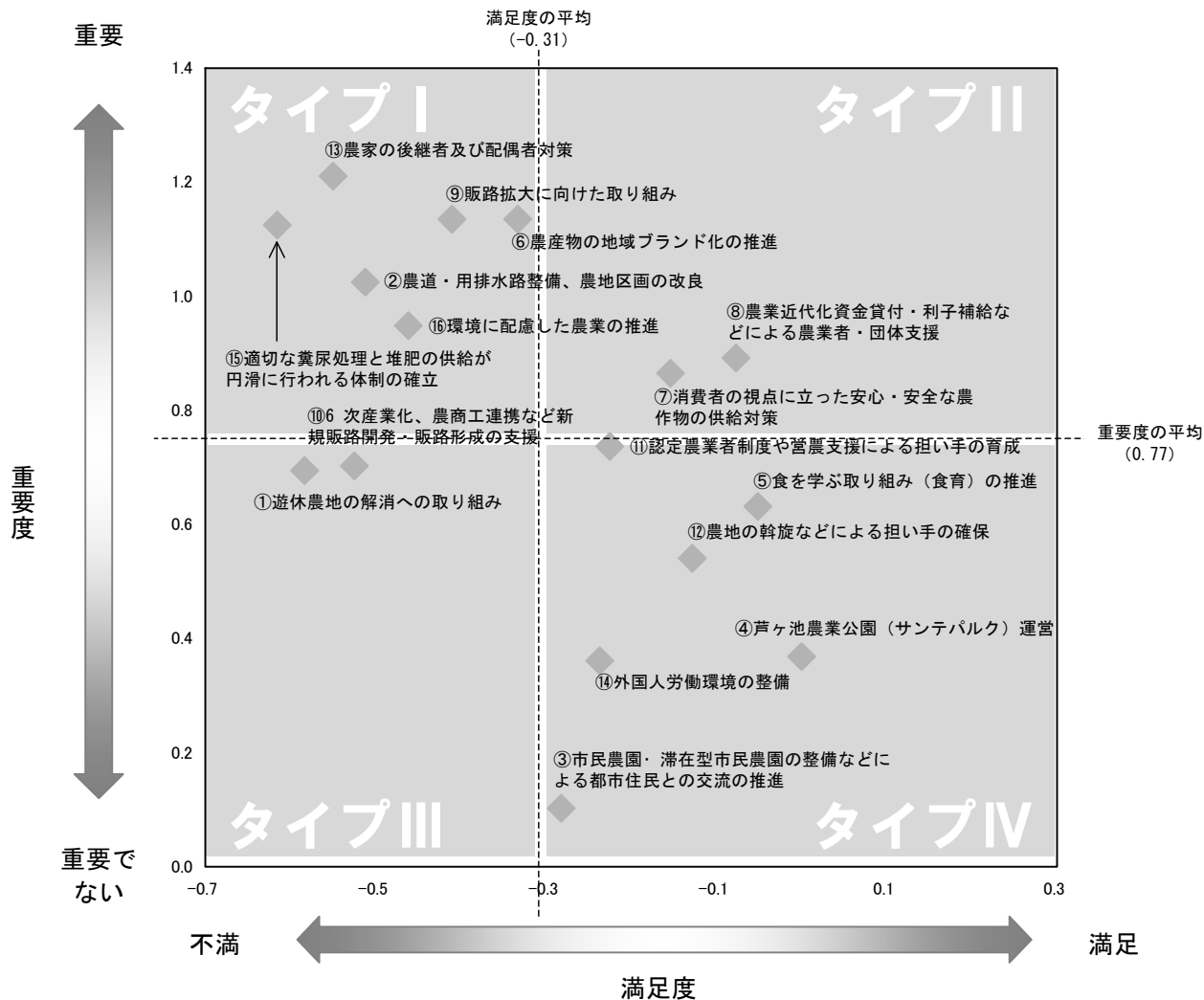
「どちらともいえない」の割合が47.6%と最も高く、次いで「はい」の割合が42.9%となっています。

また、平成25年度調査と比べると、「はい」の割合が16.4ポイント減少しています。



10 市の政策の満足度と重要度によるポートフォリオ分析

ポートフォリオによる市の政策の評価については、②農道・用排水路整備、農地区画の改良、⑥農産物の地域ブランド化の推進、⑨販路拡大に向けた取り組み、⑬農家の後継者及び配偶者対策、⑮適切な糞尿処理と堆肥の供給が円滑に行われる体制の確立、⑯環境に配慮した農業の推進が重要度が高いものの満足度が低くなっており、事業の強化など改善が求められます。



区分	満足度	重要度
①遊休農地の解消への取り組み	-0.58	0.69
②農道・用排水路整備、農地区画の改良	-0.51	1.03
③市民農園・滞在型市民農園の整備などによる都市住民との交流の推進	-0.28	0.10
④芦ヶ池農業公園（サンテパルク）運営	0.00	0.37
⑤食を学ぶ取り組み（食育）の推進	-0.05	0.63
⑥農産物の地域ブランド化の推進	-0.33	1.14
⑦消費者の視点に立った安心・安全な農作物の供給対策	-0.15	0.86
⑧農業近代化資金貸付・利子補給などによる農業者・団体支援	-0.08	0.89
⑨販路拡大に向けた取り組み	-0.41	1.14
⑩6次産業化、農商工連携など新規販路開発・販路形成の支援	-0.53	0.70
⑪認定農業者制度や営農支援による担い手の育成	-0.23	0.74
⑫農地の幹旋などによる担い手の確保	-0.13	0.54
⑬農家の後継者及び配偶者対策	-0.55	1.21
⑭外国人労働環境の整備	-0.24	0.36
⑮適切な糞尿処理と堆肥の供給が円滑に行われる体制の確立	-0.62	1.13
⑯環境に配慮した農業の推進	-0.46	0.95

○上図から分析判断できる最優先課題

- ②農道・用排水路整備、農地区画の改良
- ⑥農産物の地域ブランド化の推進
- ⑨販路拡大に向けた取り組み
- ⑬農家の後継者及び配偶者対策
- ⑮適切な糞尿処理と堆肥の供給が円滑に行われる体制の確立
- ⑯環境に配慮した農業の推進

11 自由意見

- ・農業の1つとして今後の労働力不足のことを考えると産業として労働環境（労働時間、福利厚生）、安定的な収入がないと労働力の確保は難しくなると考えます（1件）
- ・農業委員会日より45号賃借料の情報の件です。水稻の部です。27年度からは前年度の半分の賃借料と決定し実施した所ですが最低額は田原地域で8,000円となっております。実際我が家にて4,500円で締結、米30キロ分5,500円で締結済みです。参考額と載せては有りますが誤解をまねくと思えます（1件）
- ・農業生産日本一なのに知名度が低い、地元の食材で給食を成り立たせて欲しい（2件）
- ・もっと田原市の農業を知って欲しい。農業にたずさわってくれる嫁が来て欲しいです（1件）
- ・台風にたえる農業。機械、資材が値上げは厳しい（1件）
- ・早朝、濃ビ、ポリ等を燃やす人がまだいるので注意を呼び掛けて下さい。広報等でも（1件）
- ・新規農業や大規模農家には手厚い支援があるように思えるが、既存の温室の整備にも支援をしてほしい。そうすれば、少ない投資で生産性の向上にすぐに繋がる。産地のパワーアップにつながる。新しい技術や機械を導入していきたい。田原市、農家、業社で意見を交換出来たら（2件）
- ・やろうとしてもできない事が多いので政策による押しつけは戸惑いがある（1件）
- ・田原の農業はもうかる事を発信し後継者の育成に力を入れて欲しい。6次化について完全商品にするのではなく一次加工、二次加工し食品原料とするような業者を産地に誘致して欲しい。（カット野菜、ボイル野菜等）（1件）
- ・悪臭を放っている人達に向けての対策をしてください（1件）
- ・現在の市政は農業をあまり重要に考えてないように見える。田原市の農業の衰退は死活問題。農業プラス観光客で田原市の農業を盛り上げられる政策を考えて下さい（1件）
- ・生産者とJAあいちみなみ農協との連携が良くありません。①共選出荷の特級等のバラツキをなくし、消費者側のニーズに対応する。②生産者の労働力軽減。①②→バラ選工場が必要です（1件）
- ・加工品工場建設。道路の整備（1件）
- ・①農業の後継者に対して、もっと優遇対処をすべきと思う。②家族全員で農業経営をする方向に持って行けたらと思う。③所得が安定できるようにブランド化、販売方法を農協、市でもっと考慮すべきと思う。④今ある土地で十分生きていける方法を考慮すべきと思う。国の対策では少ない土地の所有者はダメといった内容ではおかしいと思う（1件）

■ V 市内漁業者アンケート調査

IV 市内農業者アンケート調査

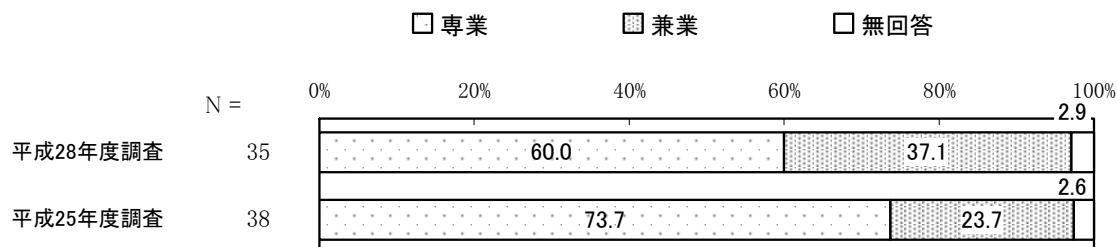
V 市内漁業者アンケート調査

1 回答者属性

問1 あなたの事業についてお伺いします。

① 専業・兼業の別

「専業」の割合が60.0%、「兼業」の割合が37.1%となっています。

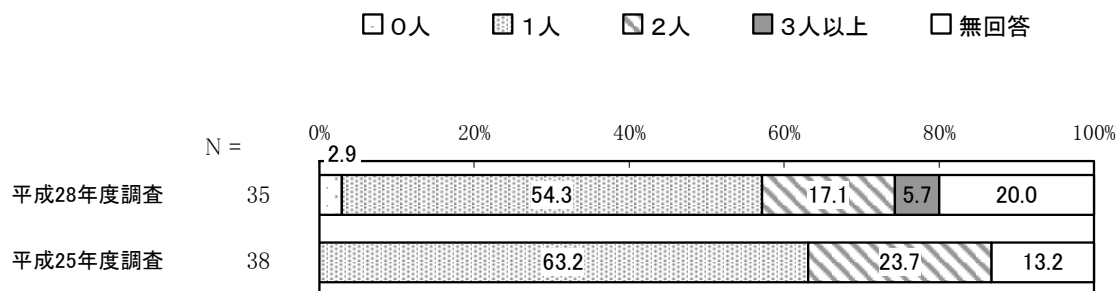


② 漁業に従事している人数

■常時漁業に従事している人

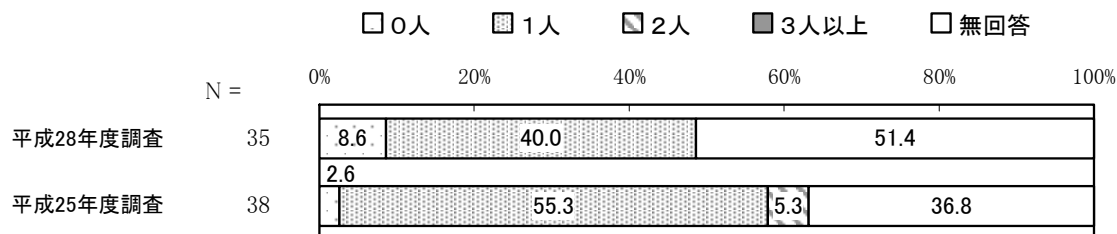
【男性】

「1人」の割合が54.3%と最も高く、次いで「2人」の割合が17.1%となっています。



【女性】

「1人」の割合が40.0%と最も高くなっています。



■臨時に漁業に従事する人

男性については、2人が「0人」と回答し、6人が「1人」と回答し、1人が「2人」と回答しています。

女性については、3人が「0人」と回答し、4人が「1人」と回答しています。

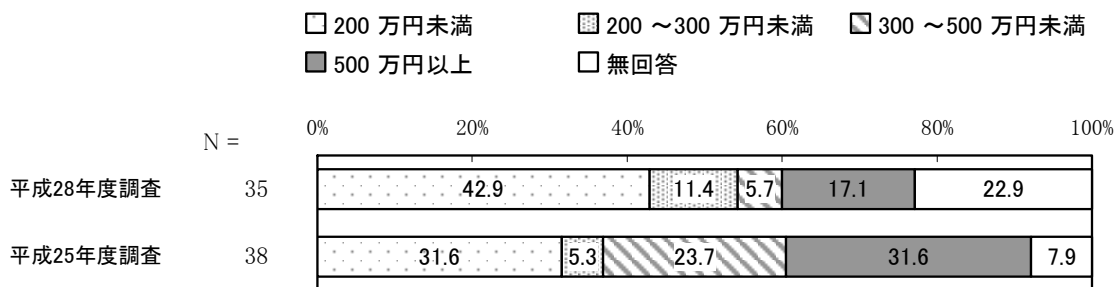
③ 主な漁獲物

No.	漁獲物	件数	No.	漁獲物	件数
1	アサリ取り	25 件	9	スズキ類	1 件
2	貝類	6 件	10	さし網	1 件
3	カマス	4 件	11	キス	1 件
4	海そう	4 件	12	カニ	1 件
5	タコ	2 件	13	イセエビ	1 件
6	タイ類	2 件	14	アナゴ	1 件
7	魚	1 件	15	アジ	1 件
8	ぼら	1 件			
				総計	15 件

④ おおよその漁業所得

「200 万円未満」の割合が 42.9%と最も高く、次いで「500 万円以上」の割合が 17.1%、「200 ～300 万円未満」の割合が 11.4%となっています。

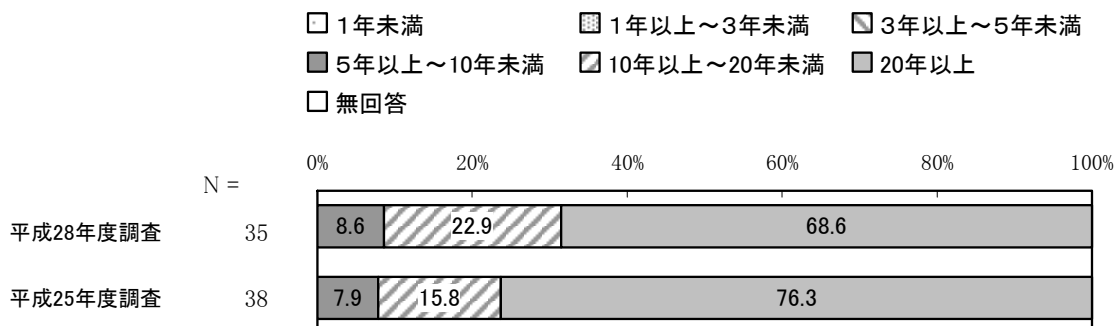
また、平成 25 年度調査と比べると、「500 万円以上」の割合が 14.5 ポイント減少しています。



⑤ 田原市での就漁年数

「20 年以上」の割合が 68.6%と最も高く、次いで「10 年以上～20 年未満」の割合が 22.9%となっています。

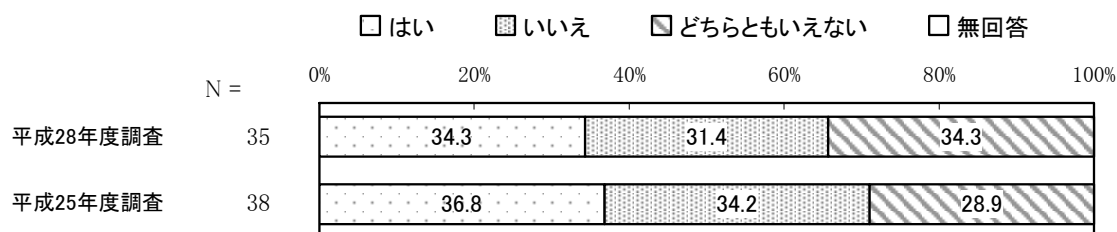
また、平成 25 年度調査と比べると、10 年以上の就漁年数を経た漁業者が 7.1 ポイント増加しているとともに、「5 年以上～10 年未満」の漁業者も僅かながら増加しています。



2 田原市の漁業全般について

問2 田原市は、漁業がしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

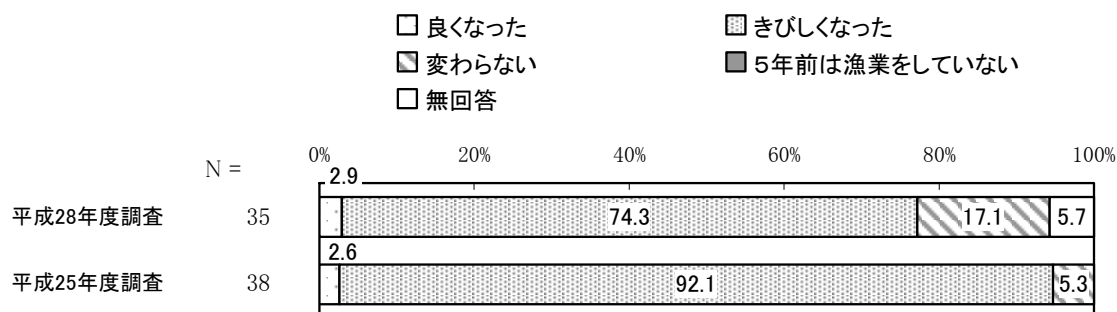
「はい」、「どちらともいえない」の割合が34.3%と最も高くなっています。
また、平成25年度調査と比べると、「はい」の割合が2.5ポイント減少しています。



問3 田原市で漁業を行う環境は、5年前と比べて全体的にどうなったとお考えですか。(〇は1つ)

「きびしくなった」の割合が74.3%と最も高く、次いで「変わらない」の割合が17.1%となっています。

また、平成25年度調査と比べると、「きびしくなった」の割合が17.8ポイント減少している一方、「かわらない」の割合が11.8ポイント増加しています。

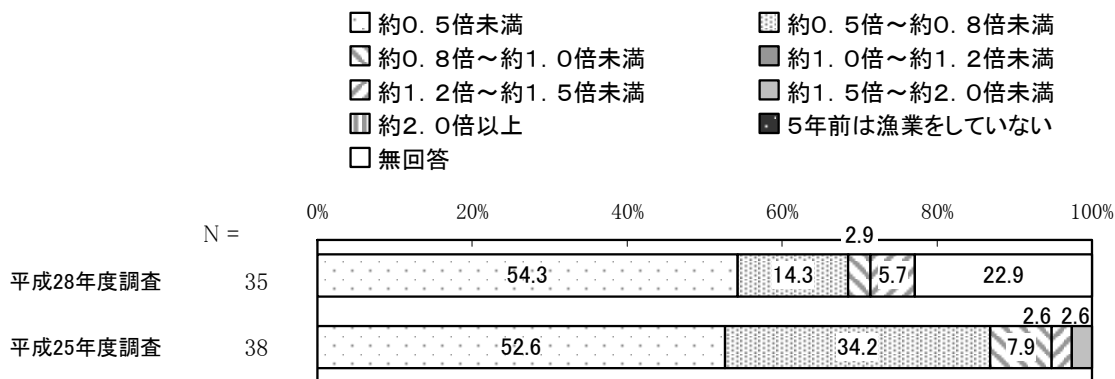


3 あなたの漁業経営について

問4 あなたの直近の売上高は、5年前の売上高に比べ何倍程度になりましたか。(〇は1つ)

平成25年度調査と比べると、「約0.5倍未満」「約0.5倍～約0.8倍未満」「約0.8倍～約1.0倍未満」をあわせた“1倍未満”の割合が23.2ポイント減少しています。

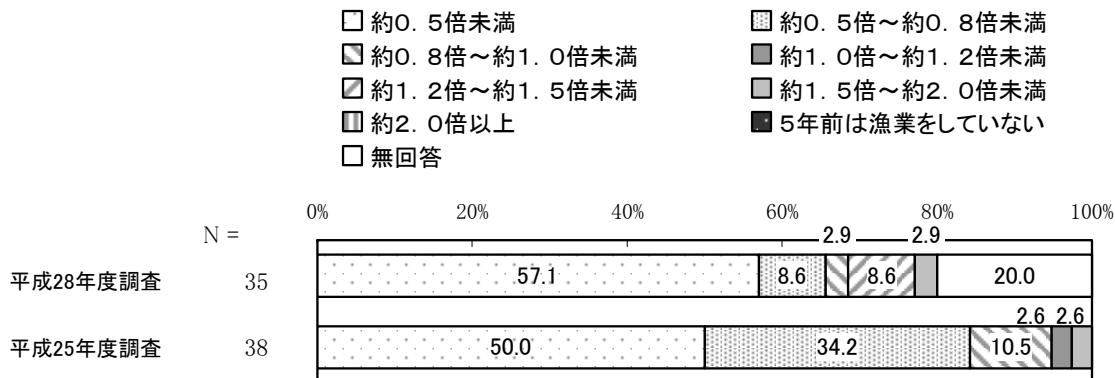
また、「約1.0倍～約1.2倍未満」「約1.2倍～約1.5倍未満」「約1.5倍～約2.0倍未満」「約2.0倍以上」をあわせた“1倍以上”の割合は0.5ポイント増加しています。



問5 あなたの直近の経常利益（所得）は、5年前の経常利益（所得）に比べ何倍程度になりましたか。(〇は1つ)

平成25年度調査と比べると、「約0.5倍未満」「約0.5倍～約0.8倍未満」「約0.8倍～約1.0倍未満」をあわせた“1倍未満”の割合が26.1ポイント減少しています。

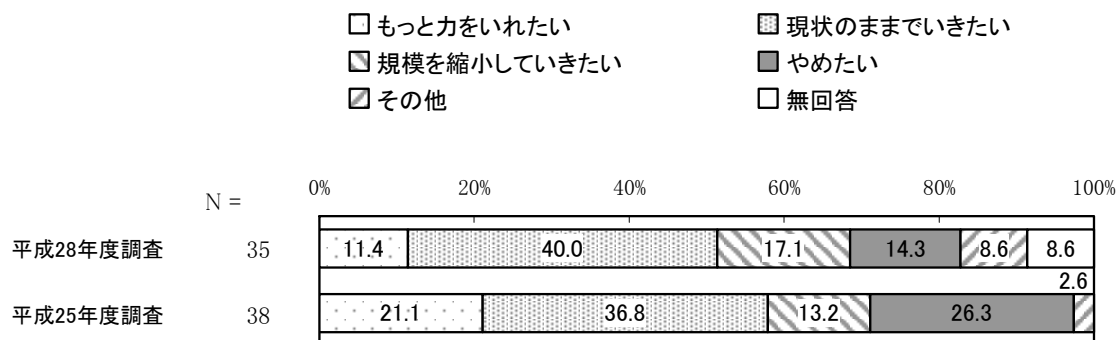
また、「約1.0倍～約1.2倍未満」「約1.2倍～約1.5倍未満」「約1.5倍～約2.0倍未満」「約2.0倍以上」をあわせた“1倍以上”の割合は6.3ポイント増加しています。



問6 あなたは、これから漁業経営をどのようにしていきたいとお考えですか。(〇は1つ)

「現状のままでいきたい」の割合が40.0%と最も高く、次いで「規模を縮小していきたい」の割合が17.1%となっています。

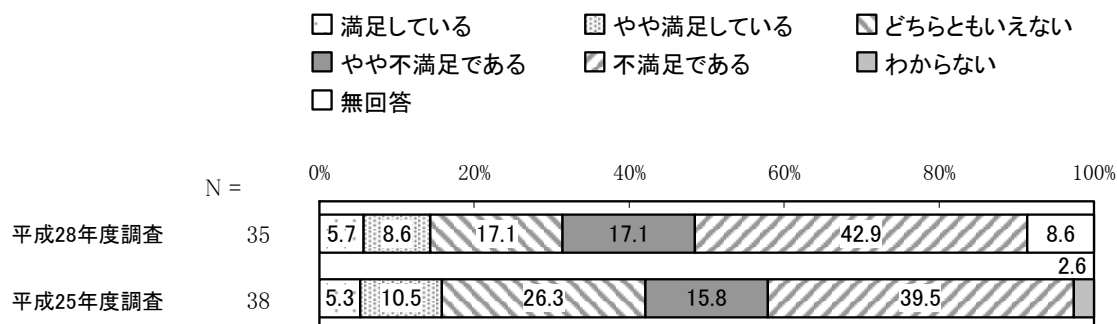
また、平成25年度調査と比べると、「やめたい」の割合が12ポイント減少している一方、「規模を縮小していきたい」の割合が3.9ポイント増加しています。



問7 あなたは、ご自分の漁業経営に満足していますか。(〇は1つ)

「満足している」と「やや満足している」をあわせた“満足している”の割合が14.3%、「やや不満足である」と「不満足である」をあわせた“不満足である”の割合が60.0%となっています。

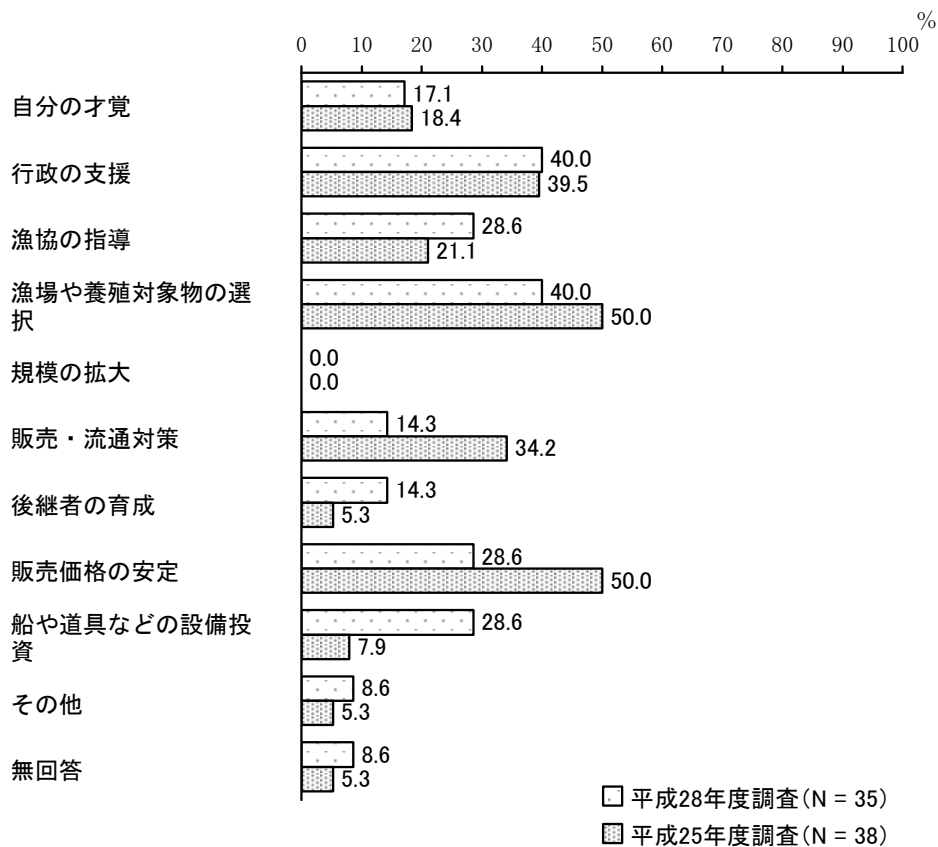
また、平成25年度調査と比べると、“満足している”の割合が1.5ポイント減少している一方、“不満足である”の割合が4.7ポイント増加しています。



問8 あなたが漁業経営で、重要と考えられることはどれですか。(〇は3つまで)

「行政の支援」「漁場や養殖対象物の選択」の割合が最も高く、40.0%となっています。

また、平成25年度調査と比べると、「船や道具などの設備投資」の割合が20.7ポイントと最も増加しているほか、「後継者の育成」も9ポイント増加しています。



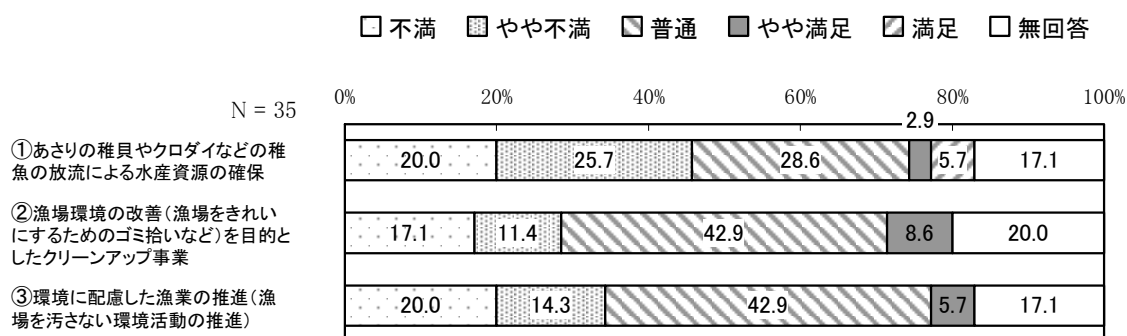
4 水産資源の確保について

問9 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
(各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○を1つずつ付ける)

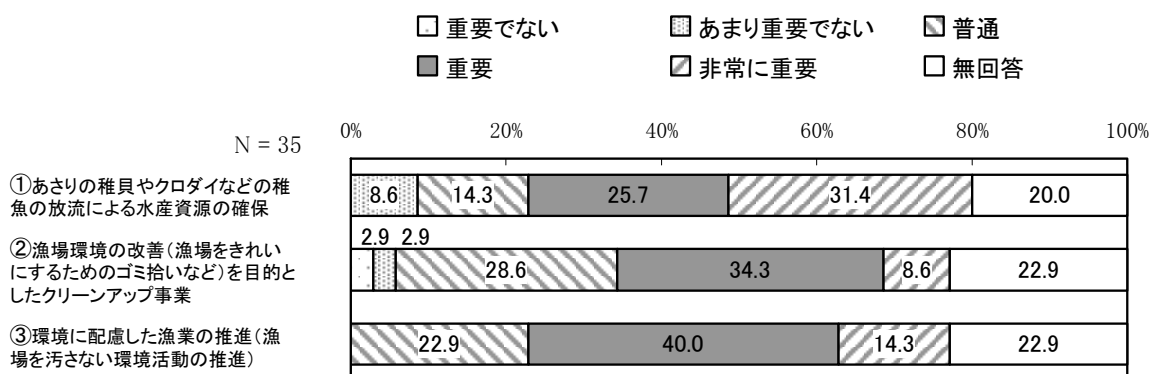
現在の評価については、①あさりの稚貝やクロダイなどの稚魚の放流による水産資源の確保で「不満」と「やや不満」をあわせた“不満”の割合が最も高く、45.7%となっています。

今後の重要性については、①あさりの稚貝やクロダイなどの稚魚の放流による水産資源の確保で「重要」と「非常に重要」をあわせた“重要”の割合が最も高く、57.1%となっています。

■現在の評価

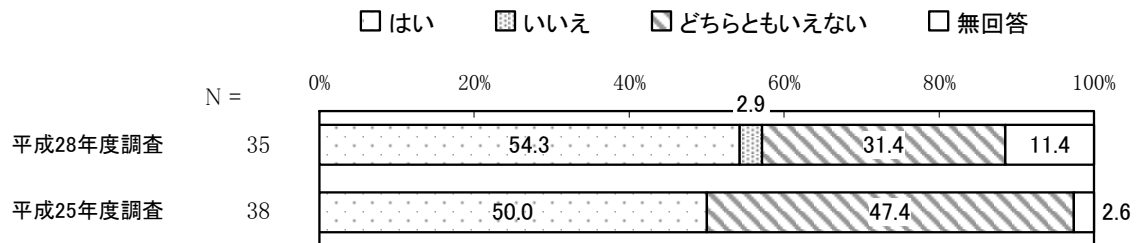


■今後の重要性



問 10 あなたは環境に配慮した漁業経営を行っていますか。(〇は1つ)

「はい」の割合が54.3%、「どちらともいえない」の割合が31.4%となっています。
 また、平成25年度調査と比べると、「はい」の割合が4.3ポイント増加し、環境に配慮した漁業経営を行っている漁業者が増加しています。



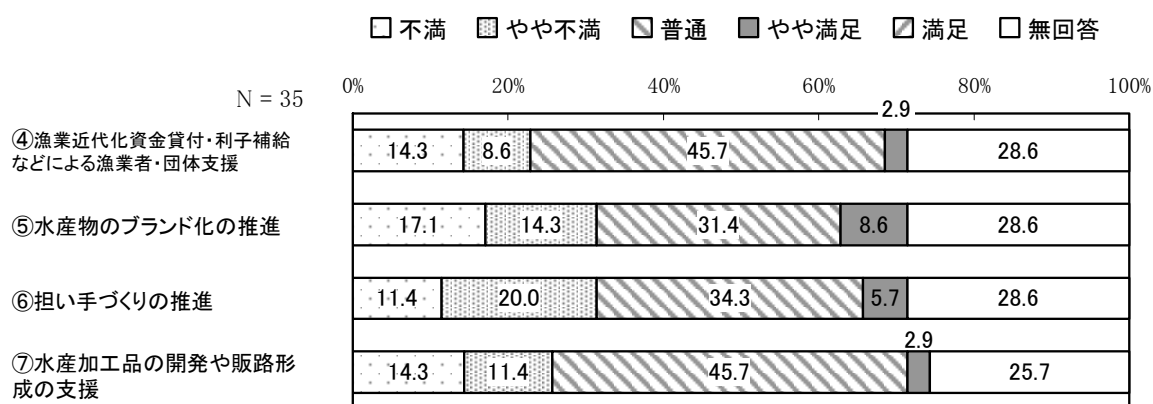
5 漁業経営について

問 11 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
 (各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○を1つずつ付ける)

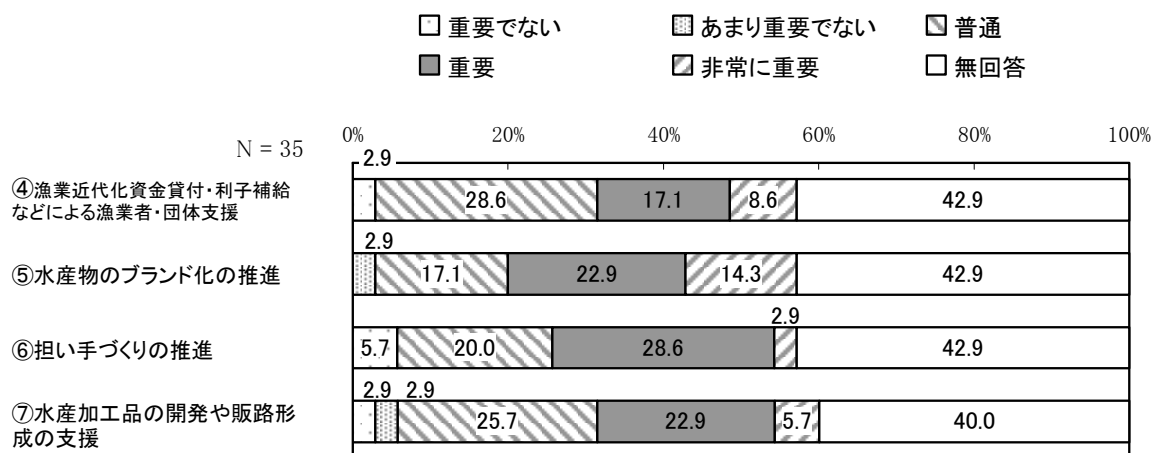
現在の評価については、⑤水産物のブランド化の推進、⑥担い手づくりの推進で「不満」と「やや不満」をあわせた“不満”の割合が最も高く、31.4%となっています。

今後の重要性については、⑤水産物のブランド化の推進で「重要」と「非常に重要」をあわせた“重要”の割合が最も高く、37.2%となっています。

■現在の評価



■今後の重要性



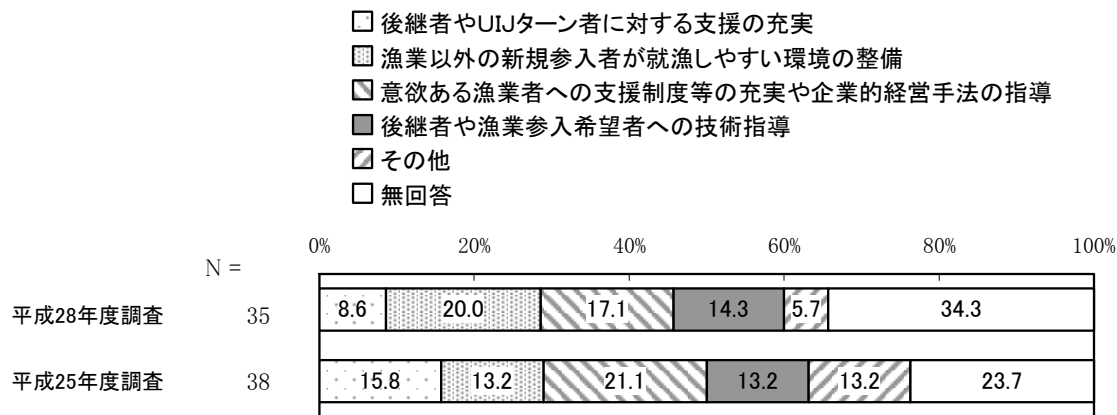
問 12 漁業経営を強化するためにはどのような取り組みが必要だと考えますか。理由もあればご記入ください。

- ・ 組合が十分に機能していないので、体制を見直す（3件）
- ・ ルールを守らない人もいるので、違反者の摘発、罰則を強化する（2件）
- ・ 養殖の環境を整える（2件）
- ・ 市場の確保（2件）
- ・ 水質を改善する（2件）
- ・ 地質調査を実施する（1件）

問 13 漁業の担い手を確保・育成するためには、何が重要だとお考えですか。（〇は1つ）

「漁業以外の新規参入者が就漁しやすい環境の整備」の割合が 20.0%と最も高く、次いで「意欲ある漁業者への支援制度等の充実や企業的経営手法の指導」の割合が 17.1%となっています。

また、平成 25 年度調査と比べると、「漁業以外の新規参入者が就漁しやすい環境の整備」の割合が 6.8 ポイント増加している一方、「後継者や UIJ ターン者に対する支援の充実」の割合が 7.2 ポイント減少しています。



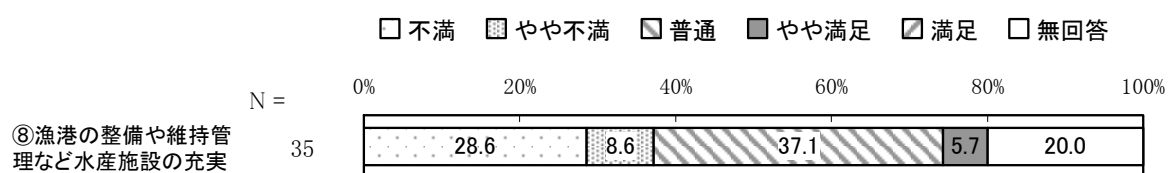
6 水産施設の充実について

問 14 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
(各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○を1つずつ付ける)

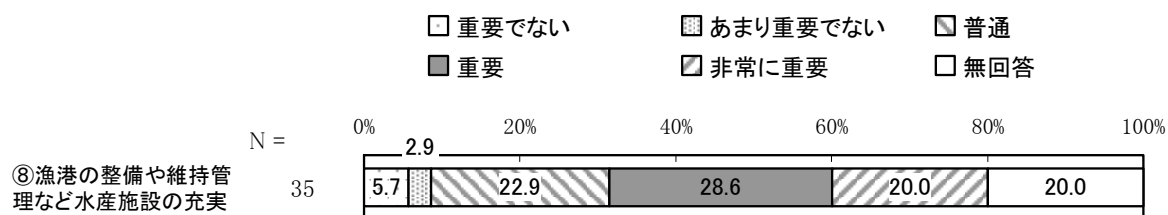
現在の評価については、「不満」と「やや不満」をあわせた“不満”の割合が37.2%、
となっています。

今後の重要性については、「重要」と「非常に重要」をあわせた“重要”の割合が48.6%
となっています。

■現在の評価

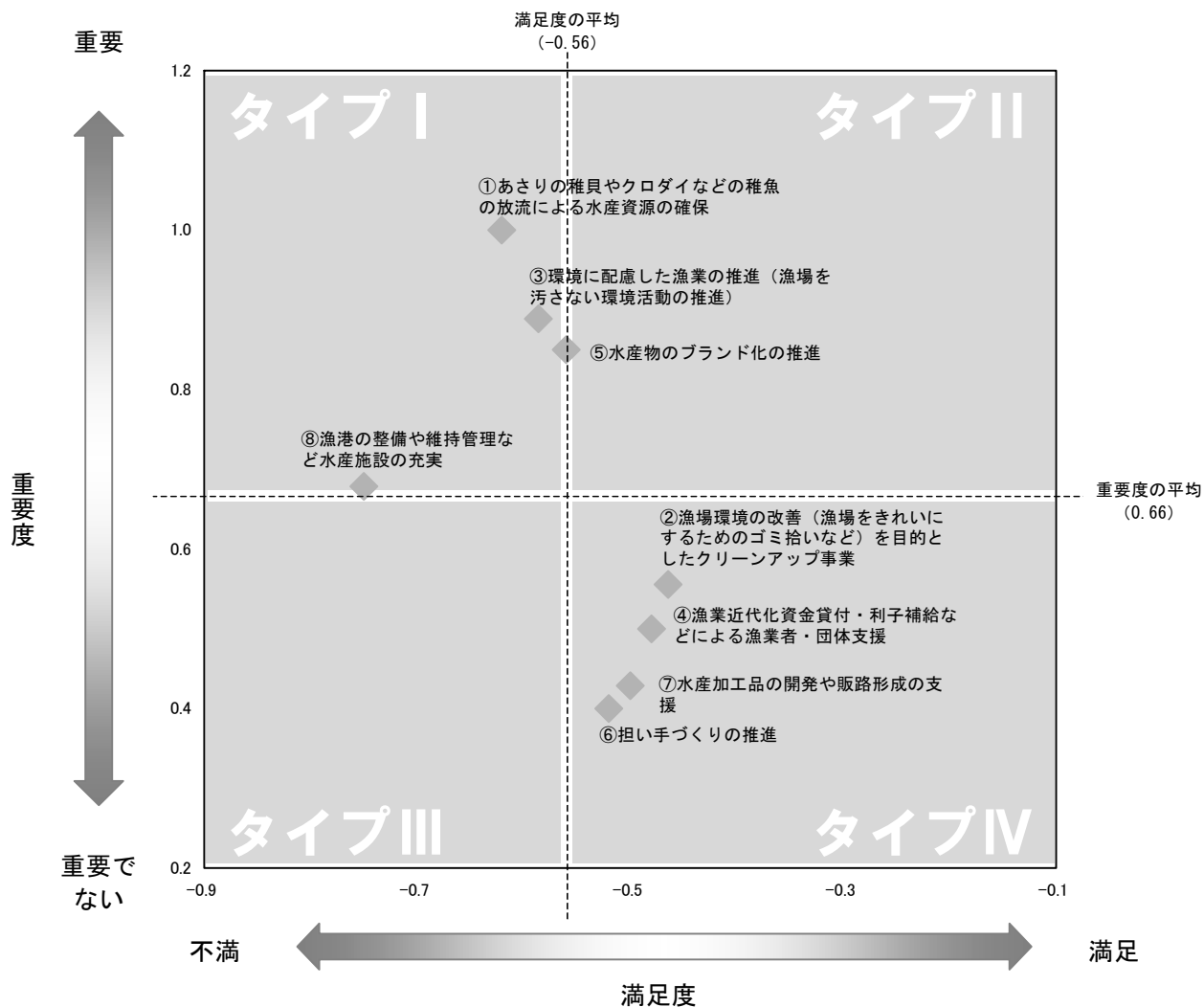


■今後の重要性



7 市の政策の満足度と重要度によるポートフォリオ分析

ポートフォリオによる市の政策の評価については、①あさりの稚貝やクロダイなどの稚魚の放流による水産資源の確保、③環境に配慮した漁業の推進（漁場を汚さない環境活動の推進）、⑤水産物のブランド化の推進、⑧漁港の整備や維持管理など水産施設の充実が重要度が高いものの満足度が低くなっており、事業の強化など改善が求められます。



区分	満足度	重要度
①あさりの稚貝やクロダイなどの稚魚の放流による水産資源の確保	-0.62	1.00
②漁場環境の改善（漁場をきれいにするためのゴミ拾いなど）を目的としたクリーンアップ事業	-0.46	0.56
③環境に配慮した漁業の推進（漁場を汚さない環境活動の推進）	-0.59	0.89
④漁業近代化資金貸付・利子補給などによる漁業者・団体支援	-0.48	0.50
⑤水産物のブランド化の推進	-0.56	0.85
⑥担い手づくりの推進	-0.52	0.40
⑦水産加工品の開発や販路形成の支援	-0.50	0.43
⑧漁港の整備や維持管理など水産施設の充実	-0.75	0.68

○上図から分析判断できる最優先課題

- ①あさりの稚貝やクロダイなどの稚魚の放流による水産資源の確保
- ③環境に配慮した漁業の推進（漁場を汚さない環境活動の推進）
- ⑤水産物のブランド化の推進
- ⑧漁港の整備や維持管理など水産施設

8 自由意見

- ・漁業者に対し決められた事は守って欲しいと思います。組合も見て見ぬふりをしないでほしい (2件)
- ・港内の海水が悪く活魚出荷が出来ないので港収生しが出来るようお願いします (1件)
- ・漁業者にも農業者位の保証体制をしてほしいです (1件)
- ・①市役所と漁協の強化により、のり、あさり養殖事業がこれからも充実するように。②部落放送が馬草沖では西かぜが強いと聞き取れない。津波等も心配されるので考えて欲しい (1件)
- ・若い人、子供のある家庭の安定を。今のままでは若い人は働けない (1件)
- ・アサリの養殖場ばかりつくり、自由に一般の年寄りの取る場もないような事をゆるす人間の心が知れない。お互いに言うものがあるのではないのでしょうか。もうすこし県の人達もその点よく考えてもらいたい。松山の場所でもそうだと思う。ある人が警察沙汰になりながら、一部の仲間でもその場をおじかめ、怖いものには役員も一言も言えないそれもおかしい (1件)
- ・渥美の漁業は終わったと思います。豊橋港が国際港になってから年々悪くなったと思います。本当に弱いものはいじめられるようになったと思います。組合は動かず本当に渥美漁師はバカだと思います。私はもっと市政が渥美の漁業をもっとよく調べてどんだけ苦しんでいるか、その気持ちわかってほしいと思います。私達は漁に行行って帰ってから又息子はコンビニにPM11時ごろまで仕事に行っています。私は青色申告です。税理士を長いこと頼んでいます。本当にもっとよく調べて頂けたらと思います (1件)
- ・漁業権を取るのがきびし過ぎる。新規で漁業を始めるのに、いくら雇われで長い年数働いても借家、借地に住んでいるのは権利を取れない。身内で権利を持っていると取得しやすい環境にある高い給料ではない限り借家、借地以外住むのは困難。何年働いていても漁業権が取得しにくい (1件)
- ・漁協が合併したにもかかわらず漁場が拡大されない事に不満を感じる。行政の力で是非改善してもらいたい (1件)
- ・漁業者とサーファーはどの地区においても駐車場のサーファーによる占用となり漁業者は車の駐車場が困っている。又、海は特に瀬で取る貝などの漁はサーファーに取られ(場所)出来ない状況である。サーフィンに力を入れ、世界大会へ予算を入れるようならば、漁業へも予算を配分してはどうか (1件)
- ・特になし (1件)

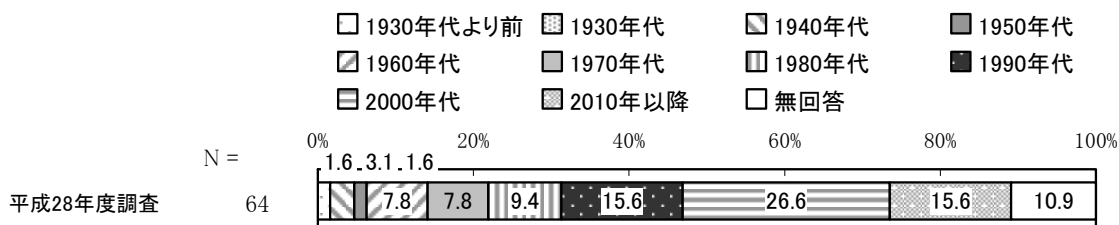
■ VI 市内団体アンケート調査

VI 市内団体アンケート調査

1 回答者属性

問1 あなたの団体の設立年についておたずねします。

「2000年代」の割合が26.6%と最も高く、次いで「1990年代」、「2010年以降」の割合が15.6%となっています。

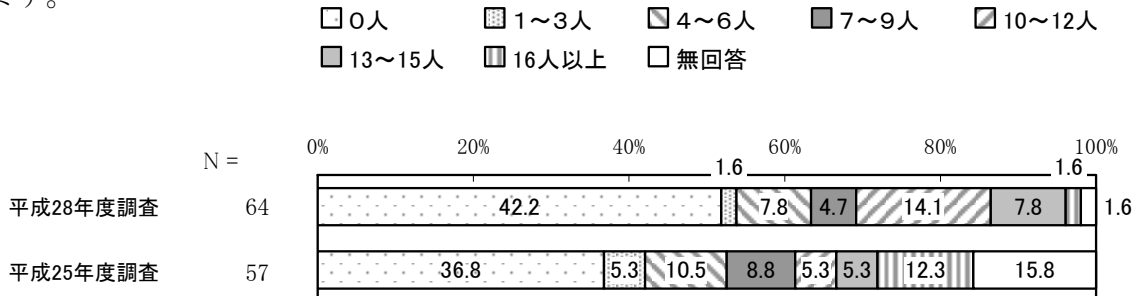


問2 あなたの団体の組織体制についておたずねします。

(1) 下の一覧表の該当する欄に、数字（いない場合には「0（ゼロ）」と記入。④については、どちらかに○をつけてください。）をご記入ください。

① 理事

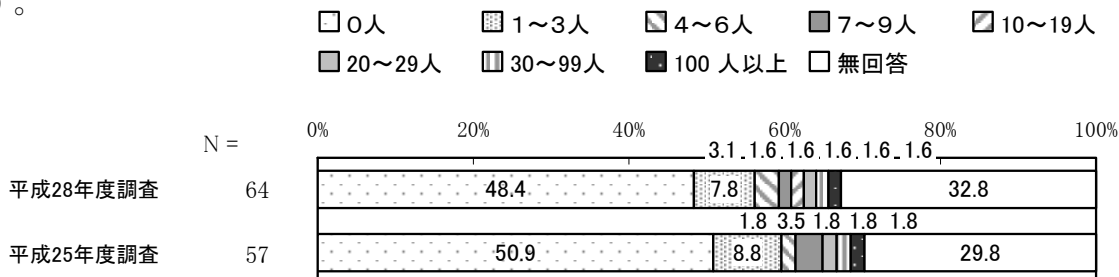
「0人」の割合が42.2%と最も高く、次いで「10～12人」の割合が14.1%となっています。



② 運営メンバー

【常勤（フルタイム）】

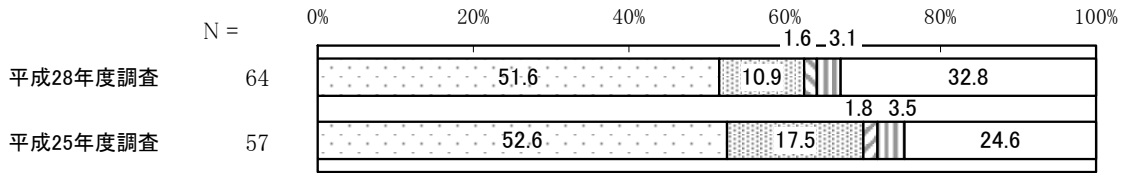
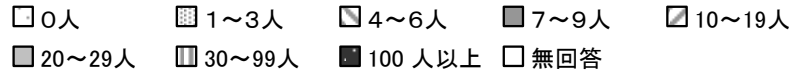
「0人」の割合が48.4%と最も高く、次いで「1～3人」の割合が7.8%となっています。



VI 市内団体アンケート調査

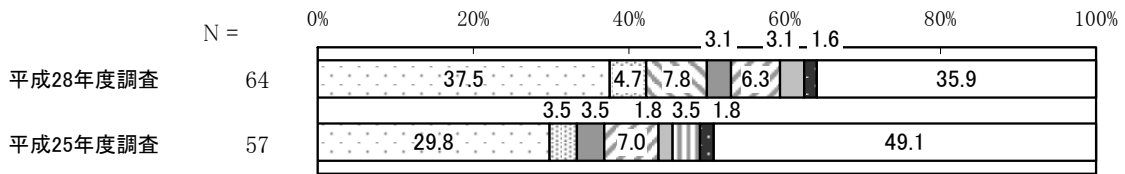
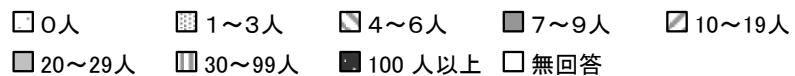
【非常勤（パートタイム・アルバイト）】

「0人」の割合が51.6%と最も高く、次いで「1～3人」の割合が10.9%となっています。



【その他】

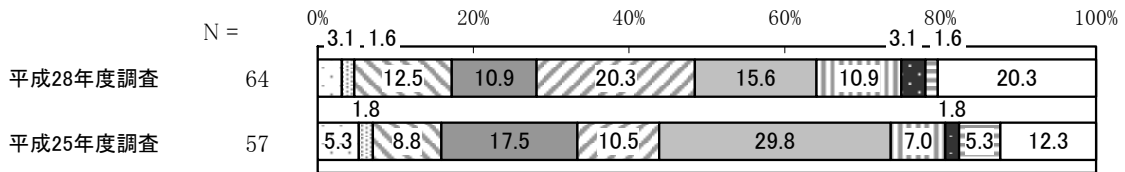
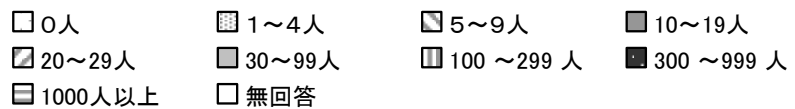
「0人」の割合が37.5%と最も高く、次いで「4～6人」の割合が7.8%となっています。



③ 会員・社員構成

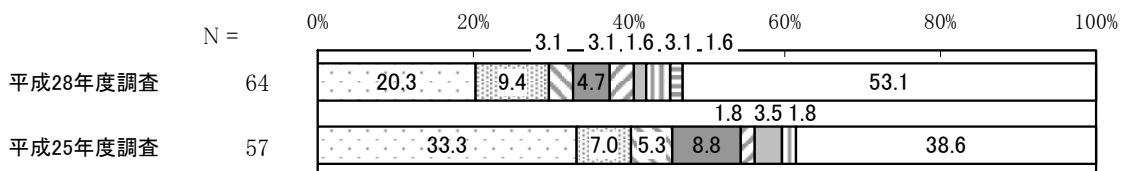
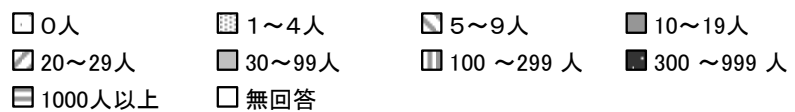
【正会員（数）】

「20～29人」の割合が20.3%と最も高く、次いで「30～99人」の割合が15.6%、「5～9人」の割合が12.5%となっています。



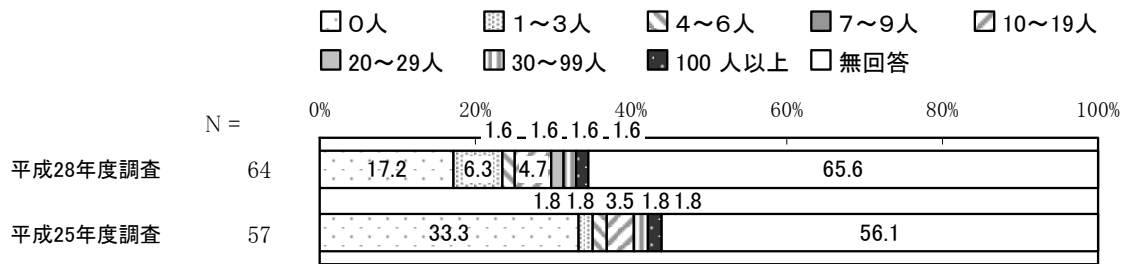
【支援者・賛助会員（数）】

「0人」の割合が20.3%と最も高く、次いで「1～4人」の割合が9.4%となっています。



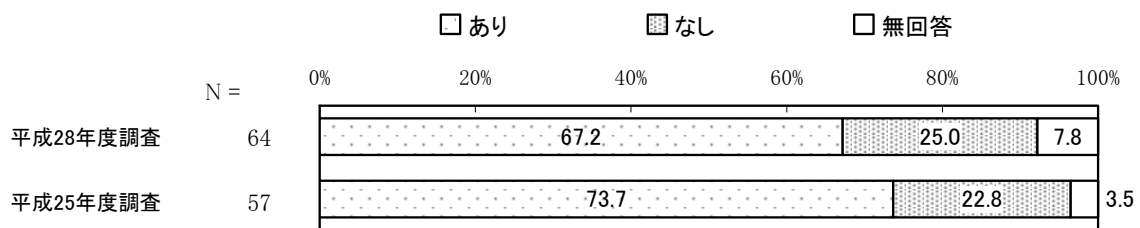
【その他（数）】

「0人」の割合が17.2%と最も高く、次いで「1～3人」の6.3%となっています。



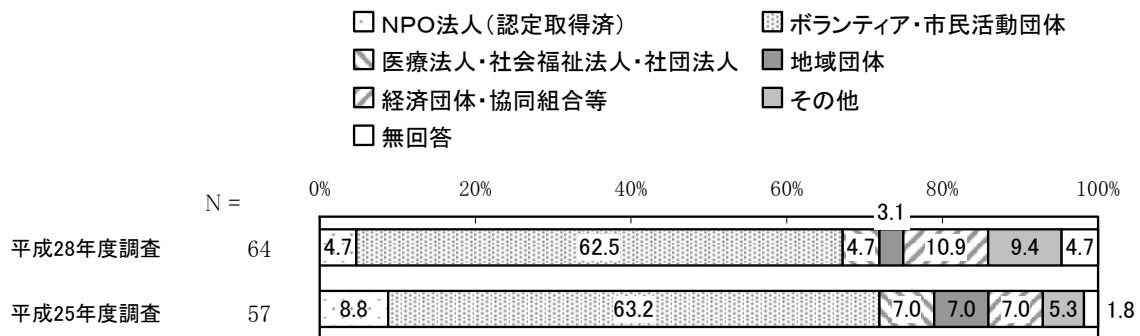
④ 規則・会則・定款

「あり」の割合が67.2%、「なし」の割合が25.0%となっています。



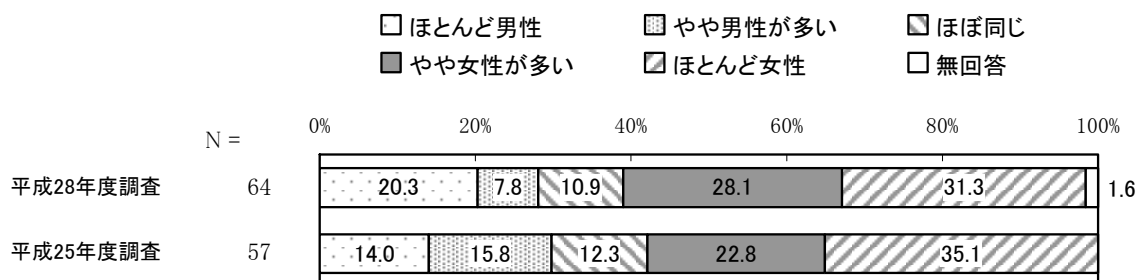
(2) あなたの団体は次のどの分類にあたりますか。

「ボランティア・市民活動団体」の割合が62.5%と最も高く、次いで「経済団体・協同組合等」の割合が10.9%となっています。



(3) 活動する人・正会員の男女比はどれくらいですか。(○はひとつ)

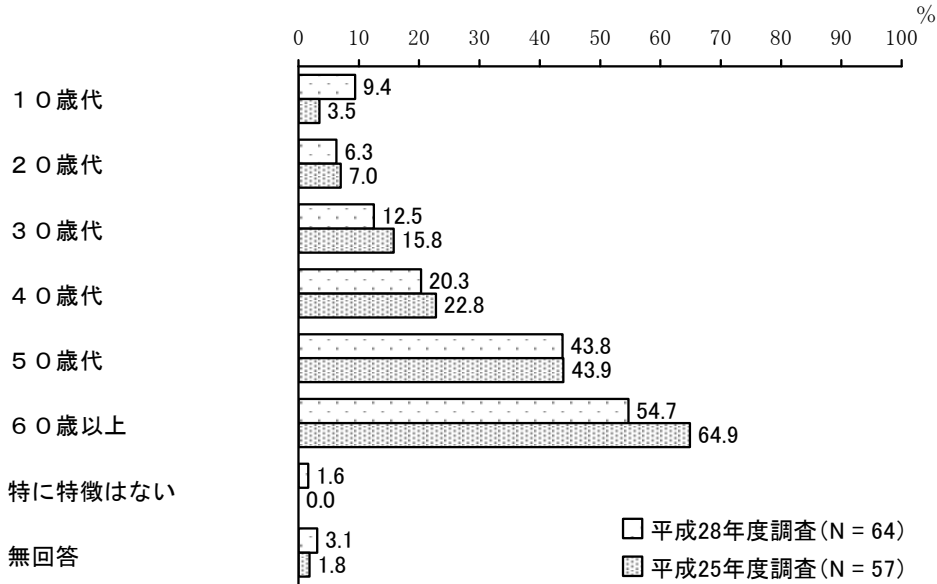
「ほとんど女性」の割合が31.3%と最も高く、次いで「やや女性が多い」の割合が28.1%、「ほとんど男性」の割合が20.3%となっています。



(4) 活動する人・正会員の年齢では、どの年代が多いですか。(〇はふたつ)

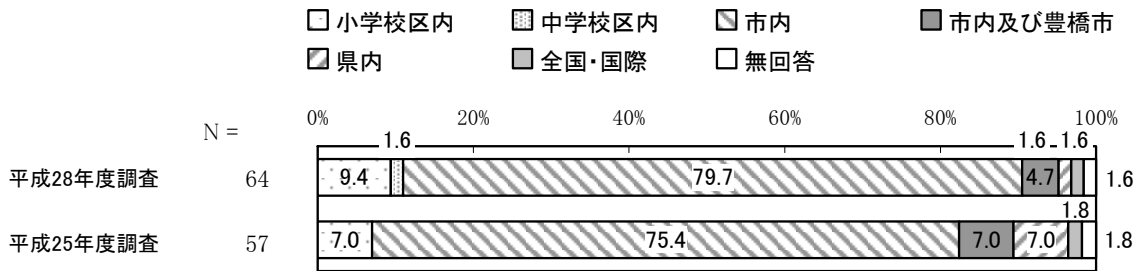
「60歳以上」の割合が54.7%と最も高く、次いで「50歳代」の割合が43.8%、「40歳代」の割合が20.3%となっています。

「10歳代」「20歳代」といった若年層の割合は1割以下となっていますが、平成25年度調査と比べると、5.2ポイント増加しています。



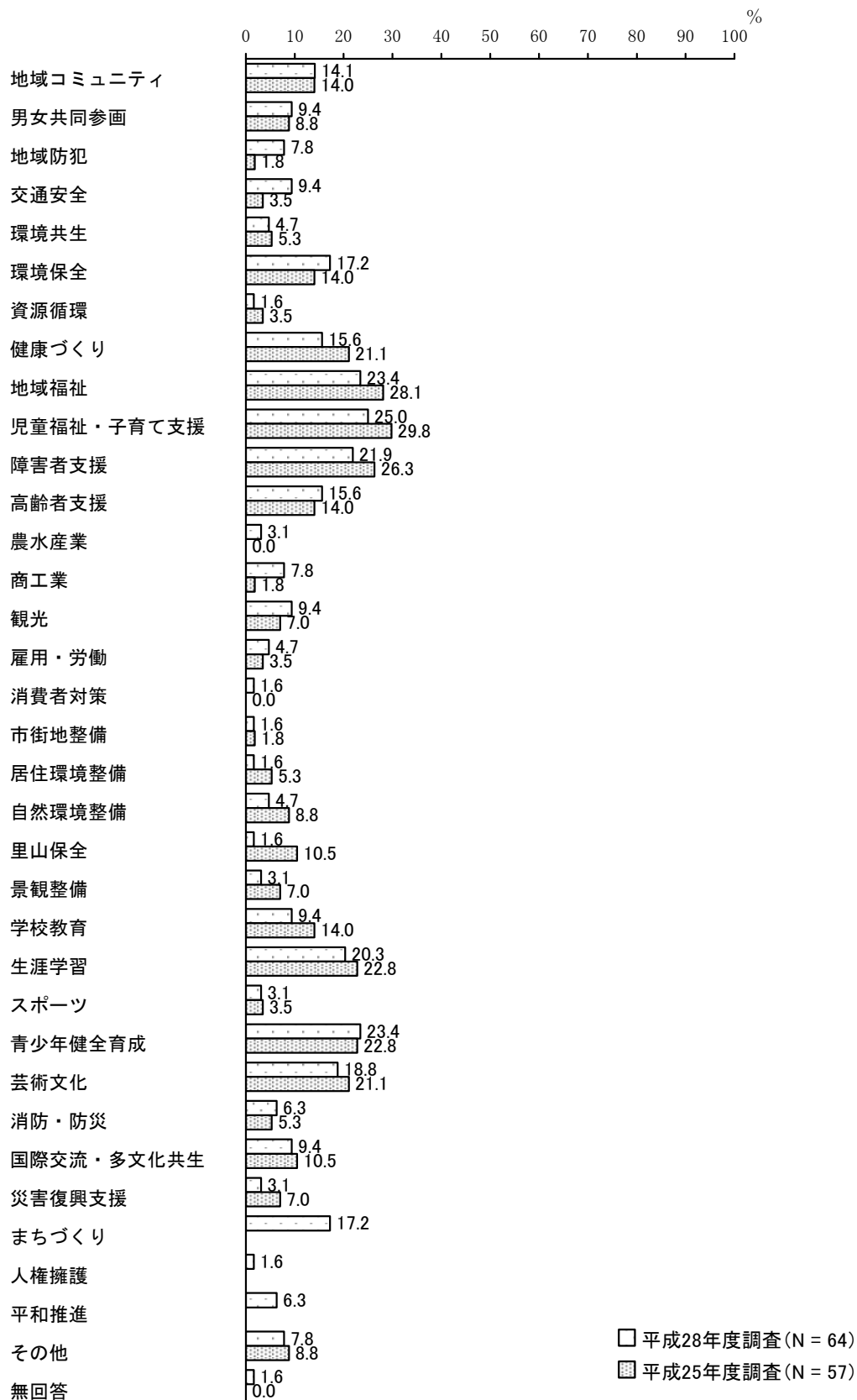
問3 活動の地域は、主にどこですか。(〇はひとつ)

「市内」の割合が79.7%と最も高く、次いで「小学校区内」が9.4%となっています。



問4 主な活動目的をお聞かせ下さい。(〇はいくつでも)

「児童福祉・子育て支援」の割合が25.0%と最も高く、次いで「地域福祉」、「青少年健全育成」の割合が23.4%となっています。

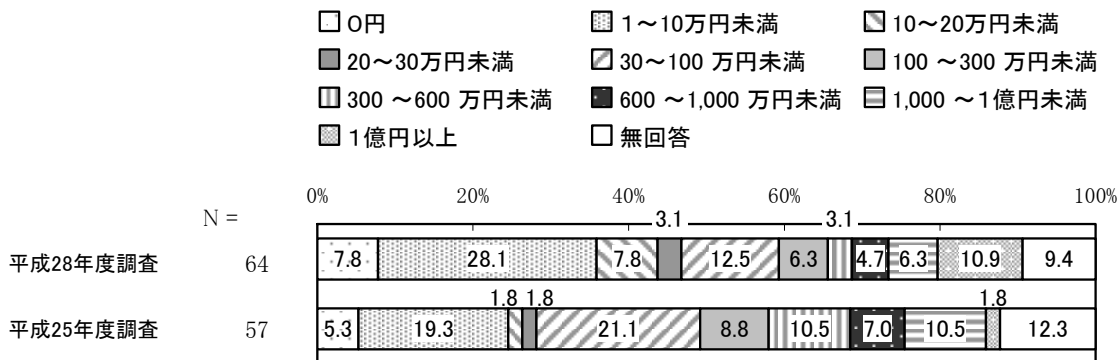


※「まちづくり」「人権擁護」「平和推進」は新規の選択肢

問5 あなたの団体の財政についておたずねします。

(1) 年間活動費

「1～10万円未満」の割合が28.1%と最も高く、次いで「30～100万円未満」の割合が12.5%、「1億円以上」の割合が10.9%となっています。



(2) 収入

■医療法人・社会福祉法人、経済団体・協同組合等

会費（個人の負担金）収入の割合が50%以上の団体が2割となっています。また、企業等民間からの業務委託費が「0%」の団体の割合が2割となっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	0%	1～10%未満	10～30%未満	30～50%未満	50～70%未満	70～90%未満	90～100%未満	100%	無回答
会費(個人の負担金)収入	10	10.0	10.0	40.0	10.0	10.0	-	10.0	-	10.0
事業収入	10	-	-	20.0	20.0	-	-	10.0	-	50.0
行政からの業務委託費	10	20.0	-	-	10.0	-	-	-	-	70.0
企業等民間からの業務委託費	10	20.0	10.0	-	-	-	-	-	-	70.0
行政からの補助金	10	10.0	10.0	10.0	20.0	20.0	-	-	-	30.0
民間からの助成金、個人・法人の寄付金	10	20.0	10.0	10.0	-	-	-	-	-	60.0
その他	10	-	30.0	30.0	10.0	10.0	-	-	-	20.0

■NPO・ボランティア・地域団体等

会費（個人の負担金）収入の割合が50%以上の団体が3割を超えています。また、企業等民間からの業務委託費が「0%」の団体の割合が約1割となっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	0 %	1 ～ 10 %未 満	10 ～ 30 %未 満	30 ～ 50 %未 満	50 ～ 70 %未 満	70 ～ 90 %未 満	90 ～ 100 %未 満	100 %	無 回 答
会費(個人の負担金)収入	45	4.4	8.9	8.9	8.9	2.2	6.7	4.4	20.0	35.6
事業収入	45	4.4	4.4	8.9	6.7	4.4	2.2	2.2	-	66.7
行政からの業務委託費	45	11.1	-	6.7	2.2	4.4	-	-	-	75.6
企業等民間からの業務委託費	45	13.3	-	2.2	-	-	-	-	4.4	80.0
行政からの補助金	45	11.1	-	6.7	8.9	2.2	2.2	-	4.4	64.4
民間からの助成金、個人・法人の寄付金	45	4.4	6.7	6.7	4.4	2.2	4.4	-	2.2	68.9
その他	45	6.7	6.7	6.7	-	2.2	4.4	-	6.7	66.7

■その他

会費（個人の負担金）収入の割合が100%の団体が6割を超えています。また、企業等民間からの業務委託費が「0%」の団体の割合が約3割となっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	0 %	1 ～ 10 %未 満	10 ～ 30 %未 満	30 ～ 50 %未 満	50 ～ 70 %未 満	70 ～ 90 %未 満	90 ～ 100 %未 満	100 %	無 回 答
会費(個人の負担金)収入	6	-	-	-	-	-	-	-	66.7	33.3
事業収入	6	33.3	-	-	-	-	-	-	-	66.7
行政からの業務委託費	6	33.3	-	-	-	-	-	-	16.7	50.0
企業等民間からの業務委託費	6	33.3	-	-	-	-	-	-	-	66.7
行政からの補助金	6	33.3	-	-	-	-	-	-	-	66.7
民間からの助成金、個人・法人の寄付金	6	33.3	-	-	-	-	-	-	-	66.7
その他	6	33.3	-	-	-	-	-	-	-	66.7

(3) 支出

■医療法人・社会福祉法人、経済団体・協同組合等

人件費の割合が50%以上の団体が4割となっています。また、活動・事業経費が「10～30%未満」の団体の割合が4割となっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	0 %	1 ～ 10 % 未 満	10 ～ 30 % 未 満	30 ～ 50 % 未 満	50 ～ 70 % 未 満	70 ～ 90 % 未 満	90 ～ 100 % 未 満	100 %	無 回 答
人件費	10	10.0	10.0	10.0	10.0	40.0	-	-	-	20.0
事務管理費	10	10.0	20.0	60.0	-	-	-	-	-	10.0
活動・事業経費	10	-	-	40.0	10.0	30.0	10.0	-	-	10.0
その他	10	10.0	50.0	10.0	-	-	10.0	-	-	20.0

■NPO・ボランティア・地域団体等

人件費の割合が「0%」の団体が約1割となっています。また、活動・事業経費が「100%」の団体の割合が約4割となっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	0 %	1 ～ 10 % 未 満	10 ～ 30 % 未 満	30 ～ 50 % 未 満	50 ～ 70 % 未 満	70 ～ 90 % 未 満	90 ～ 100 % 未 満	100 %	無 回 答
人件費	45	11.1	2.2	6.7	2.2	2.2	-	-	-	75.6
事務管理費	45	2.2	13.3	17.8	4.4	-	-	-	-	62.2
活動・事業経費	45	-	-	4.4	2.2	2.2	11.1	20.0	42.2	17.8
その他	45	11.1	11.1	2.2	-	-	2.2	-	-	73.3

■その他

人件費の割合が「0%」の団体が約3割となっています。また、活動・事業経費が「100%」の団体の割合が約6割となっています。

単位：%

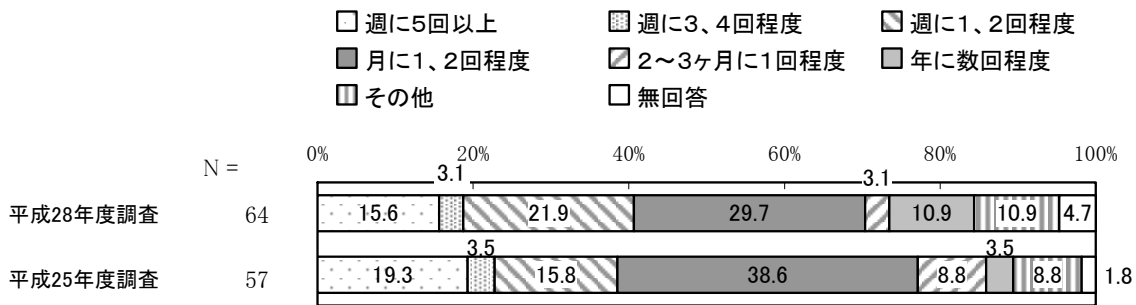
区分	有効回答数 (件)	0 %	1 ～ 10 % 未 満	10 ～ 30 % 未 満	30 ～ 50 % 未 満	50 ～ 70 % 未 満	70 ～ 90 % 未 満	90 ～ 100 % 未 満	100 %	無 回 答
人件費	6	33.3	-	-	-	-	16.7	-	-	50.0
事務管理費	6	33.3	-	-	-	-	-	-	-	66.7
活動・事業経費	6	-	-	16.7	-	-	-	-	66.7	16.7
その他	6	33.3	-	-	-	-	-	-	-	66.7

2 団体の活動について

問6 あなたの団体は、どれくらいの頻度で活動していますか。(〇はひとつ)

「月に1、2回程度」の割合が29.7%と最も高く、次いで「週に1、2回程度」の割合が21.9%、「週に5回以上」の割合が15.6%となっています。

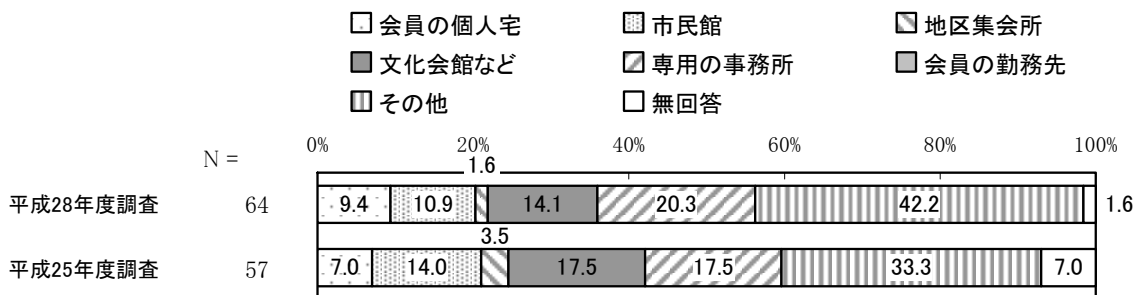
また、平成25年度調査と比べると、「週に5回以上」「週に3、4回程度」「週に1、2回程度」「月に1、2回程度」をあわせた“月に1回以上活動する団体”の割合が6.9ポイント減少しています。



問7 事務所、会場場所、活動拠点として主にどこを利用していますか。(〇はひとつ)

「専用の事務所」の割合が20.3%と最も高く、次いで「文化会館など」の割合が14.1%、「市民館」の割合が10.9%となっています。

また、平成25年度調査と比べると、「市民館」「地区集会所」「文化会館など」の公共施設の割合が8.4ポイント減少している一方、「会員の個人宅」「専用の事務所」の割合が増加しています。



問8 あなたの団体が行っている事業（活動）についてお聞きします。代表的な事業（活動）について具体例を2～3程度あげて、事業名、事業内容及び事業費についてご記入ください。

No	区分	内容
1	事業名	高齢者支援
	事業内容	施設のそうじ 高齢者とのふれあい
2	事業名	田原風まつり
	事業内容	田原風初風揚げ 田原風けんか風合戦
3	事業名	税務対策事業
	事業内容	決算確定申告事務指導…(申告書受付790枚)、年末調整事務指導、給与等源泉徴収事務指導、青色申告会、法人会事務委託、税務講習会開催等々
4	事業名	自然観察清掃登山事業
	事業内容	1、中高龄安全登山講習会の受講 2、ほの国自然ソムリエ学校、ソムリエツアーの受講、参加 3、あつみトレイル横断ハイキングの主催
5	事業名	歯科健康教育(むしバスターズ)
	事業内容	各学校に3名の歯科衛生士で訪問し、歯科健康教育およびブラッシング指導を行う。
6	事業名	薬物乱用防止教室
	事業内容	各学校へ出向き資格を習得したメンバーが講師をつとめ教室を開催する
7	事業名	田原市介護予防事業(閉じこもり予防教室)
	事業内容	毎回1回介護事業所主催、毎回1回ボランティア、毎月2回高齢者の閉じこもり予防教室として、小物作り、バス外出、料理、唄等で楽しむ企画をたて実施。
8	事業名	渥美歌謡クラブ
	事業内容	カラオケによる歌指導
9	事業名	若見洞川クリーン隊
	事業内容	河川の清掃 河川土手草刈り
10	事業名	料理教室
	事業内容	季節の具材を使った健康的な料理の工夫
11	事業名	ベトナム口唇口蓋裂医療支援活動
	事業内容	活動支援金寄附
12	事業名	クroppラバーズ(アルバム作り)
	事業内容	子育てに関する情報交換、相談 アルバム作り、ママの息抜き
13	事業名	ログドラムを使ったリズムあそび
	事業内容	ログドラムの演奏、リズムあそび
14	事業名	中日写真協会田原支部
	事業内容	毎月1回各自が撮影した作品を持ち寄って勉強会を開催。持ち寄った作品の中から各自作品を選び、順位を決め新聞等に発表し、技術向上を図る。
15	事業名	箏曲渥美リラの会
	事業内容	文化祭(春・秋)に演奏 福寿園、老人施設にて年数回。ビューホテルの新春に めめだ川さくら祭りにて演奏
16	事業名	みどりの会
	事業内容	傾聴
17	事業名	南部グランド・ペアレンツ
	事業内容	南部小学校児童の主に登下校時の見守り活動、三世代交流
18	事業名	おもちゃ図書館
	事業内容	おもちゃの貸し出し 遊び場の提供 情報の提供

VI 市内団体アンケート調査

No	区分	内容
19	事業名	映画上映
	事業内容	映画は主にドキュメント構成でメディアが取り上げないものを主に企画して、一般市民に広くアピールして観て頂きます。
20	事業名	子供実験教室
	事業内容	子ども達の参加できる実験を行います
21	事業名	介護施設へのカット訪問
	事業内容	各施設へ出向き入所者にカットをする
22	事業名	ホールコンサート
	事業内容	クラシックコンサートの開催
23	事業名	幹線道路ワークショップ
	事業内容	田原臨海部に係わる道路環境の向上を図るため意見交換会や行政への提案活動を実施
24	事業名	健康相談
	事業内容	田原市健康まつりにおける健康相談への医師派遣
25	事業名	田原市中央図書館お誕生日会
	事業内容	田原町図書館(現田原市中央図書館)のオープンを祝って、「田原町図書館オープニングフェスティバル実行委員会」が始めた事業。現在は「田原市図書館お誕生日会」として、毎年会館記念日の8月2日近辺の週末に継続開催している。記念のセレモニー、図書館ボランティアの活動報告、アトリウム・コンサートなどを行っている。
26	事業名	田原マジックサークル
	事業内容	マジックの指導、訓練 マジック公演
27	事業名	福祉のつどい
	事業内容	昔なつかしい木のおもちゃを竹ドームの中へ並べて、子供たちと楽しくあそびます
28	事業名	にほんご教室
	事業内容	市内在住の外国人に日常会話から日本語検定受験対策まで必要な日本語を教える。田原教室：毎週2回 渥美教室：毎週1回
29	事業名	余暇支援活動
	事業内容	和太鼓 ものづくり 季節の行事
30	事業名	みんなの消費生活展
	事業内容	全国の統一テーマに添った資料・展示 食・防に関係した展示 不用品交換会 ごきぶり団子の配布 リフォーム教室 他団体共催
31	事業名	西の浜クリーンアップ活動
	事業内容	西の浜の海岸清掃…毎月一回実施 時に要請に応じて特別活動を行う
32	事業名	災害出動
	事業内容	火災、捜索、特別警戒、風水害、その他
33	事業名	第76回あつみロビーコンサート 7月24日
	事業内容	名曲コンサート 3人の音楽家による響きの共演 EAST MEETS WEST with AI 杉浦充(箏)、井川愛(ヴァイオリン)、鈴木直己(ピアノ、パーカッション) 春の海他
34	事業名	キャンプ
	事業内容	野外活動 野外料理 ハイキング等

No	区分	内容
35	事業名	おはなし会
	事業内容	毎月第2、4土曜日おはなしコーナーでの絵本等読み聞かせ 図書館まつり(11月上旬)読み聞かせ等
36	事業名	田原市中央図書館サニー・スポット
	事業内容	録音図書蔵書作製
37	事業名	キャンプ
	事業内容	リーダー研修をかねたキャンプ(各町内会でキャンプを行う場合、そのリーダーとなりえるように研修を行う)
38	事業名	高齢者・障害者等の生活介助その他の福祉サービス
	事業内容	高齢者・障害者等の日常生活全般に係る生活支援や、病院・介護老人保健施設に入院・入所されている方を対象にした洗濯及び買物。
39	事業名	通学路見守り
	事業内容	通学路登下校時の見守り
40	事業名	日本語教室
	事業内容	日本語の読み書き、会話 日本語検定対策
41	事業名	春の文協まつり
	事業内容	展示 芸能 茶会
42	事業名	歩く会
	事業内容	それぞれの地区に歩こう会を設けて皆さんに呼びかけ、決められたコースで約1時間20名位散策する
43	事業名	養盲老人のクラブ活動の指導
	事業内容	器楽ボラ2人入所者20人 大正琴ボラ1人入所者9人 詩吟ボラ1人入所者20人 点字ボラ1人入所者8人 カラオケボラ1人入所者18人
44	事業名	点訳本の作成
	事業内容	・小説 ・社協だより ・その他の依頼)点字本の作成
45	事業名	緊急時の炊き出し
	事業内容	・田原市防災訓練にてアルファ化米の炊き出し訓練 年間2回炊き出し訓練
46	事業名	更生保護活動
	事業内容	「更生保護施設智光寮」(豊橋)に於て入所者の食事作りや支援投資を届ける事により、一日も早い社会復帰を応援
47	事業名	東三河ボランティア集会
	事業内容	東三河(豊橋、豊川、蒲郡、新城、田原、設楽(設楽、東栄、豊根)の5市3町の年1回の交流会 ・活動発表、講演会、展示、体験、教室など多彩な催しが開催される(1月～2月が多い)
48	事業名	おはなしの部屋
	事業内容	おはなし会(幼児・小学生向け)絵本の読み聞かせ、手遊び ペープサート・パネルシアター、人形劇 等
49	事業名	人権講演会
	事業内容	主として障害者の人権についての講演会を年に1回実施
50	事業名	居宅介護支援事業
	事業内容	介護保険制度における介護サービスを利用するためのサービス計画を作成し、要介護者やその家族を支援する。

VI 市内団体アンケート調査

No	区分	内容
51	事業名	防災ボランティアコーディネーター養成講座講師
	事業内容	田原市主催防災ボランティアコーディネーター養成の勉強会の講師
52	事業名	経営改善普及事業
	事業内容	地区内小規模事業者を対象に巡回、窓口で金融、税務、経理、労務、経営全般の相談指導を行う。
53	事業名	清掃活動
	事業内容	渥美半島内の野池(周辺)の清掃活動
54	事業名	手話サークルでんでん虫の運営
	事業内容	・手話技能の向上をめざした内容・会員相互の親睦をめざした活動
55	事業名	「多言語であそぼう」 日常の活動
	事業内容	「多言語の自然習得活動」人間にとってことばを話すということはどういうことなのか？多言語を通し、大人も子どもと一緒に誰もがことばを育てあえる環境づくりの実践。赤ちゃんや子どもが自然に話す様子、プロセスに学び、一言でも声にだし、ことばを話す楽しさを体感し、世界のいろんな人達との交流を楽しむ。
56	事業名	手話サークル
	事業内容	聴覚障害のある方との手話を使っての交流 色んなテーマで講演を開いたり、小物を作ったり、料理教室を開いたりする事も。材料費等は基本的に会員負担になります
57	事業名	環境整備事業
	事業内容	毎年2回程度プランターの花の苗を植え替える 市の菜の花まつりに合せ菜の花プランター(400個)を通りの両側に設置する
58	事業名	菜の花桜まつり 各種奉仕
	事業内容	免々田川添の桜育成、管理
59	事業名	まちづくりラベンダープロジェクト
	事業内容	ラベンターの栽培 オイルの抽出 地域への配布 など
60	事業名	各地域の凧づくり教室 小中学校凧づくり教室
	事業内容	伝統の文化を保存するため各地で凧づくり教室等
61	事業名	金融対策事業
	事業内容	地区内商工業者への金融斡旋 金融利子補給の実施 金融関係機関の事業への出席
62	事業名	登山道維持整備事業
	事業内容	1、大山左道登山道整備 2、あつみ大山トンネル北口駐車場の草刈り、ゴミ除去 3、見晴し歴史、鮎川源流コースの倒木除去と枝刈り払い 4、原生林コースの倒木除去と枝刈り払い
63	事業名	献血活動
	事業内容	献眼献腎献血骨髄移植推進
64	事業名	各介護施設、障害者施設、病院手伝い応援
	事業内容	各施設より要請のある事柄において手伝い
65	事業名	コンサート等に協力する
	事業内容	コンサート中間の休憩時又は終りのコーヒータイトで振舞う、蒸しパン作りをレシピの会が受け持つ。
66	事業名	ボランティア「くぬぎの会」の活動支援
	事業内容	活動備品寄附

No	区分	内容
67	事業名	志多らワークショップ
	事業内容	プロの演奏家を講師に迎えログドラムをたたく 和太鼓の演奏をきく。
68	事業名	いきいきサロン、よってきん会
	事業内容	脳トレ レクリエーション
69	事業名	生活と政治を考える会
	事業内容	政治は国政から市政まで市民生活に深く関わっていますが「政治」を語る場を作り、社会の動きを考える。
70	事業名	高齢者への交通安全指導
	事業内容	田原署より広報された内容を作る
71	事業名	童謡唱歌を歌う会
	事業内容	参加者で日本の歌、童謡、唱歌を一緒に歌う
72	事業名	企業防災活動
	事業内容	田原臨海地域に立地する各事業所の防災力の向上を図るため、防災訓練、防災資機材の備蓄等推進する
73	事業名	トライアスロン伊良湖大会医務班
	事業内容	トライアスロン伊良湖大会医務班への医師派遣
74	事業名	まちほんブクブク交換会
	事業内容	全国で広がっている読書会活動の1つ。読む本のジャンルをテーマによって決め、自分の選んだ本(1~3冊)の内容を紹介しあう。(プレゼンテーション)その後、それらのおすすめ本を交換し、交流を楽しむ。
75	事業名	宇津江海岸ビーチクリーン
	事業内容	宇津江海岸に流れつく生活ゴミを楽しく拾いきれいにします。
76	事業名	JICA研修員受入れと歓迎パーティー
	事業内容	JICA(国際協力機構)の研修員が田原市に2泊3日の研修で訪れる際、ホームステイを斡旋する。また、研修員の歓迎パーティーを開催する。
77	事業名	啓発・ボランティア活動
	事業内容	和太鼓演奏
78	事業名	田原エコフェスタ
	事業内容	牛乳パックを使った小物づくり 毎年違うものを作り楽しんでもらう
79	事業名	体験的環境学習ー海の世界を学ぶ会
	事業内容	スナメリ観察会 磯遊びの会 スノーケリングの会 海水から塩づくりの会 タッチングプール 水族館見学会
80	事業名	各種訓練
	事業内容	操法訓練、防火水槽整備訓練、災害対応訓練、山林火災訓練等
81	事業名	第77回あつみロビーコンサート 8月21日
	事業内容	第一部美しい日本の歌とオペラの調べ 第2部クラリネットの調べ
82	事業名	ハイキング
	事業内容	ハイキング 野外ゲーム 自然観察等

VI 市内団体アンケート調査

No	区分	内容
83	事業名	朝の読書時間での読み聞かせ
	事業内容	始業前10～15分各クラス(学年、組)での絵本等読み聞かせ
84	事業名	ドッジビー大会
	事業内容	かつてドッジボールおよびキックベースを行っていた行事を3年前からドッジビーに変更して実施
85	事業名	高齢者等に対する移送サービス事業
	事業内容	移動困窮者や公共交通機関の利用が困難な高齢者等に対して、生活補助の範囲で、車両にての移動の支援。
86	事業名	文化教室
	事業内容	絵画 陶芸 工作
87	事業名	秋の文化祭
	事業内容	展示 芸能 茶会
88	事業名	福寿園の文化祭の参加協力
	事業内容	器楽ボラ2人入所者10人 大正吟ボラ1人入所者6人 詩吟ボラ1人入所者8人
89	事業名	福祉実践教室への講師派遣
	事業内容	点字教室開催(H27年度)・小学校—8枚・中学校—2枚、高校—2枚専門—1枚
90	事業名	災害救護活動
	事業内容	・日赤の行う講習会参加(災害救護に関する講習)・団員に指導員による「健康生活支援講習」「幼児安全法」の講習会を開催し団員のスキルをアップ。
91	事業名	犯罪防止活動
	事業内容	・豊川保健所と共に薬物乱用防止啓発活動・小中学校新一年生に「母の鈴」を届け、青少年の健全育成への働きかけ。「母の鈴」は会員全員の手作り。学校訪問の際届ける。・赤羽根学園のクリスマス会での交流会や、学園のソフトボール、卓球大会の応援。
92	事業名	ボランティア連絡協議会研修会
	事業内容	各ボランティア団体共通の事項について講師等を招き、勉強会を開催。グループワーク方式もある。
93	事業名	こりすの部屋
	事業内容	おはなし会(乳幼児向け)絵本の読み聞かせ、手遊び ふれあい遊び、エプロンシアター 等
94	事業名	人権啓発活動
	事業内容	人権について考えてもらうように絵本「じんけん」の読み聞かせを中心に話をさせて頂く。
95	事業名	訪問介護事業
	事業内容	介護を必要とする方にヘルパーを派遣し、身体介護、生活援助などのサービスを提供する。
96	事業名	防災ボランティアコーディネーターフォローアップ
	事業内容	田原市主催防災ボランティアコーディネーターフォローアップ講座にて、養成講座修了者のスキルアップの勉強会の講師。
97	事業名	人材育成事業
	事業内容	創業・第二創業セミナーと経営計画作成セミナーを渥美商工会と共同実施。
98	事業名	手話教室
	事業内容	あいさつなどの簡単な手話を指導する

No	区分	内容
99	事業名	親子で参加できるワークショップ「世界のことばで」
	事業内容	勉強ではなく自然にことばを育てあえる環境とはどういうものなのか？いろんな国のことばでゲームをしたり、ことばを聞こえたまま真似っこしたり、教わらない多言語の楽しさを体感し、英語だけにとらわれない多言語だからこそわかる面白さを見つけてほしい。親子でいろんな言葉に興味をもつてほしい。
100	事業名	福祉のつどいでブースを設ける
	事業内容	聴覚障害のある方の暮らしを知って頂いたり手話などを通じてコミュニケーションの体験をする
101	事業名	イベント事業
	事業内容	毎年7月の第2、第4土曜日に夜店を開催 毎週末にイルミネーションの点灯 鯉のぼり飾り、七夕飾り、クリスマス飾り等の実施 折込チラシ配布10枚
102	事業名	まちづくり つるし飾りロード
	事業内容	つるしかざりづくり 地域でのかざりつけ
103	事業名	全国凧まつり等参加
	事業内容	田原凧のPRのため全国各地へ参加 日本全国でも田原凧は人気がある
104	事業名	経営改善普及事業
	事業内容	会員事業先への巡回訪問及び窓口指導(各種事業相談、指導 等々)
105	事業名	自然保護復元広報事業
	事業内容	1、第12回市長緑化まつりに出展・参画 2、渥美半島生態系ネットワーク形成フォーラムに出展 3、蔵王山展望まつりに出展、参画 4、第28回福祉のつどいに出展、参画 5、愛知、岐阜、三重環境活動情報交流会に参画
106	事業名	清掃活動
	事業内容	権現の森、海岸等
107	事業名	社会福祉協議会の要請による手伝い参加
	事業内容	ふくしのつどいへの参加協力等
108	事業名	ジュニア合唱教室
	事業内容	合唱指導
109	事業名	よみっこin田原
	事業内容	子どもの本・絵本の選書について学ぶ学習会。現在のところ、テキストを決めて、順を追って読み進めてゆく形式ですすすめていっている。定着して来たら、時には読書アドバイザーを紹介して、会を充実させたい。
110	事業名	里海ビーチクリーン
	事業内容	海岸に流れつく生活ゴミを楽しく拾いきれいにします
111	事業名	多文化研修会
	事業内容	市民と在住外国人と一緒にバスに乗り日本の文化や景観を楽しむことができる地を訪れ研修する。
112	事業名	療育支援活動
	事業内容	個別面談
113	事業名	ごきぶり団子づくり
	事業内容	ごきぶり団子づくり 市民配布分と消費生活展に配布分

VI 市内団体アンケート調査

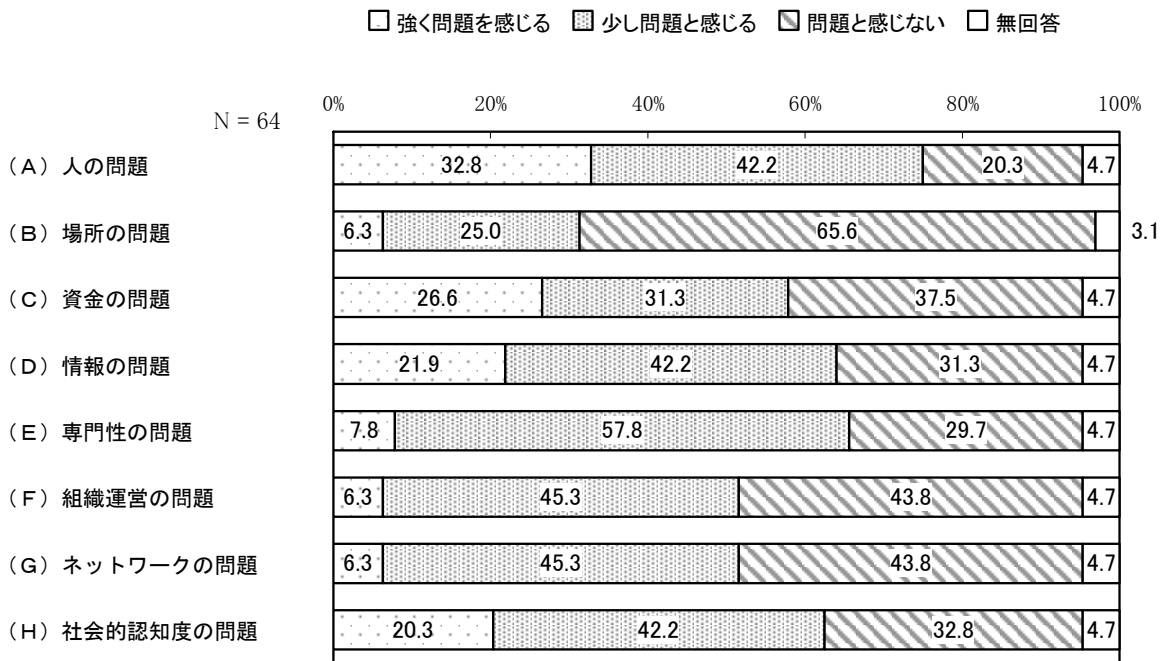
No	区分	内容
114	事業名	東北支援
	事業内容	東日本大震災で大きな被害を受けた南三陸町での支援活動
115	事業名	広報、指導等
	事業内容	防災指導、防災・津波避難訓練、自主防災一斉訓練、地区花火警戒、防犯・防火パトロール、年末夜警等
116	事業名	第80回あつみロビーコンサート 12月18日
	事業内容	太田剣”Organic Bop！！”JazzLive 太田剣(Alto Sax) 河合代介(Hammond Organ) 大槻”KALTA”英宣(Drums)
117	事業名	サイクリング
	事業内容	サイクリング 自転車整備 休憩時ゲーム 地図読み 等
118	事業名	おはなし会
	事業内容	市民館行事への協力 絵本、紙芝居等読み聞かせ
119	事業名	田原市子ども大会
	事業内容	市内全域の子ども会員が参加して友好を深める
120	事業名	交流会
	事業内容	料理 手芸 お出かけ(見学・研修){炭生館 AED講習 音楽会・ブリザーブドフラワー 給食センター}
121	事業名	田原市文化協会主催の文化祭に参加
	事業内容	器楽ボラ2人入所者10人 大正琴ボラ1人入所者6人
122	事業名	防災キャンプ、幼児安全法を地域に広める
	事業内容	・防災キャンプに参加し子供達に被難所などで「自分達ができる事」として健康生活支援講習を行い防災への取り組みに役立ててもらおうようにしている。ひまわりルームにおいて子育て中の母親に乳幼児の救急法「幼児安全法」を受講してもらい子供を危険から守り、安心安全に子育てができるようなお手伝いをさせて頂いている。
123	事業名	子育て支援活動
	事業内容	託児
124	事業名	ボランティア連絡協議会交流会
	事業内容	各団体お互いの活動を認識し合いネットワークを広げる交流会。お茶タイムを設け楽しくなごやかな風意気で楽しむ。
125	事業名	おやこリズム
	事業内容	おやこリズム、手遊び 絵本の読み聞かせ等
126	事業名	絵本「じんけん3(仮称)」の作成
	事業内容	絵本の作成(電子書籍も含めて準備)
127	事業名	華山の郷土ふれあいまつり
	事業内容	田原市民まつりに併せ開催、大売り出し、テント村へ出店、イベント、餅投げ等を行う。
128	事業名	講演会「7ヶ国語で話そう」
	事業内容	赤ちゃんや子どもがことばを見つけ話している様子から、人間にとって「話す」「話せる」とは、どういうことなのか。35年の研究と実践から、グローバルな時代の中で世界に通じるコミュニケーション力とはどういうものなのか、ことばを育てるには何が大切なのかを地域の皆さんと一緒に考える機会にしたい。

No	区分	内容
129	事業名	視察研修他情報提供事業
	事業内容	毎年先進地等の視察研修の実施 毎年食事会等での夫人研修の実施

問9 あなたの団体が活動を進めていく上で、問題を感じたり、困っていることがありますか。(それぞれ○はひとつ)

「強く問題を感じる」と「少し問題と感じる」をあわせた“問題と感じる”の割合が『(A) 人の問題』で最も高く 75.0%となっているほか、『(D) 情報の問題』『(E) 専門性の問題』『(H) 社会的認知度の問題』も 6 割を超えています。

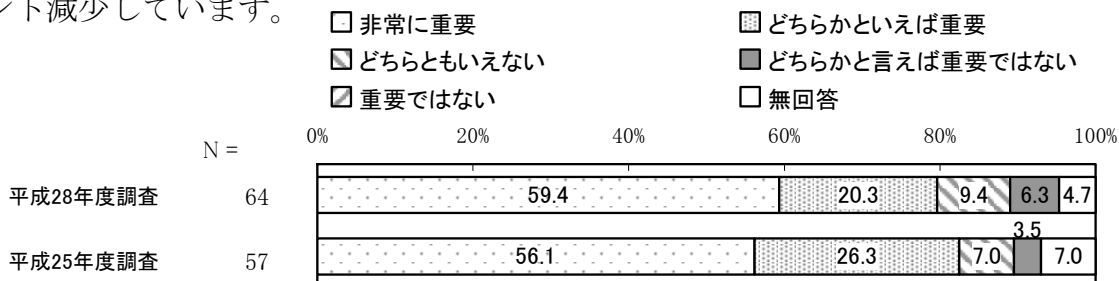
また、「問題と感じない」の割合が『(B) 場所の問題』の割合が最も高く 65.6%となっています。



3 市との連携・協力について

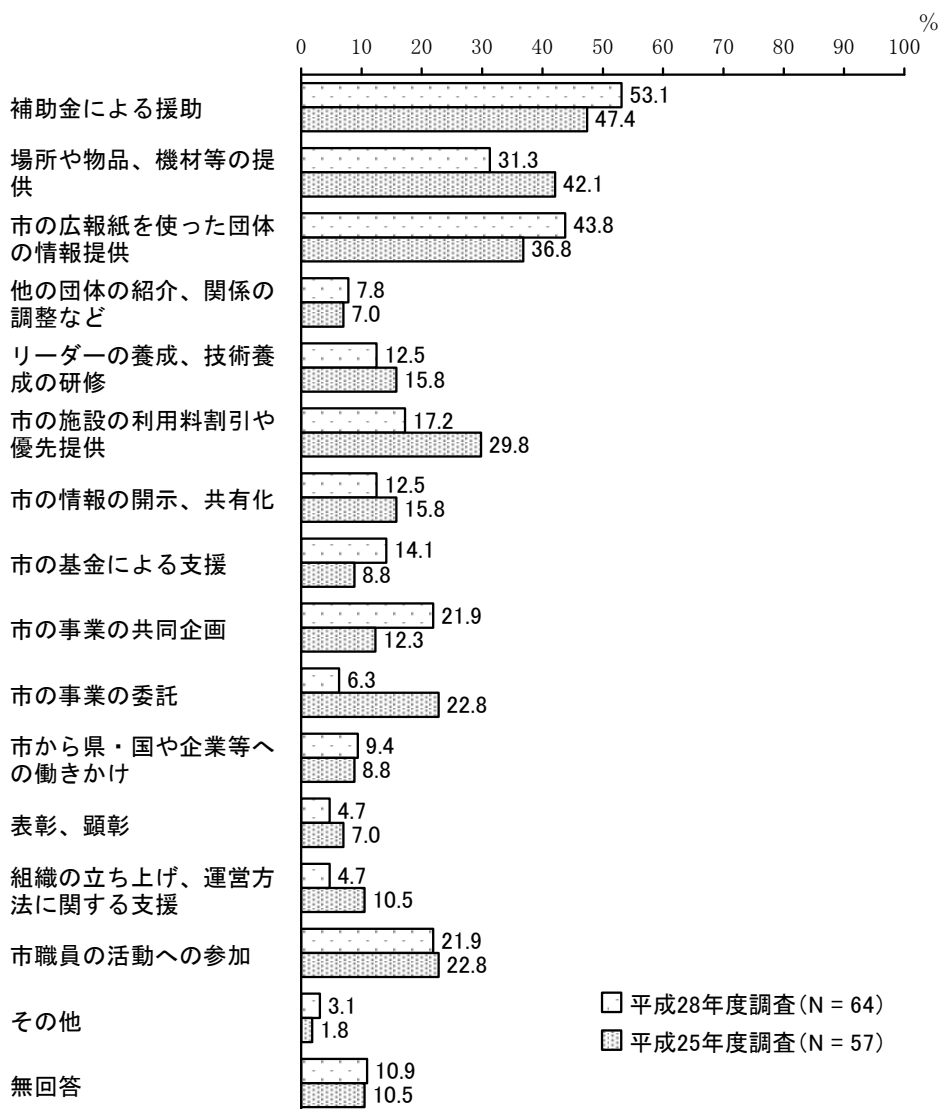
問 10 あなたの団体にとって市との連携・協力は重要ですか。(〇はひとつ)

「非常に重要」と「どちらかといえば重要」をあわせた“重要”の割合が79.7%、「どちらかと言えば重要ではない」と「重要ではない」をあわせた“重要でない”の割合が6.3%となっています。また、平成25年度調査と比べると、“重要”の割合が、2.7ポイント減少しています。



問 11 あなたの団体が活動するにあたって、どんなことを市に協力してほしいですか。(〇はいくつでも)

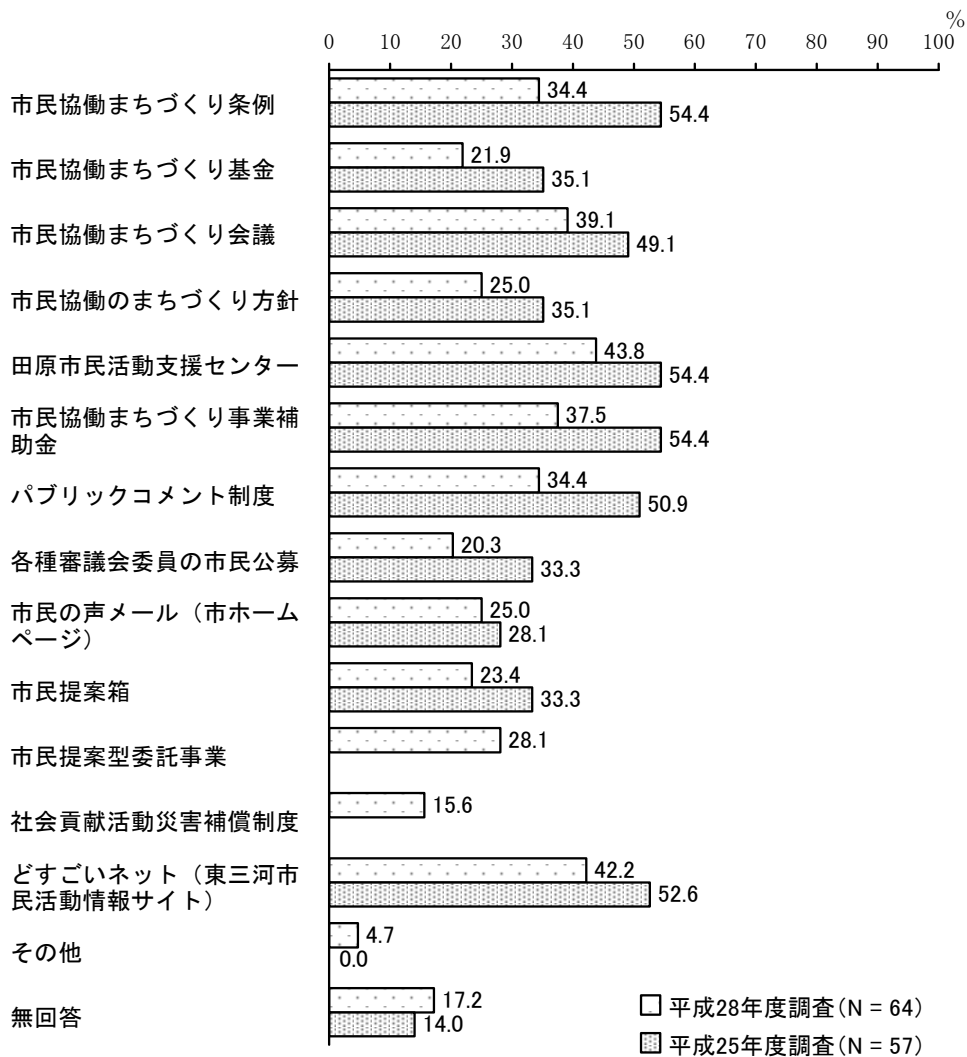
「補助金による援助」の割合が53.1%と最も高く、次いで「市の広報紙を使った団体の情報提供」の割合が43.8%となっています。



問12 市と市民活動団体の連携によるまちづくり施策として、知っているものをお答えください。(〇はいくつでも)

「田原市民活動支援センター」の割合が43.8%と最も高く、次いで「どすごいネット（東三河市民活動情報サイト）」の割合が42.2%、「市民協働まちづくり会議」の割合が39.1%となっています。

また、平成25年度調査と比べると、新規の選択肢を除き、すべての項目の割合が減少しています。

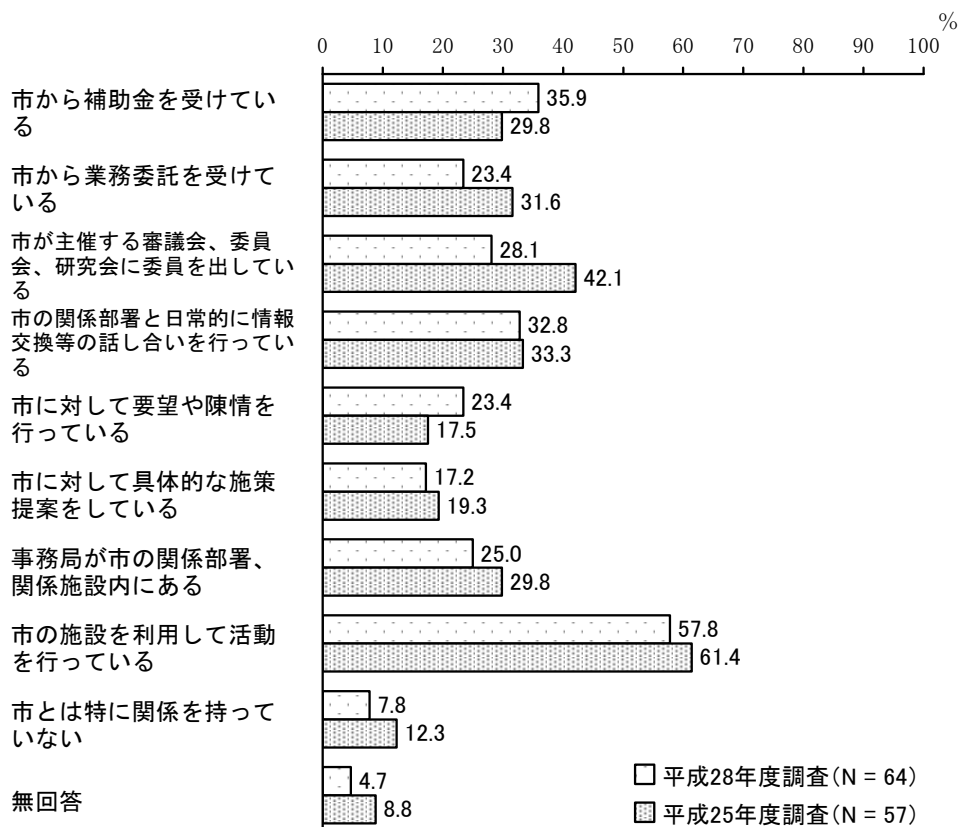


※「市民提案型委託事業」「社会貢献活動災害補償制度」は新規の選択肢

問13 現在、あなたの団体と市とはどのような関係にありますか。(〇はいくつでも)

「市の施設を利用して活動を行っている」の割合が57.8%と最も高く、次いで「市から補助金を受けている」の割合が35.9%、「市の関係部署と日常的に情報交換等の話し合いを行っている」の割合が32.8%となっています。

また、平成25年度調査と比べると、「市から補助金を受けている」「市に対して要望や陳情を行っている」の割合が5ポイント以上増加しています。

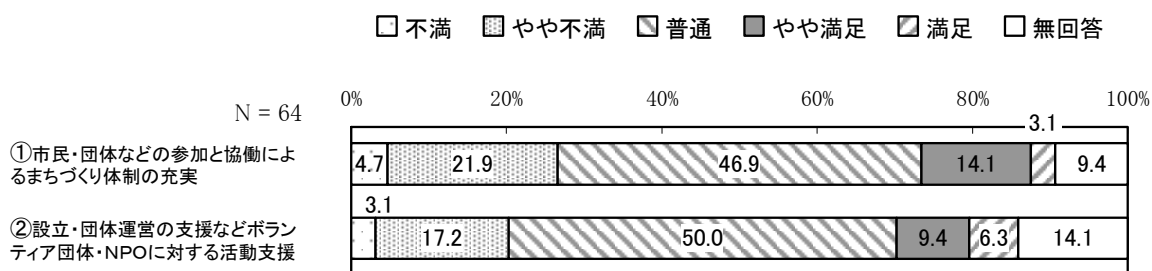


**問 14 市が行っている次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
(各問に対し「評価」「重要性」に○をひとつずつ)**

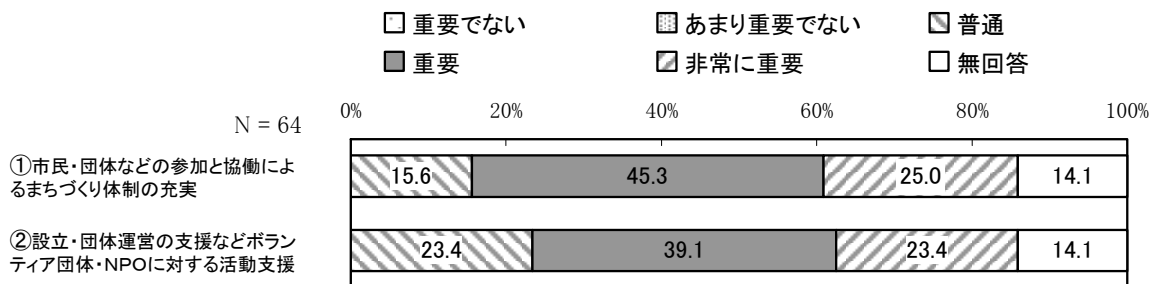
現在の評価については、②設立・団体運営の支援などボランティア団体・NPOに対する活動支援で「不満」と「やや不満」をあわせた“不満”の割合が低く、20.3%となっています。

今後の重要性については、①市民・団体などの参加と協働によるまちづくり体制の充実で「重要」と「非常に重要」をあわせた“重要”の割合が高く、70.3%となっています。

■現在の評価

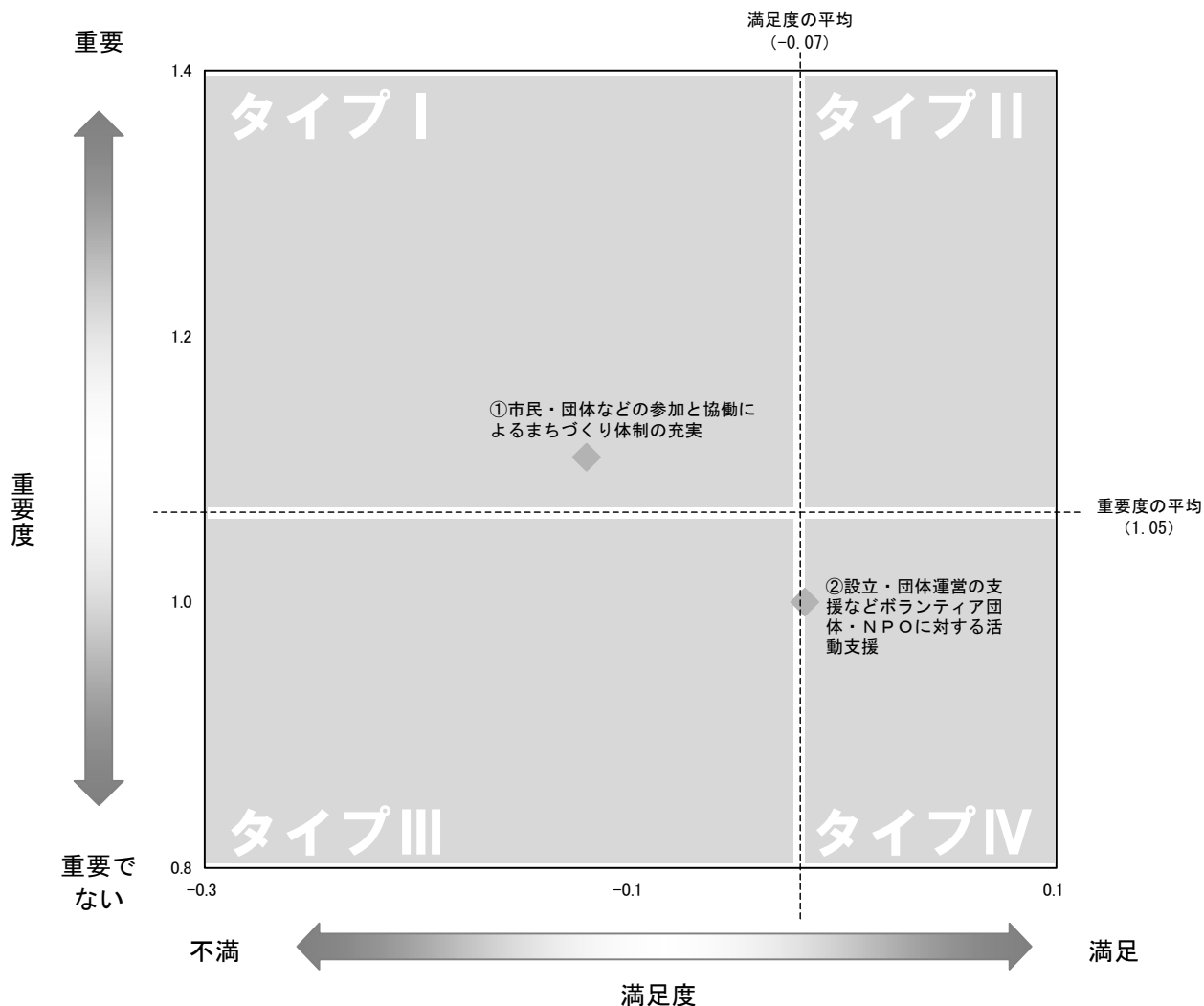


■今後の重要性



4 市の政策の満足度と重要度によるポートフォリオ分析

ポートフォリオによる市の政策の評価については、①市民・団体などの参加と協働によるまちづくり体制の充実が重要度が高いものの満足度が低くなっており、事業の強化など改善が求められます。



区分	満足度	重要度
①市民・団体などの参加と協働によるまちづくり体制の充実	-0.12	1.11
②設立・団体運営の支援などボランティア団体・NPOに対する活動支援	-0.02	1.00

○上図から分析判断できる最優先課題

①市民・団体などの参加と協働によるまちづくり体制の充実

問 15 あなたの団体・グループは、市と連携・協力してどのようなことをしたいですか。自由なご意見をお聞かせください。

- ・市の発展と人口増に協力（6件）
- ・図書館がより魅力的な場所となり、小さい子供を連れた若い親達を楽しみに足を向けるようになればと思う。（3件）
- ・広報などで市民協働などとありましたがどこへどうすれば良いのか分かりません。（2件）
- ・孤立しがちな子育て世代のママ同士、情報交換や相談をするためにも託児の協力、安心して出られる場所の提供などをお願いしたいです。（2件）
- ・イベントの後援が頂けたら助かります（2件）
- ・特になし（2件）
- ・地域に在住の外国人の日本語や生活支援、文化習慣に対する理解を目的とした事業開催を期待。（2件）
- ・防災について現在田原市において住宅耐震診断等を行っているが、避難路、通学路を中心とした塀や土留めブロックなどの点検をして専門家の診断を仰ぎたい。（2件）
- ・赤十字活動をもっと広めていきたい（2件）
- ・あつみトレイルの山登りコース案内標識の設置事業。（1件）
- ・今後も市と連携して情報を開示してもらい、田原市の子供達の歯の健康を守って行きたい。（1件）
- ・校区の農地水環境予算は沢山あるが本当に必要と思う所にはなぜか使われていません。（1件）
- ・失われつつある日本の古典芸能を若い世代に伝えていきたいと思います。（1件）
- ・見守り活動において横の連絡情報交換を市がコーディネートして頂きたい。（1件）
- ・正直なところ市の市民協働の姿勢がわかりません。（1件）
- ・田原福祉専門学校の生徒さん達の協力を得る事が出来ればボランティアで来ていただきたい。（1件）
- ・環境政策に関わって単なる自然保護ではなく、よりよく維持していくための活用～環境教育、体験活動を組み入れたプログラムの実施。（1件）
- ・少子高齢化の中で高齢者のリタイヤが目立ち幅広い文化を視野に入れ文協の充実の発展の為事業を広くPRしたい。（1件）
- ・「市民協働まちづくり」は市民に理解されていない。このようなアンケートを集計した結果の次の方策が明確に示されていない。（1件）
- ・フェンスや看板（立ち入り禁止等）がなく、水遊びや釣りが自由にできる池をいくつか開放して欲しいと思っています。（1件）
- ・耕作放棄地の解消。次世代の農業者育成。（1件）
- ・渥美半島の『自然遺産の本』の発行（1件）

5 自由意見

- ・ 伝統文化の継承を行う為市の支援や提言をぜひお願いします (1 件)
- ・ 市民活動や支援センターの運営体制が縮小されている。又、市民活動団体のイベントも同様である。ここで立て直しする為スマートとセンスあるスタイルに変更して下さい (1 件)
- ・ 今はまた「むしバスターズ」のことを知らない人が多い。全養護教諭に存在は知ってもらっているものの、どんな活動をしているのか知らない人が圧倒的に多いので、活動を通じて少しでも多くの人に周知していきたい (1 件)
- ・ 無償ボランティアという事に何も不服なく活動しています。又、その事が誇りとして活動しています。が、会員の年会費と今までの貯金、繰越金で運営していくには限界を感じ始めています。助成金が欲しい訳ではありませんが、市のバス等を会員研修等に貸し出して頂ければ助かるのと思う時があります。市の資産物品を柔軟に活用していける様に出来ればと思う時があります (2 件)
- ・ 平均年齢が 75 才前後の人達で活動していますのでこの先どうなるのか心配です。後に続いてくれる人たちがなかなかいなくて困っています (1 件)
- ・ 予算の使い方で小さな幸せや暮らし易さを実感できる事があります。特に例年通り地域自治会では全ての事を進めていて女性や弱者の声等入る余地なしです。女性活躍と言われていても地域自治会は時がストップしているような印象。男性にとっても良い環境ではない (1 件)
- ・ 道路整備、高速道路等へのアクセス改善 (1 件)
- ・ 私を含め、核家族が増えて来ている中で、出産後の子育て、地域との関わり方については悩みが無くなる事はありません。子供と 1 対 1 で過ごす日々不安を感じる事も多くあります。多くの子育て支援の場は子供が 1 歳になるまで。しかし、その後も交流の場や気軽に集まれる場を求める方は沢山います。個人の活動ではありますが、出来る事を出来る時にやりたい。手軽で誰でもいつでも協力いただける施設を提供いただけると助かります (2 件)
- ・ 市が多額の費用をかけて建設、設置されたものが適切に管理されずに放置されて朽ちて行ったりしている現状に強い憤りを感じています。例えば①中央公園汐川沿いにある健康増進の器具、想像以上に高価なものと思いますがほとんど PR もされず利用者も無く木製であるのに適切に修繕もされずに朽ちつつある。②文化ホール（渥美）には照明音響のための道具が正しく備えられているか。ほとんど使われた様子もなく時代遅れのものとなっている。その都度のレンタルではいけない？等々きりがありません。どうしてその後の管理まで考えずに作られるのか (1 件)
- ・ 田原の一部の農地に産廃由来の肥料が大量に投入されていますが条例など法的規制は難しいと言われますが実態が市場に伝われば田原市の農業に深刻な影響が考えられます。産廃堆肥を使わない方法はありますか (1 件)

VI 市内団体アンケート調査

- おおきなかぶ・ボランティアの参加者から、いろいろな意見・提案をもらう。これらは田原市図書館の14年間→かぶ設立4年間で得てきた人間関係の賜物である。また一方ではそれらの情報網をつなぐ、人的資源と運営の為の予算が必要である。現在は図書館ボランティアをオープンから支えてきたNPO法人たはら広場の財源をあてにしているが、毎年の決算は赤字の危機に貧している。限界が近い
（1件）
- 特にありません
- 市民の外国人に対する考え方や意識を改善し、多文化共生を推進できるよう活動している。国体の認知度を上げにより多くの市民の理解、協力を得る事ができ、市民がその利益やメリットを受け取る事が出来るよう行政や他団体と協働をすることができればと考えています（1件）
- 活動費の主が自己負担がほとんどで、会費の中でもお金がかかり会員が増えない事の1つである。活動費の補助金を頂けたら有難いです（1件）
- 会員の高齢化に伴い生活学校の存続をどの様にしていくのかと切実な問題ととらえています。（1件）
- 市民活動の拠点となる所が欲しい。例えば豊橋・・・カリオンビル内市民活動センター（1件）
- 消防団員の処遇改善に関して、基本的にはボランティアであるが活動（仕事）に対する明確なインセンティブが愛知県内の同組織をリードするかたちで必要（1件）
- 青少年の育成に対し少しでも役に立てたらと思います（1件）
- かつては家庭学校とともに「子ども会」に重点を置いていた。今日ではスポ少、塾、習い事など多岐にわたり数校が参加していないのが実情である。広報につとめていきたい（1件）
- 男性の働き方が変わらなければ・7月から名古屋の地下鉄では「女性専用車両」が誕生しました。子供を連れての出勤外出には有難い配慮ですね。その反面、男性はかわいそうだ・・・との声も聴きます。・20、30、40歳代の子育て中の女性の声を紹介します。①連日、クタクタになって夜遅く帰宅する夫を見て、家事参画なんて言葉は出せない。②子供が保育園、小学校へ行くようになって、家事は同じように一人でするのでだから正規社員として活躍するほどのパワーを持ってはとても働けない。せいぜいパート止まりだね。③3人の子供を出産し子育てしていたら10年以上も会社での仕事にブランクがあり、昔のキャリアは時代遅れになってもう戻れない。子育て中の女性にも「市の会議」等に参画できるように、会議中の託児制度設置してもらえると有難い（1件）
- 市民憲章に「教養を深め、文化のかおり高い、心豊かなまち田原」とあります。歴史ある田原市文化協会発展の為それなりの補助金とPRを市当局にお願いしたい。また会員確保にはメリットが不可欠であり、事業補助（各部会へ）の増額もお願いしたい。幸福の実現には文化が必要です（1件）

- ・田原市赤十字奉仕団は更生保護女性会を母体としている。奉仕団の活動も充実してきている現在、厚生保護と兼務する事は大変になってきている。できれば分離し、独立した組織に出来れば良いと思っています。その為には資金の面（私資のみでまかなっている）団員の確保等課題もあります。私資は毎年不安定な部分があり十分とは決して言えません。市からの助成があれば大変うれしく思いきった活動もできるようになると思うのでお考えください（2件）
- ・「元気な田原市」にするためには、若者の企業起し、就職につながる統合的（農業、工業、商業）方策が具体的に示されねばならない。行政の口癖として「市税の減予算」がどの職員（市長含む）も口にする。限られた予算は変えようがないので、若手職員を中心とした知恵をしぼる施策を具現化してほしい。二度と「予算減」は聞きたくない（1件）
- ・要望書としてお願いしている（1件）
- ・しょうがない事なんです、市役所内の部や課の変更や人事の異動や変更が多過ぎて困る（1件）
- ・手話言語条例の制定に向けて何らかの取り組みが出来ればと考えています（1件）
- ・世界は多言語、多文化、さまざまな価値観の中にあります。違いに対する広い寛容な心を育てる事は、お互いの理解を深める事につながると思います。どんなことばにも開かれた心、どんな言葉を話す人にも心を開いて向き合える人を育てる事を目指しています。色々な言葉を楽しむ環境作り（点数を付けられる事のない、褒められ、励まされる関係性）は重要です。現在親子ワークショップ講演会等学校、保育園でチラシ案内を入れて頂いています。今後児童館や保育園で希望者に体験してもらったり、国際理解授業のお手伝いができればと思っています（1件）
- ・市職員が横の連携を強め柔軟な組織づくりをして望しい（1件）
- ・市役所内での情報の開示と連携が少なく窓口担当者以外は全く知らないってことも多くあり、求める情報が収集できない事が多くある（1件）

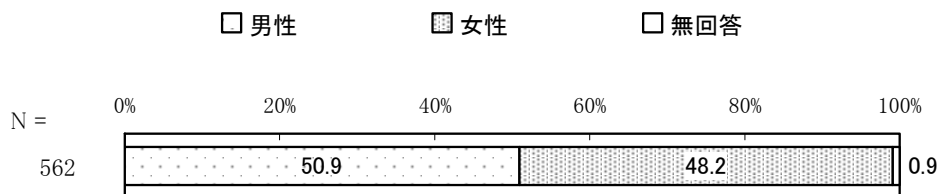
■Ⅵ 中学生アンケート調査

Ⅶ 中学生アンケート調査

1 回答者属性

① 性別

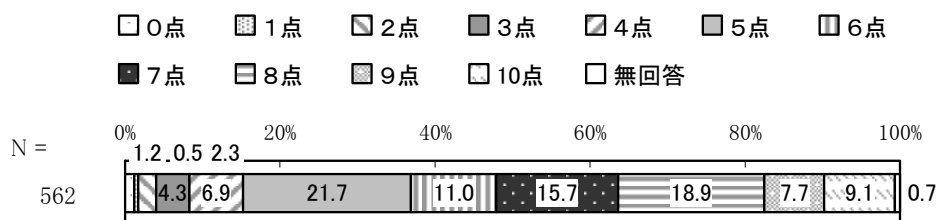
「男性」の割合が 50.9%、「女性」の割合が 48.2%となっています。



2 あなたにとっての『幸せ』について

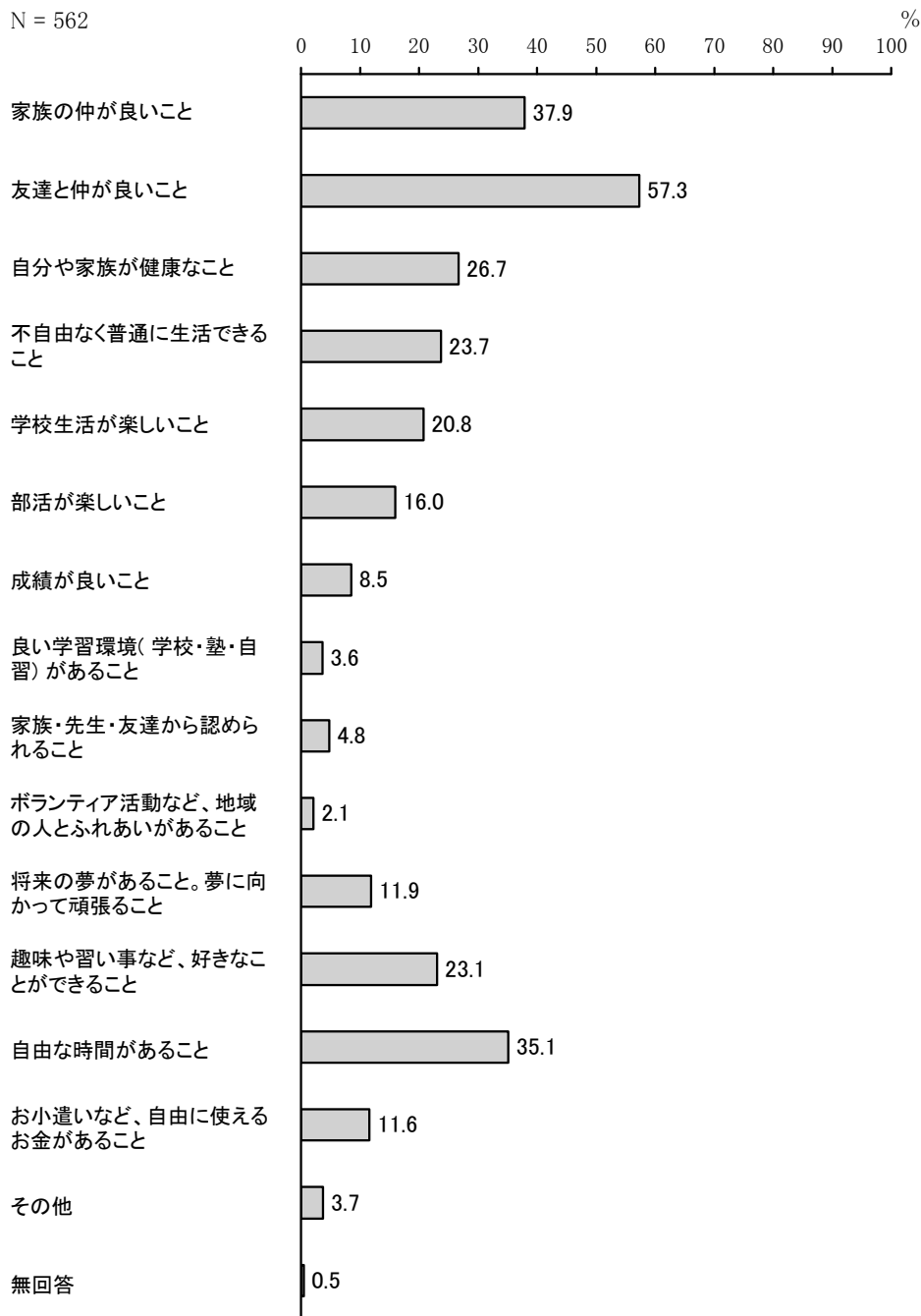
① 今現在、あなたの『幸せ』の程度を 0～10 点で評価すると何点ですか？

概ね「幸せ（7 点以上）」と思っている人は、51.4%となっています。平均点は 6.5 点で平成 25 年度調査（6.5 点）と同様となっています。



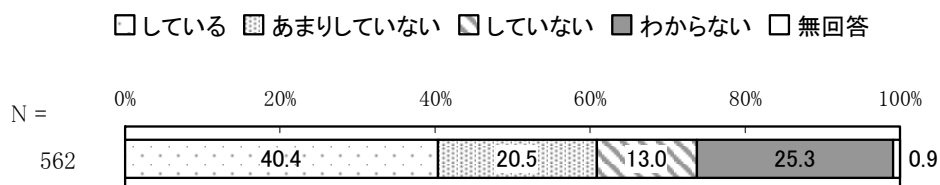
② あなた自身が『幸せ』でいるために、重要だと思うことは何ですか？（○を3つまで）

「友達と仲が良いこと」の割合が57.3%と最も高く、次いで「家族の仲が良いこと」の割合が37.9%、「自由な時間があること」の割合が35.1%となっています。



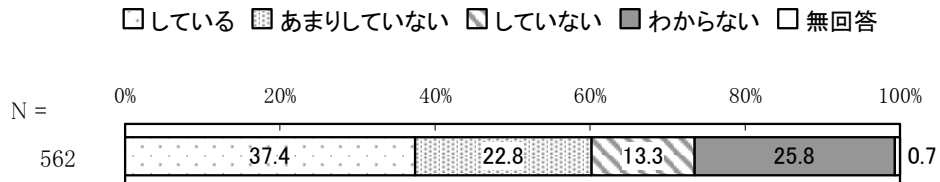
- ③ あなたは普段から自分が『幸せ』になるために何かしていますか？
 （将来の夢のために習い事を頑張っている。 家族とたくさん会話をするようにしている。など）

「している」の割合が40.4%となっている一方で、「あまりしていない」と「していない」をあわせた“していない”の割合が33.5%となっています。



- ④ あなたは普段の生活のなかで、自分の周りの人に『幸せ』を感じてもらうために何かしていますか？（家の手伝いを進んでやっている。 いつもみんなに笑顔で挨拶している。など）

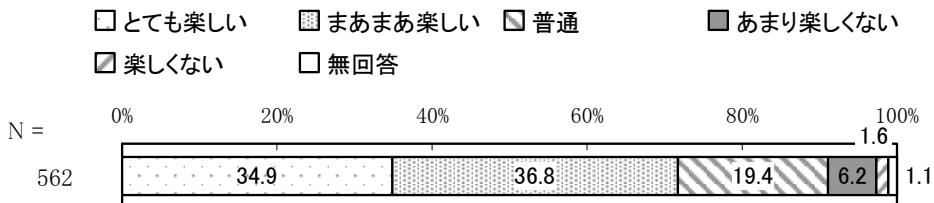
「している」の割合が37.4%となっている一方、「あまりしていない」と「していない」をあわせた“していない”の割合が36.1%となっています。



3 あなたの学校生活について

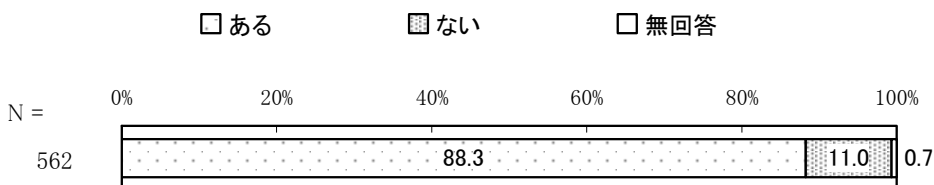
① あなたは学校生活や部活動が楽しいですか？

「とても楽しい」と「まあまあ楽しい」をあわせた“楽しい”の割合が71.7%、「あまり楽しくない」と「楽しくない」をあわせた“楽しくない”の割合が7.8%となっています。



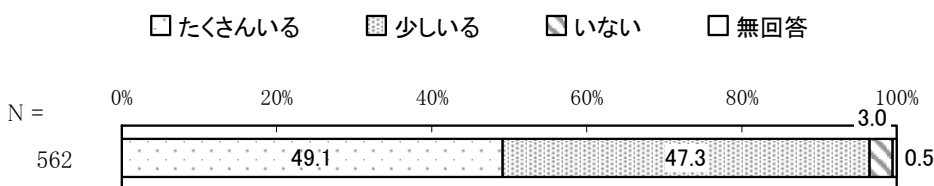
② あなたは普段の授業で「わかった」という実感がありますか？

「ある」の割合が88.3%、「ない」の割合が11.0%となっています。



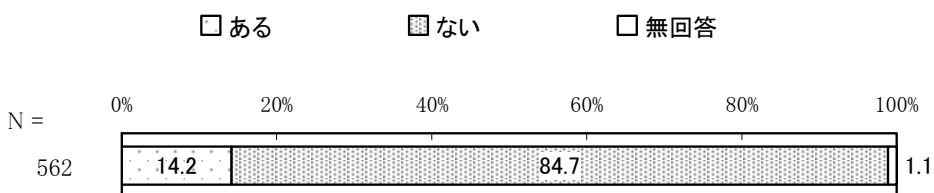
③ あなたには信頼できる友達がありますか？

「たくさんいる」の割合が49.1%と最も高く、次いで「少しいる」の割合が47.3%となっています。



④ あなたは過去1年間の間にいじめを受けて悩んだ経験がありますか？

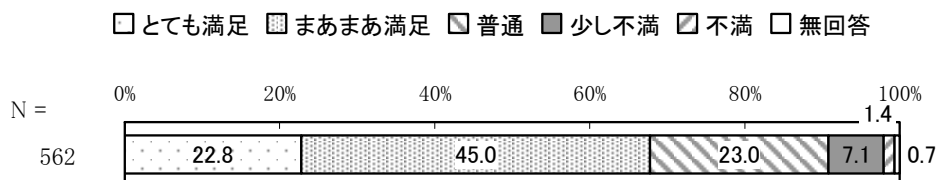
「ある」の割合が14.2%、「ない」の割合が84.7%となっています。



4 あなたの普段の生活・家族との関係について

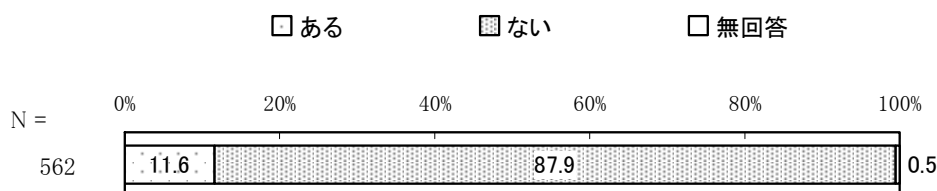
① あなたは普段の生活全般に満足していますか？

「とても満足」と「まあまあ満足」をあわせた“満足”の割合が67.8%、「少し不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が8.5%となっています。



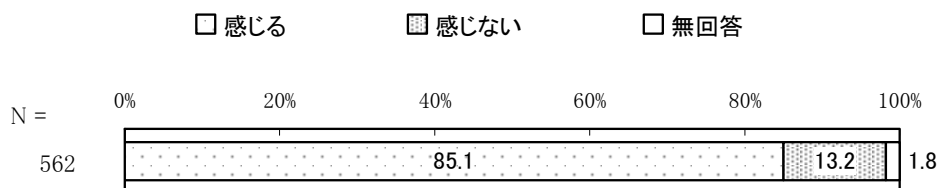
② あなたは家族との関係で悩みがありますか？

「ある」の割合が11.6%、「ない」の割合が87.9%となっています。



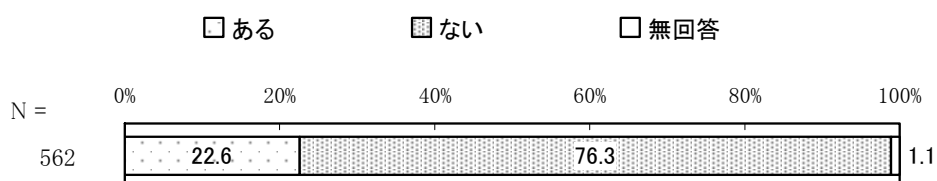
③ あなたは親や家族から大切にされていると感じていますか？

「感じる」の割合が85.1%、「感じない」の割合が13.2%となっています。



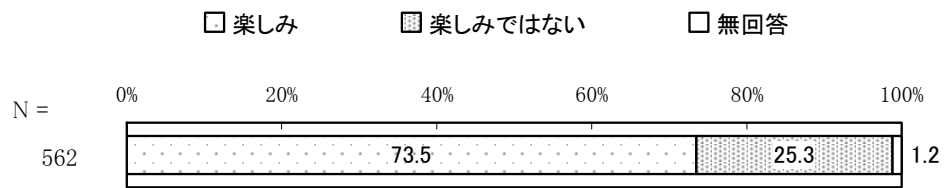
④ あなたは自分や家族のことで心配や不安がありますか？

「ある」の割合が22.6%、「ない」の割合が76.3%となっています。



⑤ あなたは自分の10年後の将来が楽しみですか？

「楽しみ」の割合が73.5%、「楽しみではない」の割合が25.3%となっています。



5 自由意見

- ・健康でいられること (29 件)
- ・部活をしていること (13 件)
- ・普通に生活ができること (81 件)
- ・自由に過ごせること (35 件)
- ・楽しく過ごせること (75 件)
- ・平和なこと (8 件)
- ・友達や家族がいること (104 件)
- ・好きなことができること (81 件)
- ・生きているということ (12 件)
- ・みんなが笑顔でいること (29 件)
- ・自分の将来の夢に向かってがんばること (6 件)
- ・幸せでいられること (11 件)
- ・自分でつくりあげるもの (9 件)
- ・その他 (17 件)

Ⅶ 中学生アンケート調査

■ 付録

付録 調査票

田原市市民意識調査

アンケート調査へのご協力をお願い

日頃は市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

「田原市市民意識調査」は、改定版第1次田原市総合計画で定めた「みんなが幸福を実現できるまち」の理念のもと、将来都市像「うらおいと活力のあるガーデンシティ」の実現を目指し、市民の皆様から、「幸福感」や「まちの住みよさ」、「各施策の満足度・重要度」に関するご意見をお伺いし、市政へ反映するための基礎資料として活用するもので、3年に一度実施しています。

この調査は、田原市にお住まいの20歳以上の方の中から無作為に3,500人の方を選ばせていただきました。ご回答の内容は、全て統計的に処理し、プライバシーの保護はもとより、他の目的に利用することは一切ございません。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成28年7月

田原市長 山下 政良

ご記入にあたって

○このアンケート調査は、できるだけ封筒の宛名をご本人様がお答えいただくようお願いいたします。なお、ご本人様が記入できない場合は、ご本人様とご相談のうえご家族の方が記入していただけると幸いです。

○設問への回答について、特に記載のない場合は、該当する項目を選んで、番号に○印を付けてください。

○ご記入いただいたアンケート用紙は、7月22日(金)までに同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、ポストに投函してください。

○このアンケートについて、ご不明な点がありましたら下記へお問い合わせください。

田原市役所 企画部企画課(担当:大塚・奥村) 電話 0531-23-3507(直通)

1 あなたのことについて

問1 あなた自身の平成28年7月1日現在の状況についてうかがいます。
(あてはまるもの1つに○)

(1) あなたの性別	1 男性	2 女性		
(2) あなたの年齢	1 20歳代	2 30歳代	3 40歳代	
	4 50歳代	5 60歳代	6 70歳以上	
(3) あなたの職種など	1 会社経営者・役員			
	2 自営業(農林漁業)			
	3 自営業(商工業自営など)			
	4 自由業(医師・弁護士・会計士・税理士・作家・画家など)			
	5 自由業の手伝い			
	6 会社員・公務員・団体職員			
	7 パート・アルバイト			
	8 専業主婦(主婦など)			
	9 学生			
	10 無職(年金生活含む)			
	11 その他()			
(4) お住まいの小学校区	1 六連	2 神戸	3 大草	
	4 田原東部	5 田原西部	6 竜浦	
	7 田原中部	8 衣笠	9 野田	
	10 高松	11 赤羽根	12 若戸	
	13 伊良湖(旧和地)	14 伊良湖(旧堀切)	15 伊良湖(旧伊良湖)	
	16 亀山	17 中山	18 福江	
	19 清田	20 泉		
	校区が分からない場合町名を記入()			
	(5) お住まいの住宅の種類	1 一戸建住宅	2 分譲マンション	
		3 一戸建借家	4 民間賃貸住宅(マンション・アパート)	
		5 社宅・寮・官公舎	6 公団・公営住宅	
7 その他()				
(6) 田原市での居住年数		1 1年未満	2 1年以上～3年未満	
		3 3年以上～5年未満	4 5年以上～10年未満	
		5 10年以上～20年未満	6 20年以上	

- 1 -

2 あなたの幸福感について

問2 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。(いずれかの数字を1つだけ○)

とても不幸	0点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10点	とても幸せ
-------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	-------

問3 あなたが「幸せ」であるために、重要だと思ふ事項は何ですか。
(あてはまるもの3つに○)

1 経済的なゆとり	2 就業状況(仕事の有無・安定)
3 自分や家族の健康	4 自由な時間・趣味・充実した余暇
5 やりがいのある仕事	6 積極的な社会貢献・生涯学習活動
7 良好な人間関係(家族)	8 良好な人間関係(友人)
9 良好な人間関係(職場)	10 良好な人間関係(隣近所・地域)
11 良好な子育て環境	12 良好な教育環境
13 良好な居住環境	14 安心・安全に暮らせる環境
15 追い求める夢や理想があること	

問4 あなたの幸福感をさらに高めるために、今足りていない(さらに高めたい)と思ふ事項は何ですか。(あてはまるもの3つに○)

1 経済的なゆとり	2 就業状況(仕事の有無・安定)
3 自分や家族の健康	4 自由な時間・趣味・充実した余暇
5 やりがいのある仕事	6 積極的な社会貢献・生涯学習活動
7 良好な人間関係(家族)	8 良好な人間関係(友人)
9 良好な人間関係(職場)	10 良好な人間関係(隣近所・地域)
11 良好な子育て環境	12 良好な教育環境
13 良好な居住環境	14 安心・安全に暮らせる環境
15 追い求める夢や理想があること	

- 2 -

問5 あなたの状況について伺います。
(下表の欄に、項目ごとに評価し該当する番号に○をつけてください。)

状況	不満足	やや不満足	普通	やや満足	満足
<記入例> (1) ○○○○	①	2	3	4	5
(1) 経済的なゆとり(生活に必要な所得)	1	2	3	4	5
(2) 就業状況(仕事の有無・安定)	1	2	3	4	5
(3) 自由な時間・趣味・充実した余暇	1	2	3	4	5
(4) 仕事のやりがい	1	2	3	4	5
(5) 社会貢献・生涯学習活動の状況(あなた自身の取り組み状況)	1	2	3	4	5
状況	悪い	少し悪い	普通	おおよそ良い	良い
(6) 自分や家族の健康状況	1	2	3	4	5
(7) 家族との人間関係	1	2	3	4	5
(8) 友人との人間関係	1	2	3	4	5
(9) 職場での人間関係	1	2	3	4	5
(10) 地域での人間関係(隣近所・地域住民・地域コミュニティ)	1	2	3	4	5
(11) 子育て環境(あなたが子どもや孫を育てる環境)	1	2	3	4	5
(12) 教育環境(あなたが子どもや孫、あなた自身の教育環境)	1	2	3	4	5
(13) 居住環境(住居、生活環境、自然環境)	1	2	3	4	5
(14) 安心・安全に暮らせる環境(交通安全、防犯対策、自然災害への備え)	1	2	3	4	5
(15) 夢や理想を追い求めることができる環境(夢や理想を追い求めるための環境が整っているか)	1	2	3	4	5

- 3 -

問6 あなたは、あなた自身の「幸せ」や、あなたの周囲の人などの「幸せ」を高めることについて、どの程度意識し、どの程度取り組みを行なっていますか。
 (下表の欄に、項目ごとに評価し該当する番号に○をつけてください。)

質問事項	している	ややしている	あまりしていない	していない	わからない
<記入例> (1) ○○○○	①	2	3	4	5
(1) あなたは、普段から自分にとっての「幸せ」とは何かを考 えることを意識していますか。	1	2	3	4	5
(2) あなたは、普段から自分が「幸せ」になるための努力をして いますか。	1	2	3	4	5
(3) あなたは、普段から自分だけでなく周囲が「幸せ」になるよ う意識していますか。	1	2	3	4	5
(4) あなたは、あなたが行なう仕事や活動、普段の生活などを通 じて、周囲を「幸せ」にする取り組みを行なっていますか。 (家族の笑顔を増やすことで、家族を幸せにしている) (美味しい野菜を作って、消費者を幸せにしている) など	1	2	3	4	5

問7 あなたの幸福度を高めるために有効な手段は何ですか。
 (あなたの考えに最も近いものを2つまでに○)

1 あなた自身の努力	2 家族との助け合い
3 友人や仲間との助け合い	4 社会(地域住民、NPO等)の助け合い
5 職場からの支援	6 国や県、市からの支援

3 田原市の住みよさについて

問8 田原市は住みよいまちだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1 住みやすい	2 どちらかといえば住みやすい
3 どちらかといえば住みにくい	4 住みにくい

問9 ここ数年の間に、住みごちに変化がありましたか。(あてはまるもの1つに○)

1 以前より住みやすくなった	2 変化はない
3 以前より住みにくくなった	

問10 田原市が優れていると感じることは何ですか。(あてはまるものを3つに○)

1 海・山などの自然環境	2 街並みなどの都市景観
3 農業の発達	4 工業の発達
5 買い物などの生活の利便性	6 雇用機会の充実
7 各種公共施設の整備状況	8 交通の利便性
9 住宅確保のしやすさ	10 住環境の快適さ
11 余暇を楽しむ機会や場所	12 歴史や文化
13 学校など教育環境	14 医療・福祉の充実
15 環境共生への取り組み	16 消防・防災の充実
17 子育てのしやすさ	18 人の温かさ
19 隣近所の助け合い	20 その他()

問11 田原市に欠けていると感じることは何ですか。(あてはまるものを3つに○)

1 海・山などの自然環境	2 街並みなどの都市景観
3 農業の発達	4 工業の発達
5 買い物などの生活の利便性	6 雇用機会の充実
7 各種公共施設の整備状況	8 交通の利便性
9 住宅確保のしやすさ	10 住環境の快適さ
11 余暇を楽しむ機会や場所	12 歴史や文化
13 学校など教育環境	14 医療・福祉の充実
15 環境共生への取り組み	16 消防・防災の充実
17 子育てのしやすさ	18 人の温かさ
19 隣近所の助け合い	20 その他()

問12 あなたは、友人や知人などが訪ねてきたとき、田原市のどこを案内してあげたいですか。(あてはまるものを3つに○)

1 伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺	2 伊良湖海水浴場
3 一色の瀬・太平洋ロングビーチ	4 道の駅あかばねロコステーション、ロコパーク
5 白谷海浜公園	6 仁崎海水浴場・キャンプ場
7 沙川平橋	8 初立池公園
9 赤羽根文化広場・文化の森	10 サンテバルクたはら
11 藤王山展望台・権現の森	12 滝頭公園
13 緑が浜公園	14 池ノ原公園・つばき公園
15 田原市博物館・田原城防衛周	16 田原まつり会館
17 藤七原・黒河・碓のシデロブシ	18 吉朝貝塚・シェルマよしご
19 菜の花畑	20 道の駅伊良湖クリスタルポルト
21 道の駅田原めつくんはうす	22 セントファレー・はなとき通り商店街
23 風力発電	24 臨海工業地帯
25 図書館	
26 その他()	

4 各分野での市の取り組みについて

問13 あなたは、現状の田原市の取り組みに対しどの程度満足していますか。
 (下表の「満足度」の欄に、項目ごとに評価し、該当する番号に○をつけてください。
 また、今後、行政がどの程度重点的に取り組みを講じる必要があると思いますか。
 (下表の「重要度」の欄に、項目ごとに評価し、該当する番号に○をつけてください。)

施策	満足度					重要度				
	不満足	やや不満足	普通	やや満足	満足	重要ではない	あまり重要でない	普通	重要	非常に重要
<記入例> (1) ○○○○ ×××の推進、△△△の充実	1	2	3	4	⑤	1	2	3	④	5
市民環境分野について										
(1) 参加と協働の推進 ・地域コミュニティ・NPO・ボランティア団体 など連携・役割分担による協働のまちづくり の推進 ・男女が良きパートナーとして共に活動できる環 境づくりの推進(男女共同参画)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2) 地域防犯・交通安全の推進 ・地域防犯パトロールの推進 ・地区防犯灯の設置補助、維持管理 ・交通指導員の配置・交通安全施設の設置・防犯 意識の醸成に関する啓発活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3) 環境共生まちづくり ・節電や省エネルギーに関する啓発啓蒙 ・太陽光発電設備補助等の導入促進による環境負 荷の少ない地域づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4) 環境保全の推進 ・大気、水質、騒音、振動や悪臭防止等の環境保 全に向けた取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5) 衛生対策の推進 ・畜場、ペット大葬場の運営 ・食中毒予防や拡大防止対策等感染症対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(6) 資源循環の推進 ・ごみの減量化・資源化促進の取り組み ・炭素削減、地産地消に係る啓蒙活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
健康福祉分野について										
(7) 健康づくりの推進 ・健康づくりに向けた取り組み ・乳幼児健診等母子保健の推進 ・子育て支援施設等子育てへの取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

施 策	満足度					重要度				
	不満足	やや不満足	普通	やや満足	満足	重要ではない	あまり重要でない	普通	重要	非常に重要
(6) 医療の充実										
・休日や平日夜間の医療体制の充実 ・医師確保に向けた取り組み ・公的病院への支援 ・国民健康保険の運営や福祉医療の給付	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(8) 地域福祉の充実										
・福祉センターの運営 ・地域福祉活動の推進 ・連絡相談や児童虐待防止等の取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(10) 児童福祉の充実										
・保育園の運営 ・町営化や機能拡充等保育施設の環境整備 ・児童手当の支給 ・児童館・児童クラブの運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(11) 障がい者福祉の充実										
・障害者手帳の支給 ・身体障害者補助具の給付等各種支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(12) 高齢者福祉の充実										
・介護保険の運営 ・介護予防の推進 ・高齢者福祉タクシー等バス料金の助成 ・高齢者施設等の充実 ・老人クラブ活動等の支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(13) 社会保険の充実										
・国民年金制度の普及・啓発等 ・生活保護費の支給・被保護世帯の自立促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
産業経済分野について										
(14) 農林の振興										
・農地の保全・活用への取り組み ・農業支援センター、サテライトの運営 ・農畜産物のブランド化に向けた取り組み ・環境保全型農業の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(15) 水産業の振興										
・種苗・稚魚の確保による水産資源の確保 ・水産物のPR・ブランド化の支援 ・漁港の管理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(16) 工業の振興										
・企業誘致活動や立地企業へのサポート活動 ・三河産の振興に向けた利用促進の取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(17) 商業の振興										
・中小企業の活性化支援 ・業間連携の促進 ・まちなか賑わいづくり、商工会活動の支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

施 策	満足度					重要度				
	不満足	やや不満足	普通	やや満足	満足	重要ではない	あまり重要でない	普通	重要	非常に重要
(18) 観光の振興										
・観光振興 ・各種観光施設の運営・整備 ・観光イベント開催支援 ・観光タクシー等の支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(19) 労働環境・消費生活の充実										
・勤労者支援、雇用促進に向けた取り組み ・消費者トラブルの予防啓発や相談支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
都市圏分府について										
(20) 交通基盤の整備										
・広域幹線道路、幹線道路・橋梁等の整備 ・生活道路の改善 ・道路維持や橋脚、区河等の維持管理 ・三河田原駅周辺の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(21) 公共交通の整備										
・地方バス路線支援 ・公共交通の充実に向けた取り組み ・田原コミュニティバス等の運行	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(22) 港灣・河川・海岸の整備										
・系津、扇尾津の整備・管理 ・河川、排水路の整備・管理 ・海岸施設の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(23) 市街地の整備										
・市街地の整理の取り組み ・田原・赤羽根、福江地区のまちづくりの推進 ・土地区画整理事業の支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(24) 地域・住環境の整備										
・農村集落の整備、農村地域の整備促進 ・居住環境の整備 ・市営住宅の管理、定住促進、バリアフリー化の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(25) 上下水道の整備										
・水道施設の整備・管理運営 ・公共下水道・農業農村排水・し尿処理施設の整備・管理運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(26) 自然環境の保全										
・里山の保全 ・森林病虫害防除、有害鳥獣・有害植物・特定外来生物の駆除	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(27) 緑と景観の保全										
・良好な街並み景観の形成 ・緑化推進、緑化センターの運営 ・公園・緑地の整備・管理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

施 策	満足度					重要度				
	不満足	やや不満足	普通	やや満足	満足	重要ではない	あまり重要でない	普通	重要	非常に重要
教育文化分野について										
(28) 学校教育の充実										
・教育環境向上に向けた取り組み ・小中学校整備・管理運営や給食センターの運営 ・中学生の海外交流 ・田原福祉専門学校への支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(29) 生涯学習の充実										
・市民館、図書館の運営 ・江比野野外活動センター運営 ・生涯学習講座等の開催	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(30) スポーツの振興										
・スポーツの振興の充実 ・スポーツ組織・人材の充実 ・スポーツ施設の整備・充実 ・スポーツによる地域活性化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(31) 青少年健全育成										
・青少年健全育成活動の推進 ・子ども会活動の支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(32) 芸術文化の振興										
・田原文化広場、赤羽根、扇尾文化会館の運営 ・文化ホールの事業の実施、池ノ原会館の運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(33) 文化財の継承										
・文化財の保護・活用 ・文化の継承 ・博物館、吉胡貝塚公園の運営、湯葉郷土資料館の管理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
消防防災分野について										
(34) 消防・救急体制の充実										
・消防活動、救急活動、消防団の活動支援 ・消防車両、消火栓、防火水増等設置・管理 ・救急講習等の開催	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(35) 防災・減災体制の充実										
・災害対策の取り組み ・自主防災活動支援、防災設備等整備・管理、建築耐震化補助	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

施 策	満足度					重要度				
	不満足	やや不満足	普通	やや満足	満足	重要ではない	あまり重要でない	普通	重要	非常に重要
行財政分野について										
(36) 国際化の推進										
・姉妹、友好都市との国際交流 ・多文化共生に向けた環境整備 ・ボラティリティ支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(37) 情報体制の充実										
・広域ネットワーク ・ホームページの管理 ・シティサービスの取り組み ・情報セキュリティの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(38) 広域連携の推進										
・東三河各市町村との連携 ・広域の取り組み ・宮田村・阿南町との交流 ・大生等との連携	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(39) 水資源の確保										
・設楽ダム整備促進に向けた取り組み ・設楽町の交流、グリーンメッセージの運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(40) 行財政運営										
・窓口サービス、施策の推進・調整、行政改革、経費管理、職員管理、財政運営、税務事務、庁舎・財産等管理、議会運営支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 14 問 13 の(1)～(40)の施策のうち、あなたが特に重要だと思う施策の番号を3つご記入ください。

<記入例>			
8			

田原市市民意識調査（市内事業者アンケート）

アンケート調査へのご協力をお願い

日頃は、市政につきまして多大なご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

田原市では市政へ市民意向を反映するため、3年に一度、市民意識調査を実施しております。

この調査は、改定版第1次田原市総合計画で定めた「みんなが幸福を実現できるまち」の理念のもと、将来都市像「うらおいと活力のあるガーデンシティ」の実現を目指すための基礎資料として、田原市に事業所を有する事業者の皆様からご意見をお伺いするものです。

調査票については、個別に公表することではなく、また、回答者を特定するような調査結果の利用は一切ありませんので、あなた（あるいは、あなたから見た事業所）のご意見をお聞かせください。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ぜひ調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成28年7月

田原市長 山下 政良

ご記入にあたって

- 質問は、選択式(○をつけるもの)と記述式から構成されています。それぞれの質問の指示に従ってご回答ください。
- 各項目について、率直に思ったことをご答えください。
- ご記入いただきました調査票は、7月22日(金)までに同封の返信用封筒に入れて、投函していただきますようお願いいたします。
- このアンケートについてご不明な点がございましたら下記へお問い合わせください。

田原市役所 企画部企画課（担当：大堀、奥村） 電話 0531-23-3507（直通）

1 あなたの事業所について

問1 あなたの事業所についてお答えください。

企業形態 (○は1つ)	1 個人企業（個人経営） 3 有限会社 5 その他（ ）	2 株式会社 4 合名・合資会社
本社・事業所区分 (○は1つ)	1 本社（事業所・工場併設の本社） 2 支社・支店・事業所 3 本社以外の分工場 4 チェーン直営店もしくは加盟店 5 その他（ ）	
資本金 (○は1つ)	1 個人企業であるため資本金はない 2 1,000万円未満 3 1,000万円以上3,000万円未満 4 3,000万円以上1億円未満 5 1億円以上	
業種 (○は1つ)	1 鉱業 3 製造業 5 情報通信業 7 卸売・小売業 9 不動産業 11 医療・福祉 13 サービス業	2 建設業 4 電気・ガス・熱供給・水道業 6 運輸業 8 金融・保険業 10 飲食店・宿泊業 12 教育・学習支援業 14 その他（ ）
従業員数 (R28.4.1時点)	総数（ ）人 うち田原市在住（ ）人 内訳 正社員（ ）人 パート（ ）人 期間従業員（ ）人	派遣社員（ ）人 アルバイト（ ）人 その他（ ）人
あなたの事業所（工場）の従業員の居住先の概ねの比率 (各項目に数値を記入)	1 市内（ ）% 2 豊橋市（ ）% 3 愛知県内（ ）% 4 愛知県外（ ）%	※田原市、豊橋市を除く
田原市での事業年数 (○は1つ)	1 1年未満 3 5年以上～5年未満 5 10年以上～20年未満	2 1年以上～3年未満 4 5年以上～10年未満 6 20年以上

2 田原市の事業環境について

問2 田原市は、あなたの事業所にとって事業をしやすいまちだと思いますか。
(○は1つ)

- 1 はい 2 いいえ 3 どちらともいえない

問3 田原市で事業を行う環境について

(1) 田原市で事業を行う環境は、5年前と比べて全体的にどうなったとお考えですか。
(○は1つ)

- 1 良くなった 2 きびしくなった
3 変わらない 4 5年前は事業をしていない

(2) 田原市で事業を行う環境について、良くなった点、きびしくなった点などについて、具体的にお聞かせください。

3 あなたの事業所の事業について

問4 あなたの事業所の直近の売上高は、5年前の売上高の何倍程度ですか。
(○は1つ)

- 1 約0.5倍未満 2 約0.5倍～約0.8倍未満
3 約0.8倍～約1.0倍未満 4 約1.0倍～約1.2倍未満
5 約1.2倍～約1.5倍未満 6 約1.5倍～2倍未満
7 約2.0倍以上 8 5年前は事業をしていない

問5 あなたの事業所の直近の経常利益（所得）は、5年前の経常利益（所得）の何倍程度ですか。
(○は1つ)

- 1 約0.5倍未満 2 約0.5倍～約0.8倍未満
3 約0.8倍～約1.0倍未満 4 約1.0倍～約1.2倍未満
5 約1.2倍～約1.5倍未満 6 約1.5倍～2倍未満
7 約2.0倍以上 8 5年前は事業をしていない

問6 あなたの事業所が、現在の事業を行う上で、経営上の課題点はどこにあるとお考えですか。
(○は3つまで)

- 1 売上額の減少 2 利幅の縮小
3 物流・在庫コストの増大 4 人件費の増加
5 資金調達が困難 6 相続税・固定資産税等の税金対策
7 大手企業との競争激化 8 同業者との競争激化
9 取引先減少・業績不振 10 国際競争の激化
11 コストダウン要求の強まり 12 市場の成熟、縮小
13 自然災害（地震・津波・高潮等）の脅威
14 高速道路・高規格道路へのアクセス
15 その他（ ）

問7 あなたの事業所が今後重視したい取り組みはどのようなものですか。
(○は3つまで)

- 1 新分野への進出 2 新技術や新商品の開発
3 情報化への対応 4 国際化への対応
5 経営組織の見直し 6 企業間ネットワークの推進
7 人材の確保・育成 8 マーケティングや販路・市場開拓
9 資金調達の円滑化 10 後継者の育成
11 事業の再構築 12 外部経営資源の活用
13 その他経営方針の見直し 14 その他（ ）

田原市市民意識調査（農業者アンケート）

アンケート調査へのご協力をお願い

日頃は、市政につきまして多大なご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

田原市では市政へ市民の皆様の意向を反映するため、3年に一度、市民意識調査を実施しています。

この調査は、改定版第1次田原市総合計画で定めた「みんなが幸福を実現できるまち」の理念のもと、将来都市像「うらおいと活力のあるガーデンシティ」の実現を目指すための基礎資料として、市内の農業者の皆様から農業に関する市の施策に対する満足度などをお伺いするものです。

回答者を特定するような形で調査結果の利用は一切ありませんので、ご意見をお気軽にお聞かせください。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ぜひ調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成28年7月

田原市長 山下 政良

ご記入にあたって

- 質問は、選択式(○をつけるもの)と記述式から構成されています。それぞれの質問の指示に従ってご回答ください。
- 各項目について、率直に思ったことをご答えください。
- ご記入いただきました調査票は、7月22日(金)までに同封の返信用封筒に入れて、投函していただきますようお願いいたします。
- このアンケートについてご不明な点がございましたら下記へお問い合わせください。

田原市役所 企画部企画課（担当：大塚、奥村） 電話 0531-23-3507（直通）

1 あなたの事業について

問1 あなたの事業についてお聞きします。(○は1つ)

専業・兼業の別	1 専業 2 兼業
農業に従事している人数 (回答者を含んだ数)	1 常時農業に従事している人 (男性 人 女性 人) 2 臨時に農業に従事する人 (男性 人 女性 人)
おおよその耕地面積 (1ha=10,000㎡)	1 耕地面積 () ha 2 不耕作地 () ha
主な農作物	① ② ③
おおよその農業所得 (H27.1.1~H27.12.31)	() 万円
田原市での就業年数 (○は1つ)	1 1年未満 2 1年以上～3年未満 3 3年以上～5年未満 4 5年以上～10年未満 5 10年以上～20年未満 6 20年以上

- 1 -

2 田原市の農業全般について

問2 田原市は、農業がしやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

- 1 はい 2 いいえ 3 どちらともいえない

問3 田原市で農業を行う環境は、5年前と比べて全体的にどうなったとお考えですか。(○は1つ)

- 1 良くなった 2 きびしくなった 3 変わらない
4 5年前は営業していない

問4 あなたは、農業産出額トップクラスである田原市が、今後さらに農業を発展させるためには何が重要だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 新鮮で多彩な農産物を迅速かつ安定的に消費者に届ける流通システムの整備
- 2 経費削減や環境に配慮した技術の導入
- 3 悪臭・景観などに配慮した環境保全型農業の推進
- 4 最先端技術の導入
- 5 優良な農地の確保と保全、ほ場（田や畑）の整備
- 6 労働力の確保
- 7 野菜・畜産物など多彩で豊かな農産物の生産拡大
- 8 食を学ぶ取り組み（食育）の推進
- 9 消費者の視点に立った安心・安全な農産物の生産・供給
- 10 農業のイメージを向上させる啓発活動
- 11 販路拡大（海外への輸出推進）
- 12 耕作放棄地の解消
- 13 耕作放棄地などの情報の共有化
- 14 農商工連携・6次産業化の推進
- 15 農業経営への法人参入
- 16 農業の担い手の育成
- 17 農産物の地域ブランド化の推進
- 18 市民農園・滞在型市民農園の整備などによる都市住民との交流
- 19 農休日普及
- 20 農業ヘルパー派遣制度の充実
- 21 その他（具体的に： ）

- 2 -

3 あなたの農業経営について

問5 あなたの直近の売上高は、5年前の売上高に比べ何倍程度になりましたか。(○は1つ)

- 1 約0.5倍未満 2 約0.5倍～約0.8倍未満
3 約0.8倍～約1.0倍未満 4 約1.0倍～約1.2倍未満
5 約1.2倍～約1.5倍未満 6 約1.5倍～約2.0倍未満
7 約2.0倍以上 8 5年前は営業していない

問6 あなたの直近の所得は、5年前の所得に比べ何倍程度になりましたか。(○は1つ)

- 1 約0.5倍未満 2 約0.5倍～約0.8倍未満
3 約0.8倍～約1.0倍未満 4 約1.0倍～約1.2倍未満
5 約1.2倍～約1.5倍未満 6 約1.5倍～約2.0倍未満
7 約2.0倍以上 8 5年前は農業をしていない

問7 あなたは、これから農業経営をどのようにしていきたいとお考えですか。(○は1つ)

- 1 規模を拡大していきたい 2 現状のままでいきたい
3 規模を縮小していきたい 4 やめたい
5 その他（具体的に： ）

問8 あなたは、自分の農業経営に満足していますか。(○は1つ)

- 1 満足している 2 やや満足している
3 どちらともいえない 4 やや不満足である
5 不満足である 6 わからない

問9 あなた自身の農業経営で、重要と考えられることはどれですか。(○は3つまで)

- 1 自分の才覚 2 行政の支援
- 3 農協の指導 4 作物の選択
- 5 規模の拡大 6 販路・流通対策
- 7 後継者の育成 8 農産物価格の安定
- 9 労働力の確保 10 最先端技術の導入
- 11 設備投資
- 12 その他（具体的に： ）

- 3 -

4 農地の保全・活用について

問 10 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
(各間に対し「評価」、「重要性」の項目に○を1つずつ付ける)

	現在の評価					今後の重要性				
	不 満	や や 不 満	普 通	や や 満 足	満 足	重 要 で な い	あ ま り 重 要 で な い	普 通	重 要	非 常 に 重 要
<記入例> ① ○○○○	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
①遊休農地の解消への取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 11 あなたは、農地の保全・活用についてどうお考えですか。あなたの考えに一番近いものを次のの中から選んでください。(○は1つ)

- 1 食料の供給や緑地空間の提供など重要な機能を有するので、積極的に保全する
- 2 住宅問題も食料問題も共に重要であるので、計画的な土地利用を図る
- 3 住宅事情を考え、宅地化を優先すべきである
- 4 宅地化するが保全する場合は土地所有者に任せるべきである
- 5 その他(具体的に:)

5 農業基盤の整備について

問 12 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
(各間に対し「評価」、「重要性」の項目に○を1つずつ付ける)

	現在の評価					今後の重要性				
	不 満	や や 不 満	普 通	や や 満 足	満 足	重 要 で な い	あ ま り 重 要 で な い	普 通	重 要	非 常 に 重 要
②農道・用排水路整備、農地区画の改良	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

6 交流・食育の推進について

問 13 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
(各間に対し「評価」、「重要性」の項目に○を1つずつ付ける)

	現在の評価					今後の重要性				
	不 満	や や 不 満	普 通	や や 満 足	満 足	重 要 で な い	あ ま り 重 要 で な い	普 通	重 要	非 常 に 重 要
③市民農園・滞在型市民農園の整備などによる都市住民との交流の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④サケ缶農業公園(サンテバルク)運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤食を学ぶ取り組み(食育)の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

7 農業経営について

問 14 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
(各間に対し「評価」、「重要性」の項目に○を1つずつ付ける)

	現在の評価					今後の重要性				
	不 満	や や 不 満	普 通	や や 満 足	満 足	重 要 で な い	あ ま り 重 要 で な い	普 通	重 要	非 常 に 重 要
⑥農産物の地域ブランド化の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑦消費者の視点に立った安心・安全な農作物の供給対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑧農業近代化資金貸付・利子補給などによる農業者・団体支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑨販路拡大に向けた取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑩6次産業化、農商工連携など新規販路開発・販路形成の支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

8 担い手づくりの推進について

問 15 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
(各間に対し「評価」、「重要性」の項目に○を1つずつ付ける)

	現在の評価					今後の重要性				
	不 満	や や 不 満	普 通	や や 満 足	満 足	重 要 で な い	あ ま り 重 要 で な い	普 通	重 要	非 常 に 重 要
⑪認定農業者制度や営農支援による担い手の育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑫農地の転換などによる担い手の確保	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑬農家の後継者及び配偶者対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑭外国人労働環境の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 16 農業の担い手を確保・育成するために何が必要だとお考えですか。
(○は1つ)

- 1 農家の後継者やU I J ターン者に対する支援の充実
- 2 新規就農しやすい環境の整備
- 3 意欲ある農業者への支援制度等の充実や企業的経営手法の指導
- 4 その他(具体的に:)

問 17 外国人研修生を受け入れていますか。(○は1つ)

1 受け入れている	2 過去受け入れていた	3 受け入れていない
-----------	-------------	------------

「1 受け入れている」、「2 過去受け入れていた」と答えた方にお聞きします。
受入れて良かったこと、困ったことなどがあればお聞かせください。

9 環境保全型農業の推進について

問 18 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
(各間に対し「評価」、「重要性」の項目に○を1つずつ付ける)

	現在の評価					今後の重要性				
	不 満	や や 不 満	普 通	や や 満 足	満 足	重 要 で な い	あ ま り 重 要 で な い	普 通	重 要	非 常 に 重 要
⑯適切な糞尿処理と堆肥の供給が円滑に行われる体制の確立	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑰環境に配慮した農業の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 19 あなたは悪臭・景観などに配慮した農業経営を行っていますか。

1 はい	2 いいえ	3 どちらともいえない
------	-------	-------------

10 市政に対するご意見

問 20 今後田原市の農業はどうあるべきか。また、普段お考えになっていること、何でも結構ですので、ご意見やご提言などがあれば、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

4 水産資源の確保について

問9 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。（各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○を1つずつ付ける）

	現在の評価					今後の重要性				
	不 満	やや不 満	普通	やや満 足	満 足	重要 でない	あ まり 重要 でない	普通	重要	非 常に 重要
<記入例> ① ○○○○	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
①あさりの稚貝やクログイなどの種魚の放流による水産資源の確保	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
②漁場環境の改善（漁場をきれいにするためのゴミ拾いなど）を目的としたクリーンアップ事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③環境に配慮した漁業の推進（漁場を汚さない環境活動の推進）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問10 あなたは環境に配慮した漁業経営を行っていますか。（○は1つ）

1 はい	2 いいえ	3 どちらともいえない
------	-------	-------------

5 漁業経営について

問11 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。（各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○を1つずつ付ける）

	現在の評価					今後の重要性				
	不 満	やや不 満	普通	やや満 足	満 足	重要 でない	あ まり 重要 でない	普通	重要	非 常に 重要
④漁業近代化資金貸付・利子補給などによる漁業者・団体支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤水産物のブランド化の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑥担い手づくりの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑦水産加工品の開発や販路形成の支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問12 漁業経営を強化するためにはどのような取り組みが必要だと考えますか。理由もあればご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

問13 漁業の担い手を確保・育成するためには、何が必要だとお考えですか。

（○は1つ）

1 後継者やU I J ターン者に対する支援の充実
2 漁業以外の新規参入者が就漁しやすい環境の整備
3 意欲ある漁業者への支援制度等の充実や企業の経営手法の指導
4 後継者や漁業参入希望者への技術指導
5 その他（具体的に： _____）

6 水産施設の充実について

問14 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。（各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○を1つずつ付ける）

	現在の評価					今後の重要性				
	不 満	やや不 満	普通	やや満 足	満 足	重要 でない	あ まり 重要 でない	普通	重要	非 常に 重要
⑧漁獲の整備や維持管理など水産施設の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

7 市政に対するご意見

問15 今後田原市の漁業はどうあるべきか。また、普段お考えになっていることなど、何でも結構ですので、市政に対するご意見やご提言などがあれば、ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。

田原市市民意識調査(市内団体アンケート)

アンケート調査へのご協力をお願い

日頃は、市政につきまして多大なご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

田原市では市政へ市民の皆様のご意向を反映するため、3年に一度、市民意識調査を実施しております。

この調査は、改定版第1次田原市総合計画で定めた「みんなが幸福を実現できるまち」の理念のもと、将来都市像「うらおいと活力のあるガーデンシティ」の実現を目指すための基礎資料として、各種団体のご意見をお伺いするためのものです。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ぜひ調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成28年7月

田原市長 山下 政良

ご記入にあたって

○質問は、選択式(○をつけるもの)と記述式から構成されています。それぞれの質問の指示に従ってご回答ください。

○各項目について、率直に思ったことをお答えください。

○ご記入いただきました調査票は、7月22日(金)までに同封の返信用封筒に入れて、投函していただきますようお願いいたします。

○このアンケートについてご不明な点がありましたら下記へお問い合わせください。

田原市役所 企画部企画課(担当:大塚、奥村) 電話 0531-23-3507(直通)

(4) 活動する人・正会員の年齢では、どの年代が多いですか。(○はひとつ)

1 10歳代	2 20歳代	3 30歳代	4 40歳代
5 50歳代	6 60歳以上	7 特に特徴はない	

問3 活動の地域は、主にどこですか。(○はひとつ)

1 小学校区内	2 中学校区内	3 市内
4 市内及び豊橋市	5 県内	6 全国・国際

問4 主な活動目的をお聞かせ下さい。(○はいくつでも)

1 地域コミュニティ	2 男女共同参画	3 地域防犯
4 交通安全	5 環境共生	6 環境保全
7 資源循環	8 健康づくり	9 地域福祉
10 児童福祉・子育て支援	11 障害者支援	12 高齢者支援
13 農水産業	14 商工業	15 観光
16 雇用・労働	17 消費者対策	18 市街地整備
19 居住環境整備	20 自然環境整備	21 墨山保全
22 景観整備	23 学校教育	24 生涯学習
25 スポーツ	26 青少年健全育成	27 芸術文化
28 消防・防災	29 国際交流・多文化共生	30 災害復興支援
31 まちづくり	32 人権擁護	33 平和推進
34 その他()		

問5 あなたの団体の財政についておたずねします。

(1) 年間活動費はいくらですか。()万円程度

(2) おおよその収入と支出の内訳を構成比(パーセント)でお答えください。

収 入			支 出		
会費(個人の負担金)収入	%		人件費	%	
事業収入	%		事務管理費	%	
行政からの業務委託費	%		活動・事業経費	%	
企業等民間からの業務委託費	%		その他	%	
行政からの補助金	%				
民間からの助成金、個人・法人の寄付金	%				
その他	%				
合 計	100%		合 計	100%	

1 団体の概要について

問1 あなたの団体の設立年についておたずねします。

設立年: 明治・大正・昭和・平成	年	月
------------------	---	---

問2 あなたの団体の組織体制についておたずねします。

(1) 下の一覧表の該当する欄に、数字(いない場合には「0(ゼロ)」と記入。④については、どちらかに○をつけてください。)をご記入ください。

① 理事	人
② 運営メンバー	
・常勤(フルタイム)※	人
・非常勤(パートタイム・アルバイト)	人
・その他(具体的に:)	人
③ 会員・社員構成	
・活動する人・正会員	人・会員
・支援者・賛助会員	人・会員
・その他(具体的に:)	人・会員
④ 規則・会則・定款	(あり・なし)

※おおよそ週30時間以上働いていることを常勤の目安とします

(2) あなたの団体は次のどの分類にあたりますか。

1 NPO法人(認定取得済)	2 ボランティア・市民活動団体
3 医療法人・社会福祉法人・社団法人	4 地域団体
5 経営団体・協同組合等	6 その他()

(3) 活動する人・正会員の男女比はどれくらいですか。(○はひとつ)

1 ほとんど男性	2 やや男性が多い	3 ほぼ同じ
4 やや女性が多い	5 ほとんど女性	

2 団体の活動について

問6 あなたの団体は、どれくらいの頻度で活動していますか。(○はひとつ)

1 週に5回以上	2 週に3、4回程度
3 週に1、2回程度	4 月に1、2回程度
5 2~3ヶ月に1回程度	6 年に数回程度
7 その他(具体的に:)	

問7 事務所、会合場所、活動拠点として主にどこを利用していますか。(○はひとつ)

1 会員の個人宅	2 市民館
3 地区集会所	4 文化会館など
5 専用の事務所	6 会員の勤務先
7 その他(具体的に:)	

問8 あなたの団体がやっている事業(活動)についてお聞きします。代表的な事業(活動)について具体例を2〜3程度あげて、事業名、事業内容及び事業費についてご記入ください。

事業名①	
活動場所	
参加・対象人数	人
事業内容	
事業費	円
事業名②	
活動場所	
参加・対象人数	人
事業内容	
事業費	円
事業名③	
活動場所	
参加・対象人数	人
事業内容	
事業費	円

問9 あなたの団体が活動を進めていく上で、問題を感じたり、困っていることがありますか。(それぞれ〇はひとつ)

(A) 人の問題 ・活動に参加する人が少ない、活動に積極的な人材が少ない、リーダーになれる人が少ない、会員の高齢化など	1 強く問題を感じる 2 少し問題を感じる 3 問題と感しない
(B) 場所の問題 ・事務所スペースや、活動拠点などが確保しにくいなど	1 強く問題を感じる 2 少し問題を感じる 3 問題と感しない
(C) 資金の問題 ・寄付金や会費などの活動資金が足りないなど	1 強く問題を感じる 2 少し問題を感じる 3 問題と感しない
(D) 情報の問題 ・活動に必要な情報を収集したり、活動をPRする力が弱いなど	1 強く問題を感じる 2 少し問題を感じる 3 問題と感しない
(E) 専門性の問題 ・活動をすすめていくための専門的な知識や能力不足など	1 強く問題を感じる 2 少し問題を感じる 3 問題と感しない
(F) 組織運営の問題 ・活動グループの調整や役員会の運営など	1 強く問題を感じる 2 少し問題を感じる 3 問題と感しない
(G) ネットワークの問題 ・他団体との交流や連携など	1 強く問題を感じる 2 少し問題を感じる 3 問題と感しない
(H) 社会的認知の問題 ・地域、家族、隣街、行政、企業など理解が得られないなど	1 強く問題を感じる 2 少し問題を感じる 3 問題と感しない

3 市との連携・協力について

問10 あなたの団体にとって市との連携・協力は重要ですか。(〇はひとつ)

1 非常に重要	2 どちらかといえば重要
3 どちらともいえない	4 どちらかと言えば重要ではない
5 重要ではない	

問11 あなたの団体が活動するにあたって、どんなことを市に協力してほしいですか。(〇はいくつでも)

1 補助金による奨励	2 場所や物品、機材等の提供
3 市の広報紙を使った団体の情報提供	4 他の団体の紹介、関係の調整など
5 リーダーの養成、技術養成の研修	6 市の施設の利用料割引や優先提供
7 市の情報の開示、共有化	8 市の基金による支援
9 市の事業の共同企画	10 市の事業の委託
11 市から県・国や企業等への働きかけ	12 表彰、顕彰
13 組織の立ち上げ、運営方法に関する支援	14 市職員の活動への参加
15 その他(具体的に)	

問12 市と市民活動団体の連携によるまちづくり施策として、知っているものをお答えください。(〇はいくつでも)

1 市民協働まちづくり条例	2 市民協働まちづくり基金
3 市民協働まちづくり会議	4 市民協働のまちづくり方針
5 田原市民活動支援センター	6 市民協働まちづくり事業補助金
7 パブリックコメント制度	8 各種審議会委員の市民公募
9 市民の声メール(市ホームページ)	10 市民提案箱
11 市民提案型委託事業	11 社会貢献活動災害補償制度
12 どすごいネット(東三河市民活動情報サイト)	
13 その他()	

問13 現在、あなたの団体と市とはどのような関係にありますか。(〇はいくつでも)

1 市から補助金を受けている
2 市から業務委託を受けている
3 市が主催する審議会、委員会、研究会に委員を出している
4 市の関係部署と定期的に情報交換等の話し合いを行っている
5 市に対して要望や陳情を行っている
6 市に対して具体的な施策提案をしている
7 事務局が市の関係部署、関係施設内にある
8 市の施設を利用して活動を行っている
9 市とは特に関係を持っていない

問14 市が行っている次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。(各問に対し「評価」「重要性」に〇をひとつずつ)

	現在の評価					今後の重要性				
	不 満	やや 不 満	普通	やや 満 足	満 足	重 要 で な い	あ ま り 重 要 で な い	普通	重 要	非 常 に 重 要
① 市民・団体などの参加と協働によるまちづくり体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 設立・団体運営の支援などボランティア団体・NPOに対する活動支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問15 あなたの団体・グループは、市と連携・協力してどのようなことをしたいですか。自由なご意見をお聞かせください。

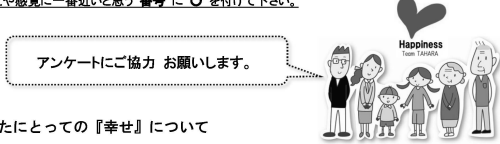
4 市政に対するご意見

問16 その他、普段お考えになっていること、団体の将来の展望、市に対するご意見やご要望、ご提言などがあれば、ご自由にお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

【市民の『幸せ』に関するアンケート（中学生）】

このアンケートは、田原市が目指すまちづくり「みんなが幸福を実現できるまち」に向けた取り組みの基礎調査として、市内の全中学2年生を対象に実施する「幸せ」に関するアンケート調査です。
自分の考えや感覚に一番近いと思う番号に○を付けて下さい。



Q1 あなたにとっての『幸せ』について

① 今現在、あなたの『幸せ』の程度を0～10点で評価すると何点ですか？

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

すごく不幸 ← とも幸せ

● 点数の理由は？（ ）

② あなた自身が『幸せ』であるために、重要だと思うことは何ですか？(○を3つまで)

① 家族の仲が良いこと	⑤ 良い学習環境(学校・塾・自習)があること
② 友達と仲が良いこと	⑥ 家族・先生・友達から認められること
③ 自分や家族が健康なこと	⑦ ボランティア活動など、地域のひとふれあいがあること
④ 不自由なく普通に生活できること	⑧ 将来の夢があること。夢に向かって頑張ること
⑨ 学校生活が楽しいこと	⑨ 趣味や習い事など、好きなことができること
⑩ 部活が楽しいこと	⑩ 自由な時間があること
⑪ 成績が良いこと	⑪ お小遣いなど、自由に使えるお金があること
⑫ その他()	

③ あなたは普段から自分が『幸せ』になるために何かしていますか？
(将来の夢のために習い事を頑張っている。 家族とたくさん会話をするようにしている。 など)

1. している 2. あまりしていない 3. していない 4. わからない

● 何をしている？（ ）

④ あなたは普段の生活のなかで、自分の周りの人に『幸せ』を感じてもらうために何かしていますか？
(家の手伝いを進んでやっている。 いつもみんなに笑顔で挨拶している。 など)

1. している 2. あまりしていない 3. していない 4. わからない

● 何をしている？（ ）

Q2 あなたの学校生活について

① あなたは学校生活や部活動が楽しいですか？

1. とても楽しい 2. まあまあ楽しい 3. 普通 4. あまり楽しくない 5. 楽しくない

② あなたは普段の授業で「わかった」という実感がありますか？

1. ある 2. ない

③ あなたには信頼できる友達いますか？

1. たくさんいる 2. 少しいる 3. いない

④ あなたは過去1年間の間にいじめを受けて悩んだ経験がありますか？

1. ある 2. ない

Q3 あなたの普段の生活・家族との関係について

① あなたは普段の生活全般に満足していますか？

1. とても満足 2. まあまあ満足 3. 普通 4. 少し不満 5. 不満

② あなたは家族との関係で悩みがありますか？

1. ある 2. ない

③ あなたは親や家族から大切にされていると感じていますか？

1. 感じる 2. 感じない

④ あなたは自分や家族のことで心配や不安がありますか？

1. ある 2. ない

⑤ あなたは自分の10年後の将来が楽しみですか？

1. 楽しみ 2. 楽しみではない

Q4 あなた自身について教えてください。

性別	1. 男性	2. 女性
自由意見 あなたにとっての幸せとは何ですか？		

ご協力ありがとうございました！ 😊

田原市市民意識調査報告書

発行年月 平成28年12月

発行 愛知県田原市 企画部企画課
〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30番地1
TEL : (0531) 22-1111 (代表)
FAX : (0531) 23-0669
E-mail : kikaku@city.tahara.aichi.jp